

平成28年度

新入生ガイダンス報告書

京都大学国際高等教育院

目 次

I. 平成 28 年度の新入生ガイダンスについて	1
II. 入学予定者サイトの開設と運用	2
III. 平成 28 年度全学共通科目ガイダンス	
(1) 日程等	3
(2) 京都大学の教育について	4
国際高等教育院副教育院長 吉 崎 武 尚	
(3) 全学共通科目の履修・KULASIS の利用について	7
国際高等教育院副教育院長 喜 多 一	
(4) 英語教育について	19
国際高等教育院附属国際学術言語教育センター准教授 金 丸 敏 幸	
(5) 留学について	33
国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター教授 長 山 浩 章	
国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター教授 河 合 淳 子	
IV. 履修相談について	45
V. e-Learning：大学生活における基本ルール	46
VI. 新入生アンケート（全学共通科目ガイダンス）	
○調査の概要	
(1) 実施方法	47
○アンケート回答	48
(1) 受験した入試区分・科目、高等学校での学習について	48
(2) 京都大学入学に際しての抱負について	55
(3) ガイダンスの運営について	150
○資料：アンケート用紙	152
VII. 平成 28 年度全学機構ガイダンス	154
VIII. 新入生アンケート（全学機構ガイダンス）	
○調査の概要	
(1) 実施方法	155
○アンケート回答	156
(1) 生活スタイルについて	156
(2) ノート PC について	157
○資料：アンケート用紙	162
IX. おわりに	166

※役職名等は平成 28 年 4 月 1 日現在

I. 平成 28 年度の新入生ガイダンスについて

学部新入生に対するガイダンスは、新入生に本学が提供する教育や大学生としての生活について指導する上で欠かせない機会であり、初年次教育の視点からも重要である。他方で、さまざまな業務を所掌する組織が必ずしも十分な連携を持ってガイダンスを行っている訳ではないこと、適切な授業週数を確保する学年暦の設定のため、入学式の後すぐに授業が開始されることから、ガイダンスのスケジュールが密になっており、諸手続きや履修科目の選択なども求められる新入生にとって相当に慌ただしいものとなっている。このためガイダンスの有効性や実施効率の点で改善が必要であると判断した。

国際高等教育院では平成 27 年度にガイダンスの実施方法を大きく見直したが、平成 28 年度には以下のような点でガイダンス等の改善を行った。

- 平成 28 年度から教養・共通教育のカリキュラムの大幅な変更を行ったため、ガイダンス内容等もこれに合わせて変更した。とりわけ大きく実施方法の変わる英語教育についての説明に注力した。
- 入学直後のスケジュールを緩和するために情報環境機構と連携して入学前に学生用アカウントを発行し、ガイダンスの一部をオンライン化するとともに初修外国語や少人数教育科目「ILAS セミナー」の事前登録を行うようにした。
- 平成 27 年度に開始したコンプライアンス関連の 4 つの e-Learning に新たに ILAS セミナーの実施を支援する目的で「レポートの書き方」を作成し、これらを入学前に学習できるようにした。
- ガイダンスそのものは前年度の方式を踏襲し、配布物の軽量化など必要な改善を加えている。
- 履修相談については前年までの利用状況をふまえ実施方法を見直した。

Ⅱ. 入学予定者サイトの開設と運用

前年度までは、新入生ガイダンスの短い時間内に多くの事柄を詰め込み過ぎたため、新入生がガイダンスのすべての内容を消化しきれないのではないかという問題があった。これを解消するため、本（平成 28）年度からは、情報環境機構の協力の下、入学手続きの資料の送付と同時に本学のオンライン情報を利用するのに必要な学生アカウント（ECS-ID）を発給するとともに、入学予定者用 Web サイトを構築した。これらを用いて、3月16日から住所登録、入試に関するアンケート、全学共通科目の履修に関する注意事項の周知、外国語科目履修選択手続、ILAS セミナー抽選申込手続、コンプライアンスに関する e-learning をオンラインで実施した（表 1 参照）。入学予定者の計算機環境の不揃いを始め多くの不安材料があったため、相談受付用の電話を 5 台設置して事態の推移を見守ったが、オンライン作業終了日までに 99.8%の入学予定者が無事作業を完了した。なお、オンライン作業に対応できなかった 5 人に関しては書面の郵送によって同等の作業を行ってもらった。以上の作業を前提として新入生ガイダンスを軽量化したことで、新入生の集中力が途切れることもなくガイダンスを円滑に実施することができた。

*MUST-DO LIST	
<p>チェックリスト形式になっていますので、“入学予定者サイトWKU: Welcome to Kyoto University について” (P.3) 及び“入学予定者サイト操作マニュアル” (P.4~P.24) をよく確認して、諸手続を行ってください。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/> 入学手続書類を確認してください。	
<input type="checkbox"/> 学生アカウント（ECS-ID）通知書を開封し、通知書の指示に従いECS-IDを有効にしてください。(P.4)	
<input type="checkbox"/> 入学予定者サイトにアクセスし、以下の諸手続を行ってください。(P.5)	
<p>●基本情報の登録とアンケートの回答 (P.6~P.11)</p>	
<p>最初に基本情報の登録が必要です。 3月22日（火）までに次の4つの登録を完了してください。</p>	
<input type="checkbox"/> 学生番号確認：表示された学生番号（10桁）を確認し、控えてください	
<input type="checkbox"/> アルファベット氏名登録	
<input type="checkbox"/> 住所等登録（e-mail アドレス必須）	
<input type="checkbox"/> 入試に関するアンケート（一般入試合格者のみ）	
<p>●入学予定者サイト (P.12~P.24)</p>	
<p>大学からの様々な情報が本サイトの「お知らせ」欄に掲載されます。 また、基本情報の登録で入力した e-mail アドレスへも通知します。</p>	
<p>まず、本サイトの「学びに関すること」を確認し「必要な諸手続と e-learning」を行ってください。</p>	
<p>◆学びに関すること</p>	
<input type="checkbox"/> 京都大学の教育体系	
<input type="checkbox"/> 大学における単位制度	
<input type="checkbox"/> 卒業に必要な全学共通科目の単位数について	
<input type="checkbox"/> 学年層と授業時間	
<input type="checkbox"/> 全学共通科目でのクラス指定科目	
<input type="checkbox"/> 入学前の科目選択	
<input type="checkbox"/> シラバスについて	
<input type="checkbox"/> 時間割の構成のしかた	
<input type="checkbox"/> 英語教育及び E 科目について	
<input type="checkbox"/> 外国語科目群：初修外国語について	
<input type="checkbox"/> 少人数教育科目群：ILAS セミナーについて	
<input type="checkbox"/> 英語能力試験（TOEFL-ITP）の受験について	
<input type="checkbox"/> 学習用ノートパソコンの保有推奨について	
<input type="checkbox"/> 海外の大学への留学	
<p>◆必要な諸手続と e-learning</p>	
<input type="checkbox"/> 登録済の基本情報の変更（必要な方のみ）	<p>3月25日（金）17:00までに 3月30日（水）17:00までに</p>
<input type="checkbox"/> 外国語科目履修選択手続	
<input type="checkbox"/> 少人数教育科目群：ILAS セミナー抽選申込手続	
<input type="checkbox"/> e-learning：大学生活における基本ルール	
<p>入学予定者サイトは、3月30日（水）17:00に閉鎖します</p>	
<p><small>入学までにやっておくこと</small></p>	

(表 1)

Ⅲ. 平成28年度 全学共通科目ガイダンス

(1) 日程等

平成28年度全学共通科目ガイダンスは以下のプログラムで実施した。

1. 日程

	4共11	4共21	4共30	4共31
4月4日(月) 9時30分～ 11時45分	医学部 (医学科) 農学部 (資源生物科学科)	医学部 (人間健康科学科) 農学部 (地域環境工学科) (食品生物科学科)	理学部 農学部 (食料・環境経済学科)	薬学部 農学部 (応用生命科学科) (森林科学科)
4月5日(火) 9時30分～ 11時45分	文学部	経済学部	法学部	総合人間学部 教育学部
4月6日(水) 9時30分～ 11時45分	工学部 (物理工学科)	工学部 (工業化学科)	工学部 (地球工学科) (電気電子工学科)	工学部 (建築学科) (情報学科)

2. プログラム

- ① 9:30～ 9:45 京都大学の教育について 村中孝史・国際高等教育院長
- ② 9:45～10:25 全学共通科目の履修・KULASISの利用について 喜多 一・国際高等教育院副教育院長
- ③ 10:25～11:10 英語教育について 附属国際学術言語教育センター 金丸敏幸・准教授
- ④ 11:10～11:30 留学について 附属日本語・日本文化教育センター 長山浩章・教授、河合淳子・教授
- ⑤ 11:30～11:45 アンケート回答

1. 平成28年度 全学共通科目ガイダンスプログラム
2. 全学共通科目ガイダンスアンケート
3. 全学共通科目履修の手引き<簡易版>
4. KULASIS
5. 平成28年度 TOEFL ITPの実施について
6. Liberal Arts and Sciences to learn in English 2016
Kyoto University
7. 全学共通科目履修相談等について
8. 教養・共通教育通信

9. 学びのプレーブック
10. 海外留学の手引き
11. 留学支度
12. 教員免許取得を考えている新入生の皆さんへ
13. キャンパスでの感染症 HANDBOOK 2016
14. 男女共同参画推進センター リーフレット
15. 地震対応マニュアル

(2) 京都大学の教育について

国際高等教育院副教育院長 吉崎 武尚



おはようございます。

昨日の理系の学生さんに比べて文系のほうが余り従順じゃなくて心強いですね。理系の方のほうが集まりも早く、「おはよう」の声も大きかったのですが、学部毎に個性があり、その方が京大らしくて好ましく思っています。

先ずはご入学おめでとうでございます。スクリーンに予定と書いてありますのは、学籍上はもう京大生になられましたけれども、入学式が終わるまではまだ正式には入学されていないので、予定となっています。

毎年この時期、京都は桜が満開になります。皆さん方は自分に都合よく、ウェルカムということで桜が咲いているように見えるでしょうが、私達教員からすると、桜の花は卒業の方へのはなむけで、卒業生の門出とともに散り、その後には若葉が出てきます。その新しい芽吹きとともに若い皆さん方を迎え、新しい1年が始まるのだなということで、桜と大学の変化がシンクロして、いい時期だなと思っています。

本来なら、私ではなく、ここにお示ししました教育院長の村中先生がご挨拶されるのですが、ちょっと体調を崩されたので、私がピンチヒッターを務めることになりました。村中先生は法律がご専門の文系で、是非ご自身で文系の皆さんにご挨拶をされたかったです。皆さんによりしくお伝えくださいとのことでした。

このガイダンスは、皆さんに何かメッセージを伝えるというよりは、これから大学で全学共通科目をどういうふう履修して欲しいかを伝えるのが目的で、いわゆる儀式のようなお話ではなく、結構実務的なお話になることをご容赦ください。とは言え、全学共通科目を履修していただく上で心構えみたいなものについても少しお願いすると思います。

皆さん方に「入学までにやっておくこと」という冊子をお送りし、今年度からの幾つかの変更点をお知らせしましたが、一番大きい変更は、本年度、平成28年度から全学共通科目のカリキュラムが大きく変わることです。3年前、平成25年に国際高等教育院という組織が発足しました。大学に入られてから、多くの方は2年ぐらいの間に全学共通科目を学ばれますが、それをどのように学んでいただくのがよいかを考える組織です。3年前から計画を立て、今年度入学される皆さんが変わり目の最初になります。個々の授業の中身そのものは余り変わりませんが、その実施方法が変わりました。これだけは忘れて欲しくない大事な注意は、皆さん方の先輩とはかなり授業の実施方法が違うことです。特に英語は大きく変わりますので、皆さんの先輩の言うこと、特に授業の内容あるいは履修の仕方に関することは全く役に立たないという前提のもとに聞いてください。本日も学内で色々な

サークルの先輩が並んでおられました。そこで「単位なんか大丈夫です」みたいな話をされるかもしれませんが、そのときは眉に唾をつけて、私の話や後の先生方の話を思い出して下さい。私の話のあとここに示した順で全学共通科目の説明があります。特に金丸先生からの英語教育に関するお話は重要です。すでに昨日お話を伺いましたが、理系の私は「これは単位を取れるかな」という感じがしました。しかし、本日は文系の方々に英語の得意な方が多いので、多分大丈夫だと思います。それでもかなりインパクトのある話だと思いますので、覚悟しておいて下さい。

全学共通科目を受けるに当たっての心構えに関するまず一つ目は、自己責任で生きるということです。自己責任で生きる、きのうもスクリーンに示しましたが、はっきり言って何のことかよくわからない。何でも自己責任ですが、特にここで言う自己責任は、狭い意味での自己責任です。新入生の皆さんはこの「入学までにやっておくこと」という冊子に見覚えがあると思いますが、その中の入学までにやっておいて欲しいチェックリストの一番最後に、入学までにe-learningをしておいて欲しい「大学生活における基本ルール」というのがあったと思います。既に勉強していただきましたね。「やってくれましたか？」大体3分の2の方がやっていたらいいということで、3人に聞くと1人はやってないという予想をして、昨日も一番前の列に聞いてみたのですが、前に座る人には結構まじめな人が多いのかもしれないですね。後ろのほうの人には尋ねにくいのですが、その青い服を着た人、君はe-learningをやってくれましたか。（「やりました」と言う）素晴らしい。

しかしデータの上では3分の1ぐらいの方がやっていたらいいので、できればというか、必ず基本ルールについて学習をしてください。それはある意味ほかの人に迷惑をかける、あるいは自転車の運転なんかですと地域の方々に迷惑をかけるという基本ルールです。それ以外にも自己責任で生きるということの意味は、皆さん方はもう自分自身が自分の行動をその瞬間に決めなくてははいけません。それが及ぼす影響に関しては、自分自身が責任を取るという大人としての心構えを持って行動して欲しいということです。

二つ目は、グローバル社会で生きるということです。グローバルという言葉も使い古された感じがして、今さら何を言っているのかという話ですが、その中身の一つは、この後、金丸先生から英語に関して、要するにグローバルなコミュニケーションの方法に関して詳しくお話がありますけれども、問題はそういうコミュニケーションを通してどういうことを話すかが重要だということです。ですから、英語に堪能になることは当然のことですが、その英語を使って世界の皆さんが聞きたい事柄を各自が発信することによってグローバル社会に関与してほしいということです。もう一つは、グローバルというのはもともとグローバルから来ていて、地球という意味です。地球を丸いというふうに当然理解していますよね。皆さん方は高校までに地球儀を見ているはずですが、丸い有限な大きさだということは、見方を変えれば、日本というローカルなところでやっている行為が世界に影響します。逆に世界で今まで余り関係ないと思っているようなところで起きたことが日本に影響するということで、これからの皆さん方の時代というのは地球温暖化の話もあったりして、地

球全体で皆さんがどう生き延びていくかということを考えなければいけない時代だということ。そういう二つのグローバルな感覚を持って生きていって欲しいと思います。

三つ目は、何とか生きのびるということです。若い皆さんは何の話だと思われるでしょうが、あすのことは誰にもわかりません。例えば皆さんの中にも大阪のほうから通学されている方はいると思いますが、私も大阪のほうに住んでいます。それで地下鉄に30分ぐらい乗らないといけないのですが、朝と帰りで1時間ぐらいは乗っています。そのときにいつも不安になるのは、南海トラフの地震が起こると言われていることです。先週金曜日にも三重県沖で地震がありました。気象庁は南海トラフと関係ないと発言していますが、私なんかはあるのではないかと考えています。予想されているようにトラフが動くと、大阪はかなり大きい津波に襲われます。恐らく守口あたりまでは水につかるだろうと言われていまして、地下鉄は水に浸ってしまいます。そうすると、そこそこ歳もとってきたのでどんな死に方をしても良いようなものですが、地下鉄の中で溺れ死ぬのは嫌だなと思っています。ところが、その地下鉄には、万が一地震が起きた場合にはどういうふうに避難しなさいという指示は見やすいところに書いてないのです。まして私が乗っている地下鉄中央線は、上に送電ケーブルがなく、横にあるタイプで、電車がとまっても送電が停止したかどうかわかりません。大勢の人がわっと逃げ出して感電死するのも嫌だなというふうにも思ったりしています。ところが、明日のことがわからないと書いたのは、それはきょう私が帰るときに起こるかもしれない。そのようなときに、わけのわからない状況の中で年老いた私なんかは死んでもいいのかもしれませんが、若い皆さんは絶対死んではいけないので、何とか生き延びるようにして欲しいと思います。そのような緊急事態のときだけではなく、普段から地球の上で皆さん協力し合って、全体としてよりよい生活を続けていてほしいと思います。

そういうことをやるためにどういうふうにしたらいいのかということに関して全学共通科目がありますので、この後、二人の先生、留学も含めますとお三方の先生がお話になりますが、その話をよく聞いて、学生生活をエンジョイしていただければと思います。

※4月5日(火) 総合人間学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部を対象に実施したものをまとめたものである。

(3) 全学共通科目の履修・KULASIS の利用について

国際高等教育院副教育院長 喜多 一



おはようございます。教育院で副院長を拝命しております喜多と申します。38年ぐらい前にみなさんと同じ立場にいました。

これから全学共通科目の履修とそれを登録するためのKULASISというウェブのシステムについてお話をしたいと思います。このようなことをお話していきます。一部は既に新入生向けのウェブサイトで見ていることの復習になると思います。

では、これから指示する資料を出してください。まずアンケート、さっきちょっと書いてもらっていたと思います、それから「履修の手引き」、「KULASIS」、1枚ものですが、私が書かせていただいた「学びのプレーブック」という赤いバーの入っているもの。今から3分間ぐらいあげますので、この「学びのプレーブック」というのを読んでください。英語と日本語で書いてありますけれども、同じことを書いてあるので、好きなほうを読んでもらったら結構です。

読み終えた人は、アンケートの裏面、2のところの本日のガイダンスについての問いのところで(1)を答えてください。1、2、3と答えられる人はどうぞ答えてもらったらいいです。

(ここで「学びのプレーブック」を読んでもらう)

じゃ続けますので、前を見てください。先ほど吉崎先生から「カリキュラムが大きく変わりましたよ」というお話をしていただきました。科目というのは学部の専門科目と教養教育あるいは専門の基礎教育という2つの役割を持っている全学共通科目の、大きく2つになります。このオレンジ色の全学共通科目が8つの科目群で構成されています。もう既に皆さんは外国語の科目の選択だとか少人数教育のILASセミナーの科目登録をしていたかと思います。このあと少し複雑な仕掛けでE科目という、特に2年生になってから英語をどう学ぶかということで新しい仕掛けを入れております。かなり複雑だと言われていますが、多分京大生の皆さんは理解可能だろうと思っています。あと人文社会系の科目、それからきょうは理系の皆さんだと思いますけれども、かなり専門の基礎教育的な色彩が強いですが、自然科学の科目、外国語、情報、健康とスポーツの科目、キャリア形成の科目、先ほど吉崎先生がこれからのことを考えましようというので、新しく始めた統合科学という科目が主に後期にあります。前期はILASセミナー、後期に統合科学というのが新しいカリキュラムの目玉になっています。あと1年生からずっと4年生まで、あるい

は医学・薬学は6年生までありますけれども、1年生のうちはほとんど全学共通科目を取っているという状況になります。一部専門の学部の科目も学びますが、2年生になりますと随分学部の科目が増えてまいります。3年生、4年生は、これはおもしろいから取りにくるという人とやむを得ない理由で取りにくる人に分かれていますが、3年生、4年生でももちろん全学共通科目は履修していただけます。

まず単位、大学の授業は科目ごとに単位が出ます。制度上高等学校も同じような枠組みにはなっていますけれども、高等学校の単位を落とすと落第になったりするので余り気にしないかと思えます。大学の科目は本当に科目ごとに成績がつきますので、しっかり科目ごとに学んでいって、単位を取るということをやってください。京大の授業は、大きくは半期週1コマ90分の授業を15週、14週の授業と1回の試験、試験を数えないので、1回のフィードバックという形で15回の授業で構成しています。講義と演習系の科目は2単位、実験・実習系の科目は1単位、これは予習・復習がしにくいから、こういう形で単位を出しています。単位をもらおうと思ったら、授業に出て、試験を受けたりレポートを書いたりして、合格をしてください。皆さん方、学部あるいは場合によっては学科ごとに全学共通科目の履修の要件は違います。お手元にあるのは学部ごとの履修要件を書いてないので、ウェブで見えていただけるほうの履修の手引きで学部ごとの履修要件を確認してください。

それから、予習・復習が要ります。大学設置基準というルールがありまして、90時間勉強したら2単位くれる。先ほど90分の授業を15回で2単位出すと言いましたが、それだけでは足りないのです。何でかという、もともと自習することを想定しています。授業の倍ぐらい自習するのだというのが大学の授業の設計です。そういうふうにつくられているんです。なので、自習時間を確保して時間割を組んでください。今は履修制限という制度を入れているので、全教科目は1日3つぐらいまでしか入りませんが、1日5コマで埋めると、その倍ぐらい予習・復習をしろということなので、土曜も日曜もなくなってしまいます。先生方はどうやって勉強してくださいということをあまり教えてくれません。この後、別に受験があるわけでもないのに、受験対策を高等学校のようにしません。高等学校まででどうやって勉強してきたか、問題集をドリル的にやったよな、無理やりしたよなということは自分でやってください。それから、予習してきてください。90分の授業は長いです。ところが、大学の先生は平気で90分しゃべり続けられる。マシンガントークを90分聞くのはつらいですから、途中でとめるためには相手以上に知ってないといけない。なので、予習してきてください。

あと、1年間のスケジュールについて、これもウェブサイトで見てください。入学する前から夏休みはいつからだろうと気になりますよね。7月いっぱいぐらいまで授業があって、試験があって、フィードバックがあって、夏休みになります。後期は10月に始まって1月の終わりぐらいに終わって、2月、3月は入試とかもあるので、大体お休みの期間になります。1年間のスケジュールはこういうスケジュールです。大学では二

学期制です。

それから、授業の時間、朝 8 時 45 分に始まります。多分高校よりは遅いと思うんですけど、2 時間ぐらいかかって通学する人がいると思うので、頑張ってください。1 年生は 1 限に必修の授業が多いです。特に理系の人は英語が入っていたり数学が入っていたりするので、朝起きられないとかなりまずいことになります。今は日が高いのでいいんですけども、後期になってひとり暮らしをしているとかなり危機ですから、注意してください。午前中に 2 つ授業があって、お昼休み 1 時間入って、午後授業のコマとしては 3 つまであります。それから嬉しい話、6 月 18 日は今年は残念ながら土曜日ですけども、創立記念日でお休みです。前期はないのですが、後期に各週の曜日ごとに 14 回の授業を確保するために、1 月 4 日と 1 月 10 日は曜日を振りかえています。後期になって注意してください。

皆さん方、授業をするためにクラスというのを編成しています。KULASIS で自分のクラスを確認してください。英語とか理系向けの自然科学の科目、情報の科目、スポーツ実習などはクラスを指定して運営していますので、そのクラスのところで履修をお願いします。ことしから初修外国語、英語以外の外国語については皆さん自由に選択していただいているはずですので、英語や数学のクラスとは別にクラスを編成していますから、ご注意ください。

時間割のつくり方、これもウェブサイトで見てくださいと思います。自分のクラスをまず KULASIS で確認します。履修の手引きでどんな単位を取ったらいいのかを考えます。ただし、1 年生で全部取ろうと思わないこと。後期の科目とか 2 年生の科目をしっかりと考えて、余り埋めすぎないようにお願いします。それから、予め定められている科目、クラス指定科目は勝手に埋まっていきますので、勝手に埋めてください。理系の人はこれだけで結構埋まってしまいます。ただし、一部の科目はクラス指定はしているけど、必ずしも必修的ではなかったりしますので、自分なりに履修するしないを決めてください。あと空いているところにクラス指定の入らない曜時限で履修制限の範囲内で他の科目、特に理系の皆さんだったら文系の科目とか、そういうのをその空いているところから選んでください。シラバスを KULASIS で検索して、候補科目から自分でこれいいかなと思う科目を選んでいって、時間割を構成するようお願いします。

次、成績、今から成績の話をするのも何なんですけど、皆さん方につく成績というのは、我々は 0 点から 100 点の点数で評価するんですけども、皆さん方の成績表としては A+ から F までの 6 段階の標語で評価されます。F は不合格です。D からずっと上がって行って、A+ というのが一番いい。これはとつてもいい人にしかつきません。D は合格だけだとつても悪い人にしかつきません。さらにそれにグレードポイントというポイントがついています。このポイントを貯めたから何か買えるというわけではなくて、成績トータルでどれぐらいなのかなと見るためのポイントです。不合格だと 0 点です。あと 1、2、3、4 とあるんですけど、A+ が 4.3 点になっています。さらにことし皆さん方から全科目の平

均値、グレードポイントアベレージというのを制度として入れています。なので、FとDを取るとかなりこのアベレージが下がるので、ご注意ください。とは言うものの、これはさすがにおもしろくないわという授業があったり、ちょっと頑張って取ったけどついていけへんということはあると思います。履修登録はまずしていただいていいんですけども、学期の真ん中ぐらいに取り消しの期間というのがあります。そこで履修を諦める科目についてきちんと取り消してください。そうしないと、取り消さないまま試験も受けなかったら不合格になってしまいます。GPAが0で計算されますので、ご注意ください。それから、英語と初修外国語は我々も手いっぱい授業を運営していますので、申しわけありませんけれども、取り消せません。頑張って履修してください。

次、不正行為、ちょっとこれを見てください。

(ビデオ放映)

もうわかりましたよね。これは色々な大学向けに作っているんですけども、我々京都大学でも半期の単位取り消し、あるいは学部によっては1年間の単位取り消し、事実上留年してくださいということになります。

アンケートの2の(3)のところを書いてください。

もちろん試験のカンニングもしちゃいけません。これはみんな知っているから余り言わないんですけども、試験のカンニングと、それからレポートの剽窃、難しい漢字ですけども、剽窃も試験のカンニングと同じように扱いますので、ご注意ください。文献を見て引用する、これは大事なのでやっていいんですけど、引用のルールに従っていないと、剽窃なのか引用なのかわかりませんから、ご注意ください。e-learningで「レポートの書き方」をやってもらったと思いますが、そこでも少し説明しています。

それからもう一つ大事なのは、カンニングをさせたり、さっきの先輩がUSBメモリーを渡していましたけれども、剽窃されることをわかってレポートを見せる、これも不正行為扱いです。無理やりカンニングされたら仕方がないですけど、例えばちょっと答案を横をずらした場合、それは不正行為として扱われますから注意してください。それから、安易なコピペはレッドカードです。さっき出てきましたけど、剽窃と引用をきちんと区別するようにしてください。

ここからはテクニカルな話をざっと紹介します。まず4月中のスケジュールを確認します。きょうはここですけども、ガイダンスがあって、入学式があって、8日から授業が始まります。最初、履修制限のある科目というのが幾つかあるので、その申込期間というのがあります。その次に履修登録、自分で本当に取る科目の登録をする期間というのが4月15日から19日にあります。ここにTOEFL-ITPという英語の試験、土曜日ですけども、やりますので受けてください。最後に、いろいろ調整が入りますので、履修登録の確認と修正というのが4月22日から4月25日にあって、4月28日に確定します。きよ

う午後、全学機構のガイダンスを受けていただくとお思いますけれども、情報セキュリティの e-learning というのを別途受けてもらう必要があるとお思います。それは多分月末までに受けてくださいということになるかとお思います。

皆さん方の履修登録とかは KULASIS というシステムを使います。今まで3月中は新入生サイトというのでいろいろやっていただいたとお思います。4月からはこの KULASIS というのを使います。メールアドレス登録、新入生サイトで登録した人はそれがそのまま反映されているはずですが、メールアドレスを登録するという事でメールの各種の通知が行きます。友達同士はほとんど LINE でコミュニケーションしているとお思いますけど、フォーマルな大学からの連絡は基本的に電子的にはメールで行きますので、定期的にチェックをするということをお願いします。これも入学予定者サイトと同じなんですけれども、全学生共通ポータルというポータルサイトからログインしてもらくと、KULASIS というメニューがあるので、そこから利用してください。それ以外に色々な図書館のサイトだとか、メールだとか、セキュリティの e-learning だとかいうサイトへも行けるようになっていきます。まず最初に連絡先の確認をお願いします。既に登録されているものが入っているはずですが、追加や修正もできるかとお思います。

それから、クラスを確認してください。ここを押せばわかるということです。自分のクラス指定科目を確認してください。大体このコマに何が入るかというのはわかるようになっていきますけれども、実際にどのクラスなのかというのは今から確認して、その授業を受けていただくことになります。お知らせというのが出ますので、これも定期的に確認してください。

どの授業がどんな中身かというのを書いたものをシラバスといいます。高等学校と違って、これを見て科目を選んで、こんな順番で進むのだ、こんな宿題が出るんだということを確認してください。そうして履修をするということをお願いします。どの時間帯に取りたいとか、どの分類のものを取りたいとかを手がかりに検索して、閲覧してください。履修登録もクラス指定されているからといって自動的に登録をされているわけではありません。ILAS セミナーも割り当てはそろそろ案内されているとお思いますけれども、履修登録は必要です。登録手続を怠った場合は単位取得できませんので、留意してください。ここにおられる皆さん方で、医学部以外の方は全学共通科目と専門科目の両方を KULASIS で履修登録をします。医学部の方は全学共通科目は KULASIS で登録しますが、専門科目はそれぞれの学部学科で登録してくださいということだそうです。

これがスケジュールです。先ほどお見せしたように時間割を作成する期間、履修登録をする期間、それから確認と修正をする期間があり、そして4月28日までに確定をします。

まず事前手続の要るものですが、スポーツ実習は1回目の授業で体育館のメインフロアに集合してください。ILAS セミナーの予備登録は済んでいるかとお思います。これは入学予定者サイトでお知らせしたとおりです。ただし、抽選に漏れた人がいますよね。定員に余裕のある科目は登録できますので、リベンジしてください。履修人数の制限のある科

目は主に KULASIS で抽選がありますので、それも確認してください。1 回目の授業で抽選を行う科目もあると思います。KULASIS だけで全部済むわけではありません。先生によっては授業に来て、そこで抽選しますという方もおられますので、取りたいと思う科目には行ってみるということをお願いします。こうやって時間割を作っていきます。KULASIS の上で時間割を作れるようになっていきます。自分を取りたいという複数の科目を候補に挙げておくことができますので、まずそれをやってください。

そして登録期間、4 月 15 日からは実際にこれを取りますという科目を決めてください。みんなギリギリにやるんですが、システムがパンクして登録できないということになるので、余裕を持って登録してください。どの科目を取るか 1 科目に選択するようになっていきます。それからステップ 3 で確認して、修正が入ります。これも同じように最終日にアクセスが集中しますので、ご協力ください。最後、確定します。

いろいろご相談があるときは、ここの場所に新しく国際高等教育院棟という建物が建ちました。事務室が 1 階にありますので、履修に関する相談はここの事務室に来てください。

それから、吉崎先生の頭の上にあるんですけども、白いカバーのかかったボックスがあります。これが授業に出席を登録するためのシステムで、学生証は I C カードになっているので、これにかざすと出席をとることができます。授業開始 15 分前から一応出席をとるようになっていきますので、学生証を忘れずに携行してください。特に英語の授業では必ずこれで出席をとることになっていますので、必ず出席をとるようにしてください。うまくいくと緑色、だめだと赤になりますので、だめだったときはやり直してください。I C カードが本当に壊れているときは再発行してもらわないといけません。忘れた方とか、どうしても登録できない人は必ず先生にお伝えするようにしてください。

最後、安全についての話をします。まず安全の三原則というのがあります。全てに優先します。これで留年だと言っているでも安全を優先しますので、安全は全てに優先する事項だということを理解してください。

次、ルールを守る。ルールを守らずに事故を起こしたら、それはないでしょうという話です。

最後、自己責任。自分の身は自分で守ってください。スポーツ実習と実験科目、多少なりともリスクがあります。安全な範囲でしかデザインしていませんけれども、スポーツ実習は当然体を動かしますので、怪我あるいはサイクリングで外へ出る場合は交通事故のリスクがあります。実験科目も指示のとおりしてない場合には事故を起こしてしまいます。担当教員の指示、シラバスの記載事項に従ってください。それから学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）・学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）の案内は入学手続の書類に入っていたかと思います。加入が義務づけられています。事故が起きた場合、大学で補償できませんので、必ず保険に入っておいてください。

次、気象警報、時間雨量 50 ミリを超える豪雨というのが京都市周辺でも発生するようになりました。1 時間に 50 ミリ降ると大変なんです。町がそう設計されていない。下水

があふれたりします。キャンパスも水浸しになったりします。特別警報とか暴風警報が発令された場合、履修の手引きに書いていますけれども、授業や試験は休止・延期します。履修の手引きを確認して、安全な通学をお願いします。

最後、地震。京都市のサイトに行くときハザードマップというんですけど、想定されている地震に対してどこがどれぐらいの影響があるのかというのを計算しています。これは京大周辺なんですけれども、この真下は花折断層という札つきの断層が通ってしまっていて、大体京大は震度7あるいは6強。ほとんどの校舎は耐震補強しています。なので、地震のときに慌てて外へ出ないこと。まずは建物を信じろということです。安全を確認してから吉田グラウンドへ避難するという手順になっています。ただし、京都大学はとっても危険な場所にあるんだということは理解してください。もちろん皆さん方のお家、通学経路、どういうことがあり得るのかということは理解してください。みんなの手元に非常食が配られていますよね。これは持って帰ってください。まだ賞味期限があるはずですよ。大学で備蓄している非常食の年1回の入れ替えなので、あげますということらしいです。別に非常時でなくても、2食分助かるので。

以上です。

※4月4日(月)理学部、医学部、薬学部、農学部を対象に実施したものをまとめたものである。

全学共通科目の履修・KULASISの利用について (2016年4月)

国際高等教育院
副教育院長 喜多 一

1

ガイダンスで参照する資料

- KULASISハンドブック(小冊子)
- 全学共通科目履修の手引き<簡易版>
- 学部ごとの卒業要件などは Web 版を閲覧してください。
- 「学びのプレーブック」
(教養・共通教育通信 Vol. 20 からの抜粋)

3

単位制度について

- 大学の授業では科目ごとに単位が発給されます。
- 半期週1コマ(90分、15回)の授業で発給される単位数
講義、演習系科目 → 2単位
実験、実習系科目 → 1単位
- 期末試験、期末レポートあるいは平常点で評価され、科目に合格すれば単位が取得できます。
- 要件を満たすように単位を取得すれば卒業です。

あなたの学部・学科の全学共通科目の卒業要件を必ず確認してください。
全学共通科目履修の手引き(Web版)
「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数について」
(URL: <http://www.z.kyoto-u.ac.jp/zenkyo/guidance>)

5

学年暦と授業時間

- 授業の時間帯、開始から終了(試験)までの日程を確認してください。



- 6月18日は創立記念日でお休みです。(平成28年度は土曜日)
- フィードバック期間は試験の講評などに充てられます。担当教員の指示に従ってください。
- 後期に曜日振替があることに注意してください。
 - 1/4(水) ← 月曜の授業です
 - 1/10(火) ← 金曜の授業です

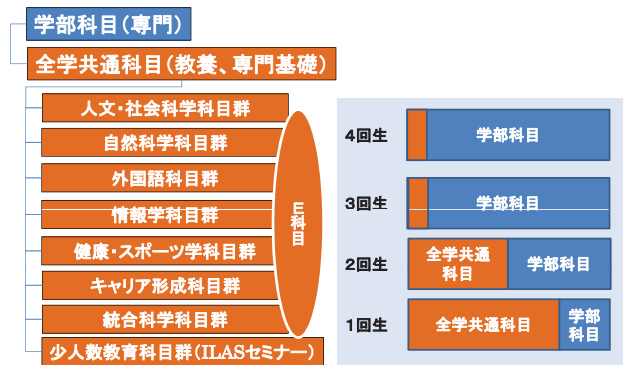
7

このガイダンスの概要

- 京都大学での学部教育の科目構成
- 単位制度について
- 学年暦と授業時間
- 時間割の構成のしかた
- 不正行為の取扱い
- 履修登録と KULASIS の操作
- 全学共通科目学生窓口
- 出席登録システム
- 履修における安全

2

京都大学での学部教育の科目構成



4

予習・復習の必要性

- 半期週1コマの授業で講義の場合、2単位が発給されますが、大学設置基準では90時間の学習で2単位とされています。なぜ?
- 授業時間は学習時間の一部です。残りは自学自習することを想定しています。
- 自学自習時間を確保して時間割を組んでください。
- 履修制限(CAP制と言います)もこのために設けられています。
- 学習方法を自身で考えてください。
- 学習方法は高校までの経験を振り返って自分で考えましょう。
- 1コマの授業時間が長いので予習を勧めます。



6

クラスの編成とクラス指定科目

- 各学部、学科ごとにクラスを編成しています。
- 1回生向けの英語、初修外国語など、クラスを指定して開講しています。指定されたものを受講して下さい。
- 英語
- (理系向けの数学など)自然科学科目
- 情報学科目
- スポーツ実習など
- 初修外国語は選択した言語ごとに別途、授業割り当てが編成されます

8

時間割の構成のしかた

- クラスを KULASIS で確認。
- 履修の手引きで卒業要件を確認。
- 予め定められている科目(クラス指定科目)、学部科目の曜・時限を確認。■
 - 卒業要件を勘案して履修する/しないを決めます。
 - クラス指定科目の入らない曜・時限で履修制限の範囲内で他の科目を履修します。□
- 空き曜・時限、科目分類で科目の授業内容(シラバス)を検索して科目候補を選択、実際に授業にも出ながら時間割を作成。
- 後期開講、2年生での受講も含めて考えます。

	月	火	水	木	金
1限	□	□	□	□	□
	■	■	■	■	■
	□	□	□	□	□
5限	□	□	□	□	□

履修制限を満たすように
↓
自学自習の時間確保

9

不正行為の取扱い

- 試験でのカンニング、レポートでの剽窃は不正行為です。
 - レポートでの不適切な引用も剽窃と見なされます。
 - カンニングをさせたり、剽窃されることを分かってレポートを見せることも不正行為です。
- **不正行為にはその期(年)の全単位の認定が取り消されるなど厳しい措置が取られます。**

11

履修登録と KULASIS の操作

京都大学教務情報システム KULASIS

- Web で科目の履修に関する連絡、登録、確認などを行うシステムです。
- メールアドレスを登録することで、メールに各種通知が送信されます。
- メールと Web サイトを定期的に確認ください



13

成績の評価と履修取消

成績の標語と GP

評語	A+	A	B	C	D	F(不合格)
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

- GPA: 履修した科目の GP の平均
 - 計算方法は各学部で定めています。
- 登録した科目の履修を学期の途中でやめる
 - 「履修取消」を定められた期間に行ってください。
 - 取消手続をせずに途中で履修をやめた結果、採点が「不合格」となった場合、GPAに算入されます。
 - 1回生配当の英語、初修外国語(クラス指定に限る)は取り消せません。

10

剽窃の防止と適切な引用

— 安易なコピーはレッドカード

- 剽窃: 他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いる行為のこと。社会的倫理に反する行為です。
- 引用: 自分の論考などの必要のために、他人の著作を紹介すること。
- 適正な引用のしかた: 不適切だと剽窃とみなされることがあります。
 - 量的にも質的にも本文が主であり引用が従であること
 - 引用箇所を明示すること
 - 出典を示すこと(インターネット上の著作物はタイトル、URL、アクセス日時などで示す)
 - 改変しないこと
 - 著作物が公表されていること

12

4月中にすべきこと

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 入学式 4/7, 授業開始 4/8
- 履修制限申込み: 4/8 8:30 ~ 4/14 18:30
- 履修登録: 4/15 ~ 4/19
- TOEFL ITP: 4/16
- 履修登録確認・修正: 4/22 ~ 4/25
- 履修確定: 4/28
- 情報セキュリティ e-Learningの修了 4/30

14

KULASIS へのログイン

- 全学生共通ポータルにログインします。
<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>
- 履修登録などのシステム KULASIS を選びます。



15

15

16

連絡先の確認、登録

KULASIS利用には、連絡先(メールアドレス)の登録が必要
(携帯電話アドレス可)
→入学予定者サイトに登録されたものが入力されています。

17

クラスの確認の手順

- ・クラス割り当ては KULASIS でお伝えしています。
- ・「登録情報」からクラスを確認してください。

18

クラス指定科目の確認

- ・履修の手引きWeb版を参照
URL: <http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo/guidance>

1回生クラス指定科目のページ

空白の箇所でも学部科目が割り当てられている曜・時限があります。

19

お知らせ

20

シラバス検索

- ・シラバスとは授業の分類や内容、計画、成績の評価の方法などが書かれたものです。
- ・KULASIS で 曜・時限や分類などを手掛かりに検索して閲覧します。

21

履修登録

- ・履修登録手続きを怠った場合、授業に出席しても単位は取得できません。
- ・KULASIS で登録
 - 全学共通科目
 - 総合人間学部、文学部、法学部、経済学部、理学部、薬学部、工学部、農学部の学部科目
- ・所属学部、学科に履修届を提出
 - 教育学部、医学部の学部科目

22

履修登録

- Step1. 時間割作成(4月4日(月)~4月14日(木)):
候補科目の選択
- 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
 - ・スポーツ実習
 - ・履修(人数)制限科目
 - ・実験・実習科目
 - ・ILASセミナー など
- Step2. 履修登録(4月15日(金)~4月19日(火)):
履修科目の決定
- Step3. 履修登録確認・修正(4月22日(金)~4月25日(月)):
不備科目の確認
- ↓
- 履修登録確定(4月28日)

23

事前手続き

履修登録期間までに事前に手続きが必要な科目

- スポーツ実習
 - 第1回目授業開始時に総合体育館メインフロア集合
- 履修(人数)制限科目
 - KULASIS及び掲示にて制限方法を掲載。
 - 一部KULASISで申請を行います
 - (申請受付 4/8(金)8:30~4/14(木)18:30)
- 実験・実習科目 など
- ILASセミナー予備登録
- 特別履修手続き(4月8日(金)~4月18日(月))



上記の手続きを怠った場合、当該科目の履修登録はできません

24

ILASセミナー予備登録

入学予定者サイトでお知らせたとおりです

ILASセミナー (ILAS Seminar-E2) の予備登録日程

日 時	手続きについて
入学案内等の書類が到着後、 3月25日(金)17:00	入学予定者サイト上で第3希望まで抽選申込を受け付けます。申込書数が1回生定員を超えた科目は抽選を実施します。
4月4日(月)9:00～ 4月6日(水)17:00	抽選結果をKULASISで発表します。当選科目のない1回生は、この期間中、1回生定員に満たなかった科目に申込をすることができます(先着順)。
4月7日(木)9:00～	初回授業時に申込を受け付け、ILAS Seminar-E2(定員を満たしていない科目)を発表します。
初回授業時: 4月8日(金)～ 4月14日(木)	当選していないILAS Seminar-E2の履修を希望する場合は、初回授業時に担当教員に履修許可を仰ぐください。(4月7日に初回授業時に申込を受け付けることを発表した科目に限りです。)
履修登録: 4月15日(金)～19日(火)	他の全学共通科目と同様、履修登録期間にKULASISから履修登録を行ってください。履修登録期間までに、履修登録候補科目設定画面に受講許可された科目が表示されます。候補科目設定画面に表示されるだけでは履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず履修を行ってください。
確認・修正: 4月22日(金)～25日(月)	

25

履修(人数)制限

26

履修登録(時間割作成)

候補科目をリストアップして授業に出席し、履修科目を絞り込んでください。

- Step1. 時間割作成(4月4日(月)～4月14日(木)):
候補科目の選択
- Step2. 履修登録(4月15日(金)～4月19日(火)):
履修科目の決定
- Step3. 履修登録確認・修正(4月22日(金)～4月25日(月)):
不備科目の確認



履修登録確定(4月28日)

27

履修登録(時間割作成)

時間割作成(4月4日～4月14日)

28

履修登録(科目決定)

- Step1. 時間割作成(4月4日(月)～4月14日(木)):
候補科目の選択
- Step2. 履修登録(4月15日(金)～4月19日(火)):
履修科目の決定
最終日はアクセスが集中しますので、時間に余裕をもって登録を行ってください。
- Step3. 履修登録確認・修正(4月22日(金)～4月25日(月)):
不備科目の確認



履修登録確定(4月28日)

29

履修登録(科目決定)

30

履修登録(登録確認・修正)

- Step1. 時間割作成(4月4日(月)～4月14日(木)):
候補科目の選択
- Step2. 履修登録(4月15日(金)～4月19日(火)):
履修科目の決定
- Step3. 履修登録確認・修正(4月22日(金)～4月25日(月)):
不備科目の確認
最終日はアクセスが集中しますので、時間に余裕をもって確認作業してください。



履修登録確定(4月28日)

31

履修登録(登録確認・修正)

- ・ エラー科目は履修登録できていません。必ず確認してください。
- ・ 確認・修正期間以降の履修登録は、一切認められません。

32

履修登録(確定)

Step1. 時間割作成(4月4日(月)~4月14日(木)):候補科目の選択

Step2. 履修登録(4月15日(金)~4月19日(火)):履修科目の決定

Step3. 履修登録確認・修正(4月22日(金)~4月25日(月)):
:不備科目の確認



履修登録確定(4月28日)

- 時間割(前期)
- お知らせ...履修登録科目に関する情報

33

履修登録(確定)

- 4月28日に履修が確定します。

全学共通科目
◆ 時間割

ここは、35のWeb Pageです。
あなたの授業登録情報です。

	1	2	3	4	5
全学共通科目	全学共通科目 A群 4月30日 前期	全学共通科目 B群 5月13日 前期	全学共通科目 C群 5月27日 前期	全学共通科目 D群 6月10日 前期	全学共通科目 E群 6月24日 前期
専攻	専攻 1月10日 前期	専攻 1月24日 前期	専攻 2月7日 前期	専攻 2月21日 前期	専攻 3月6日 前期
専攻	専攻 3月20日 前期	専攻 4月3日 前期	専攻 4月17日 前期	専攻 4月31日 前期	専攻 5月14日 前期
専攻	専攻 5月28日 前期	専攻 6月11日 前期	専攻 6月25日 前期	専攻 7月9日 前期	専攻 7月23日 前期

34

全学共通科目学生窓口



35

出席登録システム

- 英語などの授業を中心に学生証を用いて電子的に授業への出席を登録します。
- 授業開始15分前から登録できます。
- 学生証を忘れず携帯してください。
- 忘れた方は担当教員に申し出てください。
- 英語以外の授業では担当教員の指示にしたがってください。



36

履修における安全

- 安全の三原則
安全はすべてに優先する/ルールを守る/自分の身は自分で守る
- スポーツ実習・実験科目・学外で実施される科目
 - 担当教員の指示、シラバス記載事項に従ってください。
 - 保険(学研災・学研賠)への加入が義務付けられています。
- 気象警報への対応(履修の手引き24ページ)
 - 時間雨量 50ミリを超える豪雨が京都市周辺でも発生しています。
 - 特別警報、暴風警報が発令された場合など授業・試験の休止、延期などで対応します。
 - 履修の手引きを確認して安全な通学をお願いします。
- 地震(履修の手引き 26 ページ、地震対応マニュアル)
 - 花折断層地震では大学周辺で震度6強、7が想定されています。
 - 校舎は耐震性があります。まず室内で安全を確保してください。
 - 屋外では吉田南構内グラウンドへ退避、待機してください。
 - 自宅での安全、家族との連絡など地震対応マニュアルに従ってください。



京都市防災マップ、左京区、地震編より
http://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/cmsfiles/contents/0000086/8639903EA_sakyo_map_jishin.pdf

37

(4) 英語教育について

国際高等教育院附属国際学術言語教育センター准教授 金丸 敏 幸



ただいまご紹介にあずかりました国際学術言語教育センターの金丸と申します。これから1時間ほどみなさんに京都大学の英語についての説明を聞いてもらいます。

まず、先ほどお話がありました京大の ILAS Seminar がどのようなものか、短いビデオにまとめていますので、ご覧いただきます。和歌山県の白浜と大分県の別府にそれぞれ京大の施設がありまして、今年の2月にそこで行われた ILAS Seminar の様子を大体6分間でご紹介します。リラックスして見てください。

(ビデオ放映)

今、ご覧いただいたのが ILAS Seminar です。みなさんは既に予備登録をされたと思いますが、英語で行う ILAS Seminar はあのような感じになります。さきほど出てきた学生さんはみなさんの先輩にあたるわけですが、見てわかるとおり、発表も英語、講義も英語、全部が英語で日本語は一切出てきません。そのような授業を、今、京都大学では提供していることになります。

さきほど、吉崎先生、喜多先生のお話がありましたが、昨日、理系学部のガイダンスを行いました。最初は、今のみなさんと同じように、いよいよ大学生活が始まるなという顔をしていましたが、私の説明が終わった後、ひきつった顔をしているのがよくわかりました。昨日は少し厳しめに言い過ぎたなと思いましたので、今日は少し緩めにいこうと思います。ただ、緩めにしたところで内容は変わりませんので、どうか覚悟して聞いてください。ツイッターを眺めていたら、昨日のガイダンスに出ていた学生さんだと思うのですが、(英語が厳しすぎて)死にたいと呟いていました。授業が始まる前から死にたいと言われると、こちらとしても辛いところなのですが……(笑)。今日のみなさんは理系の学生さんとは違って、文系なので比較的英語の得意な方が多いとは思いますが、それくらい厳しいのだというつもりで聞いてください。

最初に吉崎先生がおっしゃったことと重なりますが、今年から京都大学はカリキュラム——さきほどからカリキュラムとか、シラバスとか、聞きなれない単語がいくつか出てきましたが、カリキュラムというのは、みなさんが大学でどのように学問を勉強していくかを示す道標みたいなものだと思ってください——それが今年度から大きく変わります。一番大きく変わるのが、この英語教育になります。

単位の話をする、今まで英語の授業はすべて1単位でした。それが、今年度から英語の科目、ドイツ語とかフランス語とかの外国語も同じですが、すべて2単位になります。喜多先生のお話に出てきましたが、1単位の学習時間は何時間だったか覚えていますか。45時間です。去年までの学生さんは45時間勉強すれば単位を取れたのです。今年、英語が2単位になったということはどういうことを意味するのか。みなさん当然、算数はできますよね。つまり、半期に90時間勉強しないと英語の単位が取れないということなのです。それだけで、去年までの先輩とは全然違うことになります。だから、上回生のアドバイスは聞いてもあてになりません。英語の授業が楽勝というのは去年までの話です。45時間の勉強で単位が取れていた先輩と、90時間勉強しないと単位が取れないみなさんとは、全然内容が違うと理解していただきたいと思います。上回生がどれだけ楽だとか、こうやれば単位を取れると言ったとしても全くあてになりませんので、その点は覚悟してください。この点で恨むのなら、みなさんの先輩を恨んでください。あなたたちが遊んでいたから、我々がこんなに苦労しているのだと、ガイダンスが終わった後に言ってあげてください。

もう一つ。みなさんの中には、入試が終わって、ようやく勉強から解放されたと思っている人が多いかもしれません。ところが、そうではありません。むしろ、これからが本当の勉強のスタートということになります。入試はゴールではありません。その後がスタートです。

さて、京都大学の英語についてお話しします。みなさんは、早い人は小学校から英会話学校とかに通っていたかもしれませんが、今まで中学校から高校までの6年間、英語を勉強してきたと思います。これは英語教育の中でも一般英語と言われるものになります。ところが、京都大学では、学術研究に資する英語、学術英語という英語をみなさんは学んでいくことになります。これは今までと全然違う英語を学ぶということです。私たちはこのような英語を「English for Academic Purposes」、略してEAPと呼んでいます。これがこれから学んでいく英語の中身になります。このEAPをもう少し詳しく見ると、学術的教養と学術的な言語技能、中身とテクニック・技術に分かれます。テクニックだけでもだめですし、中身のことでさえだめです。その両方を皆さんはしっかり学んでいくことが必要になります。

文系の方は大学院に進まずに研究者にならない人が多いかと思いますが、ですので、自分は学術的な英語と言われても、あまり関心ないよという人が多いかもしれません。けれども、実はそうではないということをお覚えておいてください。学術英語というのは、研究者になるための英語というわけではありません。たとえば、世界にはアメリカのハーバード大学やカリフォルニア大学、アジアにはシンガポール大学やソウル大学、中国にもたくさん大学がありますし、ヨーロッパやイギリスにもパリ大学、ケンブリッジ大学やオックスフォード大学などいろいろな大学があります。いろいろな世界のトップ校と言われる大学がありますが、そのような高等教育で学んだ人というのは、学術英語、さきほど言った教

養と言語技術、これを当然身につけていなければならないというのが、現在の世界の常識になっています。ですので、みなさんがたとえ研究者にならなかったとしても、京都大学を卒業するという事は、少なくともこのようなものをしっかり身につけているものなのだという自覚を持って学んでほしいと思います。京大を出ているのだったら、当然、これぐらいはわかりますよね、できますよねというのが、これからみなさんには期待されていることになるわけです。

では、ここからは実際に京都大学の英語が、具体的にどう変わったのかというお話をしていきます。みなさん、メモの用意はいいですか。喜多先生のお話にもありましたが、大学の授業ではメモを取りなさい、ノートを取りなさいとは言いません。プリントを配ってくれる先生がいたりとか、スライドを後で見せてくれたりする先生ばかりでもありません。さきほど自己責任という言葉がありました、メモを取っていなかった、知らなかったというのは大学では通用しません。これからは全部自分の責任になりますので、必要なことは自分で判断して、きちんとメモを取ってください。大事なことをきちんとメモして、後でそれを生かす。これも大事な学術的言語技能になりますので、しっかりと押さえておいてください。ほかの教室で聞いている人もよろしいでしょうか。

まず、1回生の授業はクラス指定になっています。これは選択の余地がないのですが、今まではリーディングとライティングという2つのクラスが必修でした。それが平成28年度、みなさんからはリーディングとライティング-リスニングというクラスになります。これを、それぞれ2単位ずつ、前期・後期に取ることになります。それが終わった後、2回生になりますと、今度はE科目という英語とは少し違う形態の授業を取ることになります。E科目にはカテゴリーという区分がありまして、これは大きく3つに分かれています。最後に少しお話ししますが、1つ目のカテゴリーが英書講読、英文講読、外国語文献を読んでいくというものです。これは先ほど言った教養にかかわる内容ということになります。それからカテゴリー2ですが、これは先ほどビデオを見ていただいたILASセミナーとか、皆さんの資料の中にあると思いますが、英語で学ぶ全学共通科目、これがカテゴリー2に含まれる授業です。つまり英語を勉強するのではなくて、英語で勉強する科目がいわゆる英語の科目としてカウントされるということです。カテゴリーの3つ目は、これはリスニングとか、後で出てくるTOEFLなどの試験に特化したような技能とか、言語技能に特化したような勉強をするコース、それがカテゴリー3です。教養、英語で学ぶ、そして技能、この3つの中から皆さんは好きな科目を取って、いわゆる語学の単位にはなるわけですが、皆さんが想像しているような英語の勉強とは少し違う形になります。より実践的なことをやっていくことになります。

皆さんが入学した後、1回生の英語でどんなことをやるのか、もう少し細かく見ていこうと思います。まずリーディング。これは去年までと余り大きな違いはないのですが、約40名で1クラスになっています。これまでは授業を担当する先生が教科書を選んでそれぞれ授業していたところがありますが、今年からは各学部とこういうことをやりましょうと

いうことを示し合わせて、学部ごとにある程度まで同じような内容をやりましょうということになっています。どのような授業をするかは、シラバスや生協で配られている教科書リストを見て、確認をしておいてください。去年までは1年間同じ先生が担当していましたが、今年からは前期と後期で別の先生がそれぞれ担当することになります。これは良いこともあるんですが、悪いこともあります。良い先生に当たれば1年間ずっと授業を受けられたわけですが、一方で、なかなか先生と相性が合わなくて困ったといったこともありました。今年から前期と後期で先生を入れ替えますので、後期からは気分を一新して取り組んでほしいと思います。リーディングの方はまとまった長さの英語文章の読解をして、国際的に通用する教養を学ぶということですので、結構長い文献を読むことになります。大体半期で100ページから200ページ以上。文系の皆さんだと200数十ページぐらい読んでいくことになると思いますので、かなり読み進めないといけない。一方で、非常に細かいところのニュアンスをつかむ必要もあります。細かく読む精読、それから量もこなさないといけないので早く読む速読、この両方を皆さんは駆使しながら読んでいくことになります。

もう一つのライティング・リスニング、これが今年から英語で大きく変わることの一つになります。これまでと結構違っていますので、気をつけてください。まずクラスサイズが半分の約20人になります。多分高校でもここまで少ないクラスで学んだ人は少ないのではないかと思います。リーディングのクラスを半分に割って、それぞれ2つに分かれて学ぶということになります。京大は約3,000人入学しますので、大体150クラスぐらいライティング・リスニングのクラスがあるという計算になります。そして、これも大きく変わることですが、教科書が学部ごとに同じになります。つまり法学部の皆さんであれば、みんな同じ教科書を使います。法学部の皆さん、それから文学部の皆さんは同じ教科書を使います。それ以外の、たとえば経済学部の方は理学部・工学部と同じ教科書です。それ以外はまた別の教科書になります。学部ごとに同じ教科書を使いますので、どのクラスになったから簡単とか、運がよかった悪かったということはありません。皆さん同じ基準で同じ内容を勉強することになります。それから、これもリーディングと同じで、前期と後期で先生が変わるのですが、片方の先生は必ずネイティブの先生です。ネイティブの先生なので、授業は英語になります。心して学んでください。皆さん今、顔がひきつりましたね。大丈夫ですか。前期・後期どちらかが必ずネイティブの先生になります。前期ネイティブの先生だったクラスは、後期は日本人の先生になりますし、前期に日本人の先生だったら、後期ネイティブの先生になります。しっかりとついていってください。こちらでは先ほど言った学術的な言語技能、アカデミック・ライティングと言われる論理的、理路整然とした文章を書くためのテクニック、内容などを学んでいきます。それと同時に、後ろにハイフンでリスニングとついていきますので、リスニングも合わせて勉強していくことになります。大きく1回生ではこの2つのクラスを勉強するということになります。

さらに、そのライティング・リスニングをもう少し細かく見ていきます。まずライティ

ングのクラスはどうなっているかといいますと、それを知るにはシラバスがまた出てきます。シラバスというのは授業の説明書のことです。日本の製品はすごく説明書が詳しい。今は皆さん iPhone とかを使っているのですが、あまり携帯電話の説明書を見ることはないと思いますが、昔、携帯電話を買うと、こんなに分厚い説明書がついてきたのですが、誰も読まない。説明書はすごく細かく書くのに誰も読まないと言われていたんですが、シラバスも同じです。先生方は非常に細かく書いているんですが、学生は誰も読んでくれない。それでは困るわけです。シラバスにはどういう授業をやります、どうやったら単位を出します、授業で何をやります、教科書は何を使いますと書いていますので、皆さんしっかり読んでおいてください。先生がシラバスと全然違うことをやっているということがあったら、それは皆さん授業アンケートでしっかり言ってください。そうすることでこちらもそこを直していきます。授業アンケートは単にその先生や授業が気に食わなかったということを書くのではなくて、授業がどうだったか、シラバスどおりだったか、そういうことをちゃんとアンケートで書いてください。

少し脱線しましたが、前期のライティングではどういうことをやりますよと書いてあるかといいますと、**Paragraph to Essay** です。英語のアカデミック・ライティングの基礎になる段落、パラグラフをまずは書けるようにして、そこからエッセイといいます。これは日本語の随筆のことではなくて、英語でエッセイというところまでまとめた小論的なもの、そういったものが書けるようになるということになります。そこに書いてあるように、学期の終わりに 300 語から 500 語のエッセイを提出しないと単位を取れないということになります。後期は、今度は **Base of Academic Report** ということで、レポートを書くことになります。そちらは 1,000 語から 1,500 語、多分文系の皆さんだと 1,500 語の課題を出されることになると思います。1,000 語というのはあくまでも理系の学生さんの基準だと思っていてください。ということは、大体 A4 で 3 枚から 5 枚ぐらいを英語で書かないと単位が取れないということです。わかりますか。単位が取れないと GPA がどんどん下がっていきます。心してください。この辺で昨日の理系の学生さんは真っ青になっていました。自分は大丈夫かみたいな感じになっていましたが、今はこういう基準になっています。

先ほど言いましたように、学部ごとにこの 3 種類の教科書を使っていますが、これは全部洋書です。日本語は一切出てきません。ですので、予習も相当頑張らないと最初のうちは大変だと思いますし、どの教科書も大体 100 ページから 200 ページぐらいあります。文系の、特に目の前にいる法学部の皆さんが使う *Grate Writing* は分厚いです。分量もかなりあります。学部の先生方には本当に大丈夫ですかと伺ったのですが、うちの学生ならできると法学部の先生はおっしゃっていました。経済学部の学生さんは、一番左側の *Writing Essay* の白い表紙です。

ライティングは今言ったように学期末のレポートだけでも結構大変です。これが半期で書けるようにならなければいけないというのは大変なのですが、さらに皆さん課外でリス

ニングの学習もしなければいけない。英語が2単位になって半期で90時間勉強しなければいけないということなので、当然それだけのことを要求されます。

リスニングは全部オンラインで学習することになります。先ほどの喜多先生のご紹介にもありましたが、GORILLA（ゴリラ）というサイトを使って勉強してもらうことになります。ここは大事なところなのでしっかりとメモを取っておいてください。課題が13週、それぞれ授業の合間合間にやりますので、13回あります。このうち8回以上終わらなければ単位が認定されません。つまり授業でどんなに頑張っても、0点です。だから、これは単位を取るための前提条件になります。そもそも8回課題が終わってなければ、単位をもらう権利がないことになります。そして、締め切りは1週間しかありません。次の授業までに終わらないといけないということですので、1週間のうちに必ずそれを勉強して、終わらせる必要が出てきます。余りにサボっている学生さんにはもちろん連絡をするようにしますが、授業の先生からも最近どうしているのかということも言うようにします。ただ、先生をあてにするのではなくて、これも皆さんの自己管理の一つです。いつ勉強するか。授業に出ていれば安心ではないのです。課外活動、課外学習もいつするかというのをきちんと予定の中に組み込んでおかないと、後で痛い目に遭うことになります。

リスニングでもう一つ大事なのが、毎回のテストになります。大体月に1回ですが、全部で4回のテストを行います。これが成績に反映されます。課題の学習はあくまで単位の条件です。課題をこなしたから単位をもらえるわけではないし、点数がつくわけではありません。あくまでテストを受けないと点数が付きません。単位をもらえる基準はクリアしていても、テストで0点だったらリスニングの点数は0点になりますので、注意してください。4回のテストで成績をつけますので、しっかり受けるようにしてください。

今日、文系の皆さんはバラバラ入ってきていましたが、授業に遅れると試験を受けられないことがあります。気をつけてください。それから、正当な理由、例えばインフルエンザとかの病気にかかったとか、身内の方に何かあったときとか、そのようなときには学期末に追試をやりますので、所定の手続きを踏んでください。これもしっかりと資料を読んでおいてください。どういう手続きをしなければいけないか、についての説明が書いてあります。それを読んで手続きをしておけば、7月29日に追試をやりますので、それを受けられます。ただし、受けられるのは2回までです。1回目と2回目のテストで1回、3回目と4回目のテストで1回です。追試は1回しか行いませんので、注意してください。

リスニングのサイトについては皆さんのKULASISの中にリンクを用意する予定ですので、そこからチェックできますが、このような感じのサイトで学習してもらうことになります。GORILLA（ゴリラ）とPandA（パンダ）というサイトがあって、オンラインでは京大の場合、ほとんど動物園みたいな感じになっています。そのうち多分クマも出てくると思います。そういうところです。

さて、このリスニングの課題、注意点は繰り返しになりますが、毎週必ず定期的にやる

ようにしてください。今日は少し暇だからやろうとか、今日はあまり時間がなかったから締め切り前にやろう、ではなくて、授業と同じで、この時間にきちんと勉強しようというのを決めておくのが一番確実です。そういった勉強のスタイルを早めに身につけるようにしてください。皆さんは高校まではできていたはずなんです。定期的にはきちんと勉強する。高校まではできていたはずなんです、なぜか大学に入ると皆さんできなくなる。それだと困るので、大学になってもきちんと定期的に勉強するという習慣を維持してください。定期的に勉強せずに6回課題を休んだ時点で単位はもう取れなくなります。あとでどんなに頑張っても無理です。何を言っても無理です。コンピュータというのは非情で、個人の事情とはお構いなしに、だめだったらだめと出てきますので、気をつけてください。

それから、先ほどの KULASIS もそうでしたけれども、全員が締め切り前に慌ててやると、サーバーが落ちます。実際、昔、別のコンピュータで学習する授業で課題を課していたことがあるのですが、見事に落ちました。試験前の3時間前にいきなりシステムがダウンして、どうなっているんだと Twitter に罵詈雑言の嵐だったんですが、そのことは事前にきちんとおいたのです。締め切り前に慌ててやるとシステムが落ちますよと言っていたのですが、やっぱり落ちました。自己責任というか、これは全員が迷惑することになります。自分1人がやっても大丈夫だと思っていることは、実はみんながやっています。なので、気をつけてください。もし、システムが落ちるような場合でもこちらは一切関知しません。もちろんサーバーは落ちないように管理しています。もちろんこちらの責任、例えば何かコードに躓いてサーバーの電源を切ってしまったという場合には謝りますが、そういうものでなければそれは皆さんの責任ということになります。気をつけてください。

遅刻についてですが、先生方は授業の最初にテストをします。音声が鳴っているときにほかの人が入ると試験の邪魔になりますので、その間入れてくれないといったことがあるかもしれません。テストのある日はきちんと確認をして、この日だけは絶対おくれないようにしてください。特に1コマ目の人とか、3コマ目の人も結構危ないところです。お昼ご飯をゆっくり食べていて、間に合わなかったということが結構あります。気をつけてください。

さらに、ライティングの方でもう一つ覚えておくことがあります。それが学術語彙です。こういう京大の単語帳、単語集というのがありまして、これを皆さんは勉強することになります。今までも皆さんは単語帳とかで勉強してきたと思うんですが、この語彙集は、先ほど言った学術英語で初めて必要になるような単語がたくさん出てきます。昨日は理系の学生さんに、例えば方程式という単語は日本語だとすぐわかると思うのですが、方程式を英語で言えますかと聞くと皆さん顔が固まるんですね。えっという顔をするんです。一次関数って英語で言えますかと言うと、皆さんはえっという顔をするのです。そういった教科に関する用語とか、日本語では皆さんぱっとわかると思うのですが、これが英語になった途端、それ何て言うのという語彙がたくさん出てきます。定義する、とかだと大体の皆さんはわかるかなと思いますが、そういう単語を集めたものがこの語彙集になります。こ

それを皆さんは1回生の間に477語を勉強してもらうことになります。基本学術語彙、文系・理系に関係なく、学術英語に必要な英語の単語477語を1年かけて学ぶことになります。授業中の小テストで毎回確認する先生もいれば、2週に1回、100単語ずつやりますという先生もいるかと思いますが。先生ごとにやり方は違いますが、前期・後期で477語をきちんと勉強してもらうことになりますので、1回生の間に確実に身につけてください。

例えばリーディングの場合、約98%文章の単語をわかっていないと読めないとか、ライティングのときにはどういう単語を使うかわからないから、文章を組み立てられないことになります。皆さんは単語なんて辞書を引けばいいだろうと思っているかもしれませんが、そもそも単語を知らないと、どんな単語が使えるかわからないので辞書を引くことすらできないことになります。だから、単語を知っていることは非常に重要だということになります。よく英語の世界では語彙を制する者は英語を制すと言います。すごく下世話な話になるのですが、例えば大体1万語英単語を知っていると、年収が100万円上がるとします。ということは、30年働けば3,000万円も違うわけです。1万単語で3,000万ということは、昨日の理系のクラスで計算してもらったのですが、大体1単語覚えると生涯3,000円のプラスです。アルバイトした方がいいのか、それとも単語を覚えた方がいいのか、賢明な皆さんならわかると思います。今、日本ではあまりこういうことは言いません。卑しいとか言うんですが、でも一方で大事なこともあります。自分が何をしたいか、お金を稼ぎたいというのも立派な考え方だし、もっと研究したいとか、世の中の役に立ちたいとか、そういうことを皆さんもっと真剣に考えていいと思います。そのために皆さん頑張ってきてきたわけなので、自分が何をしたいかということ考えた上で、しっかり勉強して行ってほしいと思います。

今までの話ですが、ライティング・リスニングクラスは次のような成績のつけ方をします。前期は、まず授業の点数が60点、単語が10点、そしてリスニングのテストが30点、これは決まっています。なので、リスニングができなければ30点分丸々なくなってしまうことになりますので、しっかり勉強してください。それから後期は、単語の10点は変わらないのですが、リスニングが20点になって、代わりにTOEFLという試験のスコア、これを皆さんは12月に受験しますが、その分の成績が20点分加わります。そして授業が50点になるので、授業50点で、授業以外で50点入ることになります。課外の学習が非常に重要だということがわかると思います。しっかり勉強してください。授業だけ出れば安心という世界ではないということです。50点ということは、どれだけ授業を頑張ってもそれだけでは単位を取れないということです。これも全クラス共通することになります。例外はありません。

そして、万が一単位が取れなかった場合、皆さんのことなのでこれだけ脅しておけばそういうことはないと思いますが、今まではコンピュータで自学自習をして、試験を受けて単位を取ることができたわけですが、そういった授業は今年から一切なくなりました。無限ライティング地獄と呼んでいます、単位が取れなかったら同じ内容をもう一回

繰り返します。再履修クラスでは同じことをもう一度やります。さらに、その再履修クラスは5コマ目にしかありません。皆さんに例えば希望する ILAS セミナーがあって、これを取りたいと思っていたとしても、再履修のクラスと被っていれば、それが取れないことになります。なので、再履修になるといろいろな不幸なことが起きます。

リーディングの場合は再履修のクラスは前後期共通です。一方、ライティング・リスニングの方は、前期を落とせば前期の再履修のクラス、後期を落としたり後期の再履修のクラスをそれぞれ受講することになります。もちろん教科書は再履修のクラスでも全部一緒です。同じ内容をもう一度やることになります。教科書は再履修用にまた買わなければいけません。リスニングももう一度やらなければいけません。当然落としたりしたものとは違うリスニング課題をやることになります。だから、できない人は何回も何回も違う課題をやらなければいけないことになります。評価の基準もまったく同じです。再履修だから単位が取りやすいということは一切ありません。できるまで挑戦しなければいけない。卒業できないかもしれない。英語が取れないために卒業できなくなっても、その事情は一切知りません。気をつけてください。

後期の分の TOEFL ITP も評価の対象になっていますので、12月、後期の単位が絶望的だからといって受けないと、再履修でも点数がなくなってしまいます。ですから、後期の TOEFL は必ず受けるようにしてください。2回生以降もここまでがずっと再履修で埋まることになりますので、必ず1回生で単位を取るようしっかりと勉強してください。ここまでの説明が1回生の英語についてです。かなり絶望的な顔をしている人もいますが、大丈夫ですか。頑張ってくださいね。

2回生以降は E 科目になって、選択になります。これはまだ来年度のことで細かいところはこれからになりますが、カテゴリーの1が英語文献の講読で、文学作品ですとか、言語学とかいったような、おもに文系で人文社会寄りの内容を扱ったものです。それから先ほどお見せした英語で学ぶ全学共通科目、これのうちシラバスに E2 と書かれた授業がカテゴリーの2になります。そしてリスニングとかスピーキングとか、それから TOEFL のように外部テストに合わせた授業、これが英語技能を学ぶカテゴリーの3になります。皆さんはこの中から好きに授業を選んで取ることになります。けれども、一つ注意が必要で、学部によって何が E 科目として認められるかが決まっています。なので、学部の履修要件で、何が E 科目として認められるのかをきちんと確認するようにしてください。自分は E 科目のつもりで授業を取ったけれども、学部がその授業を E 科目として認めていない場合には E 科目の単位になりませんので、注意が必要です。

先ほど ILAS Seminar の映像を見ていただきましたが、この ILAS Seminar では英語の勉強をしているのではなくて、英語で学ぶことになります。先ほどもそうですが、海外から一流の先生方が来て、講義をされたり、ゼミをしたりもします。そこで実際に使われている英語こそが皆さんが学ぶ学術英語です。まさに学術英語の実践の場になります。そして、映像にも出てきましたが、留学生の方もたくさん参加します。この留学生とも積極的

に交流するいい機会になりますので、ぜひ皆さん積極的にチャレンジしてください。

英語で授業を聞くのは自信がないという方がいらっしゃると思いますが、そういうところをサポートするのが、今、私たちがいる国際学術言語教育センターになります。授業での英語とか、英語で学ぶ授業とか、そういった授業でのリスニングとかレポートとかのサポートをするのが私たちですので、アドバイスを受けて、授業以外に e-Learning で英語を学習したりしたいという場合には、ぜひ相談に来てください。全学共通教育窓口がある新棟、国際教育院棟という通称ですが、そこで皆さんの英語学習の相談を今後、行う予定です。また掲示を見ておいてください。英語学習の不安とか、こんなことをしたい、例えば留学に行きたいとかいう人がいたら、ぜひ相談に申し込んで、来てください。

最後にもう一つ大事なことですが、4月16日に TOEFL の ITP という試験があります。皆さんのほとんどが英語を取ることになりますが、前期の試験を受験しないと後期の英語が履修できません。それから後期を受けなかった場合は、先ほども言ったようにライティング・リスニングでの評価が 20 点分ありますので、この 20 点が要らない人は結構ですが、そうでない人はきちんと受験してください。こちらは評価の対象になります。前期の試験日時は 4 月 16 日で、学部によって午前と午後のそれぞれに分かれています。TOEFL のチラシに自分の学部がどちらの時間での受験になっているのかよく確認しておいてください。TOEFL ITP はマークシートですので、当日は特にシャーペン、鉛筆を忘れないようにしてください。大分先になりますが、後期の試験予定日は 12 月 17 日です。こちらも今から空けておいてください。デートの約束を入れてサボったとなると大変なことになりますので、この日だけは空けておいてください。

この TOEFL という英語の試験ですが、アメリカにそれをつくっている ETS という、TOEIC もつくっているところでもありますが、組織があります。そこから皆さんにメッセージをとということで、わざわざアメリカで撮ってもらいました。それだけ皆さん、京都大学の学生に対して期待されていて、皆さんのために挨拶してくれましたので、ぜひ聞いてください。

(ETS からの挨拶)

アメリカの ETS の方も認めていただいているように、皆さんが学ぶ京都大学は日本のトップ大学です。皆さんも学ぶ側として、その自覚を持って責任を持ってぜひ勉強してほしいと思います。

皆さんが今回受ける TOEFL ITP というのは、いわゆる TOEFL と言われる試験の模試に当たるものになります。筆記試験で、リスニングとリーディングと文法問題という 3 つのセクションからできています。それに対して、あとで国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターの河合先生からご紹介がありますが、今、例えば留学に行くときに必要となるのは TOEFL iBT と言われる試験の成績になります。iBT は 4 技能をそれぞれ 30

点ずつで評価する、全部で 120 点のテストになっています。こちらも早ければ今年度中に皆さん大学の中で受験できるようになる予定ですので、また掲示などを見ておいてください。

TOEFL で大体どれくらい取ればいいのかということですが、海外へ留学しようと思ったら、iBT で 80 点以上くらいが必須になります。スライドの赤いラインの点数で、ITP では大体 550 点にあたります。ところが、皆さんの先輩のこれまでの経過を見ると、平均は青のラインです。500 点ぐらいですので、まだまだ勉強しないといけません。留学を考えている方はできるだけ高い点数が取れるような英語力をしっかり身につけてほしいと思います。

最後は少し駆け足になってしまって申しわけありませんでしたが、今日のガイダンスのまとめをもう一度。まず皆さんが大学に入って学ぶのは、これまでの英語とは違い、学術英語になります。これから 1 年間は、ライティング・リスニングとリーディングの 2 つのクラス、特にライティング・リスニングクラスはリスニングの課題がありますので、しっかり勉強してください。それから、2 回生になると E 科目になりますので、こちらから選択して取ってもらうことになります。大事なのは、再履修です。単位を落とした場合、同じ内容を延々とやることになります。先に進むためには全く同じ基準をクリアしないといけません。楽をすることはできないので、さっさと終わらせることをお勧めします。毎学期 90 時間もの英語を勉強し続けなければいけないというのは結構しんどいと思います。できるだけ早めに終わらせるように頑張ってください。最後は、TOEFL の試験で、4 月 16 日と 12 月にそれぞれあります。これらの試験を忘れないように受験してください。

以上が英語のガイダンスです。文系では皆さんの顔も自然ですね。大丈夫です、皆さんならできると思っています。しっかりと学習を続けてほしいなと思います。将来皆さんが自分のやりたいことにそのままつながるものですし、英語ができるようになるといろんな人とコミュニケーションがとれるようになって、自分の世界というのが大きく広がっていきます。嫌々やるのではなくて、そういうポジティブなものとしてぜひ勉強をしていってもらったらいいかなと思います。

少々長くなりましたが、英語については以上です。ぜひこれからも頑張ってください。

※4 月 5 日(火) 総合人間学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部を対象に実施したものをまとめたものである。

京都大学の英語教育

新カリキュラムの紹介

京都大学国際高等教育院
 附属国際学術言語教育センター
 金丸 敏幸



京都大学の英語は……

「学術研究に資する英語（学術英語）」
EAP: English for Academic Purposes

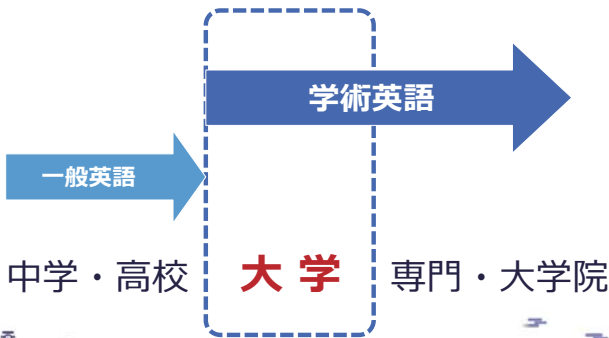


「学術的**教養**」
 と
 「学術的**言語技能**」



3

大学英語教育の位置づけ



5

1 回生英語の詳細

リーディング

- クラスサイズ：約40名
- 学部ごとに教科書を指定
- 前期と後期で教員は交替

まとまった長さの英語文章の読解を通して、国際的に通用する教養を身につける

ライティング-リスニング

- クラスサイズ：**約20名**
- 学部ごとに**教科書を統一**
- 前期と後期で教員は交替、どちらかは**ネイティブ教員**

アカデミックライティングの知識や技能と英語講義の聴講に向けたリスニング能力を修得する



8

WARNING !

- 京都大学の英語は高校までとは異なります。

入試がゴールではなく、
ここからがスタートです！

- 平成28年度からの英語カリキュラムはこれまでのものとは全く異なります。

上回生のアドバイスは全部忘れること！



2

Why “Academic”?

研究者にならなければ「学術英語」は必要ない？

→ **NO !!**

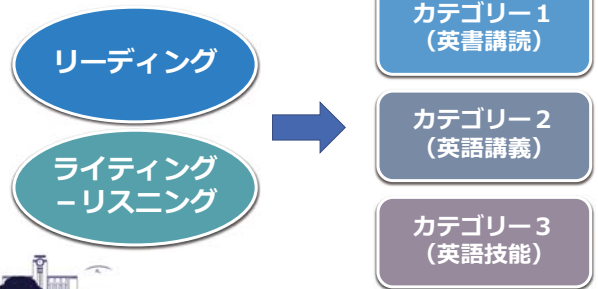
高度に国際化・情報化した現代において
 知的労働を行う者への**高等教育では必須**



4

英語新カリキュラム

1 回生 クラス指定（必修）
 2 回生 E 科目（選択必修）



ライティング-リスニング (WL)

- 全クラス共通のシラバス
 - 前期のテーマ：**Paragraph to Essay**
 - 学期の最後に**300~500語の英語エッセイ**を提出
 - 後期のテーマ：**Basics of Academic Report**
 - 学期の最後に**1,000~1500語の英語レポート**を提出
- 学部ごとの統一教科書



8

ライティング-リスニング (WL)

リスニングの授業外学習

- 毎週：オンライン教材 (GORILLA) 上の課題
 - 課題 13 回のうち、**8 回以上の完了**が単位認定条件
 - **締切は 1 週間**で、締切を過ぎると未完了
 - 授業担当の先生が進捗を指導
- 毎月：授業中のリスニングテスト
 - **4 回のテスト**の点数が成績に反映
 - 正当な理由による欠席の場合は追試あり (前期は **7 月 29 日**)

リスニング課題の注意

毎週、定期的に学習する！

- **未完了が 6 回目**になった時点で単位が取れません。
- 締切前にあわてて取り組まないように。
- 受講者が殺到すると**システムダウンの可能性**も。

リスニングテストを必ず受験する！

- 授業評価 (成績) は**テストの点数**で決まります。
- 授業に遅刻すると受験できないことがあります。
- 初回授業で配られるプリントで**日程を確認**する。

語彙の重要性

- リーディングにおいて
 - 未知語は**2%以下**でないと内容理解は困難
 - 論文の95%を理解するには**4,000語**が必要
- ライティングにおいて
 - 単語が分かると**全体の構成**に目が向く
 - 文を完成させるための**動機づけ**になる

語彙を征する者は英語を征す

Academic vocabulary knowledge ... has(ve) been **directly linked to** academic success, economic opportunity, and social well-being.

再履修について

- 単位が取得できなかった場合：**再履修クラス**
 - リーディング：前後期共通クラス
 - ライティング-リスニング：前期用・後期用各クラス
 - 再履修用の教科書は統一されたものを使用
 - 再履修でも、**授業内容や評価基準は通常と同じ**
 - リスニング課題はもちろん、**後期分は TOEFL ITP も評価対象**
- 再履修クラス開講時限：**5 コマ目**
 - 希望する ILAS セミナー等が**受講できない場合もある**
 - 後期が未修得の場合は 2 回生以降も再履修を受講する

GORILLA

<http://www.g.k.kyoto-u.ac.jp/>



学術語彙の学習

- 『京大・学術語彙データベース基本英単語1110』
 - 「文系・理系共通語彙」の**477 word**を学習
 - 学習状況は**授業中の小テスト**で確認



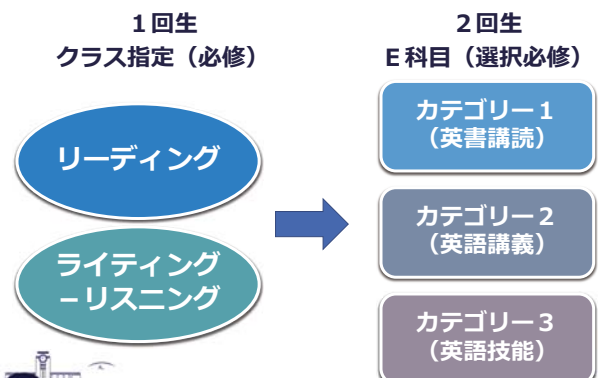
学部や専門分野によらず、すべての学生が1回生のうちに修得すること

WLの成績評価

- 全クラス統一基準

	Writing 授業の取組	学術語彙	リスニング テスト	TOEFL ITP
前期	60	10	30	—
後期	50	10	20	20

英語新カリキュラム (再掲)



2回生以降：E科目について

カテゴリー1 (英書講読)

- 英語文献の講読を中心とした科目 (文学・言語学)

カテゴリー2 (英語講義)

- 「英語で学ぶ全学共通科目」

カテゴリー3 (英語技能)

- リスニングやスピーキングなどの英語技能やTOEFLなどの外部テストを対象とした科目

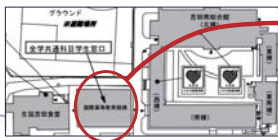
学部によって履修条件が異なるので注意

国際学術言語教育センター (i-ARRC)

「英語で学ぶ全学共通教育」を支える
実践的な英語運用能力育成のための組織

「国際言語実践教育プログラム」の実施

- 専門家による一人一人に合わせたアドバイス
- e-Learningによる多彩な英語教材の提供
- 学期ごとの振り返りや達成度の評価



国際高等教育院棟で
英語の学習相談を
実施予定

TOEFL iBTとTOEFL ITP

TOEFL iBT

- Internet-based Test
- 試験内容：
Reading, Listening, Speaking, Writing
- 点数：0～120点

TOEFL ITP

- Institutional Testing Program
- 試験内容：
Listening, Structure and Written Expression, Reading
- 点数：310～677点

スコアに強い相関あり

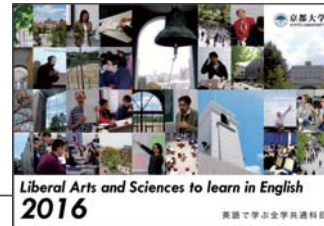
英語ガイダンスのまとめ

- 京都大学の英語：学術英語
- 1回生：RとWL，学部ごとに共通化
 - WL：リスニング課題，20人クラス，ネイティブ教員
- 2回生：E科目 (英書講読，英語講義，英語技能)
- 再履修：未履修と同じ科目，5コマ目開講
- 英語で学ぶ全学共通科目：E科目にも
- TOEFL ITP一斉受験：後期はWLの成績に反映

「英語で学ぶ全学共通科目」

「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」

- 海外の大学と同じ水準で学ぶことができる
- 学術英語を実践的に身につけることができる
- 留学生とも積極的に交流することができる



TOEFL ITP一斉試験

- 対象者：英語を履修するすべての1回生
 - 前期：受験しないと後期の英語が履修できません
 - 後期：WLクラスの20点がスコアで判断されます
- 試験日時
 - 前期：4月16日(土) 午前と午後
 - 後期：12月17日(土) 午前と午後
 - あらかじめ自分の受験する時間と教室を確認すること
- 持ち物
 - 学生証・HBの鉛筆(シャープペン)・消しゴム

ITPとiBTのスコア換算

TOEFL ITP	TOEFL iBT
640～677	111～120
590～637	96～110
550～587	79～95
513～547	65～78
477～510	53～64
437～473	41～52
397～433	30～40
347～393	19～29
310～343	9～18
310	0～8

(5) 留学について

国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター 長山浩章教授

国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター 河合淳子教授

皆さん、おはようございます。国際高等教育院の河合淳子といたします。

法学部以外の皆さんにはスライドだけですけれども、国際交流と留学の話をしていきたいと思います。私自身も2回ほど留学していきまして、高校のときと大学院時代に行きました。その経験から考えましても、留学は素晴らしい経験です。皆さんにも一生に一度は経験してほしいものだと感じています。

それで、きょうは20分ですので、この3点、最初に、なぜ留学を勧めるかという話、それから京大でどういうチャンスがあるか。3点目でこれからの説明会の予定について話します。

まず、どうして留学したほうがいいのかという話をしたいと思います。京都大学の理念にこのように書かれています。「世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する」ということです。申しおくれましたけれども、皆さん、京都大学合格おめでとうございます。皆さんも京都大学の一員になるわけですから、このミッションを我々と一緒に実現していかなければいけません。その主役は皆さんです。これを実現するために、留学とか国際交流の経験というのは非常に重要なので、皆さんにお勧めしたいのです。

留学するといろいろいいことがあります。新しい価値観に出会えます。先端的な学問に触れられる、人に出会う、それから将来のキャリアにつながる経験ができます。この中でも私は個人的には3番目の人との出会いというのが非常に重要だと感じています。留学しますと、日本にとどまっていたのでは出会えないような人たちにたくさん出会うことができます。留学先ではもちろんなんですけれども、留学を思い立って準備の過程にもいろんな人に出会えます。それだけでも意義深いものだと感じます。

また、よく言われることなんですけれども、日本文化とか日本語の発見、自分が身につけてきた文化というものを改めて再発見できるということもあります。留学しますと、留学先で日本についてよく聞かれます。そのときに説明するのは非常に難しいです。英語で説明しようというともっと難しくなっていきます。私は留学生に日本語を教えているんですけど、「先生、『どうも』というのはどういう意味ですか」と聞かれました。皆さん説明できるでしょうか。その留学生によりますと、会社員風の2人の人が、「いや、どうもどうも」「はい、どうもどうも」という挨拶をしていたらしいんです。これはどういう意味なんですかと言うんです。考えますと、「どうも」という言葉を「こんにちは」でも使いますし、「ありがとう」「すみません」「お久しぶり」「この間はありがとう」みたいな感じで、いろんなことに使っていて、無意識に使い分けているということに気づかされるわけです。そういうことが留学生という外の文化から来た人たちの目を借りること

によって、あるいは自分自身が外に出ていくことによって気づくことができるということです。

次のスライドも同じようなことを言っていて、外に出てみることで日本で当たり前だったと思っていたことが違っていたというような発見ができます。このことは、皆さんこれからどういう進路を選ばれるかわからないですけれども、皆さんの物事の捉え方を豊かにして深めていくということにつながると思います。

留学を勧める理由に絡めて、皆さんを取り巻く環境を 2 点お話ししたいと思います。1 点目は、今、学生の国際移動が非常に増加しているということです。簡単に言うと、留学する学生たちが世界中でたくさんいるということです。ヨーロッパの学生たちは、エラスムス計画という留学促進計画がありますので、それを利用して世界中を動き回っているわけです。日本でも「トビタテ！留学 Japan プロジェクト」というプロジェクトがありまして、産業界と教育界が手を結んで、皆さんの留学に資金を出すというものがあります。皆さんも利用できます。

アメリカはこれまで留学生を受け入れる側だったんですけれども、それではいけないということで、学生たちを外に送り出すことを非常に熱心にここ 30 年ぐらいやっています。ハーバードの学生でも 9 人に 1 人は 4 年間の在学中に海外に留学すると言われていています。このように世界の大学では学生が世界中を動き回って、国際経験を積んでいるという状況です。ですので、皆さんだけ日本にじっとして、京大にじっとしてということができかどうか、考えてみてください。

それからもう 1 点、皆さんを取り巻く環境についてなんですけれども、日本の国際的地位の相対的低下、ちょっとうれしくない話ですけれども、実際そうなっているという話をしていきたいと思います。この図（スライド 11）は英・米・中・日本・インド、この 5 つの国の GDP のシェアをあらわした図です。表の向かって左から西暦 0 年、右のほうは予測も入っていますけれども 2050 年まででどうシェアが変化していくかということであらわした表です。赤い国、わかりますでしょうか。西暦 0 年に大きなシェアを誇っていて、しばらく小さくなりますが、最近大きくなっています。これは中国です。右下のブルーのところ、1870 人ぐらいから出てきて、シェアを伸ばして安定した。これはアメリカです。紫がインド、上のブルーがイギリスになっています。日本は真ん中の緑のシェアの部分です。見ていただくとわかりますように、右上のあたりは調子がよくて大きくなっています。これは 1980 年代あたり、日本の経済が調子がよかったころです。2050 年に数%になると言われています。これは何が言いたいかといいますと、2050 年というと皆さんが働きだして脂が乗り切っているころの時代になると思うんですけれども、シェアが大きいときというのは黙っていても日本の意見を世界は聞いてくれるという状況です。小さくなっていきますと、皆さんがきちんとした英語できちんとした経験に基づいて発言して、世界を振り向かせないといけないということです。そういう力を皆さんにつけていただかないと日本は危ういという状況ですので、ぜひよろしくお願ひします。皆さん自身も危ういという状

況です。こういう環境を知っていただいて、いろいろ取り組んでいただきたいと思います。

あと、こういうデータもあります(スライド 12)。先ほどからの先生のお話もありました TOEFL iBT、スピーキングも入っているほうのテストの点数です。2014 年だけ見ますが、日本の平均 70 点、韓国 84 点、台湾 80 点という状況です。留学できる大体の基準として 80 点というのがあるんですけど、韓国は平均でそれを大きく上回っているという状況です。会社の社長さんが突然外国人になるということもあり得ますし、最近、社内の言葉、公用語が英語になっているというのは皆さんご存じのところかと思います。

以上が皆さんを取り巻く環境ですけれども、これから京都大学でどういうチャンスがあるかという話をしていきたいと思います。きょうお配りしている資料の中で、留学関係で 2 つの資料が入っていますので、合わせて見てください。「海外留学の手引き」というのと「留学支度」。これからお話するプログラムは、京都大学は全学向けに提供しているもので、各学部ではまた別のものがあるかもしれません。全学向けに提供しているプログラムは、国際高等教育院のホームページ (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) にも掲載されていますので、スライドが細かくて見にくくてわからなかったということがあれば、国際高等教育院のホームページの右下に「京都大学からの留学」というところがありますね。そこをたどって行ってください。

京都大学でできる留学をリストにしています。まず交換留学、超短期留学、国際交流科目、京都にいながら留学できるチャンスです。それから私費留学もあります。きょうは主にこの 4 つ、交換留学、超短期留学、国際交流科目、京都にいながらのチャンス、この 4 つ話をしていきたいと思います。

まず、交換留学です。交換留学といいますのは、半年から 1 年間、京都大学が提携を結んでいる大学に行くという留学です。授業料は、京都大学に納めたら留学先では払う必要がありません。留学先の単位を京都大学の単位と認めるというシステムも大分整ってきています。京都大学は今、34 カ国 99 大学 2 大学群、たくさんの大学と協定を結んでいます。これらの大学に皆さん留学するチャンスがあるということです。「留学支度」の裏に協定が書いてあります。これもあわせて見てください。何人の人がそれぞれ行けるかというのは、「海外留学の手引き」の 24 ページ以降に詳しく書いてあります。なので、どういう大学に行けるかなということも見ておいてください。

また英語の話ですが、留学するためには英語が大事です。交換留学、皆さん知っておいてほしいのは、成績です。すなわち GPA、それから英語力、この 2 つが重要になってきます。TOEFL、それからイギリス系の IELTS というテストもあります。似ているんですけど、スピーキングのセクションが TOEFL はコンピュータにしゃべります。評価するのは人がするんですけど、IELTS は人が出てきて面接をします。どちらが自分に向いているか。いずれにせよ、TOEFL、IELTS の点数が必要になってきます。

各大学が要求する最低点をここに示しています(スライド 19)。アメリカの 100 点からずっと並んでいます。京大の平均が先ほど 60 点ぐらいですか、53 点から 64 点、その

辺と聞いていますので、このあたりになります。

それから、同じように英語の点数にかかわる図(省略)なんですけれども、縦に応募者の応募時のスコアです。横軸に海外の留学先の指定する最低点が示されています。例えば一番右端、この丸1つが1人の応募者をあらわしていますが、ペンシルベニア大学に3人応募していますが、全部100点を超えて応募してきているということです。この表から何が言いたいかといいますと、団子状態になっている場所があると思うんですけれども、それは大体 TOEFL 80 点の場所です。80 点であれば交換留学に応募することができます。少し低くてもできるぐらいです。ただ、非常に競争が激しいということが見てとれると思います。90 点、100 点を取っていたら見晴らしがよくなってきて、いろんなチョイスがあって、合格の可能性も高いかなということが分かってもらえると思います。

英語圏といいますと、皆さんイギリス、アメリカと思うかもしれないんですけれども、スウェーデン、オランダ、シンガポール、香港、トルコなどでも英語が話されていて、英語で留学できます。もちろんそれ以外の言語、皆さんこれから初修外国語で第二外国語を学びますね。その言葉を駆使していろんな国に留学することもできますし、そういう先輩たちもいます。それはすばらしいことだと思うんですね。その土地の言葉がしゃべれるということは、現地の人と話せるということです。それによって世界が広がり、理解が深まるというのは確実だと思います。

これから見せる 2 枚のスライド(スライド 21、22)は、いつ交換留学するかということをお知らせしているものです。細かいので、この図は国際高等教育院のホームページから入っていただけますので、きょうは大事なところだけ、このタイトルと表の間にある黒い、そこだけしっかり見ておいてください。我々としては、2 回生で交換留学を皆さんやってほしいと思うんです。というのは、3 回生になりますと専門の科目も入ってきますし、就職活動も気になり始めるという人が多くなってきます。実際 3 回生、4 回生で留学する人は多いんですけれども、2 回生なら比較的楽に留学しやすいです。2 回生で留学しようと思いますと、まずこの 7 月、10 月に募集があります。そこで応募しますと、2 回生の 4 月、12 月に出発できます。もう一つ、それを逃しますと、1 回生の 2 月、来年の 2 月に応募するという形になります。そうすると、2 回生の 1 月、3 回生の 12 月に出発するという事です。ですので、各学部によって状況が違ってくると思うんですけれども、とにかくこういうタイミングを早めに考え始めてください。以上が交換留学です。

ほかのチャンスについて話していきたいと思います。超短期留学、超短期というのは「とても短い」ということです。二、三週間の夏休みとか春休みを利用して実施されるプログラムです。この場合はさっきのような単位のこととか、ほかの京大の授業とかを気にせずに行けますので、お勧めです。東アジア、東南アジアにプログラムがあります。それから、オーストラリア、ニュージーランドに行くプログラムがあります。奨学金とか授業料免除とかかなり手厚くなっていますので、行きやすくなっています。早速この夏からプログラムがありますので、1 回生から申し込んでくる人がいます。皆さんも利用してほしいと思

います。こんな様子です。現地での学生との交流とか、そういう機会もたくさんありますので、それもお勧めです。

3点目の国際交流科目は全学共通科目で、海外での2週間程度の研修を含む授業です。ベトナムとか中国、ことしはここに書いてあるようなところですよ。先生方が連れて行ってくださいます。費用はかかるんですけども、それに見合う経験ができる、旅行では絶対できないような体験をさせてもらえるという授業です。かなり人気がある授業です。この様子がわかるスライドを幾つか、過去の国際交流科目の例を見せていきたいと思っておりますけれども、これはタイへ行ったものです。環境を考える授業です。それからこれはフランスのワインビジネスです。これはラオスです。東南アジアのエネルギーを考える授業です。ことしはないんですけども、去年はブータンに行くプログラムがありました。それから、中国の農業について勉強する授業、アメリカのニューオーリンズ、ハリケーンの被害を受けたところへ行って、防災とか復興について学ぶといったプログラムもあります。説明会については後で情報を言いますので、少し待ってください。

以上、これまでお話したのは直接外に出かけていくというプログラムでしたけれども、実は京都にいながら、京大にいながら国際交流をするチャンスというのはたくさんあるわけですよ。その一つは、京都大学の中の留学生の存在です。今回、入学した人たちの中にも留学生の人がいらっしゃると思うんですけども、京都大学には1,800人を超える留学生がいます。国としてはここに書いてあるようになってはいますが、11番以下を見ると、珍しい国から来ている留学生がいます。こういう人たちと机を並べるチャンスというのはたくさんあるわけですよ。特にご紹介がありました英語で学ぶ全学共通科目、こういう科目に留学生がいるという可能性も高いので、こういう科目を積極的に取って、留学生と一緒に学んでほしいなと思っております。

それから、KCJS、SJC（スライド29、30）について紹介をしておきたいんですけども、この2つの組織は、アメリカのトップ大学、ハーバードとかスタンフォードがつくる日本の出先機関と言ったらわかりやすいでしょうか、で作っている組織です。同志社に間借りをしているんですけども、その組織にアメリカから毎年四、五十人学生がやっています。そこで提供されている英語の講義に京大生が参加できる、受講できるという制度です。学部によっては単位として認められる制度も整ってきています。年間4回募集があります。こういう機会も利用してください。そのKCJS、SJCの様子です。京都にあるんですけども、そこだけアメリカみたいな感じの雰囲気があります。トップ大学が単位を与えるレベルの授業で、これを受講するにはTOEFL 80点が必要です。京都にいながらにして、アメリカのトップ大学の雰囲気が味わえる。勉強ができるというお勧めの制度です。

それから、京都での系統講義ということも紹介させてください（スライド27、28）。これはこういうプログラムがあるというわけではなくて、京大で提供される全学共通科目から専門科目から全部合わせて、アジアとか日本に関係する授業を集めてみたら、224科目

あったという話です。それをわかりやすくリストにしています。これもホームページ、系統講義京都大学とやれば出てくると思いますので、それをお勧めしたいんです。なぜかといいますと、冒頭でも申しましたように、これから国際社会に皆さんが出ていくときに、日本のこと、京都のこと、アジアのことを知って、それが説明できるということが非常に重要になってきます。こうした授業でそのような知識を学んでいただきたいなということです。

国際交流の学生サークルもたくさんあります(スライド 31)。これは読めますでしょうか。IAESTE、イアエステといいます。IAESTE は理系のインターンシップをアレンジする、学生さんたちだけのインターンシップのプログラムです。iAT、KIX、ESSK、読むだけで大変かもしれません。ESSK をご紹介しておきますと、ESSK というのは交換留学に行き帰ってきた人たちのグループです。これも ESSK で検索してもらくと、体験談がどっど出てきます。皆さんの法学部の先輩とか、経済の先輩とか、先輩の話聞くのがいいですね。英語教育を除きますけれども。留学に関しては、先輩がどうやって実現したのかなということを知るのいいです。それから、きずなというラウンジがあります。場所は時計台に向かって正面から入っていただいて、左側にレンガの建物が見えると思います。その奥に一戸建てのレンガの建物があります。そこの右上に写真がありますけれども、こういうきずなという場所があります。ここで留学生とか留学に関心があるような日本人、関心がなくてもソファがありますし、くつろいでもらえる場所になっています。ぜひ一回のぞいてみてください。

以上をまとめまして、2 点申し上げます。留学に関して語学力が非常に大事です。今回、英語教育が大改革されるということで、それを十分に利用して自分を磨いてほしいと思います。留学準備もすぐに始めてください。きょう申しましたように、いろんな機会があります。1 回生からできることがたくさんあるんです。例えば今学期英語で学ぶ全学教育科目を 1 つ 2 つ取ってみようかな。夏休みに ASEAN、アジアに短期で行ってみようか。2 回生で交換留学。その交換留学を足がかりにして、3、4 回生、大学院生、それから社会に出てからも国際活動に役立てていくようにしていただきたいと思います。

それから、説明会で日程が決まっているのは国際交流科目ですが、4 月 12 日から始まります。来週の火曜日ですね。タイから始まって火水木、ベトナム、フランス。次の週の月火水で中国、ミャンマー、ベトナム。KUINEP 講義室という、さっきのきずなの近くにある部屋であります。お昼休みに、お弁当持ってきて構いませんので、食べながら聞いてもらったらいいかなと思います。あとは交換留学とか超短期の説明会が随時始まっていきます。そういう情報は京大のホームページとか KULASIS にも載せていきたいと思しますので、アンテナを張っておいてください。そういう説明会で皆さんにまたお目にかかれるのを楽しみにしています。

以上です。

※4月5日(火) 総合人間学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部を対象に実施したものをまとめたものである。【講演担当者：河合 淳子 教授】



国際交流 京都大学でのチャンスと準備

2016年4月4日～6日

国際高等教育院 教授 長山浩章
国際高等教育院 教授 河合淳子

1



本日のトピック

1. なぜ留学・国際交流が必要か
2. 京都大学での海外留学・国際交流
3. これからの説明会の予定

2



1. なぜ 留学・国際交流が必要か

3



京都大学の理念

世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

As an international institution, Kyoto University will promote foreign academic exchange and thereby strive to contribute to the well-being of the world.

その主役は学生の皆さん

4



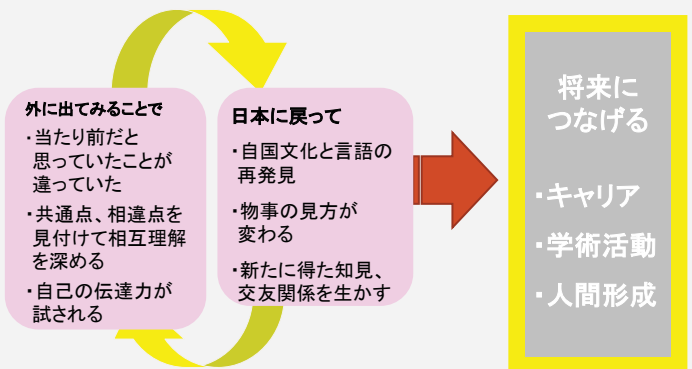
留学の意義・国際交流の意義

- 新しい価値観の発見
- 先端的な学問に触れる
- 多くの友人との出会い
- 将来のキャリアにつなぐ
- 日本文化・日本語の再発見
 - 外から日本を見る眼
 - 日本文化・日本語の伝達
 - 相手に分かりやすく説明できますか？

5



海外留学による自己発見のプロセス



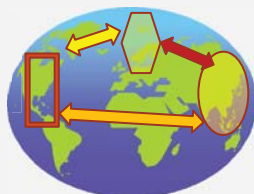
6



皆さんを取り巻く環境1： 教育の国際化

- 学生の国際移動の増加
 - 欧州のエラスムス計画
 - 中国の高水平計画
 - 米国でも学生派遣の増加等々
 - トビタテ！留学JAPANプロジェクト

• 世界の大学の間では学生の相互間の交流が急速に増えている。



7

トビタテ！留学JAPANプロジェクト趣旨

- 「グローバル社会」の到来
- 東京オリンピック・パラリンピック2020開催決定

今こそ「教育再生」


世界を多方面からリードしていける人材の育成
2020年は日本が新たな成長に向かうターゲットイヤー

2020年までに日本人留学生倍増
(大学生等6万人→12万人、高校生3万人→6万人)
(「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定))

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムの目標 –
文部科学省初の官民協働プロジェクトによる支援、学生日本代表を海外へ派遣
※2020年までの目標：民間からの寄附200億円、10,000人
産学官の出身者から構成される協働プロジェクトチームが事業を推進

8

キャンペーンロゴ・キャッチフレーズ



**トビタテ!
留学JAPAN**
その経験が、未来の自信。

ロゴ「日の丸から飛び立つ雉」

- ・日本から世界へ飛び立っていく学生たちの象徴。
- ・国鳥である雉を勢いのある筆のタッチで描くことで、世界で羽ばたき、経験をつんだ若者たちが、グローバルな視点とリーダーシップで日本の未来を牽引していく様を表現

キャンペーン名「トビタテ！留学JAPAN」

- 「海外へ飛び立つ」
- 「今までの自分から飛び立つ」
- 「日本が飛び立つ」というメッセージを含めた

スローガン「その経験が、未来の自信」

- ・学生たちが留学という今しかできない貴重な経験を積むことが、後々、自分の将来の自信につながるというメリットを訴えかけた

9

皆さんを取り巻く環境2： 加速する研究の国際化

- ・ 国際的な成果をうるために国際化は必然
なぜかー現代の課題はグローバルな課題

- 環境
- 金融危機
- 医療、生命科学(エボラ、iPS)

- ・ 一つの例： iCeMS
 - 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)
 - 世界から第一線の研究者を招聘
 - 言語は事務部門も含め英語が基本

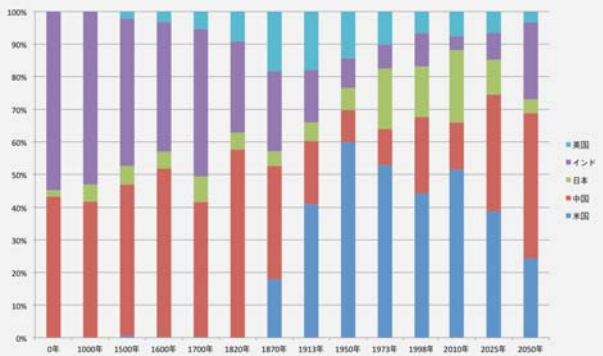
- ・ 世界的な認知を得るには、優れた研究者・学生を世界から招致し、英語での発信が不可欠



iCeMSの研究目標と本館 (iCeMSのウェブサイトより)

10

皆さんを取り巻く環境3： 日本の国際的地位の相対的な低下



図表 国家経済規模における過去と将来(5カ国でのシェア)

11

急速にTOEFLスコア・ランクを上げる韓国・台湾 下位に停滞中の日本

TOEFLスコア (iBT)

	2008					→	2014				
	Reading	Listening	Speaking	Writing	Total		Reading	Listening	Speaking	Writing	Total
日本	16	16	16	18	66		18	17	17	18	70
韓国	20	19	18	20	78		22	21	20	21	84
台湾	18	18	18	19	73		20	20	20	20	80

出所: Test and Score Data Summary for TOEFL® Internet-based and Paper-based Tests JANUARY 2008–DECEMBER 2008 TEST DATA P.10–11
Test and Score Data Summary for TOEFL iBT® Tests January 2014–December 2014 Test Data P.14–15 より抜粋

12

2. 京都大学での海外留学・国際交流

※本日お話しするのは、京都大学が全学向けに提供しているプログラムが中心です。国際高等教育院のHPにも記載されています。

<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>

※研究科や学部には多くの海外研修の機会が用意されていますので、それぞれの研究科や学部のプログラムもよく調べて下さい。

13

14

京都大学でできる留学等

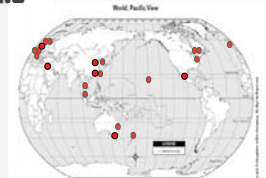
- ・ 派遣留学(=交換留学)
- ・ 超短期留学
 - 東アジア超短期プログラム
 - アセアン SENDプログラム
 - 短期英語研修
- ・ 国際交流科目 [全学共通科目 拡大科目群]
 - ...海外で2週間程度の臨地研修
 - ...事前講義・レポート有
- ・ 京都に居ながら留学生と学ぶ。世界の中の日本を学ぶ。
 - KUINEP
 - 系統講義 京都で学ぶアジアと日本
 - KCJS/SJC英語講義の受講

上記以外の留学(私費留学/自分で奨学金を取って行く留学)もあります。

15

世界の大学に交換留学で行こう！

- ・ 半年から一年間の海外留学
- ・ 授業料は京都大学に納め、留学先では不徴収
- ・ 留学先の単位を本学の単位と認定されることが多い
- ・ 世界各国の大学への留学が可能
- ・ 詳しくは大学のホームページ等で案内
- ・ 現在、平成28年度の募集中
- ・ ぜひ今年秋には応募を検討！



16

京都大学の大学間学生交流協定校 34か国 99大学2大学群 (平成28年4月1日現在)

赤字: 2015年1月以降新協定校

North America CANADA • La Conférence des Recteurs et des Principaux des Universités Québécoises, Québec • University of Toronto • University of Waterloo • McGill University • Concordia University U.S.A. • George Washington University • The University of Hawaii at Manoa • The University of Pennsylvania • University of Washington • The University of Wisconsin-Madison • University of Texas at Austin	Mid-East TURKEY • Koc University ISRAEL • Tel Aviv University	China • Fudan University • Hong Kong University of Science and Technology • The University of Hong Kong • The Chinese University of Hong Kong • Nanjing University • Peking University • Zhejiang University • University of Science and Technology of China • Wuhan University • Shanghai Jiao Tong University • Xi'an Jiaotong University • Nankai University
Mid-South America MEXICO • University of Guadalajara BRAZIL • Universidade de São Paulo University of Texas at Austin	Oceania AUSTRALIA • University of Melbourne • University of New South Wales • University of Queensland • University of Sydney • Australian National University NEW ZEALAND • University of Auckland	Europe SWITZERLAND • University of Lausanne • University of Zurich • Ecole Polytechnique Fédérale de Lausanne LUXEMBOURG • University of Luxembourg U.K. • University of Manchester • University of Sheffield • University of Birmingham • Newcastle University • University of Edinburgh NORWAY • UiT The Arctic University of Tromsø • King's College London • University of Glasgow • University of Sussex IRELAND • University College Dublin • Trinity College Dublin
Europe AUSTRIA • University of Wien BELGIUM • University catholique de Louvain FRANCE • La Conférence des universités de Grenoble • Université de Strasbourg • Ecole Normale Supérieure • Institut d'Etudes Politiques de Paris • Université Paris Diderot - Paris 7 • Université Paris Lodron - Salzburg GERMANY • Humboldt University of Berlin • Ludwig-Maximilians-University of Munich • Universität Heidelberg • Technische Universität München • Rheinisch-Westfälische • Universität Bonn • Georg-August-Universität Göttingen	Europe NETHERLANDS • Technische Hochschule Aachen • Radboud University • University of Groningen FINLAND • University of Helsinki ITALY • Politecnico di Milano • Università Ca' Foscari Venezia • University of Bordeaux NORWAY • Norwegian university of science and technology • King's College London • University of Glasgow • University of Sussex SPAIN • Universitat de Barcelona SWEDEN • Royal Institute of Technology, Stockholm • Stockholm University • Uppsala University	Europe SINGAPORE • National University of Singapore • Nanyang Technological University THAILAND • Chulalongkorn University • Assiut University • Thammasat University • Chiang Mai University TAIWAN • National Taiwan University • National Tsing Hua University VIETNAM • Vietnam National University, Hanoi BRUNEI • Universiti Brunei Darussalam INDIA • Indian Institute of Technology Guwahati • Banaras Hindu University INDONESIA • Universitas Indonesia MALAYSIA • University of Malaya PHILIPPINES • University of Philippines

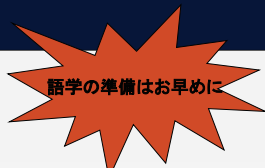
交換留学と英語力

- TOEFL
 - 米国を中心に幅広く行われている留学のための英語カテスト
 - 受験可能、パスポート必要
 - iBT (Internet Based Test) で最低80点は必要、多くの大学は88-100点を必要水準としている
 - 現在はiBTに移行し、京大生の苦手なヒアリング、スピーキングの比重が増している
- IELTS
 - 英国・カナダ・豪州等で幅広く受け入れられている。米国の大学でも認めるところもある
 - 試験は日本の入試に近い雰囲気
 - IELTSのレベルは5.5以上、6.0は欲しい

各校の要求する必要最低点

必要語学 (iBT/IELTS)	派遣先大学
100 / ---	ペンシルベニア大学 (アメリカ合衆国)
93 / 7.0	トロント大学 (院生) (カナダ)
89 / 6.5	トロント大学 (学部) (カナダ)
90 / 6.5	ライデン大学 (オランダ)
90 / 6.5	アイルランド大学ダブリン校 (アイルランド)
87 / 6.5	オークランド大学 (ニュージーランド)
83 / 6.0	ユトレヒト大学 (学部) (オランダ)
80 / 6.5	香港大学 (中国)
80 / 6.0	アーヘン工科大学 (ドイツ)
79 / 6.5	メルボルン大学 (学部) (オーストラリア)
71 / 6.0	アイスランド大学 (アイスランド)
--- / 6.0	香港中文大学 (中国)
61 / --	マンチェスター大学 (英国)
スコア提出なし	フィリピン大学 (フィリピン)
スコア提出なし	シンガポール国立大学 (シンガポール)
スコア提出なし	南洋理工大 (シンガポール)

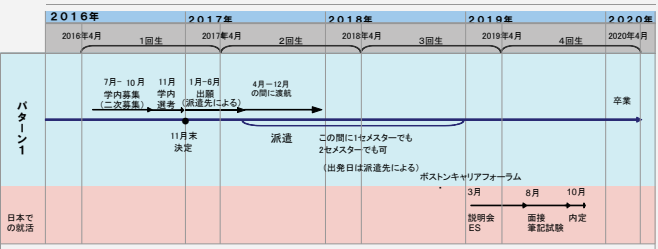
その他の語学



- スウェーデン、オランダ、シンガポール、香港、トルコなどは英語で留学できる。
- 英語以外の言語 (ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語等)
 - 留学の際には、どの言語も英語ほどのレベルは求められないことが多いが、現地の言葉を知ることによって世界が広がり、理解が深まる。

1回生で交換留学を志すケース (1) (早期準備パターン例)

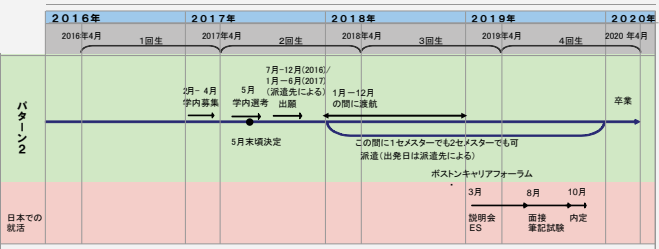
2回生の4月~12月に出発するケース (応募は1回生の7月~10月)



(注1) 京大内募集期間は局局によって異なります。
 (注2) これは1つのパターン例であり各人によってそれぞれのスケジュールがあります
 (注3) 大学生の就職活動の解禁時期が、2016年卒から大学4年生になる直前の「3年生の3月」になる。
 (注4) ES = エントリーシート記入

1回生で交換留学を志すケース (2) (早期準備パターン例)

2~3回生の1月~12月に出発するケース (応募は1~2回生の2月~4月)



(注1) 京大内募集期間は局局によって異なります。
 (注2) これは1つのパターン例であり各人によってそれぞれのスケジュールがあります
 (注3) 大学生の就職活動の解禁時期が、2016年卒から大学4年生になる直前の「3年生の3月」になる。
 (注4) ES = エントリーシート記入

超短期留学で言語と文化を学ぶ!

- 東アジア超短期プログラム
 - 夏期休暇あるいは春期休暇中に実施
 - 浙江大學・西安交通大學 (中国)
 - 慶北大學校・延世大學校 (韓国)
 - 香港中文大學 (香港)
 - 国立台湾大學 (台湾) など実施
- アセアンSEND (日本再発見) プログラム
 - 2016年9月または2017年2、3月実施
 - ハノイ国家大學 (ベトナム)
 - チュラーロンコーン大學 (タイ)
 - インドネシア大學 (インドネシア)
- 短期英語研修プログラム
 - 2017年2月~3月に実施予定
 - オーストラリア短期英語研修プログラム
 - ニュージーランド短期英語研修プログラム

国際交流科目: 研究者と海外を体験しよう

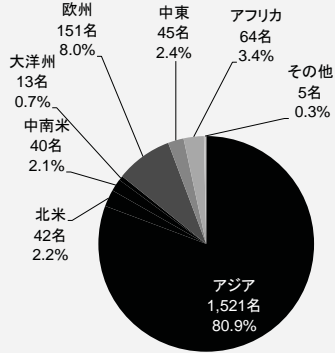
- 全学共通科目
 - 海外で2週間程度の現地研修
 - 事前講義
 - レポート提出 / 単位認定
 - 今年度はベトナム・中国・タイ、ミャンマー、カンボジア、フランスで実施
 - 費用 12万円~40万円



京都に居ながら留学生と学ぶ。 世界の中の日本を学ぶ。

京都大学の留学生(国別)

2015年5月1日現在



国・地域	合計
1. 中国	829
2. 韓国	231
3. 台湾	97
4. インドネシア	92
5. ベトナム	55
6. タイ	51
7. マレーシア	41
8. インド	31
9. アメリカ合衆国	28
10. フランス	27

25



KUINEP (Kyoto University International Education Program)

- 海外の協定校の学生と本学学生が机を並べる英語による講義。
- カリキュラムは日本やアジアの文化、社会、経済、政治など文系にとどまらず、先端的なテーマの理系科目にも及ぶ。
- 全学共通科目として開講されるが、卒業単位としての認定は各学部・学科によって異なるため、必ず履修の手引きなどで確認すること
- 学際的アプローチに関心のある人、将来、交換留学など海外留学を希望する人、留学生との交流に興味のある人にお勧め。

26



系統講義 京都で学ぶアジアと日本



系統講義
「京都で学ぶアジアと日本」
"Studying Japan and Asia in Kyoto" Program

27



系統講義とは?-京都でアジアを学ぶ

系統講義「京都で学ぶアジアと日本」は、アジアと日本の文化・社会・経済・環境について、日本の京都にある大学という特色を活かしつつ、体系的に学べる学部・研究科横断プログラム

- 平成27年度-224科目開講
- 全学共通科目も含まれる
- 1年生から受講できる
- 英語または日本語で講義が提供される
- 規定の単位を取得した学部生・大学院生に修了証を授与プログラム

詳細は系統講義HPを参照してください

<http://www.kuas.cpi.kyoto-u.ac.jp/>

28



KCJSとSJCへの受講生派遣

- 京都アメリカ大学コンソーシアム
Kyoto Consortium for Japanese Studies (以下KCJS)
- 全米14大学から、日本研究を志す米国の大学生が、約45名来日
- KCJSで行われる英語講義を京大生が受講できる制度
- 米国の学生と同様の課題が課せられ、英文レポートや英語での討論が求められる
- 京都に居ながら、米国のトップスクールへ留学したのと同じような環境を経験できる
- 所属学部・大学院から単位として認められる場合がある
- スタンフォード日本センターStanford Japan Center (SJC) 同様の制度あり。

29



KCJS・SJCで受講するために

- 受講の条件
 - * 文理問わず、京都大学に在籍する学部生・院生 (休学中の応募不可)
 - * 日本及び日本語に関する相当の知識を有する者
 - * 英語力 TOEFL (iBT 79点)、IELTS 6.0以上 (SJCはTOEICも可、830点以上)
 - * 受講希望科目についての基礎知識を有する者
- レポート、発表などあるので、**強い意志**が必要。
- スケジュール:
 <KCJS> 6月募集=9月から12月受講 11月募集=1月から4月受講
 <SJC> 2月募集=4月から6月受講 11月募集=1月から3月受講
- 次回は、**6月中旬頃募集通知、応募締切は6月下旬**の予定です。

30



国際交流の学生サークル

- 国際インターンシップ
 - IAESTE
 - AISEC
- キャンパスでの交流サークル
 - iAT
 - KIXS
 - ESSK
- 'きずな'での交流会



31



心がけて欲しいこと

- 語学力の重要性。
ぜひ勉強しておいてください
- 留学準備はすぐに始める
- 1年生での短期研修、2年生での留学を目指す
- 4月から各種留学説明会で情報収集
- 説明会の案内は、京都大学のウェブサイト、Facebookで

32



ありがとうございました。

国際高等教育院
<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>

33

IV. 履修相談について

平成 27 年度まで、全学共通科目を担当する国際高等教育院の教員による「全学共通科目履修相談室」を、時間割作成期間中のお昼休みに吉田南 1 号館で実施していたが、平成 28 年度より、窓口にて相談をおこなうこととなった (図 1)。

新入生の皆さんへ

全学共通科目の履修相談等 について

全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟 1 階）では、全学共通科目の履修登録手続き（KULASIS 操作、特別履修等）の相談に応じていますので、気軽に訪ねてください。また、学習の方法や、どのような科目を履修すればよいか等の履修相談については、全学共通科目を担当する国際高等教育院教員との面談も調整します。

なお、教員免許取得を考えている方は、教職課程オリエンテーションに参加してください。詳しくは、別紙『教員免許取得を考えている新入生の皆さんへ』をご確認ください。

受付時間：8:30～18:45（土・日・祝日は休止）

場所：国際高等教育院棟 1 階事務室（全学共通科目学生窓口）



※ 理学部学生で専門科目なども含めて相談をしたい方は、4/11（月）～4/13（水）12:00～13:00 に開設される理学部新入生履修相談室（理学研究科 6 号館 2 階 1 回生学生控室）を利用してください。

国際高等教育院

(図 1)

V. e-Learning : 大学生活における基本ルール

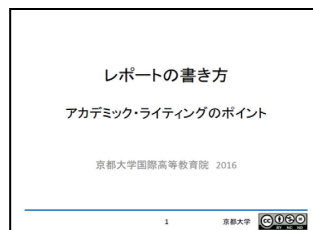
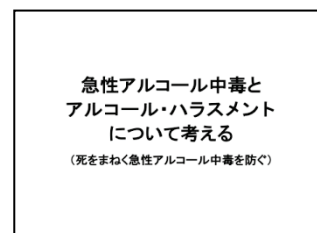
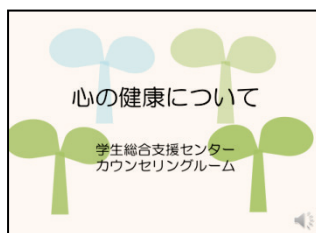
コンプライアンス関連の指導が重要であることは言うまでもないが、その内容は多岐にわたっており、短時間のガイダンスでの指導には限界がある。そこで要点のみをガイダンスで示し、詳細は e-Learning で学習してもらう方法で展開を図った。このため関係部局の協力を得て以下の五つの e-Learning コンテンツを開発し、新入生に受講を求めた。

- 心の健康について
- 危険ドラッグについて考える
- 急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント
- 京大生と自転車
- アカデミック・ライティング

これらの e-Learning の受講状況を以下に示す。新入生の半数が受講していることは昨年度に比べれば大幅な改善であるが、さらに向上させていく必要がある。

e-Learning	受講者数	受講率
心の健康について	1,456 名	49%
危険ドラッグについて考える	1,718 名	57%
急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント	1,685 名	57%
京大生と自転車	1,723 名	58%

補足) アカデミック・ライティングは修了テストがないため、未集計。



VI. 新入生アンケート（全学共通科目ガイダンス）

○調査の概要

実施方法

平成28年4月4日（月）～6日（水）の3日間に、国際高等教育院が実施した全学共通科目ガイダンスの際に記名式のアンケート調査を行い、全学部合わせて2,800名（提出率94.3%）の提出があった。

学部・学科		在籍者数	提出者数	提出率
総合人間学部		126	124	98.4%
文学部		224	219	97.8%
教育学部		63	63	100.0%
法学部		338	314	92.9%
経済学部		254	229	90.2%
理学部		315	303	96.2%
医学部	医学科	112	106	94.6%
	人間健康科学科	147	145	98.6%
薬学部	薬科学科	55	55	100.0%
	薬学科	31	31	100.0%
工学部	地球工学科	188	162	86.2%
	建築学科	82	79	96.3%
	物理工学科	240	222	92.5%
	電気電子工学科	133	120	90.2%
	工業化学科	243	230	94.7%
	情報学科	98	92	93.9%
農学部	資源生物科学科	96	91	94.8%
	応用生命科学科	51	51	100.0%
	地域環境工学科	41	38	92.7%
	食料・環境経済学科	35	33	94.3%
	森林科学科	60	57	95.0%
	食品生物科学科	37	36	97.3%
合 計		2,969	2,800	94.3%

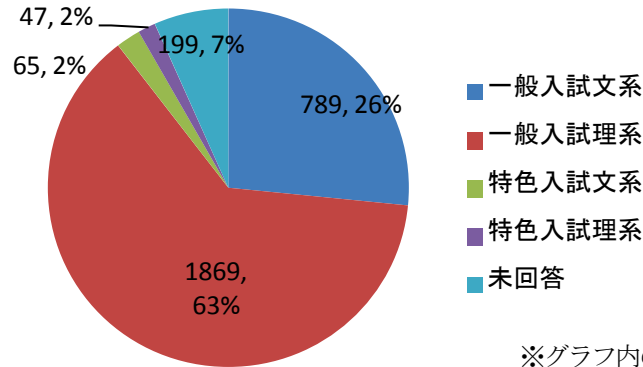
※在籍者数は2016年4月20日現在

○アンケート回答

1. あなたの受験した学部における入試区分・科目、高等学校での学習についてお教えてください。

問1. 受験した入試区分を下記より 1つだけ選び、番号をご記入ください。

- ① 一般入試文系 ② 一般入試理系 ③ 特色入試文系 ④ 特色入試理系

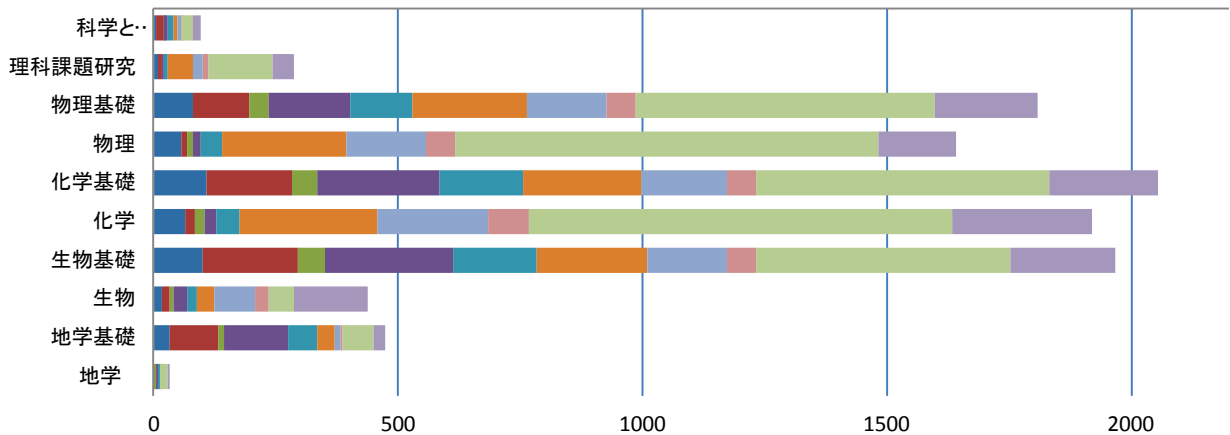


※グラフ内の数字は回答の実数と割合

問2-1. 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

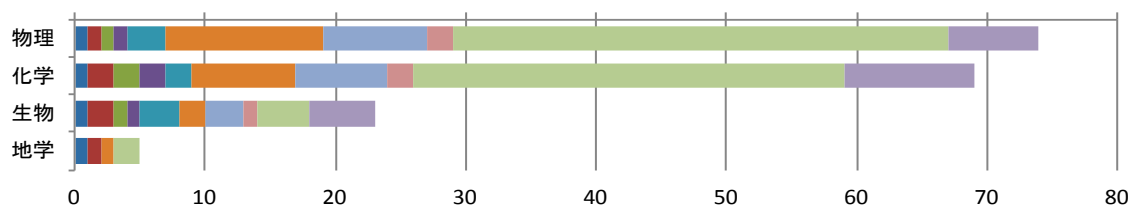
【理科】平成26年度以降に高等学校を卒業された方

- a. () 科学と人間生活 b. () 理科課題研究 c. () 物理基礎 d. () 物理
 e. () 化学基礎 f. () 化学 g. () 生物基礎 h. () 生物
 i. () 地学基礎 j. () 地学



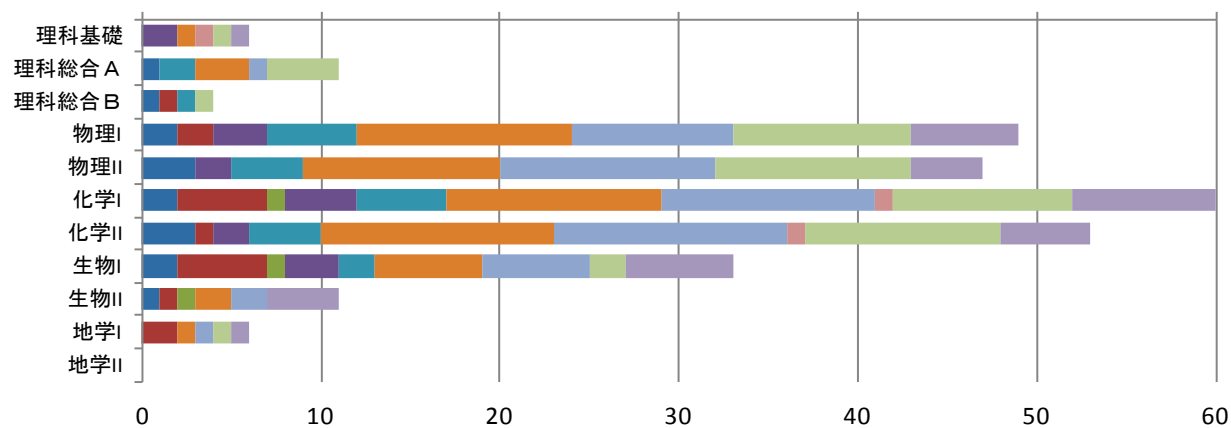
※表の数字は回答の実数

問2-2. 上記以外の以下を扱っている科目
 k. () 物理 l. () 化学 m. () 生物 n. () 地学



	物理	化学	生物	地学
総人	1	1	1	1
文	1	2	2	1
教	1	2	1	0
法	1	2	1	0
経	3	2	3	0
理	12	8	2	1
医	8	7	3	0
薬	2	2	1	0
工	38	33	4	2
農	7	10	5	0

問2-3. 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。
【理科】平成25年度以前に高等学校を卒業された方
 a. () 理科基礎 b. () 理科総合A c. () 理科総合B d. () 物理I
 e. () 物理II f. () 化学I g. () 化学II h. () 生物I
 i. () 生物II j. () 地学I k. () 地学II

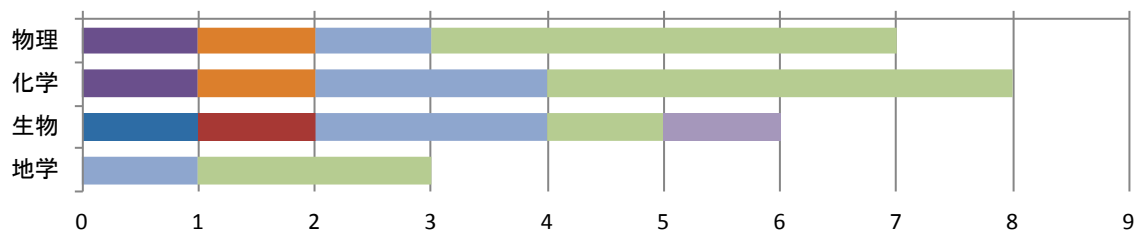


	理科基礎	理科総合A	理科総合B	物理I	物理II	化学I	化学II	生物I	生物II	地学I	地学II
総人	0	1	1	2	3	2	3	2	1	0	0
文	0	0	1	2	0	5	1	5	1	2	0
教	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
法	2	0	0	3	2	4	2	3	0	0	0
経	0	2	1	5	4	5	4	2	0	0	0
理	1	3	0	12	11	12	13	6	2	1	0
医	0	1	0	9	12	12	13	6	2	1	0
薬	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
工	1	4	1	10	11	10	11	2	0	1	0
農	1	0	0	6	4	8	5	6	4	1	0

※上下とも表の数字は回答の実数

問2-4. 上記以外の以下を扱っている科目

l. () 物理 m. () 化学 n. () 生物 o. () 地学

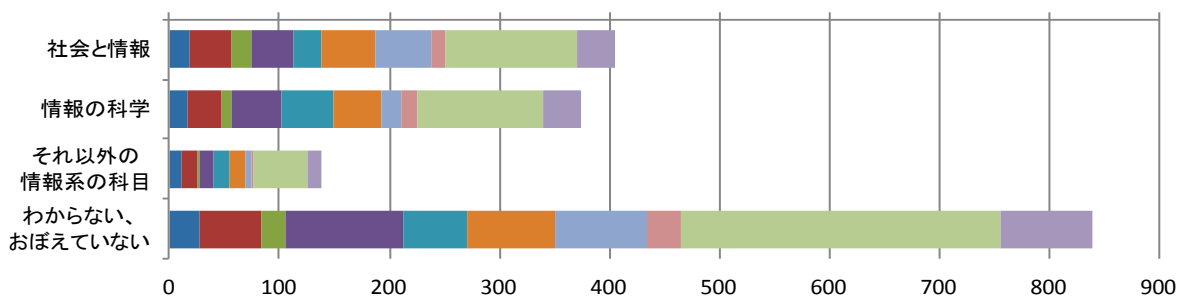


	物理	化学	生物	地学
総人	0	0	1	0
文	0	0	1	0
教	0	0	0	0
法	1	1	0	0
経	0	0	0	0
理	1	1	0	0
医	1	2	2	1
薬	0	0	0	0
工	4	4	1	2
農	0	0	1	0

問2-5. 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選び、()内に○印を記入ください。
※上下とも表の数字は回答の実数

【情報】平成27年度に高等学校を卒業された方

- a. () 社会と情報 b. () 情報の科学 c. () それ以外の情報系の科目
 d. () わからない、おぼえていない



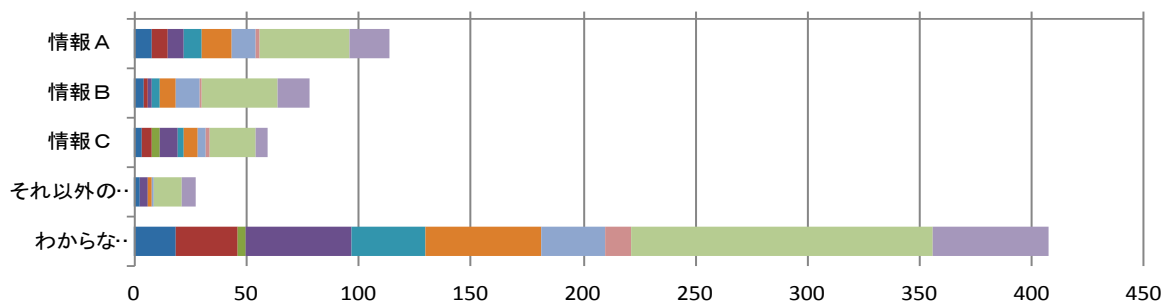
	社会と情報	情報の科学	それ以外の 情報系の科目	わからない、 おぼえていない
総人	18	16	11	27
文	38	32	15	56
教	18	8	1	22
法	39	46	14	108
経	25	48	14	57
理	49	43	14	81
医	51	17	6	84
薬	13	16	2	30
工	119	113	49	290
農	36	36	12	85

※上下とも表の数字は回答の実数

問2-6. 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

【情報】平成26年度以前に高等学校を卒業された方

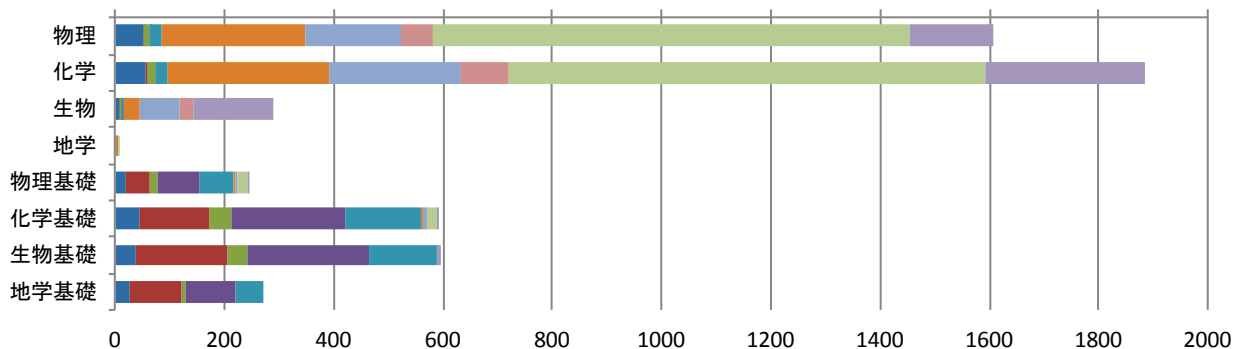
- a. () 情報A b. () 情報B c. () 情報C
 d. () それ以外の情報系の科目 e. () わからない、おぼえていない



	情報A	情報B	情報C	それ以外の 情報系の科目	わからない、 おぼえていない
■ 総人	8	4	3	2	18
■ 文	7	2	5	0	28
■ 教	0	0	3	0	4
■ 法	7	2	8	4	47
■ 経	8	3	3	0	33
■ 理	13	7	6	2	51
■ 医	11	11	4	1	29
■ 薬	2	1	2	0	11
■ 工	40	34	20	12	135
■ 農	18	14	5	6	51

問3. 以下の科目のうち、大学入試センター試験で受験した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

- 【理科】 a. () 物理 b. () 化学 c. () 生物 d. () 地学
 e. () 物理基礎 f. () 化学基礎 g. () 生物基礎 h. () 地学基礎



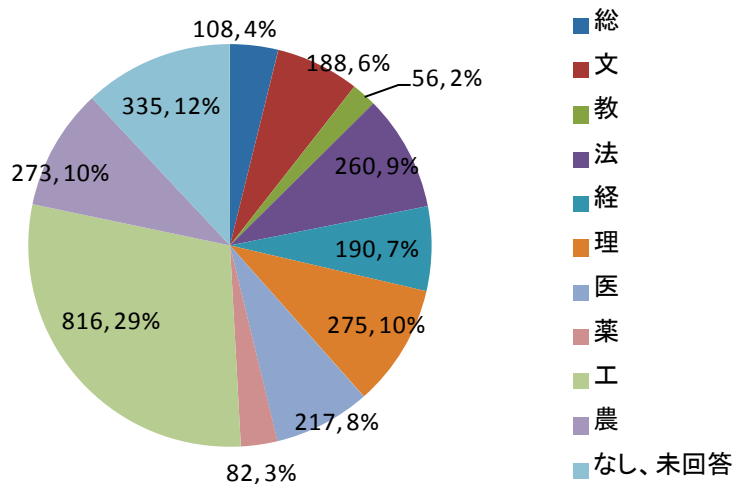
	物理	化学	生物	地学	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎
■ 総人	51	57	8	1	18	46	39	28
■ 文	1	2	1	0	46	127	167	93
■ 教	10	13	3	0	14	38	36	9
■ 法	2	3	1	1	77	208	222	89
■ 経	21	22	1	0	61	139	124	52
■ 理	263	296	31	1	3	5	2	0
■ 医	174	241	72	0	3	6	3	0
■ 薬	60	86	26	0	0	0	0	0
■ 工	872	872	1	2	19	19	0	0
■ 農	154	294	144	0	1	4	3	0

※上下とも表の数字は回答の実数

問4. 理科の授業で実験をしましたか？各項目に該当する科目名を書いてください。

※グラフ内の数字は回答の実数と割合

(1) 生徒自身が行う実験があった

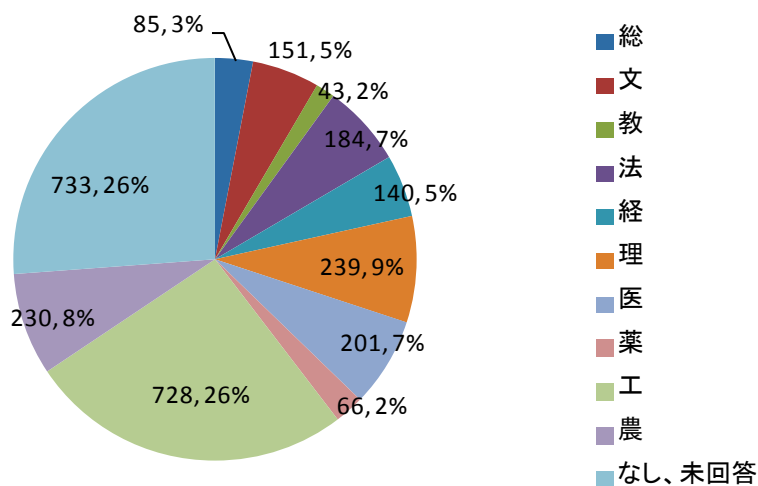


※上下とも表の数字は回答の実数

◆具体的な科目名について

- ・・・物理 (約 1000 名)、化学 (約 1800 名)、生物 (約 500 名)、物理基礎 (約 200 名)、化学基礎 (約 400 名)、生物基礎 (約 450 名)、その他 (地学、SSH、課題探究等)

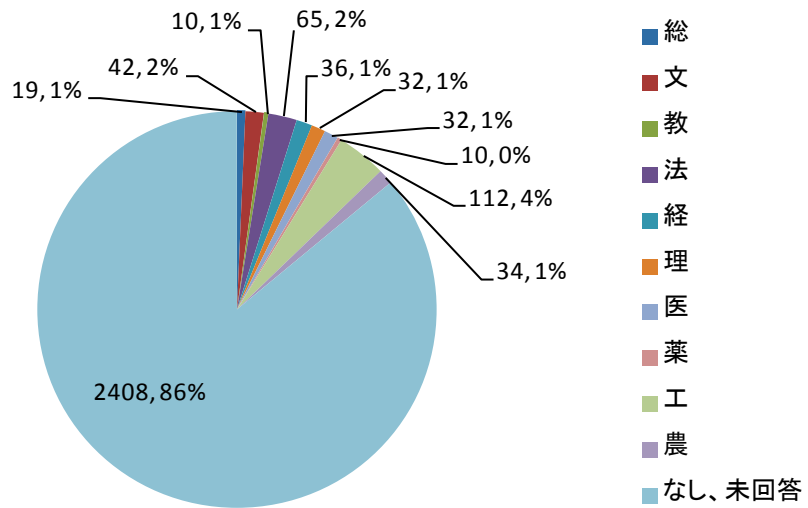
(2) 先生が生徒の前で実演する実験があった



◆具体的な科目名について

- ・・・物理 (約 1200 名)、化学 (約 1400 名)、生物 (約 270 名)、物理基礎 (約 200 名)、化学基礎 (約 270 名)、生物基礎 (約 190 名)、その他 (地学、SSH 等)

(3) 実験は行わなかった



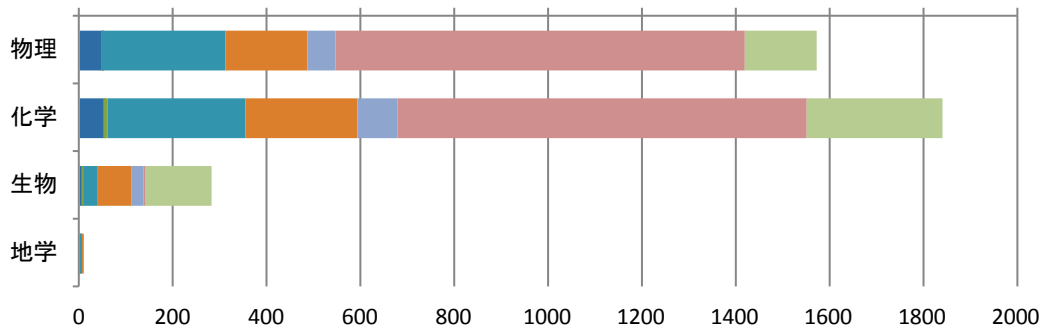
◆具体的な科目名について

・・・物理 (約100名)、化学 (約70名)、生物 (約60名)、その他

問5. (1) で一般入試理系を選んだ場合のみ回答してください。(経済学部を除く)

以下の科目のうち、大学の個別学力検査で受験した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

【理科】 a. () 物理 b. () 化学 c. () 生物 d. () 地学

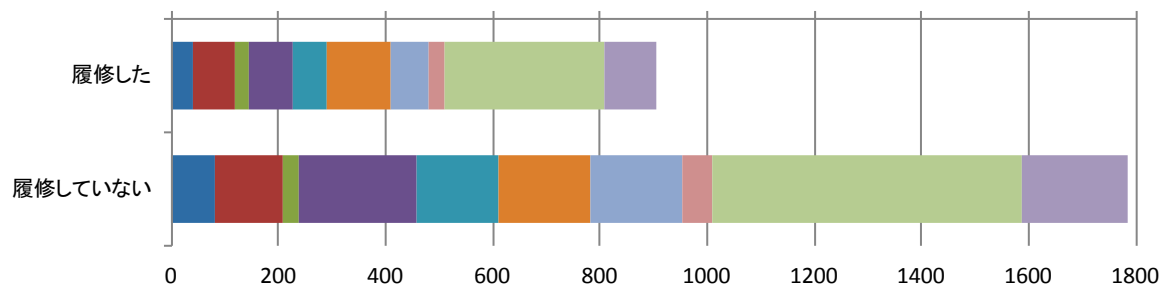


	物理	化学	生物	地学
総人	47	52	5	0
文	1	1	1	1
教	1	8	1	0
法	0	0	0	0
理	264	294	33	2
医	173	240	73	1
薬	59	83	25	0
工	873	873	1	0
農	154	292	143	0

※表の数字は回答の実数

問6. 高等学校で探求型の科目（個人やグループで課題を設定し、その課題について調査や実験を行い、結果を発表するといった学習を行う科目）を履修しましたか？履修したと答えた方は簡単に内容をご紹介します。

a. () 履修した b. () 履修していない



	履修した	履修していない
総人	38	81
文	80	125
教	28	33
法	81	218
経	61	152
理	122	174
医	70	170
薬	30	55
工	299	578
農	94	199

※表の数字は回答の実数

2. あなたの京都大学入学に際しての抱負をお聞かせください

- 問1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？
- 問2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

このアンケートの内容は、2回生進級時に行う2回生進級時アンケートの際に各自に通知し、自分の入学当時の抱負、期待を振り返ってもらうこととしている。

京都大学入学に際しての抱負について、各学部の提出者全員分をそのまま記載した。

※ 修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

※ 判別が不可能な文字については、代替文字として「■」を入力している。

- (1) 総合人間学部 (56頁～)
- (2) 文学部 (60頁～)
- (3) 教育学部 (68頁～)
- (4) 法学部 (71頁～)
- (5) 経済学部 (81頁～)
- (6) 理学部 (88頁～)
- (7) 医学部 (98頁～)
 - 1. 医学科 (98頁～)
 - 2. 人間健康科学科 (101頁～)
- (8) 薬学部 (106頁～)
 - 1. 薬科学科 (106頁～)
 - 2. 薬学科 (108頁～)
- (9) 工学部 (109頁～)
 - 1. 地球工学科 (109頁～)
 - 2. 建築学科 (114頁～)
 - 3. 物理工学科 (117頁～)
 - 4. 電気電子工学科 (124頁～)
 - 5. 工業化学科 (128頁～)
 - 6. 情報学科 (135頁～)
- (10) 農学部 (138頁～)
 - 1. 資源生物科学科 (138頁～)
 - 2. 応用生命科学科 (141頁～)
 - 3. 地域環境工学科 (143頁～)
 - 4. 食料・環境経済学科 (144頁～)
 - 5. 森林科学科 (146頁～)
 - 6. 食品生物科学科 (148頁～)

(1) 総合人間学部 (アンケート提出率 98.4%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 社会学などの文系科目を中心に理系科目にも取り組みたい。
- 様々な分野のことを勉強し、自分の好きなことを探したいです。
- ・幅広い教養
 - ・学際的な学習
 - ・専門的な内容
- 人間社会に関する理解を深めたい。
- 自分の興味のある分野についてもっとくわしくなりそれに関する多面的考え方を、養うために流学したい。
- 世界の探求とおもしろみ、真実、本能の赴くままに。
- 学びをさげるための学生団体をつくる。
- 人との出会い。
- 1つに絞らず、様々なことに挑戦する。
- 視野を広げたい、「多様な価値観」を実感したい)
→語学を習得する。
- ・語学の習得
 - ・体作り
- 認知に進む。特に理系科目を究める。
- 他者と積極的に関わり、自分との差異を考えることで自分自身についての理解を深める。
- 幅広い分野を学習し、自分の興味のあることを定めたい。
- 国際的な視点を持てるようになりたい。世界の人々とコミュニケーションをとりたい。
- 人間という生物について様々な面から学びたい。
- ・積極的に学習する
 - ・国際的な視野を広げる
- 京都という土地、自由な校風の中で自分を追求する。
- 中国周辺の文字文化の研究及び幅広い知識の涵養。
- ・理解しあえる、高めあえる友人をつくる
 - ・脳、認知の機能について学び、「美しい」という感覚の根本をさぐる
- ・京都大学でしか学べない多くのことを学ぶ
 - ・インターン、留学などに積極的に参加したい
- 様々な文化、技術を生み出し、複雑な社会を構成する人間を多面的に捉えることで現代社会について学びたい。
- 総合人間学部で広い分野を学ぶ中で専攻を決め、留学をして専門的に学びたい。
- 様々なことに全力で取り組みたい。
- 多くの教授や仲間と出会い、様々な学問にふれたい。
- 妥協なく様々なことに取り組みたい。
- 心理学の勉強をしたい。
- パソコンやインターネットを学びたい。
- 様々な活動に参加して横も縦も広い関係を作りたい。
- ・自分らしさを伸ばし、興味がある分野で新たな研究をする
 - ・語学を学ぶ
 - ・色々な国の思想観念を原文で学ぶ
- 認知系について学びたい。
- 広いはんいの知識をとり入れ、自分の専門をきめる。
- 自分らしさをむだにしない進路をさがしたい。
- 僕は、将来中高の教員になりたいので、生物学、教育心理学を学びたいと思います。又、人間科学を専攻し、将来職場で応用できればなと思います。
- 文系で入学したが理系のことをやりたく思います。
- 自分が本当に興味をもっているものを求め、それを突きつめる。多数の人間との触れあいの中で人間として成長することを求める。
- 格差是正。
- 脳科学、心理学、精神医学の知識を自ら積極的に学び、英語、ドイツ語の習得に励む事で、様々な原書を読み、細かなニュアンスも考えながら、自ら利用できる知識としたい。
- ・教養
 - ・学問
- 知識と経験を求め、人工知能関連に取り組みたいです。
- 幅広い国際的視野をもち、その観点から自分が国際的に通用することができるようになるために広い学習に多角的に取り組みたい。
- 特に興味のある認知科学などの知識や、その他の様々な教養を身につける。
- ・高度な教育
 - ・語学
- 高度な学びの場の提供を求め、将来、社会に役立つ人間になるため様々な活動にとり組みたい。
- ・海外に行っても適用するような語学力をつける
 - ・様々な人と出会い自分の視野を広げる

- 研究の下地を作り、卒業する。
- 京大に入ったからには、高度な知識、柔軟な思考力を養いたい。
- ・社会を人とは違った目線から俯瞰して見れるような、人間に会い、自分もそうなりたい
 - ・創造性に溢れた人間に会い、自分もそうありたい
- 学術的技能の向上を求め、斬新な研究に取り組みたい。
- 何が1つでも周囲からズバ抜けたことを見つきたい。
- 与えられた問いのみならず、身近なところから自分で問を見つけて答を探っていくこと。
- これからの人生を楽しむに足る教養を身につけたい。
- 人間の真理。
- まだまだ決めていない。ただ、日本最高峰の大学で、幅広い教養を身につけた人間になりたい。
- 多くの人々と交流し、多様な価値観を吸収すること。
- さまざまな物質について興味をもち、自ら調べ、新しい物質などの開発や発見につなげたい。
- 何を主に学びたいか、まだまだ考えねば。
- 自らが学びたいと熱望出来ることを求め様々なことに取り組む。
- 日本語研究やその方法について学び、それを他の活動につなげる手段を模索したい。
- 自由に大学生の間にしかできないことをやりつつ、自分の興味のある学問をとことん追究したい。
- 色々。
- 自分の興味を追求したい。
- 幅広く、かつ深く学びたい。
- とりあえず多くの学問に触れてみる。
- 高校まででは習えなかった専門的な知識や、文理関係なく、幅広い知識。ととのった設備による実験。
- まずは語学力（英語）の向上、文理の枠をこえたこと。
- 未体験の分野にも恐れずに好奇心を持ちたい。海外の学生とも交流を持ちたい。
- 留学の為の外国語運用能力向上。
- まだわからない。
- ・人と出会う機会
 - ・主体的な勉強
- 自分のやりたいことを見つけ、極めること。
- 英語で日本を海外に紹介できるようになりたい。
- ・英語を完璧に使いこなせるようになりたい
 - ・幅広い知識
- 高校の勉強を土台にしっかり勉強したい。子どもの助けになるようなものを見つけない。
- これまでどおりのPDCAサイクルを維持して、興味の有無に関らず知るべきことを体得していく。文理の壁を超えていきたい。
- ・勉強
 - ・課外活動
- 理系、文系に関わらず、様々なことに興味関心をもって取り組みたい。
- ・幅広い国際的視野
 - ・様々な出会い
- 知の最先端としての大学で広く教養を高め、大学院で専門性を高めていきたいです。
- 教養人となるための知識や学ぶ姿勢を身につけたいです。苦手な科目、分野とも向き合い理想であるスーパージェネラリストを目指して様々な学問に触れて、まずは関心をもつことから始めたいです。
- 学術的理解や客観的に物事を考察する能力を身につけ、自分の興味を学問的な側面から探求したい。
- 自分の力で深く考える力を身につけること。
- 世の中の問題を明瞭に捉えることができるための基礎教養。それを解決するためのヒント。
- 自分が何のために学ぶのかがまだ定まっていないので早い内に見つけない。
- 様々な知に触れ、取り込み、専門に学ぶことを探し求めること。
- 語学を特にやっていきたい。
- 留学。
- 自分の世界が広がる人間関係。物事の本質を理解できるようになりたい。
- 人間関係が広がり、豊かな価値観が得られること。語学力の向上に取り組む。
- これからの大学生活で専門性を求めて、英語等の外国語を道具として学びを深めていきたいです。
- 留学などによる幅広い知識と交流を増やしたいです。
- 求めることをまずは定め、そこに向かって進んでいく。
- 学問の迫交。高校では学ぶ範囲や深さに限度があった。大学では自分が知りたいと思うことに対してとことん突きつめたい。
- 海外での就職にも役に立つ勉強、学問をしたい。
- 広い分野のことについて興味を持ちたい。
- 幅広い教養と都市工学や社会学、教育学などについての深い専門知識を求め、町づくりや地域振興及びそれについての研究に取り組む。
- 幅広い教養を育み、国際社会の一員として活躍できるように勉強したい。
- やりたいことが決まっているので、それに集中したい。

- 英語力を磨きたい。
- 自分は、何を求め、どんなことに取り組みたいか、を模索し、道を見つけていくこと。
- 面白い人に会いたい。
- ・ 出会うこと
 - ・ 選ぶこと
 - ・ がんばること
- 興味のある分野の確かな知識を獲得し、留学もしてみたい。
- 気象学か有機化学に取り組みたい。英語も使えるようになりたい。
- 学歴に見合う力をつけること。外国の人とコミュニケーションがとれる人になりたい。
- 色々な教授、学生とたくさん話す。勉強、サークル、バイト、留学、遊び、とにかくたくさん好奇心おうせいにがんばりたい。
- 幅広く学んで、自分が勉強したい分野を見つけたい。
- 幅広い学問に触れ、人間的に大きく成長したい。
- やりたい時にやりたいことができる人になる。様々なことに関する知識量を増やし、自分の考えを正確に伝えられるようになる。

- 外国語でコミュニケーションをとる能力を身につけたい。
- 学問。
- 対話する相手。
- まず、勉強を頑張りたいと思っています。高校では学べなかったことを学べるのが楽しみ。
- 心理学など。
- 与えられた課題ではなく、自ら発見した課題をとことん追究すること。学問を好み、高い意識を持つ他の学生達と交流する中で、自分を高めていくこと。
- 自分の好きな学問を見つけて、真剣にとりくみたい。
- いろいろな勉強をしたい。
- 国際社会の中で自分の意見を発信できるように、考える力、伝える力を身につけるための学習。
- 京大に学術的な英語運用能力や教養を高める機会を与えることを求め、積極的に他分野の人や、様々な考え方の人と関わりたい。
- 人間の認知について学びたいです。またいろいろな人と関わって、様々な考え方を知り、視野の広いおもしろい人間になりたいです。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 国際化する社会で人の役に立つのに必要な幅広い学問。
- ・ 国際交流に役立つもの
 - ・ アジアについて
- 多種多様な分野の知識を得たい。
- 英語で勉強できる教養教育を受けたい。
- ・ 認知科学
 - ・ 英語
 - ・ 教育
- 言語について。
- 留学できるレベルの英語力を身につけたい。
- 文理問わず、様々なこと。
- 留学生の方とも交流してみたい。
- 語学の習得。
- さまざまな科目を幅広く学びたい。
- E 科目での文化人類学の講義。
- 英語で行われる講義にも参加したい。
- 英語をがんばりたい。
- 語学、とくに英語はしっかりと勉強しなければいけないと思った。
- ・ 国際的なこと
 - ・ 外から見た日本

- 語学、言語学など。
- 英語。
- 英語で受ける授業。
- 国際社会で活躍できる、英語力を身につける。
- メディア関係の仕事に就きたいので、そのために必要な基本知識を学ぶこと。
- 幅広く学びたい。
- 京都の文化や語学、環境問題などの理系分野。
- 自分の関わったことのない分野のことや英語。
- 英語はしっかりと取り組んでいきたい。
- 英語。
- まだ未定。
- ・ 人間として成長する
 - ・ 基礎的学習をする
- ・ 認知科学
 - ・ 交流科目
- 文理にとらわれない学問をまなぶ。
- 将来の進路に活かせるような能力を見つけない。
- 一つに拘わらず色々な分野をやってみようと思います。
- 英語の技能的部分。
- 実用的な学問。

- 将来、教員を目指すにあたり、指導する生徒の意志を汲み取り、彼らが将来の希望を叶えるため、的確な道を示してあげることが求められると思います。教養教育により、今まで以上に様々な視野を身につけ、いかなる生徒の意志にも柔軟かつ適切な対応が出来る教員になれるよう学んでいこうと思います。
- 利益を個人モデルでなく、社会モデルとして考えられることを学びたいです。
- 英語で脳科学、心理学、精神医学の知識を自ら積極的に学び、英語、ドイツ語の習得に励む事で、様々な原書を読み、細かなニュアンスも考えながら、自ら利用できる知識とできる最新情報を学びたい。
- 数学、物化、などなど。
- 国際問題等を多くの視点から見つめ、総合して自己の考えをもてるようになるように様々な分野について多角的に取り組みたい。
- 人文系学問。
- 英語力をつけ、海外の人との交流をしたい。
- 人の役に立つこと。
- いかなる時代の変化にも耐え得るように、国際社会について学びたい。
- 具体的にはまだ決めていないが、文理にとらわれず様々なことを学びたい。
- 幅広く、深く、欲ばって自然科学系も人文系も学びたい。
- 社会学、哲学、歴史、古語学、等。
- 日本文化。
- 世界と比べても遜色ないこと。
- 将来に役立つ、文理の区別にとらわれない幅広い学問。
- この世の発展を支えてきた様々な人達の思想にふれたい。
- 人間の真理。
- 今まで教養とあまり縁のない生き方をしてきたので、あまり興味のない分野や専門と関係のない分野にも貪欲に取り組み、広範な教養を身につけたい。
- ・プログラミング等、独学では難しい教養
 - ・文系科目などの他人の考え方が分かる学問
- 学術的な英語を学び、それを多方面で生かしながら世界を広げたい。
- 学ぶだけでなくそれを広く世界に発信する能力を得なければならぬらしい。
- 広く物事を見る視点。
- E2のような全学共通科目。
- 留学には全く興味がなかったけど、少し考えてみようと思った。
- 広く浅く色々なことを学んでそこから考える。
- 国際関係。
- 京大生としてふさわしいことを。
- 近年の大学は英語教育に力を入れているように感じた。グローバル化に伴い英語で学習することを学ぶべきだと思った。
- 英語。
- 学術的な英語。
- 色んなこと。
- 英語を通じて物事を学ぶ技能。
- ・社会に出て必要な知識
 - ・人生が豊かになるような知識
- はば広く学びたい。
- 英語の正しいみにつけ方。
- 世界に視野を向けた教養。
- これまでやっていなかったことを学んでいきたい。
- 語学。
- 幅広く。
- 文系・理系の垣根を越えて広く教養を高めていきたいと存じます。また、英語のみならず第2外国語の修得も努めたいと思います。
- 京都大学での「学び方」をまずは学びたいです。
- 文系理系関係なく幅広いことを学びたい。
- ・学び方
 - ・知識の活用の仕方
- 異文化の人間と意思疎通が出来る程の言語力を得たい。
- 語学を軸に、面白いことを沢山！
- 幅広く学びたい。
- まだ分からない。
- ・英語力と、各専門分野の基本となることから
 - ・知識
 - ・理解
- グローバルな価値観。
- 色々なことが学べるので、興味を持ったものを学習していきたいです。
- 基本の英・数などはしっかりまずはこなしたいと思います。
- 英語に力を入れたい。
- 幅広い教養は元々ほしかったので、京大では質の高い教養教育を受けることができると改めて思った。
- 今まで触れたことのない学問、語学。
- 英語。
- 社会問題や学術研究をする上での思考を豊かにする思考の基礎。
- 文系であるが、理系のことも積極的に勉強していきたい。
- 幅広いことを学んで、2回生からの専門を決めたい。

- 視野が広がるようなことを学びたい。
- 英語や初修外国語への理解を深め、言語を活用できる技能を身につけたい。
- 人の内面について。
- 容量の許す限り、まず気になることを中心に幅広くやってみたいです。
- 文系科目だけではなく理系科目も学びたい。
- 幅広い授業を受けて興味のもてる分野を探したい。
- 世界に出ていくことが大切だと思ったので英語に力を入れようと思います。
- 教わるだけでなく考え実践できるような学びをしたい。
- 広い知識を持ち、様々な角度から考えられる人間になりたい。
- 学術英語をきちんと身につけて、2年次以降の英語に役立てたい。
- 東洋世界の思想、文化について理解を深めたい。数学、科学的な思考も身につけたい。
- 外国について学ぶことで日本についてもっと知りたい。
- 将来の研究に関連しそうかと考慮しつつ、広く、特に社会科学系統の分野を学びたい。

- 社会や世界について。
- 英語を話したり、聞いたりするのが苦手なので、まず英語を頑張りたい。
- まだ分かりません。
- 社会に向かって開かれた人物になるため、今世界で起きていること、その背景にあるメカニズムを学んでいきたいと思います。
- 国際的に通用するレベルの英語力を身につけたい。
- 英語。
- 単位をとるためだけでなく、これから社会に出たときに、役立つ人になれるように基本を身につけたい。
- 文化比較、国際政治論などを学び、海外留学するために英語の技能を高めたい。(特にリスニング、対話力)。
- 英語は今まで受験のための勉強をしてきただけ、という感じだったので、普通に話せるようになりたいです。また、数学をもっと詳しく学びたいです。

(2) 文学部 (アンケート提出率 97.8%)

Q1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 教養と発信力の強化。
- 生涯を通して取り組む価値のある自分だけの永遠のテーマを追求したい。特に古典文学(万葉集)における情愛について自分なりの思索を深めたい。
- 人との交留、留学に興味がある。
- 広く深い見識を持って、社会に貢献するための勉強にはげみたい。
- 世界のさまざまな文化、歴史を知り将来海外とビジネスをする際役立てたい。
- これから決める。
- せっかく努力をして入学したのだから京都大学でしかできないようなことに取り組んでいきたい。
- 社会の様々な事柄のひとつひとつに対し、多様な角度からの考えを得ることを通し、しっかりと自分の考えを持つ人になりたい。
- 様々な知識、人との出会いを求める。他学部の人や教授、留学生と積極的に交流したい。
- 外国語能力の向上と専門分野の学習。
- ハイレベルな学術的知識/それを得るための学習、留学。
- ・教養をつける
 - ・海外の大学院に進学するための準備を行う
- ・面白い人に会う
 - ・授業以外でのべんきょう
- 自分の興味ある無いかかわらず新しい世界に飛び込んで自分の限界に挑戦したい。
- オモロイこと。
- 様々な新しいこと。
- ・教授や他学生との議論、ディスカッションの機会
 - ・積極的な授業参加と主体的な学習
- 京都という伝統に恵まれた環境を活かし、日本の持つ魅力を発見し、それらを国際社会に発信していきたい。
- ひと。
- やりたいことに対して積極的になる。

- 私は自分の撮りたい映画を撮りたいと思いココに来ました。そのためには一個人で「編集力」と「脚本力」とを両方兼ね備えなければならない、とは黒澤明も言っている。よって京都大学では、古典への深い理解力、研究を求めます。
- 世界トップレベルの学問を学び、可能であれば留学もしたい。
- 古典学習で理解を深めたい。
- 英語を中心とした仏、独などの言語の学習、研究。
- ・日本国内だけでなく、海外とのつながりから日本を見たい
 - ・数字では測り切れない人間の行動を研究したい
- 自分に何かの力があるか、ないか、あるならどんなものかを知ってそれを伸ばしたい。
- ・歴史を学びたい
 - ・国際関係を把握したい
- ・知性、人間的成長の機会
 - ・学問、さまざまな人との関わり
- ・国内から見るのとは違う国際的な見方で日本を見ることが出来る能力を身につけたい
 - ・国の枠組みにとらわれない活動をしてみたい
- 原文のまま哲学書や論文を読めるようになりたい。
- ・語学力の向上
 - ・色々な言語を学びたい
 - ・文学部の中で自分の研究したい分野を見つけ、学習してゆきたい
- 知を求め、愛する。
- 自分とは異なる価値観を持った人と出会い、見聞を広め、自分の人生の指針を見つけない。
- ・将来武器になる英語力を身につける
 - ・狭い価値観を広げる様々なプログラムに参加する
- 先入観を捨てて、できるだけ多くの思想に触れ、心や社会の問題へのアプローチの方法を学ぶ。
- ここでは書ききれないです。
- 面白いものを求め、面白いものに取り組みたい。
- 京都大学に入学しなければ会うことのできなかったであろう人と共に学んで多角的な視野で物事を見られるようになる。
- ・言語学
 - ・論理学の学習
- 英語力を身につけたいです。
- 世界に貢献できる能力とそれを発信できる伝達力を求め、積極的に語学、歴史、文化を学んでいきたい。
- 良い環境を求め、学問に取り組みたい。
- 英語で講義を受けられるように。
- 興味ある分野について深めるとともに視野を広げたい。
- 一般的な教養を多く見につけ、知識人として認められたい。そのためにさまざまな講義を受け、知識を得たい。また、大学生でしかできないサークル活動やボランティア活動、バイトなども真剣に取り組みたい。
- 自由と自立、そしてコンテンツ力の強化。
- 文系分野に限らず様々なことに興味を持つ。
- 単位を求め、単位をとることに取り組みたい。
- 考古学の専門知識と留学できる英語技能を身につけることを求めています。私の夢である北米に渡ったヴァイキングの研究をするために勉強をがんばりたいです。
- 高度な教育。
- 知識をつける。
- ・読む
 - ・書く
- 興味のある学問を探したい。
- 人と関わる。
- 人間と自然の関わりに興味がある。
- 自分がやりたいこと以外にもさまざまな学問にふれ、幅広い視野を身につけたい。
- 学問に真剣に取り組む。
- 日本文化を学習し、古文書を読み取ったりすることに取り組みたい。
- 京都大学では、高校までよりはるかにハイレベルで、自主的な学習が必要になると分かった。ここに入学した以上は、もっと自主的に、さらなる知識を身につけたいと思う。
- 自分の刺激となるような出会いを積極的に求める。
- 英語でのディベートや意見発表など、これまで学んできた英語をさらに実用的に使っていきけるように英語の学習（特にスピーキング）を重点的に行っていきたい。
- 興味をもてる分野を探して取り組みたい。
- 刺激を求め、語学力の強化に取り組みたい。
- 英語を使えるようになると、自分が思っていたよりたくさんの方が学べるのだと分かりました。自分で英語を使って意見を言えるようになりました。
- 哲学、文学、心理学などに触れたい。
- 自分が社会で果たすべき役割を自覚する。
- 日本のよさを知り、世界に向けて発信していきたい。
- 教養を身に付け、専門的な内容の学習に取り組み、知識を増やしたい。
- 日本を見つめる。
- 日本語と英語を全力で勉強する。
- 興味のある分野だけでなく様々なことに積極的にとり組みたい。

- 子どもの貧困といった貧困問題の解決にとりくみたいと思っている。京都大学で専攻する予定の日本史（主に近現代史）を深める中で、教育学、心理学、社会学など学問的に学び、どのように社会貢献（貧困解決のための）ができるかを考えたい。
- 世界史を深く知りたい。特に古代の中東。だから早くドイツ語に慣れて、アラビア語やペルシャ語にも触れたい。あと漫研の赤井さしみ（ペンネーム）さんをうならせる絵を描けるようになりたい。京大のイベントのパンフレットの表紙を1度でいいから描きたい。
- 自分が何に本当に興味があるのかを見つけたい。英語や他の言語を通して、より広く人々と交流したり、様々な範囲の知に触れたい。
- 幅広い分野の学習
 - ・京大でしか学べない高度な内容の学習
 - ・歴史学
- 高尚な知識を得る。
- 様々な人と関わり、様々なことに挑戦する
 - ・様々な歴史
- 静かな環境。
- 自学自習では学べない物事を求める。机に向かって学問に励むだけでなく、様々な人と関わる事で知見や視野を広げたい。
- 国際的な視点で、日本、京都のことについて考えてみたい。
- 様々な分野の学問を学ぶ機会を求め、その機会を積極的に活用していきたい。
- 高校で所属していた箏曲部の海外演奏旅行の経験から日本文化の海外発信の仕事に興味を持った。よってそれに必要な語学を身につけ、日本や海外の様々な文化を学びたい。勉強だけでなく、サークル等にも積極的に参加して様々なバックグラウンドを持つ人と関わりたい。
- 自分の能力を発掘して、それが生かせることを見つけたい。
- 幅広い知識と魅力的な講義。ひとまずは英語力を上げ、専門的内容はこれから考える。
- 様々な考えを持つ人と出会い、自身の考えを磨く。
- 私は社会学について勉強したいと思っている。社会学は、文系、理系関係なく大切な科目だと思うので、文系理系科目どちらもしっかりと学んで視野を広げてゆきたい。
- これから探していきたい。
- 自分の専攻したい分野に留まらない幅広い教養を身につける。
- 自分のやりたいこと、将来、自分の力ですべきことを見つけるために、様々なこと特に、国際社会で役立つため、言語学習に積極的に取り組みたい。
- いろいろな人と話したい。
- 社会とか教育のこと。
- 互いに高めあえる友人との出会い
 - ・自分の意見をもって多くの人と議論すること
- 勉学。
- 京都で暮らさなければできない学びを行うこと。
- 世界で通用する実力をつける。
- 興味のある分野やその周辺の分野を深く学習すること。
- 英語力を磨く。
- 語学。
- 自由の学風のもと、既成概念にとらわれない研究を求め、学問のみにとらわれない活動を取り組みたい。
- 国際社会で通用する語学力と、個々の地域への深い理解。
- 英文学を楽しみ翻訳できる力を身に付けたい。
- 社会貢献のために社会学、文化人類学などを学びたい。
- これからの社会に通用する教養、英語力を持った人間になるために、英語で学ぶことに取り組みたい。
- 日本語でしっかりと知識と論理をみにつけてそれを発信する力をえる。その上で日本の文化や自然、日本史のものをかんして身につけたい。
- 歴史を開明するため、まずは基礎となる語学を深める。
- 近年多発しているテロなどがあるが、国際交流を通じてその解決策を探っていきたい（できれば自分の履習する心理学を通して）。
- 自分にとって新しいことを知りたい
 - ・本を読みたい
- 答えのない問題に対して、さまざまな角度からとらえ、探究すること。
- 世の中には無責任な情報が多く、またリテラシーを持たずにそれらを受けとめてしまう人が多い。文学部に入り日本語を学びなおすことで、言葉を自由に使いこなし適切な意志伝達ができるようになることを目標とする。
- 語学に真剣に取り組むとともに中東の歴史、文化、現状を学んで現在起こっている問題を解決できるような手口を見つけたい。
- 様々な学問に触れ、自分の視野を広げていきたい。特に歴史研究に重点を置いていこうと考えている。
- 自分がやりたい勉強をするのはもちろん、多くの友人に出会いたい。
- 生きる指針を見つけたい。
- 自由な趣でサークルからボランティアまで多様な活動に取り組みたい。

- 多様な人々との出会いを求め、柔軟な思考のできる人間になれるよう勉学に励みたい。
- 日本だけでなく世界中の様々な国の文化、習慣についての知識を体験→英語能力の向上、積極的な人との交流。
- 様々なことに挑戦して、やりたいことを見つきたい。まずは語学力を磨きたい。
- 深く知り、考えること。
- 文系理系にとらわれず、あらゆる分理の学問に取り組みたい。
- まだ卒業後どうするか決まっていないので不安ですが、自分が興味のあることが見つかるよう、全体的に視野を広くして履習、学習したい。
- 色々なことを学び学生生活を楽しみたい。
- 多くの出会い、知識、考え方、経験を得ること。
- よりたくさんの人たちと出会って、視野を広げることを求めて、遊びを含め、色々な活動をしながらか、語学をたくさん学びたいです。
- 視野を広げたいです。
- 自分の将来のために英語を頑張りたい。
- この大学でしか学べないことをたくさん学び、色々な活動に積極的に取り組みたい。
- 偏見を排し、体系的な知識を得るために様々な分野の授業を受けたい。
- ・知識豊富な友人を沢山作り、交遊を深めたい
・自らの興味関心に応じて積極的な行動をしたい
- 自由な環境で、好きな勉強がしたい。
- 史学を中心に、幅広い教養を身につけたい。
- 英語やドイツ語などをくわしく学んで将来世界的に通用できるようになりたい。
- ・好きな勉強に打ち込む
・実地調査
- 目標実現。
- 英語を話せるようになる。
- 英語でのコミュニケーションをとれるようになりたい。積極性をもつ。
- 自分のために勉強する力を身につけたい。
- 自分を困む社会にもっと目を向け、それに対する見識を深めたい。
- 立派になる。
- 刺激的な環境に身をおけるので周りから色々吸収して自分も色々発信したい。
- ・実戦的に使える英語力
・興味ある分野へ向け必要なことを考え実行する
- 人間力の向上。
- 英語を使いこなせるようになりたい。
- 視野を広げること。
- 歴史の文献調査とかを行いたい。
- 様々な分野に興味をもち、それらに関連づけた学習に取り組む。
- 自分の知らない分野の知識を深め、又人としても成長できるよう取り組む。
- 色々なこと。
- 国際的な交流を通じての外国、ひいては日本の理解。
- 『勉強』でなく自主的に『学問』に向かっていく。
- 日本のことをもっと知りたい。そして、英語を身につけ、それを外国を含め、様々な人へ日本の良さ、歴史を発信していきたい。
- 学部を超えて様々な学問を学びたいと思う。
- 先進的な学問に触れたり、社会に出る上で必要になる知識を身につけること。
- 部活と勉強を両立させた充実した大学生活を送りたい。
- 深い教養を持つ人との交流。
- 心理学を学びたいと思っていますが、1、2回生のうちに脳科学や精神病理学も授業を受けて科学面からも心理学の学習を深められるようになりたいです。数学や京野菜など興味のあるものが本当に多くて、幅広い知識を身につけたいと思いました。
- 地理学を学びたいが、地理に限らず、興味のある学問を幅広く学びたいと思う。
- 広い視野を身につけたい。
- 専門学習に入る前に、その基盤となる一般教養をしっかりと身に付けて、学びたい。専門(西洋史)で、各地域を比較しながら、各国のコンテキストを学ぶ。
- ・自分が興味を持っている分野の探究
・サークル活動
・大学生らしい生活
- いろいろなことをやってみたいですが、やはり国際交流の場に積極的に参加し、留学もしたいです。
- ・自分のやりたいことを深く知りたい
・メタ認知を学びたい
- 京都大学には多くの先生や大きな図書館があるので、その恵まれた環境をいかして、広い視野をもって文学について勉強したい。
- 将来は小説を書きたいので、日本文学について学んだりそれについて語り合えるような友達をつくることはもちろん、様々なジャンルの教養を身につけ立体的な物事の見方、書き方ができるようになりたい。
- ようやく自分が学びたいことが学べるようになったので、現在興味のある言語学系の分野につながるような人文科学系の科目を中心に能動的な学びをしていきたい。
- 歴史や考古学の研究に取り組みたい。
- 幅広い教養とそれを基礎として日本語を中心に学んでいきたい。

- 好き嫌いせず、何か面白いことを見つける。
- 好きな科目（哲学、あるいは世界史）についてより深く専門的なことを学ぶとともに、総合大学ならではの様々な人々との交流を通して見識を深めたい。
- 現代世界に対する意志決定、態度決定へと私を導く豊潤な視座の獲得。
- 専門的内容だけではない幅広い知識を吸収したい。
- ・外国語を習得し会話ができるようになりたい
 - ・日本文学を深く研究したい
- まず英語力をつけ、コミュニケーションを取る勇気を持ち、様々な人と交流できるようになりたい。又、関わった多くの人々と協力して、役に立てるようになりたい。
- 知識偏重の技功的な学問ではなく、知識によって幅広い考えを編み出せるようにしたい。
- 歴史学を通して、人間が宗教について取り組んできたかということについて考えてみたいと思う。
- 自分の興味のある分野を発見し、自主的にそれをほり下げていきたいです。
- 社会に通用する人材になるために、いろいろな人と関わってコミュニケーション力を高めたい。
- 様々な分野の質の高い講義を受けたい。
- 人文科学やその他の領域で幅広い教養を身につけ、また自分の関心を寄せる分野（国文学、宗教学など）において独自の研究を行いたい。
- 知性を可能な限り開発し、様々な次元において革命を起こす。
- 将来の楽な暮らしを求めます。
- 高度なレベルで自分に興味のある学問を究め、将来に生かす。
- 自分の興味のある分野を学び、主体的な学習に取り組むたい。
- 語学の学習をして外国の書物を読んだり留学をしたい。
- 自分の専門だけでなく、文理を越えていろいろな勉強をしたい。
- ・興味のあること
 - ・英語
- しんしに勉強にとりくんでいきたい。
- 教養を深め、自分が主体的に学べる興味を持てる学問の世界を見つけ、入っていきたい。
- 思考の仕方や学問の創り方、研究の仕事のためになることを学びたいと思っています。
- 自主的に活動することや、大きな組織の中でイチ歯車として何かしたい。
- 興味のある学問を探究していきたいと思う。
- 自らの好奇心を満たすために、講義やサークル活動に積極的に取りくみたい。
- ・論理的かつ感情のこもった言葉を使う
 - ・その支えになる物語を守る仕事が見たい
 - ・そのための準備をする
- 自ら学び教養を深める。専攻したい分野はまだ確定していないが、だからこそ専門知以前の一般教養を幅広く身につけておきたい。
- 海外を意識した勉強や自分のやりたい、興味のある勉強に取り組みたい。また外国語の修得に力を入れたい。
- ・教養
 - ・知識
 - ・新たな視点
- 京都大学という環境を得た上で、物事について深く考えを巡らす時間を送りたい。
- 知の洪水ともいえる京大の中で、自分がこれまで興味を抱いてきたこと（人文学）を深めるとともに、幅広く勉学の分野を超えて、自らの視野を広くしたい。
- 学術的（知的）に好奇心を追い求めて、哲学に取り組むたい。
- 自分から学びにゆく力。
- ・英語力を国際社会で通用するレベルまで充分に高めたい
 - ・世界各国の歴史を学び、現在の国際問題へのつながりを知りたい
- ・やりたいことを見つけない
 - ・海外に行く理由を見つけない
- 専門分野以外の分野への教養を持った上で、国文学研究の基礎となる土台をつくる。
- ・様々な教養を身につける
 - ・勉強だけでなく、様々な人に出会って見聞を広げたい
- ・多様な意見をもついろいろな人と知りあい、自分の価値観を広げたい
 - ・授業に積極的に取り組み、留学にも挑戦したい
- レベルの高い先生や、学生と話をして様々な意見を知ることで、自分の考えを深めたい。
- 自由に学べる環境を求めて入学したので、周囲に流されず、自分の学びたいことをのびのび学びたい。人生最後のモラトリアムを最高の場所で過ごしたい。
- 自分の興味にまっすぐに向かうこと。
- 語学の習得等を通し、各文化域の理解に努めたい。
- 新たな出会いを多く経験し、京都という歴史ある町で遺跡や資料に触れたい。
- 英語がたん能な、国際的な人間となり、国際交流や文学研究に励みたい。
- 自分の好きなことをとにかく勉強する。
- おもしろい人間になりたい。自分の専門を持ちながら、広い視野もあるような。

●おもしろいこと。

●幅広い知識を身に付けたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語で自分の思っていること、言いたいことを丁寧に相手に伝えられるまでのコミュニケーション力。
- 言語。
- 世界に通用する知識を学びたい。
- 語学特に広東語。
- 法学、経済学など、興味はあるが文学部では特別にあつかわない科目。
- 留学。
- 国際政治や国際経済を学んで、各国、各地域の比較したい。
- 自分が将来やっていきたいことを見つけるヒントとなるようなこと。あと、語学。
- 社会科（歴史）。
- 理系科目。
- 分野にとらわれず、広く学ぶ。
- 学術的な外国語の運用方法。
- 3回生以降、自分の興味の湧いた世界にスムーズに進めるための下準備としての教養。
- 文理を問わずかたよりのない、幅広い教養を学びたい。
- 面白いこと。
- 今まで触れることのなかった分野など。
- 専門ではなく、将来触れることのない科目で面白いもの。
- ひとについて知るためのツール（言語、社会、文学、芸術など）。
- 自分のルーツについて深く学びたい。つまりは、日本という国そのものや、その国がかつて強く影響を受けたと聞く中国文化について。
- 絵画。
- 英語など。
- 英語が何とか使えるようになりたい。
- リスニングなどの実践的な英語。
- まずは英語を使えるようになりたい。ILASのビデオにあるような水準に自らが至れるかどうか不安であり、またそこを目指すことができればよいと考えています。
- 語学の重要性がわかったので語学力を高めたい。
- 外国人と対等に交流できる外国語の技能及び自国についての知識。
- 英語、独語、日本語、世界史（哲学史）、数学、理系科目も可能な限り学びたい。

- 世界の中で発信できる、自国についての知識や技能。
- 広い視野を持ちたい。
- 幅広い知識と見識。
- ・広い教養を得ること
 - ・高校まででは身につけがたい知識
 - ・実務的な技術
- 現代社会の様々な問題へ立ち向かう中で、思考の土台になるようなこと。
- ここでは書ききれないです。
- 面白そうなもの。
- 英語で自分の意見を伝えられるようになりたい。
- ・留学できる語学力の涵養
 - ・幅広い科学知識を学ぶ
- 英語の運用。
- 英語を中心に語学を学んでいきたい。
- 将来役に立つこと。
- 英語を頑張らねばならない。
- 教養教育で、自分の学問的な視野を広げたい。
- ・英語を真剣にやらなければと痛感した
 - ・留学も興味がわいた
- 京都大学でこそできること。
- 世界と日本とのかかわりなど。
- 将来に役立つこと。
- 歴史、生物、気象、地質、流体力学、磁気学などを学んでみたいです。
- 英語はもちろんのこと、文理にとらわれない幅広い教養を身に付けたい。
- 英語力向上。
- 教養。
- 幅広い学問。
- レポートの書き方。
- これからの時代を生きて行く上で必要な知識。
- 自分のためだけでなく、世界のために役に立てるように、多くの知識や考え方を学びたい。
- 自分が専攻したい分野だけでなく、その関連分野や、他の分野も含めて幅広く学んで教養を深める。
- 文理関係ない。
- 学術英語は難しそうだが、しっかりと覚えていきたいと思う。
- 自分が興味あるものをどんよくに学ぶ。
- 英語運用能力。
- 文理に関わらず色々なことを学びたい。

- 英語によるセミナー。
- まだ十分ではないけど、しっかりした英語力をつけて、英語講義についていけるようになりたいと思います。
- 受験勉強をこえて、英語の力を高めたい。
- 世界を大きく俯瞰する見方を学びたい。
- 社会で通用する知識や技能の土台となるようなものを学んでいきたい。
- 英語の技能を高め、幅広い知識を身に付けたいと思う。
- ・留学について少し詳しく分かったので、英語や二外など語学にはげみたい
 - ・一回生では様々な学問を受けて教養を深めたい
 - ・総合科学などやりたい
- ・学問的、実用的な語学力
 - ・人文社会系を中心とする様々な学問
- ・実用的な学術英語
 - ・外国人とのふれあいや
- 様々な分野に興味があるが、特に言語学習に力を入れたいと思う。今までとは質の異なる学術英語を身につけ、また英語での表現もできるようにしたい。
- ・世界で通用する語学力
 - ・京大生として要求される基礎学力
- 英語。
- 人文科目だけでなく、物理のような今まで触れたことのない科目も学びたい。
- 色々な国の歴史やテーマ史、また、英語に関すること。
- 思考の枷を打破する衝撃。
- 人間、社会、文化、言語に関する幅広い知見を身に付けたい。
- 語学をきたえたい。
- 人文系を中心に社会科学などについても学びたい。
- 日本のトップレベルの大学として期待されている京都大学で、3回生以降の専門科目の履習に必要な知識や海外の大学生と対等に関わっていくための教養を学びたいと思った。
- 英語。
- 英語学習に重点をおきたい。
- 簡単に答えが出ない問題。また、答えが1つではない問題。
- 人文系以外の科目も積極的に学んでみたい。
- 理系科目や、経済について。
- 今までに様々な場で行われてきた、問題解決方法を学び、社会で役立つ問題処理能力を見につけたい。
- 外国語の能力を上げる。
- 寛容さ。

- ネイティブスピーカーとコミュニケーションがとれるようになるまでの英語力。
- 語学。
- 日本と外国、文系と理系等、異なる分野をつなぐ内容。
- 英語。
- 日本史に関する最先端の考察。
- 英語力を身に付け適切に使いこなす。
- 語学をきちんとやって国際感覚を身につけたい。
- 外国語運用能力の習得。
- できる限りの言語科目。
- 世界でも通用する学術英語。
- ・外国語
 - ・社会学
 - ・経済学
 - ・心理学
 - ・イスラーム学
 - ・史学
- 文系理系に関係なく学ぶ。
- 理科系の専門ではできないことを学びたい。
- 文系科目にしばられず、多学部の人とも関わりをもちながら国際的に通じることを学んでいきたい。
- 語学など。
- 自分が将来やりたいことにつながること。
- 自分の興味のあることだけではなく、京大でできないことや専門外のことも一回生のうちにたくさん学んでおきたい。
- 文、理系にかかわらず、様々な文野を学びたい。
- 文系に限らず、興味がある理系の科目も学びたい。
- 日本における外国語教育のシステム等。
- 語学力を留学の利用も視野に入れつつ高めていきたい。
- 英語を用いて日本を中心に他の国々も含めた様々な文化、習慣を学びたい。
- 歴史 or 言語。
- 英語を一生懸命勉強して、留学も視野に入れられるようにしたいと思う。
- 色々なこと。
- 法律や数学など学部でできないこと。
- ずっと日本文学のことばかりイメージしていたが、理系などの科目もとれることがわかったので幅広く学んでみたい。
- 将来役立つこと。
- これから自分がどのように行動していくべきか。
- 文系科目だけでなく、理系科目にも挑戦したり、全然知らないことにとりくんでみたい。
- 英語、心理学など。
- 国際社会の中で自分らしく活動できる力を身に付けられるような学びをしたい。

- 偏見を排し、体系的な知識を得るために様々な分野の授業を受けたい。
- ・いわゆる「知識人」になりたい
 - ・様々な知見を深めたい
- 京大の名に恥じない教養。
- E科目が受けられるように、英語を頑張りたい。
- 社会学。
- ・英語を用いた積極的な研究
 - ・異文化コミュニケーション
- やりたいことをできるように！
- 統合科学。
- 英語もフランス語も使いこなせるようにしたい。
- 様々な分野の基礎。
- 自分が将来選択する道に関係があるかどうかに関わらず、興味のある様々な分野に取り組みたい。
- やりたいことに取り組めるよう準備する。
- 昭和期の文学や、人の暮らしに関わるもの（特に農林漁業）。
- まずは英語力を上げる。
- 英語、中国語を話せるようになりたい。
- 自国、他国への理解を深めたい。
- 実際のコミュニケーションツールとしての英語はまだほぼ役に立たないレベルであるため、学術的な局面を含めてもしっかり役立つ言語を学びたいと思います。
- 様々なこと。
- 海外の学生の学習への取り組み。
- まだ考えていない。
- 言語学。
- 主体的に考え、行動していくことのできる能力。
- 英語を使いこなせるようにしたい。
- 高校生の頃から自然科学系の分野に興味があったので、この分野について学びたいと思う。
- 社会で必要な知識。
- 時代を考えても英語というのは必ず必要になってくると思うので英語をしっかりと身につけたいと思う。
- 自分の興味のないこと。
- 自分が知りたいこと。
- 心理学に必要なもの以外にも、好きな数学や生物、芸術や文化についても学びたいです。また、中学時代から英語がずっと苦手なので、克服できるように頑張りたいです。
- 自分は文学部だが理系科目にも興味があるため理系科目も積極的に学びたい。理系と文系の学問が自分の中でつながればよいと思う。
- 英語をはじめ外国語を使えるようになりたい。
- 人間の意識。
- 将来的に専門分野の学習から、学際的な研究へと裾野を広げるために必要となる知識を学ぶ。
- 英語を重点的に、自分の専門分野もしっかりと学びたい。
- 文化、国際を中心に興味のあることを積極的に学びたいです。
- 文学研究に向けて英語に限らず、語学に力を入れたい。
- 今までは英語に苦手意識があり、英語で話したり考えたりする機会をあまり利用してこなかったが、今回の「英語教育改革」を良い機会だと思って、これまで自分から遠ざけてきたことにも挑戦していきたい。
- 数学。
- 京都大学の学生という自覚をもって、世界に出るために必要な教養をしっかり身につけたい。とくに、多くの人々とコミュニケーションを取るために必要な外国語をしっかりと学びたい。
- 歴史学や言語学などを学びたい。
- さまざまな分野にわたって、その分野で研究をしている人とある程度しっかりと語り合える知識。
- 日本語的な論理を探究すること。
- ・思想とは普遍的な仕事であるから、思考材料を選ばない
 - ・あらゆる科目を糧として物思いに耽り、アウトプットする
- 文学に限定された内容でなく、広く、学びたい。
- 高校の時数学が好きだったので、数学の教養を深めたい。また、生物学に関して知識を増やしたい。
- 英語を話す力、うまく伝える力をつけたい。あと、京都について深く学びたい。
- 専門科目にスムーズに入ることのできるような根幹に関わるような知識や専門に留まらないワイドな教育を受けたい。
- 文学部に所属しているが、自然科学系等も積極的に履習してみようと思う。
- 今まで苦手だった分野を中心に学びたいです。
- ・英語が厳しいらしいので、自習を定期的に進めたい
 - ・いろいろな分野の授業をとって、教養を深めたい
- 確かな英語力。
- 英語を中心として、これからの社会において教養人として活躍できるような、実用的教養を学修したい。
- 自分が好きなこと。
- 面白そうなことは何でも。
- 幅広い教養を身に付け、どんな内容でも最低限理解できるようにする。
- 文理問わず幅広い分野を学びたいと思う。
- ・生物学
 - ・環境学

- 日本文学や英米文学、心理学など。
- 英語。
- とにかくフル単。
- とりあえず語学。
- 自分の専修にとどまらず、幅広く例えば理系でも関心のある課題を学びたいと思います。
- 英語で行われる講義に興味が出ました。前期の I L A S セミナーは日本語なので、後期では英語で行われるセミナーも検討したいです。
- 自分の専門としたい分野を中心として広く浅く教養を身につけたい。
- ・社会に出て困らないくらいの知識
 - ・見聞を広める
- 元々興味のある人文系はもちろんのこと、自然科学、統合科学群なども積極的に学んでみたい。
- 世界で通用する知識や技能を身につけたい。
- 興味のある分野（人文科学系）を積極的に学びたい。
- ・語学
 - ・歴史
 - ・文化
 - ・哲学
- 多言語を用いて幅広く勉強したい（歴史、文学、e t c…）。
- 専門に分かれた後、自分はどのようなことを学んでいくのかを考えつつ、遍りのない広い分野（特に情報、自然科学）にも積極的に手を伸ばしていきたい。
- ・語学
 - ・コミュニケーション
- 英語が世界で通用するレベルにまで引き上げる。
- 全学共通科目により基盤をしっかりと築きつつ、現在の国際問題につながる知識を修めたい。
- 語学力と自己管理能力を学びたいです。
- 英語をしっかりと勉強して、世界に自分の意見を発信できるようになりたい。
- 国際的な場に出た時に必要な、語学だけでなく様々な教養を身につけたい。海外に興味があるが自分の興味のあることだけでない広い見識を身につけたい。
- 地球社会に生きる者としての基礎知識。
- 学部や、文理に関係なく広い知識を身につけたい。また、日本のことを他国に紹介できるようになりたい。
- 学部で専門的に学べないことについて、自分の興味のまま自由に学びたい。具体的には法、社会学（専攻では日本史を学びたいので）。
- 視野が広がるように、できるだけ違う分野を履修する。
- 世界に活かせるような英語力など。
- グローバル社会に通用するための、生きた語学力を身につけたい。
- 英語の授業を受け、国際的な人となる基礎を学びたい。
- 美学、美術史について。
- 自らの工夫次第で、どのような分野、状況においても通用させられるようなこと。
- 興味があること。
- ・外国語
 - ・日本語
 - ・世界史
 - ・日本史

(3) 教育学部（アンケート提出率 100.0%）

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- ・教育に関する専門的な内容を学ぶ場を求めたい
 - ・専門的な内容と英語を特に集中して取り組みたい
- 多くのレベルの高い学生さんや、教授の方々からたくさんのことを吸収したいです。将来地元で学んだことを還元したいので、「京大生のくせに」と言われぬように高い力を身につけたいです。
- 様々な学問、人間にふれ、自分の専門を見つける。見つけた後は徹底的にそれを追究する。それと同時に、自分の幅を広げ、さらに自分の考えを発信したり、相手の考えを受け入れたりする。
- 教育学、理学への理解を深めるとともに、他分野の教養や他文化とも積極的に交流する。
- 世界中に視野をめぐらせられるようになりたい。
- 社会での活躍に役立つ知識、経験の蓄積。
- 自由の校風を求め、興味のあること、ないこと両方に、自由にとり組みたい。
- 幅広い分野の学問に取り組みたい。
- 勉学に限らず、サークルやひとり暮らしなどを通して色々な人と出会い、ふれあいたい。
- 教育や心理系についてもっと知りたいし、サークルもしたい！

- 教育の面から日本を将来支えたいため、それができるような高度な教育や、自分の理想を実現するために具体的にどのようなことをすべきかどのようにするかを学びたい。
- 私は社会学を学び、研究者として活躍するためのステップとして京大教育学部を志望し入学しました。知識が豊富で行動力のある友人に出会い、刺激を受けて自らも教養と知識ある人物になることも求めて志望しました。京大ではこれまでの何倍も文章に触れ、自分の抱いた考えを積極的に文章化していこうと考えています。
- 自分が学びたいと思うことに確信を持ち、それに組みたい。
- ・専門的な学問、教養を身につけたい
・留学したい
- 主体的に勉学に励み、貪欲に様々なことを吸収したい。
- 心理学と英語に力を入れて勉強したい。
- 幅広い分野に積極的に取り組んでいきたい。
- 教育について様々な視点から学んでいきたい。
- 社会にでたあとに、心理学を生かしながら、多くの人と関わっていけるようにするために、心理学を学ぶ。一生つき合っていける友達、講師の方と出会っていけるよう、多くの人と話す。学部内だけでなく、学部外の人とも多く関わる。
- 幅広い教養を身につけることや英語の勉強を積極的にとりくみたい。
- ただ知識を身につけるのではなく、疑問をもって、積極的に学びたい。
- 興味の幅を広げ、深く学びたいことをみつける。
- 自由に学ぶこと。自分の興味のあるものはもちろん、今まで触れたことのない分野にも取り組んでみたいです。
- ・留学
・関係づくり
- やりたい事をさがしに大学に来ました。
- 家庭教育における父親の役割において社会学等との関連を含めて求めていきたい→
- 高いレベルの専門知識とそれを支える広い視野を得ること。
- 自国の教育制度をよくするために日本の教育と社会について学びにきた。できたら日本とタイの教育だけではなく、世界の教育の展開にも貢献したいと思う。
- 自分の興味ある分野を中心に、様々な分野の教養を身に付ける。
- 興味のあることを追究したい。
- 自分のやりたいことを見つけない。
- 高度な授業、学習環境のもとで積極的に学び将来に活かせるスキルを身に付けたい。
- 多角的な知と実践に基づく研究を行いたいと考えます。
- 色々な人と対話をし、京都のまちで日本の文化に触れることで、自分の人としての幅を広げたい。
- 広い世界を見たいから、様々なことに挑戦したい。職業としては、臨床心理士になりたいので、そのための勉強を頑張る。
- ・英語を自由に使えるようになること
・創造力をつけるための土台となる知見を身につける
- カウンセリングの技能を身につけたい。
- 上手に生きていくのに必要な教養。
- 将来やりたいことを見つけるために、広い分野に関心をもって真面目に学びたい。
- 周囲に古都の伝統が根付き、かつ日本各地から学生が集まる環境で生まれる独特の雰囲気や文化を感じながらこの国のことをとらえたい。
- 「学問したってどうにもならない」とか、「将来役に立たない」とか言っている人を粉砕してやりたい。
- 様々な経験をつむ。
- 色々なことに取りくむ。
- 興味のある分野を中心に、広く深く知識を得たい。
- 自発性。
- 数学の教員免許の取得。
- 最先端の研究に触れ、少子化を少しでもくいどめるべく、幼児教育について学びたい。
- なるべく自分の専門性を高めていきたいです。
- 将来、英語の重要性は高まる一方だと思うので、英語力を付けていきたいと思います。
- 勉強、特に心理学に取り組み、また部活にも全力でとりくみたい。
- 国際教育に興味があるため、比較教育学の系統に進みたいと考えている。特に教育のかかえる課題は先進国発展途上国などその国の状況によってさまざまであると考えため、その課題を解決する能力を身につけるため、学びたい。
- 大学を卒業した後も十分に活用できるように文系科目だけにもかたよらず総合的に積極的に理系科目などにとりくみたい。
- 魅力的な人と沢山出会って、外国の人とも交流する。
- 京都だからこそ学ぶことができる日本の歴史や国際化に関する学びの場、留学をはじめ諸プログラムなどの提供を求め、それらに積極的に取り組んでいきたい。
- 全て。
- できるだけ視野を広くしていくことを求めています。
- 勉強に限らず、あらゆることに挑戦したい。

- 新しい学問、知見。心理学に取り組みたい。
- 自分の興味を広げ、幅広い教養を身につけたい。
- ・教育学について学ぶこと
 - ・視野を広げ知識を得ること

- 社会に出た時に求められる以上の能力を備えること。自分の考えを深め、国際的にも活躍できるようにしたい。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 興味のあることを中心に幅広く学びたい。
- IT化がすすむ中で、人間の仕事として求められているのは人の心に寄り添う仕事だと考えているので、心理学を中心に学びつつ、幅広く勉強して多くのことを吸収したいです。
- どんな人ととも円滑に会話できるコミュニケーション能力を身につける。
- 世界を渡り歩けるような、深くて広い知識とそれらを運用できる英語力。および、それらを土台として、物事を考える力。
- 京都という地を生かした、教育をうけたい。
- 視野が広がるような科目。
- 好きなことだけでなく幅広い分野の教養教育を学びたい。
- 様々な分野に渡って知識を身につけ、国際人となる基礎をつける。
- 英語は学ばざるを得ないです…。
- 英語において、日常会話に執着せず、学術英語を運用できるようにしたい。
- 実学。
- 英語や他言語について学びたい。
- 幅広い教養。
- 語学力を身につけ、様々なことを学びたい。
- 語学力を磨きたい。
- 幅広い教養を身に付けたい。
- リスニングがんばります。
- 理系科目を積極的に学んでいきたい。
- 自分の学部内だけでなく、他学部のことも学び、幅広い教養を身につけたい。
- 京都大学だからこそ出来る国際的な学び。
- 1つの分野にしばられず、いろいろなことに関心をもって視野を広げたい。
- 幅広く様々なことに挑戦したい。
- 多分野について知りたい。
- 様々な人々と交流できる英語力。
- 外国での家族のつき合い方を日本と比較するために学びたいので、英語など。
- 語学。
- できるだけ広い科目を登録したくて、そして英語と日本語を同時に学んでいきたい。
- 文系で入学したが、元は理系なので、理系科目も積極的に学びたい。
- 京都や日本のことをもっと知りたい。
- 留学に向けての準備となるような英語。
- 英語のスキルを国際社会で通用するレベルまで伸ばしたい。
- 特に英語に力を入れたい。
- 教育学部だからといって、教育に関わりそうな授業ばかり履修するのではなく、幅広く授業をとって、教養を身につけたい。
- 国際交流科目。
- 教育系以外の学問も積極的に取り組む。
- 外国の作品を読める程度の語学力。
- 語学と哲学と数学。
- 食わず嫌いをせずに、自分が全く知らない分野に積極的に取り組みたい。
- 日本だけでなく世界でも通用するような心理学、精神科学的概念。
- 文系にも英語で数学を教えよ！
- 食わず嫌いせず、幅広く学びたい。
- 英語力。
- 自分が面白そうだと思ったことには、どんどん挑戦し、社会に出てから必要な教養を身につけたい。
- 英語。
- ・数学
 - ・心理学
- 海外に留学したいと思った。とりあえず説明会に参加したい。
- 語学をきちんと修めたいです。
- 社会に出てから実践できる知識や教養を学びたいと思います。
- 一つに限らずいろいろなことを学びたい。
- 専門ではふれることのできない分野にふれて、教養の幅を広げられるように新しいことを学びたい。
- 自分の専門と全く違う分野に広く触れたい。
- 自分が興味のある心理学以外にも世界のこともについても学びたい。
- 自分の専門分野とは一見関係がないような理系の内容も、幅広く学びたい。

- いろいろな人に会いたい。
- 英語をしっかり勉強したい。
- 幅広い分野のこと。
- 自分の専門にこだわらず、様々な文野の科目を学びたい。

- 大学ならではの学問。
- ・語学
 - ・自然科学
- 外国語を聞く力、書く力、話す力。

(4) 法学部 (アンケート提出率 92.9%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- ・幅広く自分の関心のあることを学ぶ
 - ・留学もしてみよう
 - ・何かにつながる
- 将来、やりたい仕事ができるよう、今しっかりと勉強しておきたい。勉強だけではなく多様なことを学びたい。
- 良い席次で卒業する。リーガルマインドを養い、京大で学んだことを社会に還元したい。
- 自由に自分の興味のある分野に集中して取り組めることを求める。まずは、法学、政治学などから、学びはじめるが、様々な分野にふれてみたい。
- 法学、政治学分野に留まらず幅広い視野を得た上で、様々な問題を解決すること。
- これまで出来なかった様々な経験をしてみたい。
- 幅広い知の習得。語学力の向上に努めたい。
- ・専門的な知
 - ・留学
- 福祉、国際協力について自分なりの考えをもつ。
- 様々な意見をもった人々との出会い。自分が生涯をかけて取り組める職を見つける。
- 幅広い知識を身に付けること。
- またよく考えます。
- 社会人文的な科目に取り組みたい。
- ・人とは違う視点、文考
 - ・説得力のある弁論技能
- 政治学について、理解を深める。
- 留学。
- ・個性的な人達との新たな出会い
 - ・英語力の強化と海外留学
 - ・法律知識の習得
- 色々な人と関わること。
- 興味のある科目を学ぶと共に、自分からも学部では学べない興味のある文野についても学んでいきたい。
- 勉強、サークル、留学など。
- 国家公務員になるために必要な素養を身に付けたい。
- ・自分が本当にやりたいことを見つけたい
 - ・視野を広げて、何かグローバルな活動がしたい
 - ・様々な人との出会いを大切にしたい
- 幅広い知識をみにつけ、人文、法系統の知識を特に深めたい。
- 自主性を身につけたいと考えています。勉強やサークル活動だけでなく、留学などにも積極的に参加したいと考えています。
- 質もレベルも高い授業を求め、国際的なものに取り組みたい。
- 幅広い分野における教養を身につける機会を用意していただき、それを土台として「法」というものを深く学び、将来は法曹として社会に貢献できる人間になりたい。そのように努力したいと考えています。
- 特に語学と人社系を深く学び教養を深めたい。
- 社会に貢献する人間としての知識、思考力を身に付けたい。
- 勉強。
- やりたいことを見つけたい。
- 自分の興味文野での学術的様交を深める。又その為に英語学習を行う。
- 京都大学に合格してよかったというよりも京都大学で学んでよかったと思えるように成長する機会を求め、まずは教養科目、読書を通して教養を身につけたい。
- 知識を広げたい。
- 自由な学風の中、英語の能力を学術面、日常面でも限界まで高め、かつ幅広い教養や政治について深く学ぶ。
- 将来やりたいことを見つける。
- 友人を得て、将来の目標を見つけられるよう努力したい。
- 多角的な視野を持ち合わせるための知識を手に入れたい。
- 自由で幅広い選択肢を得て、今まで持っていた夢に限らない将来設計を立てたい。

- 法学。
- 専門科目だけでなく、さまざまなことに取り組んで国際的なことに取り組みたい。
- 自らの将来を見据えた上での学修、国際交流。
- 学習、留学、体育会といった、様々な事柄に全力で、取り組みたいと思う。
- 国際関係論を学び、英語、アラビア語を習得する。
- 視野を広げること。
- 将来活かせる知識の取得。
- 法学を修め、社会で通用するような知識を求める。資格取得に取り組みたい。
- 自分の得たい知識について理解を深め、今までやったことのないことに取り組みたい。
- 自分で課題を設定して解決する力。
- 自由に学べる環境を求め、幅広い分野への理解を深めたい。
- 国際的なことに取り組みたいです。
- 自分の興味をもったこと。
- 国際交流を求め新たな分野の学習に取り組む。
- 様々な知識を身につけて、それを実践すること！何でも挑戦してみること！
- 幅広く勉強して自分の興味のあることを見つきたいです。
- 自学自習の精神■ ■。
- ・勉強ではない、学問を行う
 - ・国際社会に出る
- 色々な経験をしたり、色々な人と交流したい。
- 国際性と社会性を身につけ、人と人とのかかわり合いの中で自らの意思と行動によって自己の可能性を開拓出来るようになりたい。
- 様々な知識を得て、あらゆる分野に関心を持つことで、自らの将来について考え、社会に貢献できるような人間になること。
- 目標に向けて目先のことからこつこつと取り組む。
- ・英語の力をつける
 - ・自主性を身につける
- 英語能力の向上。
- 法への知識を深め生活に生かす。
- 自分の視野を広げること。
- 京都大学でしか出会うことの出来ない教員や友人との交流を深めて人脈を広げ、主として法について、また、それ以外の教養についても幅広く学ぶことのできる環境を利用すること。
- 法学部関係のことだけでなく、幅広く学ぶことで自分の将来を考えたいです。
- 英語を将来生かせるように、予復習を怠ることなく学ぶ。
- 将来に役立つ基礎知識を固めつつ、実践的な教養を得たい。
- 留年しない。
- 法学を通して、人のあり方や周囲の環境との共生を探求し、それによって、自分のあり方をも探っていきたい。
- 思うままに学びたい。
- 興味ある分野を見つけて将来に活かせる学習がしたい。
- 興味のあることを学び、しっかり勉強する。
- ・幅広い知識を身につけて多様な世界の見方を得る
 - ・異なる価値観をもつ人と交流する
- 単位を取得し、4年間で卒業したい。
- 自由な校風に合った将来の自分に役の立つこと。
- 幅広い教養と、深い専門知識。
- 京都大学で、学業だけでなく、知らない人。
- 専門だけでなく幅広い教養を身につけたい。
- 特になし。
- 様々な価値観に触れること。
- 行政、公共政策関連のこと。
- 将来の人生において、職業上、生活面において、有利になるような知識を身につけたい。
- 様々な体験をし、人間的に成長する。
- 自分の進路やなりたい職業を探しながら、将来に役立つ勉強に取り組みたい。
- 様々な考え方。
- 1～2回生では英語力の向上と教養の身に付け3～4回生では専門科目における理解の深化。
- いろいろな授業をうけて幅広い、知識、教養をつけたい。
- 将来就く仕事の土台作り。
- 大きな人間になる。
- 自由に好きなことを学びたい。
- ・国内トップレベルの教育、世界に通用する力を身に付けられる環境を求める
 - ・積極的な授業参加と自学自習
 - ・自らが興味を持った分野への取り組み
- 国際交流。
- 知らないことを知る、知りたいことを知る。
- 法律について学び、英語を扱えるようになり、多くの人と対話すること。
- 法曹への道を確立させるだけでなく、多分野にわたる知識、経験をj得て、周囲のものに対する視野を広げたい。
- 主体的に学ぶ。
- 単位を求め、単位取得に取り組む。
- 法学部において、法学の専門的知識や学問の方法を習得し、将来生かせるようにする他、サークル等を通して趣味を楽しむ。
- 自学自習。
- 重要性をましている、英語に取り組みたいです。

- 勉強をしたいです。単位を取るという目的がメインではなく、自分の興味のある社会学についての理解を深めるという目的をもって自主的に勉強したいです。
- 法学部で広く皆に受け入れられるような、諸問題の解決策を考えたい。
- 自分が興味もてることを見つけたいです。
- 広い視野をもって考えられるようになること。
- 様々な分野の内容を幅広く学ぶこと。
- 語学には苦手意識があるが、これを機会に取り組みたい。
- より自由な学習環境を求めます。地域社会に貢献できることに取り組みたいです。
- ・人間力の形成
 - ・グローバルなコミュニケーション能力を身に付ける
- 法律についての一般教養を得ること。
- 法学、政治学について広く学びたい。
- 様々な事を学び、視野を広げ、多様な価値観に触れ、主体的に様々な事に取り組んでいきたい。
- 法曹の道に進むための学力と幅広い視点を求め、勉学に留まらない活動に取り組みたい。
- 京都大学のハイレベルな講義を受け、優秀な生徒と高め合いながら、法学を身に付けたいと思っている。
- 自分の好きなことを見つけ、卒業後の道についての具体的なイメージをもてるようになりたいです。
- 様々な分野について学び、国際交流も視野に入れ、英語の学習に力を入れたい。
- 様々な視点からものをみつめる力。
- 教養から専門まで幅広く学びたい。
- 自分の意見を持ち、自分で考えることを大切に、主体的に動くこと。留学。
- ・法についての学習
 - ・留学での英語 or その他の言語の習得
- 政治学について知識を深め、法的学識も含めた広い知識を習得できるよう取り組みたい。
- 自分のやりたいことを授業を受ける中で考え、真剣に取り組みたい。
- 法律家を目指しているなのでその夢の実現に資することを求める。サークル活動にも積極的に取り組みたい。
- 幅広い知識を身に付けること。
- ・世界を相手に活躍できる語学力
 - ・専門知識
- 素晴らしい先生方や友人達との出会いと、将来に向けた法律の本格的な学習。同時にそれらにとどまらない幅広い分野についての学習を対して、人間として成長したい。
- 法学を中心として幅広く知識を身につけたい。
- 世界で活躍できる人間になるための準備。
- 今、日本をとりまく国際情勢と、それに対する外交対応、それに関連した日本の憲法9条のあり方について学び、自分が、異なる意見をもつ人間とそれに関し議論できるようになりたい。
- 司法試験に合格したいので、そのために法科大学院に進むこと。
- 政治学系の専門科目を中心に学んでいきたい。また、2年生時での留学にも興味がある。
- 教養をふかめたい。
- 司法試験に向けての勉強をするとともにどんな状況でも対応できる人材になり、国際的な場でも対応できる人材となれるように教養科目、専門科目に取り組む。
- ・各分野に携わる様々な友人や、知識教養
 - ・部活動や、授業
- 法学系の勉強だけではなく、経済学系の勉強も積極的にしてみたい。また、英語や中国語も日常会話をできるほどマスターしときたい。
- 自分の興味のある分野を学べ、豊富な学習機会を得られることを求め、現代社会における国際問題などの解決策の模索に取り組みたい。
- 地元のために頑張る。
- 国際的活動に参加しつつやりたいことを探求、追求したい。
- 就職力。
- 現代社会で直接活かせる能力の習得。
- 様々な教養をみにつけ、様々な経験をしたい。
- 教養。
- 様々な友人と出会いながら、自分の学びたい法律学を通して幅広い知見を得る。
- 将来社会貢献するために、法学分野だけでなく、幅広い分野を受けてみたい。
- 幅広い知識をもとに専門的知識を高め、極める。
- 高校では学べなかったようなこと。
- 自由な学風の中で積極的に人と交流し、深みのある人間になる。
- ・国際交流をしたい
 - ・いろいろな人と関わりたい
- 社会で活躍するための自立力と知識を身に付けられるよう、勉学やサークル活動など、幅広いことに取り組みたい。
- より多様なことを学び、多くの経験をする。
- 自ら進んで学ぶ姿勢を忘れず、レポート力やプレゼン力の向上に積極的に取り組みたい。
- 英語文献を読んで討論すること。
- 英語を自由に話せるようにしたい。
- 個性豊かな友人を求め、大学でしか経験できない留学等の様々なことを経験したい。

- 英語技能の習得
 - ・交友の幅を広げる
- 社会における様々な問題に注目して、それを解決する方法と解決する力を身につけたい。
- 将来にむけたことをしっかりやる。
- 自分の興味のある分野を見つけるため、様々な授業、活動に取り組みたい。
- 自分にどのような可能性があるのかを知りたい。
- 自分が求めていることを知りたい。
- 将来に向けての学習。
- 国際交流。
- 自由な学びを求め、様々な人々と出会い繋がっていききたい。
- 多様な人間関係の中での幅広い人脈の構成。そのために、大学内、外に関わらず、様々な社会活動に参加したい。
- グローバルな人材になりたい。
- 英語能力を上げることは必須だとまず感じました。全体的なレベルアップを果たしたいです。
- 英語をはじめとする、多くの言語に触れる
 - ・理系の勉強もする
- 国際的に活躍するために日本のことをよく知ろうと思いました。
- 自分で選択したものを、責任をもってしっかりと学び、かつ充実した生活を送る。
- 豊かな人間関係を築いていきたい
 - ・部活に熱中したい
- 海外へ出てみたい
 - ・その準備や手助けなどは色々大学があるのは今回理解したので積極的に参加したい
- 自学自習のスタイルを定着させて課外活動にも積極的に取り組む。
- 国際的な視点から見る力。
- 英語技能。
- 勉学に励む
 - ・充実した学生生活
- 国際的に活躍できる人間になりたい。
- 京都という土地柄を生かして東京での実家暮らしでは経験できないことに取り組み、自立性を高めることを求めている。
- 真自面に勉強を続けること。
- 自由を求め、京大でしかできないことに取り組みたいです。
- 社会に出て何の貢献ができるかを知りたい。
- 専門だけでなく、一般教養についても幅広く学びたい。
- 英語力の向上
 - ・興味のある学問の探求
- 法律の専門分野を詳しく学びたい。
- 様々な学に取り組むたい。
- 全方位の力を身につける。
- 魅力的な友人を得ること
 - ・自分の好きなことに取り組みたい
- 主体的な学び。
- 自由と好奇心を満たす講義。
- わずかな量で高い質の授業
 - ・自分の勉強したい授業に果敢に参加したい
- 自分の時間を自分で使い、バイトと勉強の両立をしたい。
- 国際関係や歴史に興味があるので、それらを深く学べるような場を求めたいです。サークルや勉強の両立に一生懸命取り組みたいです。
- 積極的学習
 - ・社会で役立つスキル
- 将来の目標を見つける。
- 自主的に探求し、最後までつきつめる。
- 本気で議論を交わすことのできる仲間と出会いたい。世界で通用する英語力を身につけたい。
- 多様な人間
 - ・自主自立
- 多様な知識を求め、高校では学べなかったことに取り組みたい。
- 社会に出た時に必要な教養を身につけたい。
- 外国語を重点的に学びつつ幅広い分野の知識を身につけ、教養人になりたい。
- 勉学
 - ・部活
- 自分から学ぶ姿勢を身につける
 - ・留学したい
 - ・いろいろな人と交流したい
- 単位を絶対落とさないようにしたい。
- 多様な人と取り合い交流する（英語力をつけ、留学も視野に入りたい）
- 国際社会でも通用する多角的な視点と豊富な知識。
- 自分のやりたいことを見つけ、それに合うように幅広く学習する。
- 将来、法曹関係の職に就きたいと思っているので、様々な経験を通して多角的な視点を培いたい。
- 人間としての成長。自分の力を最大限に発揮したい。
- 将来法による平等な考え、行動を実行できる勉強をしたい。
- 様々な人々との交流。
- 英語をしっかり学習し、留学したい。
- 自分の可能性をみいだすのにある機会をいかしきる。
- 自分を心から魅了するものを見つけ、それに取り組みたい。
- 理性。

- 法科大学院への進学のために必要なすべて。
- 希望の研究する。
- 将来に役立つ技能や知識を求め、法律を扱う学問に熱心に取り組みたい。
- 広い視野をもって勉強にとりくみたい。
- 国際社会に出ても通用する学術英語力を身につけるための英語の勉強、留学。
- ・将来自分のためになる知識を養う
 - ・英語力を磨く
- ・公務準になるために必要な知識の習得をしたい
 - ・法律についても学びたい
- 人間としての成長。
- 官僚になることのできる能力、学力を求める。また、大学生らしい楽しい大学生活をもとめる。
- 自学自習の習慣をつけた上で主体的に学びたい。
- 外国語技能向上と専門知識獲得。
- 興味のあることにとことん取り組み、将来の目標の達成に活かす。
- ・自由に探究できる事
 - ・政治学等
- 様々な人と出会い、自分の将来に向けた道筋を定めると共に、進路実現に向けて努力したい。短期留学にも興味を持っている。
- 自分の興味に従って多角的に色々と学び、法学部として学びたいと思っていた法の学びに活かしたい。
- 自分の希望する目標や進路に向けて確かな力をつけるための多岐に渡る教育や活動。自主的、積極的に活動や行事に参加し、実社会で活躍できるようになること。
- 法的な思考の獲得。
- 世界で戦える学力。
- 自ら考え、自分なりの意見を他の人にしっかりと伝えることができる能力を身に付けることをしたりまた、様々な言語を十分に使えるようになりたい。留学生等など京都でも英語にふれていきたい。
- ・自立した生活を送ること
 - ・協力でき、社会に貢献できるようになること
- 国際的な視野を身につけつつ、学部の専門知識をしっかり身につけ自分の武器にする。
- 自分の将来のために必要な知識だけではなく、幅広い教養を身につけられるようにしたい。
- 社会に貢献できるような知識を身につけたい。
- ・世界に出ても恥ずかしくない語学の力と、多様な教養を身につけること
 - ・日常生活に役立つ法を学ぶ
- 教員の方々と積極的なコミュニケーションを行いたい。
- 専門的な内容。
- 社会にでて役立つ知恵。
- 自主学習を大切にして勉強に取り組み、部活動にも積極的に参加したい。
- 法律の知識を求める。
- 京大生として恥ずかしくない幅広い知識を身につけたい。
- 法、政治だけでなく、哲学や歴史、理科系など幅広いことを学びたい。幅広い分野を学んだ上でそれらを法学部での専門的な学問に反映させたい。様々な意見をもつ人と意見を交換させること。
- 海外へ留学し、世界を広げたい。
- 自らの知的好奇心を満たし、はぐくみ、他人と共有すること。
- 自由な楽しさ。
- 言語学、法学について学びたい。
- 幅広い学問の中から自分の興味に応じている勉学への機会があること。はじめは実際にいろいろなことに関心を持ち、触れる機会に積極的に取りくむこと。
- 吸収できるものをできるだけ多く吸収すること。
- 世界に通用する語学力をつけ、難民問題など世界共通の問題の解決に取りくみたい。
- 将来社会に貢献できるような一般教養や専門的な知識を身につけたい。
- 志の高い教師陣や生徒とともに最先端の学問に取り組みたい。
- 論理的に思考できるようになり、自らの考え方を人に正確に伝えられるようにしたい。
- 様々な授業を受けて、法学について学びたい。
- 将来の職業に繋がりに、役立つ知識、技能、教養の取得。
- 常に自分の身の周りの社会で、そして世界でどんなことが起こっているかを意識してそれに役立つことを学んでいきたい。
- 将来の夢に向けて学習するだけでなく、様々な分野の知識を得て、目標達成に役立てていきたい。
- 法律を学び生活していく中での問題に最善の対応ができるようにするための勉強をする。今まで体験したことのない体験をする。
- 幅広い知識の習得と複雑化した国際問題などに対する解決策の模索。
- 外国語を含むさまざまな知識を得ることで、国内にとどまらない世界に通用する、多様な価値を認め、諸問題に取り組む人材になりたい。
- 法学についての学習だけでなく、英語力を磨いていきたいと思っています。
- 積極的に講義に参加したい。
- 自発的に勉学に励み、積極的に情報に興味を持つ。
- レベルの高い同級生たちと交流し、自分を高めていきたい。

- 京大ならではのハイレベルな学問を探求し、社会に良い影響を与えられるような力を身につけたい。
- 広い視野をもつために様々なことに取り組みたい。
- 留学する機会や留学生と交流する機会が多く与えられていることを生かし、国際的な視点から学びたい。
- 世のためになることを学びたい。
- 司法試験合格のために、日々の学習を大切にしたいです。
- 将来につながる学習をしたい。
- 検察になるために法学の知識を獲得したい。世界を振り向かせる語学力を磨きたい。
- 法学を中心に幅広い学問を身に付けたい。
- 社会の様々な問題を学び、それに対処できるような能力を身につけたい。
- 多くの人と交流しながら、総合的に学ぶ。
- 自分のやりたいことを求め、法律などの勉強に取り組みたい。
- 自分のやりたいことをすべてやる。
- 多様な学問、人に出会い、自分の興味を深めること。
- 英語力を身につけ、興味のあることを見つける。
- 未定。
- たくさんの人と交流を深め、自分の視野を広げる。
- 国際社会において通用する、深い教養を身につけたい。授業内容にとどまらず、多様な分野について自学自習の精神に基づき、習得したい。
- 世界に通用する英語、教養、知識の習得、実践。
- 自分の将来の夢へのきっかけとなる機会を求め、自分の興味があることに積極的に取り組みたい。
- 知的こうきしんをみたく、しげきてきなまなびにとりくみたい。
- 文系（法学、政治学、歴史、言語 e t c）の、科目だけを履習しても得られない、プレゼンの能力や情報選択、レポート、スピーチ能力をみがきたいです。そして、余裕があれば、興味のある物理系の科目もトライしてみたいです。
- 英語技能と。
- 予習、授業、復習を通した主体的な学習で、いろいろなことに問題意識を持って深い理解に基づく知識習得に取り組みたい。
- 京都大学でしかできない、大学生の間でしかできないことをする。
- ・多様な個性と出会い、交流を深める
 - ・深い学問を修める
- 自分の専門科目に加え、英語の力を伸ばし、英語で多くのことを学びたい。
- 豊かな、様々な大学でしかできない体験を積極的にとりくむ！
- 専門科目にとどまらない広い教養を身につけられるように新しいことにもおくすることなくと取り組む。
- 日本にとどまらず、世界中の多くの価値感や思想に触れ、世界における自身の立ち位置や存在意義を発見したい。
- 色々な人と交流して、幅広い教養を身に付ける。
- 自分の将来の夢の実現に向けて必要な能力の修得。
- 英語に積極的に取り組みたい。
- 自分の将来なりたいものに必要なものはもちろんのこと、それだけでなく、京大だからこそ得られるもの（人間関係、学問）を得たい。
- ・国際的な視野
 - ・コミュニケーション能力
 - ・短期、交換留学がしたい
 - ・自分でその機会を作る
- 様々な分野を複合的に学ぶこと。
- 東京大学に次ぐ、日本トップクラスの大学において、「手段」としての法学、政治学の勉強だけでなく、「目的」としての、法学、政治学を学ぶ意味を考えていきたい。また、文芸評論や公務員試験の勉強にも取り組みたい。
- 多くの友人と人生に役立つよう見識を広げていきたい。
- 海外で通用するだけの思考力と語学力を身につけたい。
- ・豊富な知識とそれに基づく多角的な視野
 - ・先生徒、学生とのディスカッション
- まだ分からない。
- 実用的な学問を学ぶとともに、一緒に学ぶ仲間たちから様々な刺激を受けたい。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- ・E科目
 - ・世界史とつながること
- 社会に出て困らないように。
- 法律のみならず、政治や歴史などの関連領域の知識も習得したい。
- まだ知らないことだらけなので、分野をしばらずに多様に学んでいきたい。
- 公共政策、社会問題の解決に繋がる経済学。
- 海外系の授業をとってみようかと思った。
- 語学力をつけたいと思った。
- 知識人としての幅広い教養。
- ・福祉
 - ・国際協力
- 学術英語。
- 幅広い知識。
- ・倫理
 - ・哲学
- 英語に力を入れているという印象を受けたので英語をきちんと学んでいきたい。
- 実践的な英語技能。
- 文系理系関係ない分野。
- ・国際的に使える英語
 - ・文系だけでなく理系の知識
- 法学だけでなく、多岐にわたる分野で学べること。
- 英語を利用したより幅広い教養科目。
- 国際的なこと。
- 英語を中心に学びたい。
- 古都京都という土地を活かし、外国の方に日本の魅力を発信できるような語学力を身に付け、日本についてもっと深く学びたい。
- とりあえず英語はがんばりたい。今まで学んでこなかった理系がやっていたような科目も余裕があれば■出してみたい。
- 国際的なこと。
- これから生きていく上で役に立つ英語のライティング、リーディング、リスニングの力を身につけたいと思いました。
- 学部は違うが経済の知識を増やしたい。
- 自らの専門とは異なる、人文系、自然科学系の学習を深めて幅広い知見を身に付けたい。
- 外国語。
- 将来につながること。
- 国際的潮流に対し得る外国語力を修得する。
- 京大に入った以上、京大ならではの授業を受けつつ、京都だけに留まらず、短期留学などにも挑戦してみたい。
- 多くの分野を勉強したい。
- 各国の政治の特色とその理由。
- 将来に役立つこと。
- 英語をしっかりと勉強して、英語で様々なことを学びたいです。
- 外国語や学際的な内容。
- 語学。
- ただ日本に閉じこもるのではなく世界により興味を持てるように、幅広い分野から知識を身につけたい。文系に限らず、E科目やILASセミナーを利用して自然科学などの授業をうけたいと思う。
- 英語力、言語力を伸ばしてグローバルに学んでいきたい。
- 日本人、京都大学生として恥ずかしくない程度の国内教養を身につけたい。
- 実用的な英語。
- 幅広く、興味のあることを全て。
- 社会人としての一般教養。
- 学部の枠を超えた学問。
- 第1、第2外国語はもちろん、その言語が話されている現地の実情もあわせて学びたい。
- 自分がやってみたいと思うこと。
- 社会の事象に対して自分で思考できる基礎教養を学びたい。
- 言語力を高めたい。
- 日本国内だけでなく海外にも目を向けて国際的なことを学びたいと思います。
- 身になること。
- 将来に役立つもの。
- 政治系のこと。英識で学びたい。
- 英語での授業を受けてみたいです。
- 文系領域にとらわれない学問の探求。
- 自分の視野を広げられるような幅広い分野の基礎教養を身につけたい。
- 社会に貢献できる人間になるために役立つこと。
- 身近なことから幅広い分野に取り組み、多角的な視点を持てるように学びたい。
- 英語、スペイン語について。
- 文学など。
- 文系理系問わず、自分の学びたいことを単位に縛られず学ぶ。
- 外国文化を深く、幅広く知ること。
- 外国語の学習をしっかりとしたいと思います。留学も魅力的でした。
- 留年しない。

- 様々な場面で必要だと感じられた語学に関する勉強を早めに力を入れて始めたいと思う。
- テストができるのとは別の実用的に利用できる英語。
- 今まで自分の興味の無かった分野も挑戦して学びたい。
- 多くの人の意見を取り入れたり、理解することは大切なので、広い見聞をもちたい。見聞を広げるために教養教育を活用したい。
- ・語学をがんばる
 - ・英語を駆使
- 国際的な力が身につく科目。
- 言語を実践的に使える技術。
- 英語運用能力を向上させたい。
- 将来、仕事に通ずること。
- 日本だけでなく、世界の文化や制度について幅広く学びたい。
- アジア史。
- 特になし。
- 英語で学ぶということ。
- 地理、歴史的なこと。
- 高校までの学習において、学ぶことのなかった分野について。
- 文系、理系の枠をこえ、興味のある分野を学ぶ。
- 興味の持てる様々なこと。
- 自発的な精神。
- 英語に特に力を入れたいですが、目玉と言われた総合科目(特にエネルギーなど)も学びたいです。
- まだ決まっていません。
- 多様な視点に立って、物事を考えること。
- 今まで学んだことがないようなもの。
- 理系、文系関係なく学びたい。
- 自分の力を伸ばすだけでなく、他人を啓蒙し、他人の力をも伸ばすことができるような力が身に付くようなこと。
- 国際経済。
- まだ何とも言えない。
- 将来のためになること。
- ・海外にも発信できる英語力
 - ・総合的な知識を元に行える考察力
- 国際人としての教養。
- 人文系科目中心(歴史、哲学)。
- 考え中。
- 英語の講義をとってみてもいいと思った。
- 英語に関して、学術英語を学んだり、readingだけでなくwritingやlisteningにもちゃんと向き合い、英語で研究、勉強ができたりするようにしたいです。
- 海外の方々の知りたいと思っている情報を適切に伝えることのできる能力を学び身につけたい。
- 特に、英語を活用するようなことを学びたいです。
- 文理をこえて、色々な分野に挑戦してみたいです。
- 語学。
- 多様な内容を学ぶことで、教養をつける。
- 文理を意識しすぎず、幅広い教養教育を受けたい。
- 社会で役に立つ学術英語。
- 幅広い教養と英語力。
- 世界の歴史と法との関係。
- 自然科学。
- 自らに新たな視野を与えてくれること。
- 英語。
- 教養科目の中でも法と関係する科目を学びたいと思う。
- 英語に力を入れて勉強したいと思います。
- 将来役に立つことだけでなく、自分の視野を広げるために必要なことを学びたい。
- 今しか学べないこと。
- ・英語
 - ・社会の仕組みについて
- 英語。
- 広い教養とともに、社会に出て通用する英語力、法学に關係する歴史などを身につけられるよう学びたい。
- 法学部の専門科目だけでは学べないようなこと。
- 実践的な英語。
- 英語をもっと学びたいと思いました。
- 世界に出て活躍するための語学力、特に英語。
- 専門教育への導入としての基礎科目と、幅広い外国語科目、また、理系科目についても積極的に学習に取り組みたい。
- ・法学
 - ・歴史
 - ・経済
- 幅広い知識を身につけ、深い考え方ができるようになりたい。
- とにかく英語。国際政治の戦略は欧米で研究が進んでいて、洋書が邦訳するのなんて待っていたら時勢に遅れるから、十分に不敵が読めるようになりたい。
- 考え中である。
- 法学部提供のものだけでなく、幅広く学んでいきたい。
- 英語の技能。
- 高等な教育を受けるにあたり、基礎教養を身に付け国際的な場に対応する能力を身につける。
- 英語を用いて新しいことを学ぶ習慣を学びたい。
- 専門的な英語や第二外国語を身に付けたい。
- 国際的にも通用できるよう学ぶ。
- 数学やデータ処理。
- シラバス見て考えます。

- ・学術英語
 - ・インターネット使用の注意点など
- 世界で通用する英語。
- 将来に役立つようなもの。
- 文系なので、自然科学系の科目を通して幅広く学んでいきたい。そしてそれを英語などを通して表現できる力を身に着けたいと思う。
- リーガルマインド。
- 英語。
- 言語。
- 文系科目に留まらない幅広い知識について。
- 世界に通用する語学力を身に付け、それを利用して法学、政治学を学びたい。
- ・総合的な分野
 - ・語学
- 世界に通じる英語力。
- 英語はもちろん、社会で役立つ知識や考え方を身につけたい。
- 英語力を身につける。
- 心理学や男女の脳の違いや、認知心理学を学びたい。
- 英語。
- 英語 (TOEFL iBT 80点)。
- 一般教養を幅広く身につける。
- 国際社会で通用する英語力。
- 将来に必要なこと。
- 具体的には決まっていないが、英語を身につけ、留学をして現地の文化や人々にふれたい。
- 経営について学びたい。
- グローバル化に対応できること。
- 英語を中心とした。
- 英語。
- 教養、知識、言語運用能力共に世界で通用するものを学びたい。
- 様々な分野。
- 含蓄のある人間になれるよう学びたいです。
- ・英語
 - ・英語以外の言語
 - ・理系科目
- 国際交流科目を授講してみたいです。
- 様々な場で活躍するための土俵をつくることの出来るもの。
- まだ決まっていないけれど、幅広い分野をうけてみたい。
- 語学はしっかりしたい。
- 英語で様々な物事を学ぶことに挑戦したい。
- ・英文学
 - ・留学
- 外国語技能を身につける。
- 世界の歴史を学びたい。
- 法学部にしばられず、文理にとらわれない、幅広い分野の教育をうけたい。
- わからない。
- まだ未定。
- 外国について、知識が深まるような講義を受けたと思った。
- 世界に出ても通用する英語。
- 自然科学系を学びたい。
- 広く一般教養を学びたい。
- 英語を通じた教養を身につけたい。
- 未定。
- 理系学部の講義。
- 色々な授業に積極的に参加したい。
- 興味のある世界史や、高校であまりやらなかった数学など。
- これから法律を専門的に学ぶので、今のうちに人文、社会学系でない自然科学分野について学習したい。
- 様々な英語書籍を読みたい。
- 文系理系という枠組にとらわれないような学習がしたいです。
- 色々。
- 高校で扱わなかった未知の学問。
- 社会貢献に直結するようなこと。
- 世界の中の日本の一員として、国際状況を常に視野に入れた学びをしたい。
- 国際的教養。
- ・一般知識
 - ・常識
- 現代の社会問題について考察したい。
- 外国について学びたい。
- 自己責任を常に意識して行動できるようになりたいと思った。
- 英語。
- 専門では学べないようなことを自分の興味に照らして幅広く積極的に学習したい。
- 英語で学ぶ講義。
- 一つのことにとらわれず広い目で学んでいく。
- 世界に通用する幅広い視点。
- 理系文野もちょっと学びたい。
- 人間としての感性等。
- 英語学習を計画的にやりたいと思った。
- 理系もふくめては幅広い分野。
- 社会に対して役に立つこと。
- 化学。
- 英語の再修得。
- 色々取りたい。
- 国際交流や、使える英語を身につけたい。
- もし将来海外で働くことになったときに役に立つような科目。

- 世界から見た日本の文化など。
- 統計学とドイツ語を学びたい。
- 語学力の強化。
- ・法学
 - ・政治学
 - ・海外で働けるくらいの語学力
- 2回生からの専門科目に備えて幅広く学ぶ。
- 日本語をもう1度考え直したい。
- 偏ることなく様々な勉強をしたい。
- 自然科学系の科目も含めた、国際社会の構成員なるに十分な学際的知識。
- 自分の興味を持っている分野について、できるだけ幅広い見識を得ると同時に、最先端の学問に触れてみたい。
- 英語。
- 学びたいと思っていた法に、色々な面からアプローチできるもの。
- 自分の希望する目標や進路に向けて確かな力をつけるための多岐に渡る教育や活動、自主的、積極的に活動や行事に参加し、実社会で活躍できるようになることに役立つこと（具体的にはまだ未定）。
- 将来役立つものとして目標となるもの。
- 将来に使うことができる実践的な外国語を学びたい。自分があたりまえと思っている日本の文化など。
- 英語の習得。
- 教養としては、法学には関係のないように思える他の科目を学び、視野を広げたい。
- 専門知識だけにとどまらない、幅広い教養を身につけたい。
- ・世界に日本を十分に伝えるために必要な英語力
 - ・自然科学や人文など幅広い分野のものなど
- 高等学校での教育とは異なる専門科目に加えて、国際社会に必要とされる英語教養を学びたい。
- 教養教育を通じて、世界に対して広い視野を持つよう様々なことについて学びたい。
- ・文化
 - ・自然科学
- 法律や英語。
- 国際社会で活躍できるように語学を中心的に勉強したいと思います。
- 外国人とふつうに話せる語学力。
- 自分の英語の力をより強化することができるようなこと。特にWLの力をつけられるようなことを学びたい。
- 英語をきちんと学びたい。
- 英語を特にがんばりたいです。
- 文系、理系に関わらず、幅広い知識と、それを生かす方法を身につける。
- 専門科目を学ぶ際の糧となるような幅広い教養を身につけられること。
- 外国語を学んで留学したい。
- 1つの分野に執着するだけでなく、幅広い学問を学びたい。法学部ではあるが歴史なども勉強したい。
- 学部が専門とするものの枠を超えたこと。
- とりあえず語学を身につけたいです。
- 幅広い分野について学び、自分の将来の進路にかせるようにしたい。
- 法学にとどまらず、文学や世界情勢など。
- 英語力を身につけたい。
- 幅広い分野に精通しつつ、法学について濃密な知識を学びたい。
- 国際的に活躍できるような人材になるために語学の力をつけたい。
- まずは自分が興味のあることからいろいろな知識を広げていきたい。
- 英語。
- 将来役立つことにとどまらず人間的深みが得られるようなこと。
- 現代の世間をとりまく諸問題に取り組むための幅広い教養、及びその手段としての語学。
- 国際政治。
- 幅広い分野の科目を学びたい。
- ・社会に出て仕事で役立つ教養
 - ・世界に出て役立つ教養
- 細かな事柄にとらわれず、幅広い知識を身につけたい。
- 様々なこと。
- 英語教育が改革されたことをチャンスととらえて英語を用いる力をつけたい。
- 英語を通して世界について学びたい。
- 幅広い知識を吸収したい。
- ・英語で学ぶ全学共通科目
 - ・系統講義京都でアジアを学ぶ
 - ・国際交流科目
- 国際的に通用する教養人となるべく外国語や外国の歴史や文化について学びたい。
- 国際的な問題への取り組み方。
- 自分の好きな科目を受けつつ、英語をしっかりと学習しようと思う。
- 将来に役立つことを学びたい。
- 知の土台。
- これから社会に出ていくうえで、社会の向上につながるような教養を学んでいきたい。
- 英語を用いた授業。
- 未定。
- 高校で学んだ内容についてはさらに深く学び、学んだことのない内容についても学びたい。

- 将来の人生設計の糧となるものを学びたい。
- 学際的にまなび立派な教養人となるようなことをまなびたい。
- たとえば新聞などを読んであらゆる内容とトピックに対しても自分の考えをのべられる、またそれを理解するための素地がしっかりしていることを目標にして、幅広い文理をとらない教養を身につけたいと思います。
- 英語技能の向上のために学習したい。
- まずは1回生で短期留学に応募したり、法律を中心に幅広く学びたい。
- 自分の視野を広げられるように様々なことに取り組む。
- まずは幅広く学び、関心のある分野を深めていきたい。
- 教養科目として、理系の内容を含むものにも積極的に参加したい。
- 英語。

- 世界に貢献できる知識を身につけられる勉強をしたい。
- ・人文、社会学系（特に歴史）
 - ・高校や大学入試で選択しなかった日本史を学びたい（日本人として）
- 世界の歴史や現在の世界について。
- 特に英語の能力向上を目指して英語を重点的に学んでいきたい。
- 今まではできなかったようなこと。
- 総合的な学力、専門に入る前の土台。
- 芸術学など人間に関わること。
- 哲学や思想など、考える楽しさがわかるもの。
- 京都大学の学生として恥ずかしくないように、多種多様な分野の学問を学びたい。
- ・英語
 - ・倫理学
- まだ分からない。
- 様々な分野の知識を身につけたいと思った。

(5) 経済学部（アンケート提出率 90.2%）

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 国際的な交流への手助けを求め、それに基づいて留学に取り組みたい。
- 好きなことを学習する状況。
- 幅広く教養を身につけるため、数学や英語といった科目以外にも、哲学や美術といった科目にも積極的に取り組みたい。
- あらゆる学問に興味を持ち、自分の可能性を広げていきたいです。
- 多様な個性を持った人々と刺激し合い、新しい価値観を築きたい。
- 世界に通用する教養。
- 海外でも通用する英語力をつける。そして幅広い教養を身につけ、実力を上げる。
- 次のステップにつながる学習。
- 自分の専門科目だけでなく、アメリカのリベラルアーツカレッジのように様々な分野を自由に学べることを期待しています。
- 自分が興味をもったこと、疑問に思ったことについてとことん追究する。様々な分野を幅広く、また深く学ぶ。
- 海外に出ることが出来る英語力、経済学についての幅広い知識、をつけること。
- 国際的な視野で幅広い教養を身につけることで、グローバル社会で活躍できる人間になること。
- 国際的な視点で金融関係のことを学ぶこと。
- 国際的な人になるために頑張る。
- 流学をして、幅広い視野を身につけたい。
- 高めあえる友人から刺激をうけつつ、幅広く学びながら将来の目標を見つけたい。何事にも積極的に挑戦したい。
- 日本を動かす立場に立つために必要なこと。
- 国際的な視点を持ち、途上国の貧困などに目を向け、その解決法を模索する。
- ・高度な知識
 - ・社会に役立つこと
 - ・人間関係
- 留年しないようにがんばりたい。
- 高校までとは違って、専門的な勉強とより実践的な学習を求め、積極的に学問に取り組みたい。
- なりたい自分を実現する手段を求める。
- 幅広い分野を学びたい。
- 色んなことに興味を持って、専門分野を中心に様々な分野の学問に接したい。
- ・クラブに打ち込みたい
 - ・留学
- 幅広く学び、視野を広げる。
- 与えられた環境、チャンスをつとに十二分に活用する。
- 国際的に活動できるようになるための準備。

- 文系、理系の区別にとらわれず、自分の興味のあることにはどんどん取り組み、人間的に成長できる人間になりたい。
- 高校ではできなかったことがやりたいです。
- ・自分の世界が広がること
 - ・行動経済学
- 経営学。
- 色々な人との出会いや、やりたいことの発見。
- ・規則を守る
 - ・好きなことを見つける
 - ・好きなことを学ぶ
- 語学力（英語）をつけて、将来の足がかりにしたい。
- 勉強を真剣に取り組み、人との関わりあいも大切にしたい。
- 自分の興味のある分野を集中して勉強できる状況を求め、そのような分野を早めにみつけてがんばってとりくみたい。
- 特定の分野に捕らわれない幅広い学習。
- 国際的に交流して、視野を広げたい。
- ・英語を使えるようになる
 - ・資格をとる
- 高度なレベルで自分の興味を追求し、国際的な場で自分の技能を発揮できるようになりたい。
- 履修科目などの学内での学びを充実させるのは勿論、学外でも自分の目標を立て、努力を続ける。
- 経済についての勉強とすばらしい能力を持った人との交流。
- 留学生と話してみたいと思いました。
- ・充実した大学生活をおくりたい
 - ・専門的なことを学びたい
- ・グローバル社会に対応できる英語力
 - ・情報を見極める力など
- 自分で何にでも積極的に参加して、自分の興味のある分野を見つけたい。3回生で半年くらい留学して、広い視野を持ち、教養を身につけた人間になりたい。
- 経済学の視点から、将来格差の是正に貢献できるように、必要な知識と経験を身につけたい。
- 多様な人と出会い、色々な価値観を知りたい。先進的な学問も学びたい。
- 外国人と会話したりTIMESを読む際に困らないような英語力を身につけたい。
- リスニングとスピーキングが苦手な、今までなんとかして避けてきたが、これからは避けては通れないものになっていくので、英語の運用能力をつけていきたい。また、自分の意見を自分で展開していく力を求めている。
- 世界に打って出る力をつける。
- 自分の学問的興味の追求。
- 経済に関する知識を深めたい。
- 世界で通用する人間になりたい。
- 語学力を高めたい。
- 経済のおべんきょう。
- ・英語を話せるようになる
 - ・経済、経営に詳しくなる
 - ・できたら留学
- 社会人になる上で必要な能力、幅広い教養、語学力の充実と、対話力の向上に努めたい。
- ・国際的な視点を持つ
 - ・留学に向けた語学力向上
- 今しかできない、やりたいことを、やりたいようにやる。
- あらゆる能力の向上。
- 自分の学びたいことを見つけ、それに精一杯とりくむ。
- 勉強、部活動など色々なことに取りくんで、毎日を充実したものになりたい。留学できそうな部活だったら、留学もしてみたい。
- 総合大学として、学際領域において有機的な学問。
- 日本の政治、経補の仕組み、制度について学びたい。
- 自ら進んで学ぶこと。
- ゲーム理論の研究。
- 私は将来BOPビジネスを展開したいと考えているので、まずは経済の知識を身に付け、そしてその知識を経営学に生かし、どのように貧困を経済的アプローチで解決するか取り組みたい。
- 専門分野を中心に学問の探究をし、今後の生きていく上でも指針となるような学習をしたい。
- 自由の幅広い一般教養を身につけたい。
- 将来生きていく上で役立つ力を身につけたい。
- 経済学を学んで社会の役に立ちたい。
- 専門分野以外の分野も学び、いろんな視点から専門分野を学びたい。
- 他大学ではできないような学習や、世界で通用する語学力や知識を得たい。
- 独創性を特に強く求め、現在では生物学と経済学をハイブリッドさせた新しいアプローチで環境問題の改善に取り組みたい。
- 自分が社会の役に立つための知識、技能、運用能力を身につけていきたい。
- ・人間としての成長
 - ・興味ある学問を深める
- 恵まれた環境を生かす！！
- 自分の好きな科目（数学、英語、地理）をとことんやりたい。海外留学に耐えうる英語力の発達の助け。
- 教養を身につけたい。
- 海外で使える英語。

- 小、中、高ではただ受身で、学校が言うことに従っていたので、これからは自ら考え、積極的に、今までやったことのないことに挑戦したい。その中でも特に英語で話す、書くといった発信にとりくみたい。
- 幅広い分野に触れて、将来の選択肢を増やしたい。
- 総合大学の特徴を活かし、多分野にわたって知識を得たい。
- 広範囲に渡る分野に関する知識の函養。
- 広範な見識を持ち、広域な知識を用い、広大な胆識を育てる。
- 語学をがんばりたい。
- 幅広い知識。
- より深い知識を得るために、自主的な学習に取り組みたい。
- 語学。
- 人間的成長と広い交友関係を求め、自主的、積極的に文系理系にまたがった学習に取り組みたい。
- 経済学や教養をみにつけ、語学力をつける。
- 様々な知識の吸収。
- 高校では学べなかったようなもの。
- 卒業するまでに勉強ちゃんとしていい経験も作りたいです。
- 経済だけでなく、幅広い分野の学習。
- 自分の将来やりたい仕事を見つける。
- 英語。
- 海外留学。
- ・議論して議案を深めあう力
 - ・政策の是非を考えるための基盤となる知識
 - ・海外の情報を受信、発信する英語能力
- ・教養
 - ・英語
- 人との議論。
- 社会に出て通用する力。
- 様々な面から物事をとらえ、国際問題の解決などに尽力できる人になりたい。留学もしたい。
- 自由な思考を求め、自由な活動に取り組みたい。
- 文理にとらわれず幅広く学びたい。
- 英語の運用能力を高めるために、英語での授業や、留学に取り組みたい。
- 経済学以外にも広範囲な知識を身につけて、グローバルに活躍できる力を取得したい。
- 自分の興味のある分野を深く知る。
- 国際的な学習に興味がある。留学もしてみたいです。
- 人に頼りすぎず生きていくこと。
- 日本を超鉄道国家にする！
- いろいろなことをがんばる。
- 自分の知らなかった分野についても理解を深めたい。
- 専門的な学習を真剣にできる環境。
- 経済の仕組みについて学びたい。
- 専攻に拘束されず、多様なことを学び、グローバル人材となる。
- 主として、英語を海外で使えるようにして、留学していきたい。
- 社会に出た際に、京大というネームバリューが必要のない程の教養とコミュニケーション能力をつけること。
- 自由な校風の中で、さまざまなことに対応できる能力。
- 全般的な教養と深い理解。
- 友人関係や、思考力、経営学に取り組みたい。
- 様々な価値観と触れ合いたい。
- 語学の強化にとりくみたい。
- 実践に基づいた視野の広い学習。
- ・多様な価値観との出会い
 - ・行動経済学などの、人の心理と行動及び個人々の幸せの実況
- 国際協力に役立つ経済政策、企業経営について学びたい。地球市民としての教養→異文化理解、文化相対主義の考え方。グローバル社会の平和と安定、発展に貢献したい。
- 経済についてだけにとどまらず、様々なことを学びたい。
- 幅広い一般教養と、専門的な内容の両立、相互的な補完。
- 高いレベルの人たちとの出会いを通して、様々な学習を行い、考えを深めて、教養を深める。
- 自分で課題をみつけてその答えを求める力をもにつけたい。英語力をつけたい。
- 色々な機会を求め、それに取り組み、自分のしたいことを見つける。
- 人の役に立つような経済を学びたい。
- 様々な分野に触れ、体験を行おうと思う。
- 外国の人々と交流したりしたいです。海外留学にも興味があるので英語学習に重点を置こうと思います。
- 専門性の高い科目を勉強し、また積極的な態度で勉学に臨む。
- ・経済学の専門知識
 - ・国際的な視野
- 自身が勉強する目的をはっきりとさせること。
- 新しいことを学ぶこと。
- 自分のやりたいこと、なりたい職業を見つけ、その実現への勉強をする。
- 国際社会で戦っていくためのベースを学びたい。
- 国際的な視点を育てていきたい。
- 最高レベルの教育を生かして、意欲的に学ぶ。
- 取り組むべきことを見つけること。

- スポーツを用いた外交の発展及びそれに対応するための国内的制度整備という二つの事業を遂行するための教養の獲得。
- 狭い視覚にとらわれない自由な学びを求め、広い分野での知的探究に取り組みたい。
- 高等教育を受けた人間として適切な教養を有し、専門技能を活用できる能力。
- オリンピックに向けての日本の経済の動きを研究したい。
- 知的な面白さと充実して人生を送るのに必要な力の獲得。
- 文理の境を越えた、現代社会に応じた学習。
- 資料や研究に必要な知識を求め、観光経済学を学びたい。
- 自分の興味のあることを深く学びたい。
- 色々な能力をもった学生、教授方から多くの学問的刺激を求め、積極的に学問の追求に取り組みたいと考える。
- ・「知」を求めたい
・自らの専門を決め、勉学にはげみたい
- 色々学び知見を広げつつ経済学を学びたい。
- 自分の進む方向を見つけること。
- 人間的な成長。
- 自分は今まで何となく生きてきてここにたどりついてしまった。大学では幅広いことに興味を持ち、自分の視野を広げたい。国境を越えた交流も積極的にしていきたい。
- 高校時代とは違った自主性を求めたい。
- 最終的には世界を視野に入れてエネルギー問題を経済的な視点で考えたい。そのためにまず学習の道具としての英語を学び、経済の基本的なことを理解したい。
- 新しいことを求め挑戦していきたい。
- 自分の夢に向かって進む。
- 今までにしたことのないことを経験したいです。
- 資本主義の限界。
- 機会を求めます。それを積極的に利用する取組をします。
- ・中国より優れて、自由な学習環境
・さらなる世界への可能性
- 自学自習。
- 自分の興味、向いていることを見つける。
- 海外留学等を通して国際的な視点を持ち、海外での実践を視野に入れた知識の習得。
- 大学でしかできないことを見つけ興味をもって積極的にとりくみたい。
- 自らの将来に資する活動に取り組みたい。
- 自分のやりたいことを探求する。
- 多くの教養知識を知り、世界における経済の変遷を学びたい。
- 経済についてよく学びたいです。
- 自由の校風の京都大学で、トップレベルの学問や様々なサークルにチャレンジしていきたい。
- 専門的な経済学の学びを求め、最終的には国家公務員や公認会計士になるのに使うことのできる知識を得ることに取り組みたい。
- 幅広い視野と柔軟さを求めて、様々なことに興味を持つことと、英語が話せることに取りくみたい。
- 知的な刺激を求め、新たな視野の開拓。
- 短期留学を1回生でして、2回生で交換留学をする。経済について世界で学びたい。
- 多くの人と出会い、いろいろな事柄について話し合ったり、考えを深め合ったりする。
- 幅広い人脈形成や答えが簡単に出ない問題に対する忍耐力と高度な思考力の獲得。正課の授業はもちろん、大学でしかできないことにも取り組み、人間として大きくなりたい。
- 国際的な視野を身につける。
- 自分が興味をもてる分野を見つけて、そこをつきつめる。
- 積極的に取り組みたい。
- 将来自分の役に立つことを求め、自分の力を伸ばすことができるものに取り組みたい。
- 自由に学ぶこと。
- 広く学んだ上で自分の決めた分野に集中したい。
- 自学自習の学風の下で、自ら積極的に学び、より多くの知にふれたい。
- 世界の諸問題を考察する上で必要な知識を学ぶ。
- 英語力を養い、国際的な視野をもって経済理論を学びたい。
- 経済の金融工学等を学びたい。
- 自分を内観する視点と外を見る視点の二つを同時に養いたい。それには知識と経験が必要。いろいろ手を広げてみたい。
- 教養ある大人になるための知識と経験を求めます。毎日の講義、自学自習のみならず、国内、海外で今までやったことがないことに挑戦したい。
- 国際交流。
- 現代の資本主義体制内での課税など社会主義的制度を見直し、所得格差の是正の方策を模索したい。
- 部活と学習をきちんと両立させ、将来につながるようにしたい。
- 勉強をがんばりたい。
- 留学のためのTOEFLの勉強。
- 幅広いことを学びたい。
- 広い視野をもてるように幅広い知識、正しい発信方法を学んでいきたい。
- 英語力を高めたい。
- 国際経済の全盤についての理解を深めたい。

- コミュニケーションがとれる程度の英語を身につけ、様々な教養をつける。
- 2030年、2050年の日本の予想。日本の求める人材ではなく、海外（シンガポール、米国等）の求める人材となる。
- ・英語
 - ・心理
- 留学を含め、英語力の向上。
- 自分から学ぶこと。
- 自分で極めたいテーマややりたいことを見つけて、取り組んでいきたい。
- 文武両道。
- 多面的に考えられるように、知識と様々な人の話を聞きたい。
- 自分の視点を広めたい。

- 社会に出た時に役立つ知識、思考方法を学ぶ。
- ・将来使える英語力の養成
 - ・日本経済や世界経済について
 - ・主に経営関連
- 国際情勢に関することへの学習を求める。英語学習に力を入れ、留学もしてみたい。
- 社会に貢献できるスキルを身につける。
- 英語を話せるようにしたい。
- 会社経営について学び、将来のために留学などにも挑戦してみたい。
- 様々なことを学んで、自分の可能性、選択肢を広げていきたい。自分の学部の専門的な内容だけでなく、例えば理科系の授業とか文学とかも学びたい。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 学術英語。
- 社会で生きる英語。
- 特に国際問題に関わる事柄を学びたい。
- 英語を始めとして、様々な分野。
- ・苦手な英語を克服したい
 - ・東アジア、東南アジアについて学びたい
- はば広く様々なこと。
- 様々な人々、物事を幅広く学ぼうと思った。
- 文理問わず幅広い分野のこと。
- 経済とは一見関係ないような異分野を中心に勉強して、それらを組み合わせて将来へつなげたいと思います。
- 英語を通じた、海外との交流。
- 英語を使えるようになった上で、しっかりと専門科目をしっかり学びたい。
- 国際的な金融について。
- 英語を中心とした外国語の教養を重点的に身につけていきたい。
- 世界に通用する学問。
- 経済学にとらわれず、理系関係も積極的に取り組みたい。
- 社会の一員としてより良く生きるために、経済、法、日本語、英語など、幅広く学びたい。
- とにかく外国語の勉強を頑張る。途上国でたくさん話されているフランス語とスペイン語の修得に力を注ぐ。
- 長期的に見て自分の力になること。社会の役に立つこと。
- 国際的に生き抜いていく力。

- 英語を書き、話し、聞き取る能力を身につけられるようにがんばりたい。
- 直接実生活で役に立たないと思いがちでも、知識を深められること。又、海外においてのみ知れること。
- 社会全体に関わる問題に取り組める科目。
- 世界に通用する語学力を身につけたい。
- 理系の分野にも属するようなこと。
- 国際問題。
- 英語を中心に、広いはんにで色々なことを学ぶ。
- 国際的なものを含め、幅広く学びたい。
- マーケティングなどを学びたい。
- 英語。
- 話す英語を身につける。
- ・日本の政治、経済についての問題
 - ・英語
- 視野が広がるような科目や関心の持てる科目の基礎知識を学びたい。
- 社会で働ける人になるための常識。
- 語学力。
- 経済にかかわることはもちろん、幅広いことを学んでいきたい。
- 国際的な視野をもてるような科目を積極的に学びたい。
- 社会に出てから役立つ全般的な力。
- 日本のことだけでなく、国を超えた思考をできるようにしたい。
- 国際社会で使える英語力。
- 英語をしっかり学びたいと思いました。

- 教養としての知識は幅広く、経営や経済に関する知識はほとんどん追求し、積極的に自分からアクションを起こしたい。自分の時間を使って小規模なビジネスにも挑戦したい。
- 国際人になることが大切だから、語学のレベルを上げておく。自分の武器となる分野をもつ。経営を学びたいです。
- 自信を持って海外に行けるように英語を学びたい。
- 英語をくわしく学びたい。
- ・実用的な英語
 - ・将来の仕事、TOEFL、TOEICに役立つもの
- 世界の文化などを学びたい。
- 一般入試生との基礎学力の差を埋めたい。
- 留学等で自分の視野を広げたい。
- 社会に出て困らないような経済学の知識、考え方を身につけたい。
- 教養人としての力をつける。
- 文理の壁を越えた教養の本質。
- 世界に出ても恥ずかしくない知識や経済の専門知識。
- ・英語の文献を読むリーディングの授業
 - ・経済学部以外の他学部が主にしているような内容の授業
- 英語。
- 語学。
- 異文化について。
- 社会人になる上で必要な能力、幅広い教養、語学力の充実と、対話力の向上に努めたい。
- できる限り多くのこと。
- 国際感覚や、日本に対する理解。
- 国際社会で通用しうるような英語力の向上。
- 英語を使いこなせるようにする。
- 今後、日本の世界的地位が下がっていく中で、どう生き残っていくか。
- 理系学系。
- 京大でしか学べないこと。
- グローバル。
- 英語が好きなので、三カテゴリー全てのE科目を選択したいと考えている。ほかにも経済の基礎を学びたい。
- 文系理系の枠にとらわれずに、広い教養知識を身につけたい。
- ・人文系
 - ・語学
- 高校では文系科目がメインだったので、理系の分野を積極的に学びたい。
- 英語以外。
- 自分とは違う価値観や物事の見方、広い視野。
- 高校では文系に属していたので、大学では理系科目にも取り組みたい。特に生物と地学には興味があるので、積極的に取り組みたい。
- 日本最高、世界屈指の高い水準の教育環境の中で、目先の目的に留まらない学習をしていきたい。
- ・広い視野
 - ・多角的な考え方
- 自分の好き嫌いで学ぶことを決めずに、広く様々なことを学びたい。次々に変化していく社会においていかれないように、一人前の大人として、十分な教養を学習したい。
- 英語をがんばりたい。
- 将来の自分に役立つこと。
- 英語。
- 英語でのコミュニケーション。
- ・使える英語、リスニングの向上
 - ・海外留学の時に恥じない一般教養
- 語学を最重視したい。
- ビジネスで役立つ英語力を最底限身につけたい。
- 世界に通用する語学力。
- 留学生と交流できるレベルの英語。
- 語学をがんばりたいと思った。
- 英語で行われる授業。
- 社会人としての一般的な知識を学びたい。
- 日本と世界のつながり。
- 幅広い教養。
- 広い視点で学問をとらえたい。
- ひたすらに英語。
- まだ考えています。
- 語学、社会学など国際的な学問。
- 英語を話せるようにする。
- 自立した人間になる方法。
- 英語力。
- ・世界を舞台に活動できる英語能力
 - ・現代社会の問題に対応するための文系、理系の壁を越えた知識
- 英語。
- 幅広く、深く、考えること。
- 英語。
- 世界で通用する英語力を身につけたい。
- 将来の役に立つこと。
- 英語の重要さが分かったので積極的に学びたい。
- 学術英語を使いこなせるようになって見聞を広げ自分の価値観などを見つめなおしたい。
- 国際社会の中で活躍できるような知識、能力（特に経済学）。
- 文系科目はもちろん、普段学べない理系科目も学んでみたい。
- 言語学習や人文社会系の教養を学びたい。
- 言語学。

- タノシイコト。
- いろいろとする。
- 国際交流。
- 海外留学に向けた語学。
- 第2外国語。
- 専攻とははなれたことを学び、多様な知識を習得する。
- 英語だけでなく中国語も学びたい。
- 他者との交流に有効な知識、道具としての知識をつけたい。
- 幅広く、文理問わずに、知識を多く身につける。
- 実践的な英語運用能力。
- 経営学。
- 少しでも関心を持ったこと。
- 出来る限り広い範囲の知識を身につけたい。
- まだ決まっていません。
- ・英語をはじめとした外国語によるコミュニケーション
 - ・常識
- 英語に力を入れたい。
- 幅広いことを学びたい。
- ・大学を卒業した者として恥ずかしくない一般教養
 - ・国際交流に実用できる英語運用能力
- 自信をもって世界で生けるような幅広い知識。
- 自分に興味のあること。
- ・数学
 - ・ドイツ語
- 英語力の養成の上、グローバルな視点で視野を広げようと思う。
- これまででは学べなかったことについて積極的に学習しようと思います。
- 経済学のみならず、自然科学の知識も学びたいです。
- 自身が所属する文化について自覚、説明できるよう学ぶ。
- 海外でも活躍できる技能を学びたい。
- まずは広い分野を学びたい。
- 語学、世界の伝統などITについても学びたい。
- 社会に出て役に立つものだけでなく、深層に迫るようなことを学びたい。
- スポーツを用いた外交の発展及びそれに対応するための国内的制度整備という二つの事業を遂行するための教養を獲得するに堪えるような教養の獲得。
- 自分が元から学ぼうと思っていた交通論につながるものだけでなく、興味のあるところは一通り見てみようと思う。
- 主に社会学関係を学びたいが、文系科目だけでなく理系科目も学んでみたい。

- 英語で不自由しない力。
- 経済だけでなく多くの分野について問いを立てていきたい。
- 語学よりはまず経済学などの知識、教養を地道に獲得し、理解、研究することを優先したい。
- 現代社会を正しく理解する方法。
- ・国際経済学
 - ・ゲーム理論
- 経営。
- 世界に通用する人材となれるように各方面の教養を身に付けたいと考える。
- 文理関係なく学びたい。
- 将来は経済系の職に就きたいので、それに関連しそうな、ことを学びたい。
- 自分と社会のためになること。
- ・日本のこと
 - ・理科
- 国際社会で将来生きるのに必要なこと。
- 1回生で英語を特に集中的に学び、2回生以降で英語で学ぶ科目をとる時にスムーズに学習できるようにしたい。
- 自分の専門分野の知識をひきのばせるようにしたい。
- 基礎知識や多角的思考能力。
- 社会に貢献するために必要な知識を学びたい。
- 語学力を身につけ、様々な文献に触れたい。
- 英語をのびたいです。
- 経済のみならず、社会、法学のほか、自然科学にもふれたいと考えます。
- 学ぶこと。
- 国際的な視点をもつこと。
- さらなる英語の力を身につけスピーキング力をきたえたい。
- 学部で学問だけでなく広く物事を学びたい。
- 未来の飛躍の基礎。
- 人生のかてになることを学びたいです。
- 日本で生きていくための知識。
- 海外のトップ大学に引けをとらないような英語や、文系科目をこえた理数的教養。
- 英語を中心として、文、理、こだわらず、幅広い教養を身につけたい。
- ・言語
 - ・心理
 - ・数学
- とくに英語。自分の学部に関係がなくても進んで学びたい。
- 自分の興味ある人文系の事柄を、英語を使って学んでみたい。
- 未定。
- 国際交流。

- ・英語に力をいれたい
 - ・文系、理系の枠にとらわれない人となるために幅広い授業を取りたい
- 英語に力を入れて、英語の技術をみがきたい。
- 様々な分野を学びたい。
- 将来役に立つようなことを学びたい。
- 実用的な英語。
- 英語を使った授業を学びたい。
- 自分の興味に基づいて徹底的に学びを深めていきたい。特に理系科目に積極的にとりくみたい。
- 学部にかかわらず、幅広い知識を身につける。
- 思学の基本となる(雑な?)知識を存分に吸収していきたい。
- アジア、日本について学びたいと思う。
- 語学力を前提とした専門的経済学。
- まず基礎として学術英語の能力をつけたい。同時に、宗教や思想、哲学といった自分の関心の向く分野を学びたい。
- 学術英語をしっかりと身につけたい。
- 異文化理解及び自然科学。
- 経済系のをがんばりたい。

- 経済。
- 中国行きたい!
- 所属学部を問わない幅広い教養の涵養につとめる。
- 経済にまつわる様々な分野の教養教育を受けたい。
- 英語を使って学ぶ授業。
- 幅広く、様々な分野を学んで、教養を身につけたい。
- 英語の技能を鍛えたい。
- 幅広い多くの知識を得たい。
- 世界から見た日本。
- 学術英語。
- 経済に限らない、国際情勢に関すること(政治、法、文化、歴史)。
- 国際社会で役立つ教養を身につけたい。
- 英語でのコミュニケーションのとり方。
- 英語を頑張ります。
- 英語は、しっかりと勉強して、将来的には留学や、海外インターンシップの参加を目指したい。

(6) 理学部 (アンケート提出率 96.2%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか?

A. 以下のとおり

- 様々な分野の学問を勉強したい。
- 研究者になるために必要なことを学び、人間的にも成長すること。
- 周りの友人や留学生と交流し、対話しながら高校よりさらに専門的な内容を学んでいきたい。
- 高いレベルの教養を身につけて化学系のことに取り組みたい。
- 自分の興味のあることを求め、興味のあることに取り組みたい。
- ・鳥類学、生物学を詳しく学びたい
 - ・英語のスキルを向上させたい
- ・読書
 - ・部活
 - ・勉強
- ・海外留学
 - ・専門で強くなる
 - ・理系の専門を持ったグローバルな人材
- 自分が興味をもてる学問を見つけ、それについて学ぶ。
- 社会に役立つこと。
- ともだちがほしい。
- 自分が興味のある分野を見つけるために、幅広い知識を身につける。
- 興味のある分野の学習。
- 自由に行動ができる大学のため自分の少しでも興味があることには積極的に自分からチャレンジしていきたい。
- 周りのレベルの高い学生との交流を通して自分の学力その他の能力の向上に取り組みたいです。
- 高校でできなかったようなこと(実験とか)をしたい。自分から進んで勉強をしたい。
- 世界に通用する英語力を身につけ、専門分野での学力を高める。
- 気象のことを積極的に学んでいきたい。
- とりあえずさまざまな理学的なことにふれて、じぶんが最もきょうみのあることをみつきたい。
- 色々な考えを持った人と友達になりたい。
- 物理を勉強したい。
- ・自分の進む道を見つけない
 - ・とりあえず興味のあることの知識を更に深めていきたい
- 大学でしか学べないようなもの。

- 社会に出てから必要な能力をみにつけること。自分が興味をもったものには積極的に取り組みたい。
- 様々な人の考えを吸収して、それらを活かした研究をしたいです。
- ・多くの分野に触れたい
 - ・最先端に近い知識の獲得
- おもしろい人と自分から会いにいったら、おもしろいことを見つきたい。
- 様々な学習を行い、自分が興味のあるものを見つける。
- 高度な学問的追究をしたい。
- 数学、物理の基礎を学び最先端の研究をしたい。
- 高度な学術的内容を学び、将来の研究につながることを。
- 豊富な知識を求めています。自分のかてとなるような知識をできるだけ身につけていく。
- 高度な内容の教育。
- 広い分野を学びたい。
- 深く知識を得て、それをもとに考え、新たな知識を生み出したい。
- 未だ知らないことを数多く知り、国際社会と交流し、高い教養を身につけ、社会に還元したい。
- ・数学について奥深く学びたい
 - ・英語を話せるようになりたい
- 幅広い教養科目から、様々な分野の学問を学びたい。
- 英語学習に力を入れ、それを話せるようになる。
- いろいろな分野について学びたい。
- 自調自考自学。
- 自分の学びたい学問を深く深く学びたい。
- 良い知を求め、良い知を育みたい。
- 今まで学んできた自分の知識を深め、新しいことを発見したい。
- 数学と物理に力を注ぎたい。
- 物理の素粒子や重力について学びたい。
- 数学を極めたい。
- ・自由な学びの場
 - ・たくさんの分野を知りたい
- 自分の将来進む道を見つけ、そこを進んでいきたいです。
- 学問を本質まで見通す力を与えてくれるような授業。
- 知的探求心を高め、あらゆることに挑戦する力。
- 自主的に学ぶ。
- 面白い分野と沢山出会うことを求め、積極的に自分の考えを発信できる学生になれるよう努力したい。
- 研究者となるための能力を身につける。
- 外国語の能力を向上させたい。
- 化学分野と苦手な英語を勉強し、海外でも通用するような英語力と科学的思考力を身につけたい。
- 何を学ぶべきかを学びたい。
- 自由で主体性のある勉強。
- 自分が将来取り組むであろう課題を見つけたい。
- 努力できる人間になること。
- 自分の興味のある分野だけではなく、幅広く学問をする。
- やりたいことをやるための準備をしたい。
- 自由に、自分の興味のある分野を好きなだけ勉強したい。(今のところ、物理中心)。
- 新しい分野を求めて、様々な理系分野にとりくみたい。
- 学びの場を求めて様々な分野を学びたい。
- ・勉学
 - ・研究 (特に数学)
- 数学がしたい。
- 英語力と専門の知識を身につけて、国際的に活躍できる人間に。
- 京都大学で討論を出来る仲間をつくり、勉学に励げんで留年しないようにしたい (注)。
- 圧倒的に大きな何かに出会いたいです。そのために、1つの分野を極めたいと思います。
- 科学分野でトップクラスの研究者になるための学習。
- 気象学に興味があるので、気象について深く学ぶとともに、その基盤となる幅広い科学の知識を身につけたい。また、外国語に力を入れて、国際交流を求めていきたい。
- 議論しあえる友人等。
- 自分が知らないことを知っている人と知り合い、互いに知っていることを情報交換する。
- 将来につながる体験、経験、学習、活動をしたい。
- 数学を中心とする自然科学関連を学びたい。
- ・自由
 - ・勉強
- 研究の最先端に触れ、学ぶこと。
- 専門の科目に関わらず広く知識をつけたいと感じた。
- 自分の学びたい学問を学ぶために様々なことを学ぶ。
- よく学び、よく食べる。
- ・英語の学習
 - ・高度な理学の学習
- 高い学力。
- 最先端の研究。
- 京都大学ならではの国際教育を受けたい。
- 物理、数学や哲学(知識論)などいろいろ勉強する。僕と同じように研究職を志す仲間ができればと考えている。

- 語学力の強化をする。また、自分の知らない世界を知っている人と出会いたい。
- 最先端の教育を求め、自ら深く探求していきたい。
- 数学を学びたい。
- 将来専攻したい分野を含め幅広い教養を身につけ、将来の研究等に役立てる。
- 2回生ままでに数学物理の基礎を学び、3回生以降で専攻する分野を決めて専攻したい。
- 様々なことについての視野を広げて自分の知識や考えを深めたい。
- 様々なことを学んでいく中で何かインスピレーションを受けることを求める。そこから学びを深めたい。
- 自分の興味がある数学を中心として、多方面の様々な内容を学んでいきたい。
- ・自分の学びたいことを見つけて、それに向かって勉強する
 - ・勉強の他に、何か1つ熱中できることをつくる
- 大学に残ってずっと研究に携っていたいので、理科系の科目を中心に勉強したい。
- 幅広く教養を身につけ、それらをまとめ上げたい。
- 自分の興味のある分野を中心に、理学に関する様々なことの学習。
- まだ決まってません。
- 私は、生物学者になって、研究をしたいと考えているので、そのために、自然科学だけでなく、社会人間科学や、語学もきちんと学んでいきたい。
- 宇宙と生命の起源を求める研究の礎をつくる。
- 勉学に励み、自らの将来を切り拓いていく。
- ・新しい知識を得たい
 - ・高校では学ばなかったことを学びたい
- 自身の身体と思惟が各々いかなる構造をもって互いに関係しうるか、そしてそれが自らの外部にいかに関与するかの問題を、計算物理的アプローチで検討していきたい。
- 語学力。英語だけでなく他の外国語も出来るようになりたいです。
- 数学。
- 幅広い知識を身につける。
- 幅広い教養を身につけつつ、専門科目についてもよく学び、それを英語で発表できるようにしたい。
- 生物学のフィールドワーク。
- 理学という枠にとらわれず、幅広い教養を身につけ、自らの専門へと進んでいきたい。
- ・自分の好きな学問をきわめたい
 - ・未解決問題等の考察もしたい
- 留学。
- 高度な教育、レベルの高い仲間。自分の将来を輝やかしいものにする知識を身に付けたい。
- 幅広い知識を得たい。
- 自分の進路の手がかりを求め、いろいろなことに取り組みたい。
- 自分のやりたいことを飽きるまでやりたいです。
- 数学や物理の専門知識を身につけて、新しい発見をしたい。
- より良質な学び、高度で最先端の知識の探究。
- ・物理、数学について学び、深く考えたい
 - ・おもしろいことに取り組みたい
- 物理、化学、数学に関して視野を広げたい。
- 授業を受けていく中で興味を惹かれた内容を追究していきたい。
- 他から「強制されない」環境の中で自身の興味ある分野に取り組みたい。
- 幅広い講義によって、幅広い教養を身につけたい。
- 自分が興味を持ったことをとことん追求したい。語学も頑張る。
- 第一線の研究に触れて、研究者になりたい。
- 粘り勝ちできると信じて、自分の好きな勉強(物理)をひたすらする。
- 知識をつけて研究者になりたい。
- 広く深い知識を求め、それをどう活かすかを考えていきたい。
- 自分の興味があることにじっくり取り組みたい。
- まずはできるかぎり多くの知識を得て、その後は常識にとらわれない発想で様々な分野に取り組み、世界を広げていきたい。
- 学問を究める。
- ・最先端の研究にふれたい
 - ・いろいろなことに取り込んで、新しい世界をみたい
- 研究職へ就くための、技能を習得する。
- 未知の科学事実を突き止めるために、色々な自然科学に触れつつ解決に臨みたい。
- 学問について1人でゆっくり考える。
- 明快な論文を書くための技術と、わかりやすく正確な論文を書くための知識。
- 自分の知的好奇心を広げることのできる学問。
- 教養を求め、様々な本を読むことに取り組みたい。
- ・西洋哲学
 - ・英語でのコミュニケーション能力を高めたい
- 自由と自主的な努力を続ける力を求め、学習とその合間の交遊に取り組みたい。
- 自分の研究したい分野をみつけて、それについて深く学びたい。
- 数学、物理をベースに様々な知識と考え方を学びたい。
- 積極的に、様々なことを学ぶ。
- 部活動やバイトはもちろんだが、大学でしかできない研究を京大の仲間と共に進めていきたい。
- 数学の勉強をがんばっていきたい。

- 緩やかに物理を専攻して、様々な方向性から専門へアプローチしたい。
- トップレベルの教育に触れ、社会に役立つ研究をしたい。
- あらゆる人間の活動を貫く「論理」、美しさを追究したい。
- 有機化合物についての専門的な知識を身に付けたい。
- ・自分の好きな学問の探究に取り組みたい
・自分の能力の限界まで挑戦することができるよう努力していきたい
- 主に自然科学についての知識を身につけ、研究活動の基礎を身に付けたい。
- 最先端の科学についての知識や優秀な先生方の講義に触れながら自分の探求したい、やりたいことを見つけ、友人や先輩方とコミュニケーションをしつつ自分の世界を広げたい。
- 十分に知識を蓄えて自分のやりたいことを見つける。
- 人工知能、量子コンピュータ、仮想空間についての最先端研究に触れること。また、その研究に関連しているかもしれないことを広く知ること。
- 自分の興味のある分野の勉強を極める。英語の勉強も頑張り、留学をめざす。
- ・理系知識の充実
・多角的な視点を持つ
- 自然科学（特に数学、物理）の幅広い知識や、奇抜な発想に触れることを求める。又、数学や物理の深い理解だけでなく、情報学の深い理解をし、部活、サークルで武道を身につけ精神を磨きたいと思っている。
- 様々な分野の知識を深め、最先端の研究にとりくんでみたい。
- 新しいことに積極的にとりくみたい。
- 数学、英語を特に頑張りたい。
- 宇宙物理学に進みたいです。
- 数学。
- 自分が探究することのサポート（特に数学）。
- 有機化学を主の学びながら文系科目を含む、他科目の学習による教養の拡充。
- 自分が専門とする分野を見つけ、それを中心とし、広く様々な教養を身につけること。
- 将来研究者になるための様々な知識、スキル、特に独創性を養うために京大に来た。
- 気象に興味があるので系登録の時にその方向に進みたいです。
- 自分の学習のサポートになるような授業を求めたい。
- ・様々な人との出会い
・新たな価値観との出会い
- これからよい人生を送れるように。
- 興味のある分野を探し、それを追究したい。
- 最先端の物理を見てみたい。
- 自由に楽しく学ぶことを目標にして、一般教養を身につけた上で、数学を探究していきたい。
- 専門知識を身につけ、それとは別にここでしか学べない文理問わない知識を吸収したい。
- 科学の最先端に触れたかったので、実験、講義に積極的に取り組みたい。
- ・小テストを毎回しっかり受ける
・単位しっかり取る
- 本当に研究したいことをこれから見つけたい。
- 充実した大学生活と懸命な勉学。
- 英語頑張る。
- ・教育機会の提供
・様々なことに取り組みたい
- 将来何をするか分からないので、多角的な視点が欲しい。だから、何でも真剣に取り組みたい。
- 専門的な学習を通して最先端の科学に触れ、取り組みたいと思っています。
- 将来、研究職に就きたいと思っているので、専門知識だけでなく、語学力や教養を身につけたい。
- 幅広い基礎知識と、物理、地学に関する専門知識を深めていきたい。また、教員という現時点での目標のために、人間性を今以上に豊かにしたい。
- 自然科学、特に数学を第一に学びたい。
- 宇宙に関する研究をしたい。
- 色々なものに出会って色々な考えを知りたい。
- 高度な数学の授業。
- 物理学について学び、友人の議論し合いたい。
- 専門科目だけでなく英語にも力を入れて勉強し、グローバル社会にとけこんでいきたい。
- 単位のことが不安でそんなことを考える余裕がありません。
- ハイレベルな友人たちと共に、数学や物理学を学びたい。
- 自分が好きに勉強できる権利をもらったので努力を怠らず、維持していきたい。
- 自主的かつ主体的に学習する。
- 理系の科目を充実してほしい。
- 本でざっくり読んだ素粒子論を自分で納得いくまで追求することを求め、自学自習に取り組みたい。
- 数学について深く知りたい。
- 理数系の知識を高め、将来、研究などに活かしたい。
- 好きな研究して世界に貢献したいです。具体的にはこれから探します。
- 高校までとは違った学ぶ姿勢を獲得するために授業に主体的に取り組みたい。

- 英語と数学と物理。
- 研究職を目指しており、それに必要なこと。
- いろいろなテーマのことを学び、世界を多方面から見たい。
- 数学等、理系科目の基礎研究を行いたい。
- 自分は何をしたくて何が得意なのかを、「緩やかな専門化」の中で見つけたい。英語をツールとして使えるようになるための様々なプロジェクトに取り組みたい。
- 自分のやりたいことを探し、専門的な勉強に取り組む。
- 理学部の学習に加え、総合大学らしい学習をしたと思う。
- 興味があることを積極的に学んでいきたい。
- 幅広い知識の吸収。
- よく見聞きし、理解し、忘れぬこと。また、その方法を学ぶこと。
- 学生生活を楽しまつつ、様々な学問に触れたいです。
- 理数科目について広く学びたい。とくに、量子物理学。
- 専門だけでなくいろいろなことに取り組みたい。
- ・理想の学びを追求出来る場
・食欲に広く、時に深く
- 物理の理解を深め、最先端の研究への足掛かりになるような考え方を手に入れたい。
- 京都大学で、物事を論理的に考え、あるデータから新たな発見をする思考力、データを手に入れるための具体的方法を計画し行動する力、を身につける。
- 自分の教養を深めるための、様々な学問を学んでいきたいです。
- 興味のある物理を高度なレベルにおいて学びたい。
- 数学をもっと深く勉強しようと思います。
- 少しは利口になれるだろうか。なりたい。
- 自分の知識の幅を広げ、あらゆる視点から物事を見つめられるようになりたい。又、知識は幅広さだけではなく、その深さも大切にしたい。
- 数学や物理が好きなので主にそれらを勉強したいですが、海外の論文を話したり、留学生と議論をしたいので英語学習に積極的にとり組みたい。
- 化学をもっと学びたい。
- 幅広い視野、自分ならではの独創性と創造性、レベルの高い教育。とにかく幅広く学び、たくさん議論したい。
- 生物系の研究がしたい。
- ・自然科学を中心に、幅広い知識、教養を身につける
・専門家になる準備をする
- 新たな知識を蓄え、自分の見つけた問題に答えられるようになりたい。そのための予習したことよりも多くの知識の供給を求める。
- 英語での授業が理解できるように、英語の勉強を積極的に行う。
- 学問に対する理解を深めて、国際交流をして人間としても成長したい。
- 私は京都大学で自分の興味ある科目についての高度な授業を求め、少しでも早く、世界の最先端の分野の研究に携われるよう一つ一つの授業にまじめにとり組みたい。
- 幅広く学ぶこと。
- 専門科目の勉強に取り組むみたい。
- 自分の学びたい分野の専門的な知識を深めながらも、広い視野をもって学びたい。
- 世界トップレベルの研究者、数学者となるための勉強、研究をできるようになること。
- 自分のやりたいこと、できることを探し、それをつきつめる。
- 様々な人と多く関わり、いろいろな経験をしたい。
- 理学部の自由な学風の下自分の興味のある幅広い分野を学び、またレベルの高い集団の中で互いに切磋たく磨いて、自分の能力も上げたい。
- 好きな勉強を思い切り楽しみたい。
- 理科系のものを色々学んで、知識をつけたい。
- 好きなことを学ぶ場を提供してくれることを求め、様々な学問に触れてみたい。
- 科学全般。
- 分野にとらわれることなく広く学び、教養を深めた上で、自分がどの分野を専門とすか見極めることができるよう努める。また、学習面だけでなく、人間的にも大きく成長したい。
- 毎日充実させて、たのしいことをしたい。
- 自分の視野が広がるような学びを求めています。
- 物事、事象の因果関係を理解するように努め、1つの分野のみにかたよらず、幅広い学習を心がけたい。
- 数学の応用。
- この世界で起きている現象について学び、それを人の役に立てる。
- 幅広い学問に触れ、議論などを中心として、自分の興味のある分野を発見、深化させていきたい。
- 高いレベルの数学、物理を学習し、自分が研究者になれるのかを見きわめる。
- 世界中で通用するコミュニケーション能力。
- 自然科学の造詣を深めつつ、英語力を身につけて、留学の準備をする。
- 勉強。
- 専門的なことを学びたい。

- 学問の探究。
- 物理、数学を勉強する。
- 理科系の研究に必要な知識、知能と語学力の身に付ける。
- 周りの人に良い刺激を受けて、様々な価値感と視点をも身に付け、自身の興味の分野への勉強を深めたい。
- 数学や英語を中心にして新たな学習を進めていきたい。
- 課外活動。
- 法学と自然科学、後は友達（横のつながり）を。
- 色々なことに関する知識を得て、それを使いこなせるようになりたい。
- 専門になりそうな分野だけでなく色々なことにふれたい。
- 物理学。
- 新しいことに対して多角的なアプローチで取りくむための手助けをしてもらえること。また、それを積極的に受け取りたい。
- 物理。
- 学習。
- 自分の興味だけでなく、知見を広げ、興味自体を作り出す。
- ・進路決定
・学問の仕方
- 京都大学で、自身の素養を高め、科学に対して積極的に取り組みたい。
- 英語力をみがき、幅広く友達をつくって広い視野をもって、分子生物学にとりくみたい。
- 今まで高校では科目がはっきりと分かれていたので、科目横断的なことを学びたいと思っています。
- 色々な人との交流。
- オールマイティーに能力のある理系人を求める。
- 面白いことがしたい。
- 情熱を注げるような分野を見つける。
- 自分の人生を捧げるに足る分野を見つけるために勉学に集中していきたいです。
- 広い視野をもって、アンテナをはること。
- 社会に貢献できるようになるために学問と向き合いたい。
- 自分の興味のあるいろいろな分野に挑戦し、また1つのことを極めていくおもしろさも味わいたい。
- 好きな科目を中心に幅広い教養を身につけられる学習環境を求め、夢である物理学者に向けて研究者として独立できるだけの技術、知識の習得に組み組みたい。
- 真理を知りたい。
- 世界の根底にある原理を求め物理学や数学に取り組みたい。
- 留年しない。
- 教養を高めるために、色々なことを学びたいです。
- 新たな知を求め、その解明に尽力する。
- 1回生のうちに自分が何をしたいのかを見きわめ、ゆくゆくは数学か生物学か何がしかの研究をするなり、職業人として必要な知識、教養を身につけるなりしたい。
- 世界に通じるようなことがしたい。
- より深く数学について学び、その活用を考えていきたい。
- 理科、数学を学び、学友と共に頑張りたい。
- 3回生以降は理学を専門的に。そのために1、2回生のうちは好き嫌いなく幅広い勉強をしたい。
- ・宇宙の始まり
・新しい物質の発見
・英語を理解し、使えるようになりたい
- 生物学を中心として、広い分野を学びたい。
- 多彩な分野に関する知識や経験。
- 最先端の技術に触れること。
- 宇宙物理学の最先端に触れてみたいと思っています。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 自分の専門にしたい科目以外にも、興味があることをどんどん学びたい。
- 研究者として世界で活躍するために役立つ語学など。
- 学内にいる多くの留学生や盛んな英語教育をうまく活用して国際感覚を身につけたい。
- 他のことにも応用できるような幅広い知識。
- 英語、特に話す力。
- ・心理学
・哲学
- ・英語
・生物
- 幅広い知識。
- 将来学ぶ専門分野の支えとなる基礎。
- 社会で役立つ知しき。
- 英語。

- 少しでも関心のあるものは積極的に学習し、さまざまな視点から物事を考えることができるようになりたい。
- 英語に力を入れてられると考えられるので、単位を落とさずしっかり学習して、留学にもアンテナをはってTOEFL等のテストをしっかり受けたい。
- 話せるような英語を学びたいです。
- 専門に入るために様々な分野を学び、自分の可能性を広げたい。
- 幅広い教養を身につけたい。
- 外国語を自主的に学んでいきたい。
- とりあえずさまざまな理学的なことにふれて、じぶんが最もきょうみのあることをみつきたい。
- 英語は必要だと思った。
- なるべく幅広く様々なことを学びたい。
- 誰も考えたことのないようなこと。
- 分からない。
- 幅広く学び、視野を広げたいと思った。
- 今まで避けてきた学問分野（文系）。
- 英語をしっかり頑張りたい。
- 英語を学んでいきたいと思った。
- 世界のどのような人とも話せるような、語学力と一般教養。
- 学ぼうえで基本となることや、必要となる考え方を学びたい。
- 心理学、経済学に興味があります。
- 物理、化学の高度な内容。
- 豊富な知識を求めています。自分のかてとなるような知識をできるだけ身につけていく。語学、理系科目に関わらず文系科目まで自分のかてになるものをできるだけ沢山。
- 様々な分野の知識。
- 興味のあることを学びたい。
- 今後の生活、学習に生きる知識技能を身につけたい。
- 語学と文系科目（社会学系も）。
- 英語を中心に学びたい。
- 理系だが、人文系もたくさんとりたい。
- 幅広くいろいろな学問について学びたい。
- 英語ができるようになりたい。
- 英語での専門分野の学習。
- 自分の知らないことを深く、知っているはずのこととも同様に深く学びたい。
- 基礎となる英語と、3回生以降で必要となる専門の基礎。
- 英語をしっかり勉強しようと思う。
- 教養のある1人の社会人となれるようなもの。
- 英語。
- 哲学、地域活性化など。
- 広く全般的に。
- 広く深く。
- 英語。
- まず語学力をしっかり身につけたい。
- 物を考える上で基礎となること。
- 社会で通用する英語力をつけ、自己責任をもって生きる能力を学びたい。
- 英語をしっかり勉強して、化学を専攻するために必要な基礎科目を学びたい。
- 何を学ぶべきか。
- 世界で通用する英語。
- それを探します。
- いろいろ。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 様々な国の人々と交流してみたいと思った。
- 英語の課題をこなし、学問の道具となる英語をまなびたい。
- 英語を中心とした基本的な事柄を学びたい。
- ・英語
 - ・国際的な日本の立ち位置
- 金融工学かな。
- ・英語、スペイン語等語学
 - ・社会、人文系から理学まで広く
- 楽しいことを学びたい。
- 極める分野の見極めに加えて、英語も学びたいと思います。
- 豊かな教養をもとに世界に自己発信する。
- 留学を視野に入れて、英語力を強化したい。また、文理問わずに広い知識を得たい。
- 学問をする上で必要な英語。
- 英語の重要性を実感したので、英語をおろそかにしないようにしたい。
- 学問として興味がそそられることを一心に頑張りたい。
- 外国語。
- ない。
- 京都大学だけでなく、国際的な学びを目指したい。
- 専門の科目はもちろん、他の分野の学問、特に英語などを学びたい。
- 英語を通じて多くのことを学びたい。
- 英語がんばらなきゃ。
- 英語。
- 英語力。
- 人生や今後の学習に必要なこと。
- ・日本の文化
 - ・海外の社会
- 自分の考えたことを伝えたり相手の考えたことを理解するための理系英語。
- 社会に出る直前なので、社会の仕組みに関することや、語学を学ぶ。

- 自分で有益な情報を発信できるレベルの英語を身に付けられるようにreading writing—listening—listeningを学びたい。
- 英語を読み書き、話すなど、使いこなせるレベルになるようにしたい。
- 自然科学にとどまらず幅広いことを学ぶ。特に語学。
- 英語を中心とした広い教養。
- 専門的な分野に加えてそうでないことも学びたい。
- こだわり、既成観念を捨て、幅広く、知見を得る。英語でも積極的に学びたい。
- あまり内容に傾りが生じないように、文化系科目を含めて、自分の興味のあることを学びたい。
- 高校のときに学ぶことのなかった科目。
- 語学。
- 色々なことに興味を持ち、可能な限り手を出したい。
- 国際社会で通用するような英語力。
- まだ分かりません。
- グローバルに通用するような、英米諸国に劣らない語学力を身につけたい。
- 宇宙や生命とは一見離れているテーマ。
- 幅広い知識や、自らの興味が引きつけられるもの。
- 将来研究に役立つような力が手に入れられること。
- 他分野に関連して言語としての(形式)論理学及び言語科学、文理系社会の構造を視る方法論を、専門を考慮して科学史、古典語の類を学びたい。
- ・日本文化について
 - ・心理学
 - ・哲学
- 卒業後、海外で活躍できるような英語力。
- 英語で学ぶ講義全般。
- 日本以外の文化圏の文化。
- 学術的に使用可能な英語を話せるようになりたい。
- これからのグローバル社会に自ら発信していくための基礎を学びたい。
- 英語など。
- 英語が聞けて話せる人になるための英語。
- 国際社会に通用する教養のある人になりたいので、幅広い分野を学びたい。
- 英語の実践的な力をつけたいと思った。
- まず英語。
- 幅広い教養を身につけていきたいです。
- 学術英語を学びたい。
- 専門しか分からない、といった事にはなりたくない。特に英語は実用できるように。
- 理学だけでなく、哲学など幅広く学びたい。
- 苦手な英語を使えるようにする。
- 全学共通科目に関しては様々なことに興味を持って取り組みたい。
- 英文学、芸術方面の勉強。
- 英語を使う方法。
- 英語の苦手意識を無くして、上手に使いこなせるようになりたい。今まで自分が関わって来なかった分野。
- 海外の文化。
- 広い視野。
- 視野を広げるようなこと。
- 文系科目を含めて幅広い学問。
- 今までふれてこなかった分野について。
- 幅広い分野について深く(できるかぎり)学びたい。
- 英語を頑張りつつ、専門分野を主体に取り組む。
- さまざまなことに取り込んで吸収し、自分の力にしたい。
- 人文科目を勉強して人間社会を知り、自然科学を学んで、人間以外の世界を深く知り、未知のことを解明する。
- 広い視野を身に付けたい。
- 理学部で学べること。
- 一回生、二回生時は幅広い分野を学び、三回生からは自分の興味のある分野を集中して学ぶ。
- 自分の関心のあるもの。
- 人格形成の助けとなるもの。
- 英語。
- まだ未定です…。
- 色々。
- まだわからない。
- 自分の今まで興味があった分野について学習できる大変良い機会なのでこれを積極的に利用していきたい。
- 幅広い分野にわたる様々なこと。
- 受験英語ではなく実用的な英語能力をつけたい。
- 理学研究の礎になる広い視野をもてるように、色々な知識、技能を身につけたい。
- 英語の基礎、応用的な内容や、先進的な科学に関連すること。
- 自分の興味のあることを見つけて学ぶ。
- ・文系科目も教養として、覚える
 - ・教養の復興
- 今までは理系の科目しかしていたが、幅広い知識や留学を視野に入れて、歴史や、EPA以上の英語を学習したいと思う。
- 英語と専門知識。
- 特に何かを学びたいとは決めていない。
- 幅広く様々な分野を勉強したい。
- 得意な数学をさらに深く学びたい。

○専門とする学問以外からも幅広く学びたい。

○理系ですが文系的な科目も好きなので面白い科目を見つけていきたいです。

○数学につながるようなもの。

○英語はできれば話せるレベルまでもっていきたい。

○・文系…経済、法学
・理系…物化生地及び数の基礎は学びたい

○専門科目に限定せず、人文系、語学などにも広く興味を向け、幅広く、多くのことを学びたいです。

○まだよくわからない。

○・英語はしっかり
・人と話しあえる力を

○英語をしっかり使えるようになりたいです。

○英語を使いこなし理学の研究をする。

○英語を頑張りたい。一、二年では幅広い分野について学びたい。

○特にこだわらず、視野を広げる様なものを学びたい。

○英語で学ぶ科目を受けてみたい。

○視野を広げるために多種多様な考え方を学び、研究の際に必須な英語も学んでいきたい。

○英語を中心に世界に通用する知識を身につけたい。

○言語について、社会についてなど。

○特に物理は本質に迫るような学習を努めたい。

○英語の語い力、それによる理学論文の購読法、書き方などわかりやすくまとめるための手法。

○英語頑張る。

○英語。

○まだ分からない。

○グローバル社会によって重要さが増している英語を特に学習し、コミュニケーションが可能なレベルまで到達したいと思いました。

○哲学や思想などを学んでみたい。

○これからの学生生活や、就職後においても、英語力が大切となるため、基礎力から学術的内容に至るまで、確かな英語力を身につけていきたい。

○まずは、自然科学をはじめとした専門科目の学習に必要な英語力をつけたいと思う。

○自分の専門以外のことで、法学系のこととかを学びたい。

○文化。

○経済学。

○誰とでも話せるように幅広く教養をつけていきたい。

○社会人となり生きていくのに必要なもの。

○単位のことや不安でそんなことを考える余裕がありません。

○英語や文系的な教養を学びたい。

○英語の重要性を強く感じたので日々努力を重ねたい。

○語学を基本として多様なことを学びたい。

○社会人として立派にやっていくための知識を学びたい。

○世界に通用する英語。

○語学、文学など。

○社会へ出た際に、周りとのコミュニケーションをスムーズにするための語学等の勉強。

○とりあえず英語がんばります。留学したい…。

○学術的レポートの書き方。

○英語をがんばります。

○短期留学による英語の勉強。

○世界に通用する英語やその他の科目。

○実用できる英語能力を身につけたい。

○・英語
・哲学

○社会に出て広く学べるよう、語学を十分に学びたい。

○外国語を将来困らないように学習したい。

○普段受けられない内容を知りたい。

○外国人としっかり話すこと。

○世界を広くみるための教育。

○自身の将来のために必要になりそうなので、英語は大事に学んでいこうと思いました。

○英語を特に頑張りたい。

○特に数学。

○世界の中での日本の在り方、見え方。

○世界に通用するコミュニケーション能力を向上させる補助となること。

○専門としたい科目を支え、それを社会的に役立てる方法を学ぶ。

○学問の最先端の触れるための土台となる学習をしていきたいです。

○哲学について。

○数学や物理や化学など。

○何でも。

○世界的な役立つ語学や、理系の専門的な知識。

○理系の他に、文系の科目も幅広く学習したい。

○よく分からなかった。

○専門分野以外の理系科目、英語。

○理科系科目だけでなく、哲学や政治などまで幅広く学びたい。

○今日のガイダンスでは特に語学などの重要性を感じたので、英語や他の基礎的な科目を学ぶべきと感じた。

○研究者として、現代人として生き抜くための技術を学びたい。

○ネイティブの人と日常レベルの会話ができるくらいに英語を勉強する。

- 「人間らしさ」を追求する上で必要なもの。
- 研究時にとどこおりなく英語をつかえるように、英語の学習に力を入れたいと思った。
- 理系だけでなく文系科目も学びたい。
- 特になし。
- 語学を中心に、理系、文系にとらわれない教養を身につけたい。
- ・専門科目の基礎
 - ・最高レベル（研究が世界どこでもできる人）となる英語を身につけること
 - ・深い教養を可能な限り多く広く知ること
- 理学部の専門科目を中心に幅広く。
- まず、一般教養として知識を身につけ、その上で自分の興味あることを深く学びたい。
- 英語の新システムを活用して、学術的に利用できる英語力を身につけたい。
- 英語。
- 英語が重要だということがわかったので、学術的な英語を学びたい。
- 専門科目にとらわれず、様々な分野に触れ、視野を広げたい。
- 生きるために必要なこと。
- 受動的な学習だけでなく、能動的な学習もし、自分の未知の分野にも積極的に取り組み、広くて深い教養を持つことができるよう学ぶ。
- 文系科目のキョーミあること。
- 文理の境なく面白いことを見つけて学んでいきたい。
- 理系科目以外の分野。
- 海外の文献を読むような語学力。
- 理科系、文科系にとらわれず、何事にも挑戦していきたい。
- 英語の勉強。
- コミュニケーション力。
- 国際社会に出ても恥ずかしくないように、十分な知識を得る。
- 語学。
- 将来論文などを書く際に必要な英語。
- 特になし。
- 語学など。
- 将来の専門とは一見関係ないような科目にも取り組み、広い教養を身に付ける。
- 出来るだけ広く学んで、専攻の学問に対して多角的な視点を持てるようにしたい。
- 理学自体や、それを形にするための英語に取り込みたい。
- 特になし。
- 法学、特に司法判断のプロセス。
- 英語を真面目に学習しようと思いました。
- 学術英語。
- 国際的な活躍ができる語学力と、多角的なものの見方を学びたい。
- ばくぜんと色々なこと。
- 世界に通用する学術的な内容と発信できる語学力。
- 一般教養。
- 自分に不足している英語力を培いたい。
- 英語や社会常識。
- 自分に新たな視点を与えてくれるような、高校までの学習でしたことがない科目。
- 幅広く、様々な分野のことを学びたい。
- 自分の目標に必要な十分な学力を全て。
- 今まで深くふれなかったものを学びたい。
- ・文学や思想に関わる分野
 - ・文系の学生や教授と討論をしてみたい
- 理系に限らず文学や哲学などを取って自らの教養を身につけたいです。
- 日、鋼の文化、歴史。
- グローバル社会で活躍できるように外国語を学びたい。
- 実用的かつおもしろいもの。
- 英語の圧力が強かったので、それなんじゃないですか（不満）。強制 自由な学風ねえ〜。
- 自分の興味があること。
- 物の見方や考え方。
- 留学をぜひしてみたい。
- 多種多様なこと。
- 学問を学ぶための英語と、学問の基礎を身に付ける。
- 幅広いこと。
- 語学の勉強をしっかりとしたい。
- 数学を学びたい。
- 今まで触れてこなかった分野と英語。
- ・宇宙の始まり
 - ・新しい物質の発見
 - ・英語を理解し、使えるようになりたい
- 複数の分野での分野毎の問題に対する視点、考え方の手法を学びたい。
- 国際社会で通用する教養。
- 英語を駆使した、科学的なことがら。
- 今まで自分が関わってなかったこと。

(7) 医学部 (アンケート提出率 96.9%)

1. 医学科 (アンケート提出率 94.6%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 研究に参加したい。
- 幅広い知識を身につける
 - ・日本語と英語両方上手に
- 留学生との交流や自身も留学することを通じてグローバルな視点を持ちたい。
- 真にグローバルなコミュニケーション能力の養成。
- 将来、研究者として活躍するための土台作りをしたい。京大という環境をいかして、積極的に勉強したい。
- 理想の医師像。
- 部活、サークルに取り組み、京都大学だからこそできることをしたい。
- 学問に関する知識の拡充。
- 英語で情報を発信できるように、TOEFLをがんばる。
- 自分のキャリアを積むための学問の機会を求め、大学で利用できることに積極的に参加したい。
- 世界に通用する力をつけたい。
- 好奇心のおもむくままに学問を探求したい。
- 留学
 - ・サークル
 - ・勉強
- 将来設計。
- 海外で研究をするのに十分な英語力を身に付けたい。
- 留学してみたい
 - ・英語の拾得
- 自由。
- 研究設備の活用。
- 自分の目標をもとに、学びたいことを学ぶ。
- 様々な人と関わりをもち、積極的に活動する。
- さまざまな人と関わる。
- 興味のあることの中から目標を定め、それに必要な能力等を身につけるため京大を使いたおす。
- 世界でもリードし続ける研究を求める
 - ・英語力を強化していきたい
- 専門科目にとどまらない、幅広い学問。
- 誰も知らないようなところにたどりつきたい。
- 優れた施設、先生方、先輩、同回生などの環境の中で自分自身の成長を求め、分野を越え様々なことに取り組みたい。
- 未知のことに触れる機会を求め、それらに果敢に取り組んでいきたい。
- 未知の探求に取り組む。
- 様々な分野の教授の授業を受けて興味を持った分野に専念したい。
- 自らの興味ある分野に専門的に取り組みたい。
- グローバルな人間になる。
- 自由を求め、仲間と競争する。
- 英語力を高め、留学をし、海外の文化や技術を積極的に取り入れたい。
- 自由に幅広く授業を取れること。また、そうしたいと思っています。
- グローバルな視点を持ち生きていきたい。留学なども考えています。
- 自主性を身につけ、国際的考えを学ぶ。
- 留学など。
- 研究の道に進みたいので基礎医学と学術英語をしっかりと学んでいきたい。
- 国際的な力を向上させるため、英語力の向上に取り組む、留学にも興味を持っていきたいです。
- 研究。
- 研究にふれること。
- 自分の興味のあることを主体的に学ぶ。
- 知的好奇心を、かきたてるような授業
 - ・様々なこと
- 高度な学び。
- 英語力を向上させる！！
- 医学関連のボランティア。
- 総合大学であることを最大限活用し、医学以外の知識も身につけたい。
- 未定。
- しっかり着実に知識を身につけ、自分独自の課題を見つけ出し取り組みたい。
- 医学研究。
 - 新たなことを多く学びたい
 - ・英語の勉強をしっかりと進めたい
- 良い刺激が受けられるコミュニティを見つけ、医学だけでなく他の分野も広く学び、視野を広げたい。
- 留学に積極的にになりたい
 - ・与えられた自由な時間を有効に使いたい
- 様々な学問に触れたい。

- ・立派な人間になれるように視野をひろげていく
 - ・研究者をめざしてしっかりとりくむ
- 自主的に行動し、学びたい。
- 世間の仕組みに精通した上で、海外留学なども経験し、研究医としての基礎を身につけたい。
- 自分の興味があることを追求すること。
- ・基礎を中心に医学を学び、後世に残る発見をする
 - ・理系文系に関わらず幅広く学ぶ
- 再生医療の開拓。
- 興味のあることに対して積極的に挑戦すること。
- いろいろな人間関係を広げたい。
- 英語を使って世界の人々と情報を交換して医学を学ぶ。
- 京都大学には、医師となるために必要な教養、知識、技術を得る環境の提供と、共に学び切磋琢磨する友人と出会う機会の提供を求めます。
- 自主的に学びをすすめていきたい。
- 自分の興味のある分野を見つけ、医学研究に携わってみたい。英語力を磨いて留学してみたい。
- 英語力（リスニング力）をつける。
- ・京大ならでの生活
 - ・留学
 - ・医学への精通
- 津々浦々から京大に集まってきた他の学生と接する機会を求める。そこから多様な価値観に触れ、自分の価値観を見つめ直していきたい。
- ・十分な教養を身に付ける
 - ・2回生のうちに短期留学を体験する
- 興味深い授業。
- 自主的に色々なことに挑戦していく。
- 語学力の圧倒的成長。
- 研究に専念し、新しいことを発見するために努力する。
- 外国語なども医学のこともしっかり学んで、研究室など訪れたり、楽しいことをたくさんしたいです。
- 優れた研究機関でもあるので早くから研究に触れたい。
- 専門的な医学分野。
- ・英語教育
 - ・何か1つのことに特化
- ・留学したい！
 - ・ラボローテーションしたい
- ・英語力を高める
 - ・留学もしてみたい
- たんさんの友好関係を求め、自分の未知なものに対しても食わず嫌いをせずに経験していきたい。
- 教養を深め、様々なことを積極的に学んでいきたい。
- 対話力を伸ばし、自らの専門分野についてだけでなく様々な分野において、知識を吸収あるいは発信していくこと。
- 福島県への訪問。
- 研究をしたいです。また、留学もしたいです。
- 様々な人と交流するために、留学をしてみたいです。
- 幅広い教養を身につけていきたい。
- 積極的に自分の興味のあることを探し、それをきわめたい。
- 留学。
- 体力をつけて、医師として十分な知識を身につけたい。
- やり遅れることがないようにしたい。
- 様々なことを経験する。
- 広い教養、深い専門知識。
- 多くの人と関わりを持って人脈を広げるとともに、多様な価値観にふれたい。何でも積極的に参加し、自らの興味をもてる分野を探していきたい。
- 名脳外科医になる！
- 主体性が尊重されるという有難い環境を利用して、積極的に勉強に取り組めたらよいです。
- 英語を極めたい。
- 自分で主体的に学ぶ。
- 医学知識をたくさん吸収できるように努力し、授業に積極的に参加したい。
- ・①高い学術的英語力を身につけること
 - ・②社会活動（貢献）に参加して社会経験をふやす
 - ・③一流の医療人を目指す

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語の授業を理解できるように英語を学びたい。
- 色々！
- 豊かな英語使用能力。
- 国際関係、日本文化について学びたい。
- 語学。
- 英語の勉強をきちんとしようと思った。
- ・コミュニケーションツールとしての英語
 - ・学問に対する理解

- 人間性豊かになること。
- 特に語学に力を入れて学びたい。
- 英語力をつける。
- 日本文化や状況について説明できるように。
- ・外国語
 - ・興味のあること
- 興味のある分野から中心に学ぶ。
- 英語の扱い方。
- 広く学びたい。
- 様々な文化。
- 広い視野をもてるように、専門とまったく関係ない科目も。
- 語学だけはしっかりやりたい。
- 英語力を向上させ、医学はもちろん、広い視野をもつようにしたい。
- 面白いやつ。
- 医学以外の幅広い教養分野を学びたい。
- 英語をとにかく深く。
- おもしろいこと！！
- 様々なこと。
- グローバル社会でなんとか生き抜く術。
- 新しいことを学びたい。
- 生徒の一般概要を知りたい。
- 国際的な活動ができるほどの英語力。
- 英語において、リーディング、リスニング、ライティングに加え、スピーキングの技能もみがく。
- Englishがんばる。
- 世界史と英語です。
- 英語。
- 世界の現状。
- これからの世界に必要な英語、教養を身につける。
- 英語、外国語などを主に。
- 様々な分野を学んで視野を広げられるようにしたい。
- 英語。
- 英語をしっかりと学ぶ。
- 専門分野にとらわれない興味深い分野。
- 医学とは直接、関係のなさそうなこと。
- 多様な見識。
- 英語を中心に幅広く学びたい。
- 英語をがんばりたい。
- ・教養人として恥のないように、ある一定以上の知識量を身につける
 - ・英語を日本語と同じレベルで扱えるようになるための英語力
- 未定。
- 自分の知らない世界をどんどん知っていききたいと思う。
- ・自分の学んだことの無い分野
 - ・生物、化学に近い分野
- 英語。
- 社会のしくみについての科学的な研究。
- 考古学。
- 興味のあること。
- 自分の視野を広げられるものを学びたい。
- 英語。
- 英語に精通するべく、基本的な英語学習、SPEAKINGなど。
- 将来使える英語力を身につけたい。
- 第一に英語等の語学力を高める。第二に必修以外にも文系科目を積極的に取り込む。
- ・心理学
 - ・学術英語
- 語学。
- 授業を中心に勉強し、英語力を上げたい。
- 英語。
- 医学。
- とりあえず英語をちゃんと学びたい。
- 英語をがんばりたいと思った。
- ガイダンスを受け、英語を“使える”ことの必要性を痛感した。特にリスニング、スピーキング能力の向上に努めたい。また、精神医学に結びつく学習を文理問わずすすめたい。
- 人文系を思点的に学びたいと思う。
- ・言語
 - ・数学
- 自分が興味を持ったことを広く学びたい。
- 世界を理解するために日本のことをよく知る。
- 専門に進むまでに必要な基礎知識や、英語運用能力。
- 外国語をしっかり学びたいと思いました。
- リーディング以外にも英語を使いこなせるようになるために英語を学びたい。
- 英語。
- 医学以外の人文系のこと。
- ・生物、化学、物理など理科系幅広く
 - ・日本、京都をテーマとした
- グローバルな社会で生きる力を高めたい。
- 国際的に通用する教養。
- 英語のスキルや、高校ではあまり学習できなかった歴史等の文系科目。
- 英語教育について、実践的な面での訓練の重要性を感じたので、英語の学習を積極的にしていきたい。
- いろいろなこと。
- 英語に力を入れて学習したいです。
- 1回生の間は英語に力を入れたいです。
- 幅広い分野のことを学んでいきたい。
- 世の中の機構、常識を学びたい。
- ためになった。

- 英語や医学。
- 勉強が大変で大事だと思った。
- 英語をがんばりたい。
- ・多面的なものの見方
 - ・英語技能
- 外国語や世界史など、世界で通用するスキルや教養を身につけたい。
- 一級建築士の資格所得。

- 国際的に頑張れるように英語をがんばります。
- 数学。
- 高校時代では知ることができなかったもの。
- 英語を巧みに使いこなせるようになるために、英語の様々な知識を学びたい。
- 具体的にはわからないが文系科目を勉強したい。また、英語だけはどんなに大変でもあとで後悔するのはいやなので一生懸命取り組みたい。

2. 人間健康科学科 (アンケート提出率 98.6%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 新しい学問。
- 知識が豊富な友達と学び、論理的な思考ができて、人を想うことのできる人間になりたい。
- 高い意識をもって医療を支えようとする仲間との交流。また、医学部に限らず、他学部の人々との交流も通じて、より広い見識を得たい。
- 理学療法士という夢に必要な経験を積むとともに、京都大学ならではの授業を受けて、知識を自分のものにし、大学生らしい楽しい生活を送りたい。
- とにかく留年せずに卒業。将来のために英語を得意にしたい。
- ・人間関係
 - ・人間理解
 - ・世界について
- ・何か打ち込めるものを見つける
 - ・英語教育を頑張る
- 京都にしかない独自の文化。
- 世界で研究されていることを、国内での研究と合わせて幅広く知りたい。また、自分の専攻以外の医学系の学習にも取り組みたい。
- 色々な人と交流を深め、研究者になるという意識を常にもちながら、妥協することなく学問と向きあいたい。
- 海外留学を行い、ボランティア経験を積みたい。
- 自分の所属する学部、学科を超えて、色々な教養を身につけたいです。
- 科目という概念を超えて賢い人間になる為に、自分で選択した授業はとりあえず全力で取りくみたい。
- 広い視野を持った作業療法士になることを目指し、専門科目はもちろん、他の科目もしっかり学びたい。
- 多くの人と出会い、幅広い知識を身につける。
- 将来のために、医療系の内容について学びたい。
- 自分の専門だけでなく、幅広いことを学びたい。
- 4年間を有意義に使って、一生かけてでもやりたいことを見つけ、また、大学生でしかできないようなことを後悔のないように取り組みたい。
- 将来役に立つ人間になるように、積極的に勉学に取り組みたい。
- 専門だけでなく、他の様々な知識を手に入れたい。
- 英語力を積極的に身につけて、様々な専門的な力を身につけたい。
- 多くの分野について学ぶ場を与えてくれること。専門科目だけでなく自分の興味を持っていることや、縁遠かったことに取り組みたい。
- ・英語を学ぶ機会
 - ・やりたいことを高いレベルでやれる
- 図書館の専門図書を読みたい。
- 将来の仕事への関心を広げるための多くの知識。
- 看護学を多面的に学び、また国際的に活動できるよう外国語の学習にも力を入れたい。
- ・留学を積極的にし、語彙力を高めたい
 - ・高い知識を学びたい
- あらゆることに積極的に取り組み、社会で必要とする知識を身につけること。
- 英語が苦手でありやってこなかったのが、大学に入ってからもしっかり頑張ろうと思う。
- 作業療法について専門的に学ぶとともに、興味のある分野をいろいろ学んでいろいろな知識をつけたいです。
- 自分の興味に正直になる。
- 多くの人とコミュニケーションをとる。
- 作業療法士になるために勉強する。
- 他大学では得られない高度な知的授業。可能な限り多くの授業を受け、自分の知的レベルを磨いていきたい。英語力を究めていきたい。

- 自由な校風の下で、勉強したいです。
- 学問に取り組みたい。
- 看護の専門のみならず、総合大学ならではのあらゆる分野のことに取り組みたい。
- 一生の友人をつくること。自分がこの専攻である目的、臨床検査技師になることを忘れずまずは、論理的な文章を書くことに取り組みたいです。
- 自分から興味のあることを学部関係以外のことについても学んでいきたい。
- 英語。
- 積極的な姿勢で興味をもったことにとりくめるようにしたい。
- 世界レベルの教育を受け、世界の役に立てる学問に取り組むこと。
- 文理にこだわらない考え方を獲得したい。専門技術も身につけたい。
- 京都大学でしかできない授業に参加し、英語力をあげたい。単位を落としたりしない。
- 様々なことに対して「なぜ？」と考え、より深い知識を追求し、理解をできるように意欲的、自発的に勉学に取り組みたい。また、サークルやアルバイトもしたいので、いずれも中途半端にならないようによくばりすぎずやりきりたい。
- 海外でPTとして活躍できるよう、コミュニケーション能力を養う。留学に参加したい。
- 京大卒の肩書き。
- 学問を学ぶ楽しさを求め、語学学習や苦手分野や答えのない様な困難な問題にも取り組むたい。
- 専門科目も大切だが、京大だからこそ学べる教養科目にも積極的に取り組みたい。
- 自由を求め、自らで自分の道を決めていけることを求めます。
- 自分自身が医療現場に出たときに他の職業の方々を尊重し、理解できる心を育み、グローバル化の進む世界で活躍できるような目標を決定したい。
- ・個人的で豊かな発想を持った人たちとの交流
・物化生全体を学び宇宙から医学について幅広く学びたい
- 自分の可能性を広げること。
- 英語で学べるようになりたい。
- 英語のスキルアップとグローバル社会に対応できるような英語力を取得できるように英語の学習に積極的に取り組みたい。
- 専門的な分野はもちろん、それ以外も共通科目で学び、広い視野をもって勉学に励みたい。また、リーダーシップや協調性などもきたえていきたい。
- 本質を掴んで幅広い知識を得られるよう取り組んでいきたい。
- 勉強をがんばる。
- 高度な教育を受け、将来に向けて確実な技術を身につけたい。
- ・看護の専門知識と、語学を学びたい
・留学もしてみたい
- 看護師になるための勉強だけでなく、総合大学の利点である様々な分野を学びたい。
- 自分の興味を持てる事を増やして、いろいろな知識を得たい。
- 人の役に立つことを少しでもできるようになり、わからないことには真正面から、取り組んでいきたい。
- 多くの人と交流を持ち、自分の専門以外の自然の活動などにも取り組みたい。
- 海外で通用するようなコミュニケーション能力、先を見通せるような眼を養えるようなこと。
- 留学をする。
- 自分の専攻だけでなく、興味のある分野を学ぶ。
- 自分の可能性を求める。
- ・自分で課題を発見し、探求する力を身につけたい
・サークル活動などで社会性も身につけたい
- 英語を流暢に話せるようになる。
- 視野を広げ、いろいろなことに積極的に取り組みたい。
- 新しい知識。自分の知識を応用して使えるようになり、臨床検査技師の資格をとる勉強にとりくみたい。
- 自分の専攻した科目をしっかりと勉強するとともに、国際社会で通用するような人になるために、英語学習、留学等の機会をしっかりと活かしたいです。
- いろんな人に出会い、様々な考え方ができるようになりたい。
- 外国語を履修して、様々な国の人と交流したい。できるなら生物学も習いたい。
- いろんな人と話して、今まで知らなかった事を知れるようになりたい。
- 大人として、社会で生きていけるための一般常識、教養を身につけた上で、興味のある医療の現場で働けるようになりたい。
- 英語学習はカリキュラムの変更の波にのってがんばっていきたいです。また、専門科目をしっかりと学びその分野を英語をつかって話せるようになったらいいなと思ったので専門の勉強と語学勉強を頑張りたいです。
- 自分の学びたいことを自分自身で考え、学びたい。
- いろんな国の人と交流することを求め、自分から積極的にコミュニケーションをとったり、英語の学習を人1倍やりたい。

- 高度な授業を求めて、色々な授業、ゼミに参加したい。
- 社会に出てからの活動につながり、重要となる言語をべんきょうしたい。また人とのつながりを大切にしたい。
- 高校では勉強できない分野を自分から進んで勉強したい。
- ・人間の体のしくみについての学問
 - ・理学療法士になるための勉強
- 自立した人間になる。
- 人間関係の築き方と色々な価値観を学びたいです。
- 専門的な知識のみならず、幅広い知識を身に付けたい。そして世界に通用するような人材になることを求め、京大ではすばらしい先生のもとで予習・復習をしっかりとした上で講義を受ける。
- 日本一の理学療法士になるため積極的に学ぶ。
- ・グローバルな環境で活躍できる人物になること
 - ・積極的に、留学などに参加していきたい
- 意識の高い学生と攻めの姿勢で授業以外のことにもとりくみたい（国際サークルなど）。
- 専門的なことをいっぱい学びたい。
- 英語で話す力を高め、留学したい。
- スポーツ医療。
- 自分の視野を広げられるようなこと。
- 将来に関するやりたいことを見つけない。
- 専門分野だけでなく、それに関連するさまざまな分野について広く学習して、幅広い教養を将来に活かしたいと思います。
- 海外経験を積んで自分から積極的に学びたい！！
- ・様々な分野の教養を深める
 - ・沢山の人と関わる
- 手に技術をつける。
- 将来の夢のために勉学に励み、サークル活動なども含めて全生活に学ぶ。
- 将来の職業に役に立つような学習をしたいです。
- 自分の夢の実現に向けて、必要な知識を学んでいきたい。
- 自由と両立した学術技能の究。
- あらゆる分野の知識を得たい。
- 英語を用いて、コミュニケーションを取れるようになりたい。
- 興味のあることや今までと違った見方ができることを積極的に学びたい。
- 専門的なことだけでなく、社会について総合的に知りたい。
- 見識を広げ、多くの価値観を知りたい。
- 海外で看護師として働くために、基礎的なことを学ぶ。
- 自分のやりたい事を見つけ、それを追求したい。
- ・たくさんの人と交流したい
 - ・自分から考え行動したい
- 臨床検査技師に向けて、そのための十分な基盤を作る。
- まずは自分で目標を定め、英語の学習を中心に知識を身につけたい。そして将来、社会を引っばっていける人間へと成長する。
- 幅広い知識をつけたい。
- 様々なことを学び、自分の目標を定めて行動していきたい。
- たのしい生活。
- 様々な学問を学びたい。
- 学部にこだわらない、色々自分の興味を持てること。まだ決めてません。
- 人間性。
- 専門的な知識を身につけつつ、人間として成長することで社会で役立つ人間になる。
- 社会で活躍できるようになる。
- ・国際的に人を救える看護師になるための準備
 - ・短期留学
 - ・幅広く学びたい
- ・自主的に予習復習をして、積極的に授業に取り組む
 - ・英語をがんばる
- 深い専門知識とはば広い教養。
- 幅広い視野をもつこと。
- いろいろな世界に触れ、視野を広げたい。
- 幅広い分野の知識を吸収したいです。
- 自分から積極的に学びの機会を探す。
- 研究室を見てみたり、実際に研究をしてみたいです。
- 豊かな医療知識を身につけ、勉学、サークル活動、アルバイトなどすべてに全力を尽くしたい。
- 多くの方々との出会いを求め、自分、自分を囲む環境を客観的に持つ視点を持ち、自分の専門と専門以外のことをバランス良く知識として身に付けたい。
- 勉強面ではもちろん、人間的にも豊かになれるように、授業やサークル、行事に一生懸命取り組みたい。
- 高校等では会えなかったタイプの人と会って視野を広げたい。
- 研究したいテーマがあるので、そのテーマを掘り下げる実力をつけたい。
- 自律性と自己責任。
- 英語など国際的なことに取り組みたい。
- 自分の研究したいことを見つけて、そのことを研究していきたい。また、英語力をつけ外国の人と会話ができる能力を身につけたい。

- 自分の視野を広げ、新しい人達と出会いたい。
- まず第一に、看護師の国家試験の受験資格を得て、合格すること。また、看護師となる上で必要な知識や技術、倫理感を身につけ、広い視野を持つこと。

- 今まで経験してこなかったことに取り組みたい。
- 総合大学なので、様々な分野のことを勉強したいと思っています。
- 専門科目以外にも積極的に、いろいろなことを取り組みたいです。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語。
- ・世界の文化
 - ・世界が共存していくために今できること
- 高校までの試験本意の知識ではなく、知識本意の知識を、身につけたい。また、外国人とも不自由なく会話ができるような、生きた英語を話し聴ける、語学力を身につけたい。
- 将来の進路の選択の幅を広げられるような、世界に通用する英語や知識を学びたい。
- 様々な分野に興味をもって手を広げていきたい。
- 一般的知識。
- とにかく英語。
- 海外である程度役に立つ、または有用だと自分を感じる。
- 理学療法学に関する専門的な知識以外にも、心理学など人の心についての学習がしたい。
- 自然群以上に人社群の教養科目に力を入れたい。
- 国際社会について。
- 短期留学をして英語のスキルを磨きたい。
- まだわからない。一度学んでみないと想像がつかない。
- グローバルに活やくできるよう、高い英語力を身につけたい。
- 英語で様々な人と会話し、情報を共有できるように英語技能を学びたい。
- 特に英語に力を入れたいと思った。
- 英語での授業。
- 国際社会で生きるために必要な英語を学びたい。
- 今まで経験したことのない分野。
- 英語やその他の外国語に力を入れたい。
- 英語の能力を高める。
- 日本の歴史。
- 学術語いをみにつけたい。
- 学関的な知識。
- 日本にいても英語が必要となることを知り、就職する上で大切であるので、怠らず勉強をしたい。
- 使える英語。
- とりあえず英語を使えるレベルにしたいです。

- 英語で学べるようになるために、英語を学びたい。
- 自分のやりたいことを見つけ、様々な知識を身につける。
- 人として必要な教養。
- 英語を主流として学びたいです。
- 学部の専門科目だけに精通するだけでなく、幅広い教養を身につけていきたい。
- 英語をしっかり学びたい。
- 社会的なこと。
- 海外に行きたいという気持ちが全く起こらないので、せめて日本にいらっしゃる外国人の方と価値感を共有できるくらいには英語などの外国語を学びたいです。
- 英語に力を入れていきたい。
- 英語。
- 多様な考えを身につけたい。
- 英語。
- ・文理をつなぐような学問
 - ・英語を生かした教養
- 英語のリーディング。
- 英語学習。
- 世界の理学療法の研究がどこまで進んでいるか知りたい。
- いろんなこと。
- 英語で学ぶ講義。
- 英語力がとても重要だと思ったので、英語を学びたい。
- 英語と第二外国語のドイツ語。様々な言語を学んで違う世界に触れたい。
- 英語のspeaking能力の養成。
- 海外の人たちの刺激を受けながら最先端の物化生について学びたい。
- 社会を知れること。
- 英語で、学術的なものが理解できるようになりたい。
- 理系科目で化学を詳しく学びたいと思う。
- 英語をしっかり学びたい。
- 専門科目を学ぶ上で助けになるような知識を身につけたい。

- 自分の今まで知らなかったことや、知ってはいるが詳しくないことなどを積極的に学んでいきたい。また、理解していることでも思いこみ偏見などもあるかもしれないため、様々な見方で見れるようになりたい。
- 英語を頑張りたい。
- これから必要とされる英語を学びたい。
- これからの社会に役に立つことを学びたい。
- 今まで触れることのなかった文系科目について、学んでみたい。
- 幅広く、社会に出て必要な教養を学ぶ。
- 広い視野をもてるように法、哲学など文型科目など。
- 研究者とわたりあえる専門知識。
- 文系の内容も学びたい。
- 幅広い教養を学んで、広い視野で考えられるようになりたい。
- ・国際交流
 - ・世界のこと
- 英語をしっかりと勉強し、国際的な人間になれるようがんばりたい。
- 今までよりしんどい授業になる分、しっかり世界に通じる教育を学びたい。
- 社会のことを知れるような視野の広い内容を勉強したいです。
- 社会に出て恥ずかしくない一般教養+α。
- 日本の将来において重要となるような科目を中心に習っていききたい。
- 英語のスキルはとても大切であることが分かったので、「英語で学べる」だけの英語力を身に付けたいと思った。
- 英語を使えるレベルになるまで学びたい。
- 英語をさらに深く学びたい。
- 京都大学の学生として恥のないように基礎教養をしっかりと学んでいきたいと思いました。
- 学術英語を学びたいと思った。
- 英語のべんきょうは、高校の学習の延長線として毎日とりくむようにしたい。
- 英語をがんばりたいです。
- 国際的な知識。
- 海外に出ても堂々としていられるくらいの教養を学びたいです。
- 土台のしっかりした英語。
- ・i B T対策
 - ・英語に力を入れる
- 英語に特に力を入れて、頑張っていき、国際社会について学びたいです。
- 外国語、京大でしか学べないこと。
- 英語が得意といえるほどには英語を学びたい。
- 様々な科目を学び、教養を身につけたい。
- 思考力を養う。
- グローバル社会で活躍するために必要なこと。
- 自由に使いこなせる英語を学びたい。
- 人間の身体、心理や、社会についてなど私たちが生活している身の回りのことについて教養として広く学びたいと思います。また、英語も生活で話す、学術的に使用すること両方に利用できるくらいに身に付けたいと思います。
- 自分の将来につなげるための学びの基礎をつけたい。
- 地域医療に関すること。→防災とか心理学とか様々な分野のこと。
- さまざまな分野に取り組む。
- 英語を完璧にし、興味のある科目を積極的に学ぶ。
- 将来の職業に役に立つような学習をしたいです。
- 英語の教育が盛んに行われるということなので、この機会に技能をみがきたい。
- 英語をはじめとする語学や、医学以外の文型的な分野。
- 特になし。
- 学術英語をしっかりと学びたいです。
- 世界的な見方ができるように、視野を広げられるよう様々なことを学びたい。
- 自分の視野を広げるようなこと。
- 研究の重要性、どのように成されているか、広い視野を持つために人文、社会科目を積極的に学びたい。
- 英語の理解能力を高める。
- 英語で自分の意見を伝えられるようになりたい。
- 英語の新カリキュラムへの対応のため英語を重点的に学習したい。
- 英語の重要性を実感したので、留学を視野に入れ、海外で使える語学を習得できるように学びたい。
- 将来につながることを学びたい。
- 英語を話せるようになるまで学びそれ以上を追求したい。
- ・経済
 - ・心理
- 英語を中心に、語学をしっかりと学びたい。
- 英語を使いこなしたい。
- 国際的に通用する知識と、他人と交流する技能。
- 医療の専門的な知識だけでなく、外国語をしっかりと学んで、様々な人とコミュニケーションをとれるようになる。
- 英語を話せるようにしたい。
- ・国際的に広がるためのこと
 - ・専門につながること
 - ・その他にも幅広く
- まだ詳しくはわからないが、生きていくのに必要な知恵を身につけたい。

- 国際かんかく。
- 実際に使える英語。
- 高校とは違った大学で初めて習うことをしっかり学びたいです。
- 高校存籍時に十分に学習できなかった自然科学系の科目。
- 実用的な英語を学びたいです。
- 受験勉強のための英語ではなく学術的で実践的な英語を積極的に学び、英語をツールとして自分の意見を英語で発信できるようになりたい。
- 世界のことを学び、客観的に日本を見つめたい。そのため語学を多く学びたい。
- 自分の将来に役立つこと。

- 語学を頑張りたいと思います。
- 自分の目的に応じた授業を取り、目的に応じた能力を身につけたい。
- 人の為になること。
- 特になし。
- いろいろ学びたい。
- 言語の重要性を理解し、言語をしっかり学びたい。
- 世界を視野に入れて、計画的にアグレッシブに勉強したいです。特に英語を頑張ろうと思いました。
- 今後役に立つこと。
- 英語の学力を上げ、国際関係の知識を身につけたいと思います。
- 数多くのことを、幅広く総合的に学びたいです。

(8) 薬学部 (アンケート提出率 100.0%)

1. 薬科学科 (アンケート提出率 100.0%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 薬学について深く学んで色々な分野との融合と応用について考えたい
 - ・英語上手になりたい
- 留外生や外国人との交流。
- 生命化学や薬学について理解を深めたい。
- 今まで知らなかったことを積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。
- 勉強にしんしんに取り組みたい。
- 色々なことに取りくみたい。
- 英語をうまく使えるようになりたい
 - ・留学生との交流をしたい
- これまでは解答のある勉強がほとんどだったが、これからは未知の課題を探究する必要があるので、新しいものに出会ったときには、積極的に学問として取り組みたい。
- 薬に関する研究に取り組みたい。
- 学部の専門分野以外にも教養を持つ人になりたい。
- 将来企業での研究をしたいので、専門科目に力を入れるのはもちろん、グローバル化する社会に対応すべく英語にも本気で取り組みたい。
- 薬学研究者としてトップレベルの研究に組み込むための勉強を頑張りたい
 - ・様々な教養を身につけて、自分の幅を広げたい
- 自分の将来につながるような、専門知識を身につけたい
 - ・多くの人と出会い視野を広げたい
- いろいろがんばる。
- 適度な運動をしながら、将来に役立つ学力。
- 専門知識を学ぶとともに英語力を高めて、国際的に活躍できるようになりたい。
- 学びたいことを学ぶ。
- 英語を用いて自分の技能を高め、専門科目での研究などに生かしたい。
- 日本のトップレベルの大学でこそできることを活用し、勉学にはげみたいです。
- 自然科学系中心の探究に取り組みたい。
- 勉強ならびに研究。
- 一般：経済に対する知識を身につけ、不景気の中で生きることができるようになる
 - ・専門：薬学に結びつく、化学と生物のより深い知識を求める
- 薬学部の専門科目だけでなく幅広い学問にふれてみたいです。また、国際交流にも興味があるので、他国の研究にもふれたいです。
- 自由に生きて、自由に取り組む。
- 自分を高めてくれる授業や友大などの環境を求めている。大学時代にしかできないことに取り組みたい。社会人になってからは失敗できないことを、今のうちに失敗しておきたい。
- 国際的な見方を意識し、積極的に活動する。
- 専門知識と色々なこと。
- 学問の探求を存分にできること。まずは英語をがんばりたいと思う…。

- 薬学の勉強だけでなく語学もマスターしていきたい。
- 自分の興味のある専門的な分野について学び、研究していきたい。
- 楽しい大学生活と薬についての研究の基礎知識。
- 自由な学びを追求する。
- 基礎的な教養を身に付けるとともに最先端の専門的教養を身に付けること。
- 高校ではできないような高度な教育を求め、世界的に活躍できる研究者となるための勉学に取り組みたい。
- 世界に通用する人間になる。研究者として生きる準備をする。
- やりたいことをはっきりさせ、化学の勉強を楽しみつつ、製薬研究がしたい。
- 大学特有の自由を味わいながら薬について深く学び、将来の仕事の役に立てたい。
- 貧欲に勉学に励み、何か研究史に足跡を残せるような研究がしたいです。
- 様々な知識を取り入れ、新たな視点を持ちたい英語でのコミュニケーションに慣れたい。
- ・日本各地から集まった多くの人と友達になりたい
・新たなことに挑戦したい
- 自分の興味あることを極める。
- 多くの人知り合って様々な分野を学ぶ。
- 社会に出たときに通用する能力をつける。
- 英語を含む外国語の運用能力の向上。
- 高度な講義で、最先端の知識や、様々な技能を身につけた上で、自分の興味を持った分野を極めていくことに取り組みたい。
- 専門科目はもちろん、他の科目にも力を入れ、知識の幅を広げたい。
- 自分の視野を広げ、領域を超えた思考力を得るように取り組みたいです。
- 研究者になる人が必要なことを学びたい。
- ・国際社会に出ても問題のない人間になる
・留学、英語の勉強を一生懸命取り組む
- 質の高い学びと語学力。
- 専門科目だけでなく幅広い知識を身につける。
- まだない。
- 創薬の研究をするために必要な知識を身に付けたい。そのため、自然科学系の科目は特にしっかり取り組みたい。また、世界に通用する人材となれるよう、英語力を磨きたい。特に、英会話の力をつけたい。
- 専門を伸ばす。
- 学問を求め、研究に取り組みたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語。
- 語学。
- 語学についてもっと詳しく勉強したい。
- 将来、働くうえで力となる知識を身につける。
- 英語。
- 色々。
- 色々な分野の知識を得たい。
- 自分の視野を広げることのできるようなこと。
- 外国の文化、外国から見た日本について。
- 今知らないことを幅広く知りたい。
- いろいろ。
- 主に生物関係のことを学びたいが、英語で授業を受けることを通じて学術的なコミュニケーションもとれるようになりたい。
- 日本の文化、海外の文化など文系の知識も身につけたい。
- 英語は必ずしっかりやりきり、他の科目も薬学中心に学んでいく。
- 英語の学習を頑張りたい。
- 専門知識と英語を学びたい。
- 高校にはない、大学らしいもの。
- 英語、製薬について。
- これからの日本にも適応できるような知識。
- これからの社会によって必要とされること。
- ・一般：経済学についての深い知識、語学
・専門：化学、生物についての深い知識
- 物理。
- 英語を中心とした教育。
- 楽しそうなこと。
- 英語を学び世界に参加していく。
- 留学体験をして、他国の文化、価値観に触れたい。
- 英語を自在にあやつる！
- 世界に情報発信できるよう様々な語学をマスターしたい。
- 実際に海外で使える英語。
- 将来に生きる学を身に付けたい。
- 国際的に活躍するために英語にしっかりと力を入れていきたい。
- 英語以外の外国語。
- E科目、いろんな人と知り合ってみたい。

- 語学。
- 英語の技能を磨いて、海外に出ても困らないようにしたい。
- 留学に向けて、英語能力を伸ばしていきたいです。
- 英語での授業で、様々な人々の意見を聞いて、考え方を学びたい。
- 英語。
- 医療機器についてや心理学。
- 理系科目に限らず多くのことを学びたい。
- いろいろなこと。
- 目的に合わせた英語の習得。
- 社会人としての一般的な教養、学部の専門分野に限らない幅広い分野を学びたい。英語は厳しいようだが、国際的な場で困らないように英語を学びたい。

- 英語などの語学を特に頑張り、英語で学ぶ準備をしたい。
- 様々な昔の偉人の思想を活用できるようになりたいです。
- とにかく英語を学ぼうと思った。
- 物、化、生、数の大学レベルの内容。それを応用した薬学。
- 高水準の英語力を身につけたい。
- 幅広い知識を得る。
- 迷ってる。
- 自然科学系と外国語系は積極的に学びたいと思う。
- 苦手な語学を伸ばす。
- 人文や自然科学と色々。

2. 薬学科 (アンケート提出率 100.0%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 多くの考えに出会い、それらを吟味したうえで、自分なりの考えをしっかりと持てるようにしたい。そのために、語学の学習に特に力を入れたい。
- ・積極的に、新しいことを色々やってみたい
・講義とサークル等両立させたい
- 自分で学ぶということを大切に、問題を奥深く追求したいです。
- 総合的な知識を用いて専門的なことに取り組む。
- 受け身にならず攻めの姿勢で学習に取り組み、大学で様々な人と関わって一生物の人間関係を築く。
- 自分で考え、学び、行動する。
- 英語力を上げて、英語で学べるようになりたいです。
- 自分は薬の研究をしたいため化学系統の知識を深めていきたい。
- 世界で通用する人になるため、色々な知識をたくわえたいです。
- 専門的な知識を身につけて、新薬の研究に生かせるようになりたい。
- 特に生物関連したことを深く学び、薬の探究に活かしたい。
- 幅広いことに興味を持って、自主的に学びたい。
- 専攻する薬学はもちろんだが、専攻でない学門にも興味をもって、視野を広げたい。
- 有機化学に関する最先端の研究を学びたい。
- ・幅広い分野の知識を得ること
・6年間を通してできることを見つけて取り組みたい
- 専門の知識を広める(深める)。
- 専門科目を中心に学びたい。
- 国際性を身につけたい。
- 経験のない、新しい事に積極的に取り組みたい。
- 英語でのコミュニケーション力を身につけたい。
- 幅広い知識で様々な視点を得ること。
- 自分の興味のあることを学びたい。
- 自分のやりたいことを見つけ、それに必要な教養を身につける。
- 幅広い人脈を求め、積極的に学ぶこと。
- 薬剤師となるための勉強だけでなく、留学生を含めて様々な人と関わり、自分の世界を広げていきたい。
- 医療従事者を目指す者として医療の知識だけでなく多岐にわたる教養を身につけたいです。
- まだ分からない。
- 充実した学習。
- いろいろな国の人と関わる。
- 世界に通じる学力を。
- 深い研究をしたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 語学をしっかり学びたい。また、文系科目にも取り組み、多くの思想を学びたい。
- 英語を使う共通科目を学びたい。
- 英語で学べるという力を身につけたいです。また、学術的な知識を身につけたいです。
- 国際的な学習をするための英語。
- 英語など外国語の重要性を痛感したので、語彙を増やし積極的に外国語を学びたい。
- ・学術英語はマスターしたい
 - ・留学を見据えて日本文化も学びたい
- 理系科目だけでなく、文系科目などあらゆることに興味を持ちたいです。
- 自分の考えを確立するための基礎的な知識。
- 英語です。
- 学術的なことを中心に学びたい。
- 専門の科目に関する英語。
- 特に英語が重要だと分かったので、英語を使えるようになるまで学習したい。
- 文理関係なしに幅広く。
- 英語のリスニング及びスピーキング能力を向上させたい。
- 薬学部で学ぶ上で助けになるようなことを中心に学びたい。
- 専門科目にも役立つようなこと。
- 専門科目を中心に学びたい。
- どこでも通用する英語力。
- 外人とコミュニケーションをとる。
- 学術英語。
- 英語の論文が読めるように学術語彙を身につけたい。
- グローバル化のすすむ中で生き抜くための英語をしっかり自分のものにしたい。
- 自分の将来とは関係の浅い科目。
- 英語をがんばりたいと思った。外国人とコミュニケーションとれるようになりたいです。
- 英語をしっかりやろうと思いました。
- 英語、外国語に特に力を入れたい。
- 語学学習。
- 英語。
- 数学とか。
- 専門にとらわれない幅広い知識。

(9) 工学部 (アンケート提出率 92.0%)

1. 地球工学科 (アンケート提出率 86.2%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 分野にかかわらず、幅広い教養を身につけること。
- 専門知識と教養を兼ねそなえた人間になれるよう努力をする。
- 社会に貢献できる知識、技術、英語力。
- 高度な知識と高度なコミュニケーション能力を身につけ、国際的に活動できるようになりたい。
- 自分のやりたいことを見つけ、それを達成するために必要な能力を身に付けたい。
- 具体的な目標はまだ立っていないが、都市計画デザイン、または、新エネルギー開発に興味がある。大学生活を送る中で目標を具体化していきたい。
- 思考力を身につけること。
- 日本トップクラスの研究設備を使って、世界の役に立つ研究がしたい。
- 世界ではばたきたい。
- 新しいものを求め、他の人のしないことに取り組みたい。
- ・英語で学び、英語で自分の意見を発信する能力
 - ・日本周辺の海底資源の開発に携わるのに役立つ能力 短期留学などに取り組みたい
- ・個性をのばしたい
 - ・英語力を育みたい
- 留学させてください。
- 大学を出た後の仕事に困らないような教育を求め、日々の授業に取り組みたい。
- 様々なフィールドワークを通して、色々な人々とふれ、知識を得たい。
- 興味ある分野を極めたい。
- 都市開発。
- 工学に限らない幅広いこと。

- to be a global person.
- 様々な研究をしたい。
- いろいろなことを学びたい。
- ・ただそこにいるだけの存在ではないという意味で有意義な人間になりたい
 - ・物事の最適な判断に貢献できて、新しいものを他人と共に創造していける人になりたい
- 興味をそそる分野を探す。
- 幅広い教養を身に付け、自分が社会に何ができるかを見つけたい。
- 色々なことに興味をもって、積極的に取り組みたい。
- 広い教養を身に付け、生涯の友を見つけたい。
- 地域、環境系に組み込みたい。
- 幅広い知識とその活用法。勉強したことを日々の実践につなげる取り組みをしたい。
- 様々な分野の勉強を通して物の考え方を身につけたい。
- ・深い人間関係を築くこと
 - ・社会に出た後に役に立つ知識を身につけること
- ・環境問題の解決に関わる最新の研究を積極的に知りたい
 - ・ドイツ語を習得し、環境系の資料をドイツ語原文でよめるようになりたい
- ・幅広い知識を身につけ、深めたい
 - ・英語で会話をできるようにになりたい
- より広い範囲の科目について学んでいきたい。
- 人の役に立つ研究をする。
- 様々な人や内容に触れて、教養を広げて、あらゆるものに関心を持ちたい。
- 研究職になりたいので学術英語の向上。
- 教養を学ぶこともして、土木について学びたい。
- ロボットを一人で作れるだけの知識と経験。
- 幅広い教養を身につける。
- 最先端の技術を生み出すのに必要な、基盤となる知識、技能を身につけたい。
- 地球の環境問題について取り組みたい。
- 私は京都大学で、多種多様の情報を求め、全方面に時間をかけた勉強がしたい。
- ・国際的に活躍できるような教養を学び、様々な人と交流できる場
 - ・英語で留学生と交流することに取り組みたい
- 勉学に重きを置きたいと思います。
- 地球工学科としての専門分野の追求や、進路の選択とともに、社会に出た時に通用する英語力や一般教養の充実をうまく活用して、何か一つのことを決め、それに向かって取り組めるような人になりたい。
- 問題を解決できる力をつけ、幅広い知識をつけたい。

- ・英語力
 - ・中国語力
- 様々な能力に秀でた同級生からの指激をうけて、将来につなげたい。
- 社会に新しい風を吹いてほしい。
- 自分で勉強したいものを見つけたい。
- 語学に力を入れたい。(英、中)。
- 環境問題とその解決法。
- 自由な学風。
- 環境問題に取り組みたい。
- 社会にでた時に使えるような語学力を身につけること。
- 社会人として必要な一般教養だけでなく、土木関係や環境問題に対する様々な専門知識を身につけ、日本や世界の環境問題に取り組みたい。
- 自分が興味を持った分野の知識を深める。
- 将来、何をするにも困らないスキルを身につけたい。
- 人に役立つような技術の基盤となる知識を得たい。
- ・英語を言語として使えるレベルにしたい
 - ・土木工学について学び、十分な教養も身につけたい
- 専門的なことをたくさん知ってから決めるのでより多くのことに取り組みたい。
- 自分の興味に従ってやりたいことを高いレベルの環境で深く学ぶこと。
- 英語能力を高めたい。できたら留学したい。
- 自分のやりたいことを探す。
- 確かな英語力。
- より深い数学、情報に関すること。
- ロケットのエンジンなどの機械系を学びたい。
- より広い世界を見たい。
- 社会に役立つ人間になりたい。
- 研究したいことを探し、深く研究する。
- 教養を広く身につけ、また専門については深く学んで国際社会で活躍できる人材になりたい。
- 一般教養を身につけたい。
- 問題解決のために国際的な活躍ができる能力、知識を得たい。英語その他の様々な知識、技能の習得。
- とりあえず工学部とは何なのか、それを学びたい。英語も駆使出来るようになりたい。
- 海外にも視野を広げ、将来社会に貢献できることにつながる勉強に取り組みたい。
- 学科関係の内容のみでなく、様々な分野の内容と身につけ社会に出ても恥ずかしくない人間になる。
- 外人とスムーズに話せるくらいに英語ができるようにする。

- これから生きていく上で必要になっていくこと。
- 幅広い教養と、深い知識を得て、自ら未知に対して探求するテーマを見つけたい。
- 専門的知識を深めるとともに、幅広い教養を身につけたい。
- 自分が研究したいことを見つけたい。
- 自分の可能性を広げる新しいこと。
- 燃料革命。
- ・自由な最高峰の学び
 - ・都市計画
- 刺激を与えてくれる仲間や環境を求めて、持続可能な開発の研究に取り組みたい。
- 自学自習につとめ、様々なことを吸収したい。
- 自由に■■■たいと友達と遊びたい。料理したい。
- 日本語、英語の両方を使った学習を可能にする。
- 自学自習による積極的な学習。京都大でしかできない、国際的視野を広げるための学習に力を入れたい。
- 国際的に通用する英語力、コミュニケーション能力の養成に取り組みたい。
- 自分で課題を決めて自分なりに考えたことを交流する。
- ・国際交流
 - ・地震
- 新しい出会いや発見を求め、本当に自分がしたいことを見つけそれに取り組みたい。
- 良い影響を与えてくれる仲間がほしいです。今、興味のあることにとりくみたいです。
- 英語のリスニング、スピーキングを強化して研究なども英語で行えるようになりたい。
- ・外国語でのコミュニケーション能力の向上
 - ・豊かな自然環境と人間が共生していくあり方を考える
- 英語力と幅広い教養を身につけたい。
- 留学を積極的に利用したい。
- ・学問社会に必要なあれこれを学びたい
 - ・数学を学びたい
- 今まで学んできたものを使って実際の問題に挑んでみたい。
- 他人と話し合っって何かを生み出すこと。
- 確固たる知識、教養の修得を求め、(特に英語)将来役に立つことに取り組む。
- 国際的に情報を発信できる能力を求めて、国語を中心として英語のコミュニケーション向上。
- 英語力をつけて、様々な人とコミュニケーションができるようにしたい。
- 専門分野に関する知識を多く得る。英語を使えるようにする。
- ・勉学
 - ・英語
- 高校で表面的にしか理解していなかったこと。
- 専門的な知識や技術だけでなく、はば広い教養を身につける為に、分野の垣根を越えた学習をしたい。
- 工学を極めます。
- ・専門的な能力
 - ・国際的な力
- 英語力を身につけあらゆる人とコミュニケーションをとれる力。
- 航空宇宙工学に興味があり、その分野に進みたいです。
- 英語の技能を身に付け、インターナショナルな交流をする。
- 幅広い機会を求める。勉学はもちろん熱心に取り組みたいが、それ以外にも様々なことに取り組みたい。
- 日々の生活を支えるインフラについて、あるいは防災に関する技術について学びたい。円滑にコミュニケーションができるような英語能力を身につけたい。
- 高校時代に意味のない時間を多く過ごしたので、大学ではしっかりと勉強、学問をしたいと考えています。
- より多くの、広い分野の知識を得たい。大学ならではの体験をしたい。
- 世界で通用する力。
- 英語を使える人材となるために留学を視野に入れた英語教育に取り組む。
- 積極的に授業に臨む。
- 社会で活躍していける為に必要な基礎知識を身に付けた上で専門的な研究をしたい。
- 故郷に貢献できることを見付けたい。そのために自分がつけられる力は全てつけたい。
- 人々の役に立つために必要な知識を見につけたい(漠然としているが)。
- 広く様々なことについて学び、将来国際社会で活躍できるような能力を身につけたい。
- 卒業したい。
- アメリカの大学へ留学していきたいです。そして、日本人の友達もたくさん作りたいです。
- まずは、幅広い知識を身に付け、それをもとに今まで、取り組んだり、興味をもっていなかった分野の学習等をしたい。
- 授業についていける学力。部活。
- 国際社会で活躍できる力をつけたい。
- 自分で考え、行動できるよう取り組みたい。
- ・社会で生き抜いていくために必要な一般的教養を得る
 - ・自分のやりたいことをはっきり見定め、将来につなぐ

- 地球工学の知識をちゃんとみにつける。幅広い知識。
- 環境問題の解決に必要な方法を考えるもとや、それに必要な政治的経済的知識。
- 自分で考える力、情報をまとめる力、表現する力。グローバルな社会で生きるために国際交流を試してみたい。
- 外国語を積極的に学習し、日本の古典だけでなく、他国の古典も読めるようにしていく。また、自習を進めていくことで希望する勉学に努めていきたい。宇宙といったものに目を向けていく前に地球上の目の前の諸問題に取り組んでいこうと思う。
- ・自ら考え物事に取り組むこと
 - ・コミユ力
- 何を学び、身につけるべきか、考える力。
- 国際的なエンジニアとして活躍できるようになるための教養、英語力。
- 将来でも交流をもてるような友達をつくり、勉強もがんばりたい。
- 社会で活躍するための技能を得る。
- 新しいことと知的な仲間とともに自分を進化させたい。
- 外国人との交流。
- 知性と品格。
- 都市や交流の分野を中心にやりたい。
- 高校では勉強できなかった多くのこと。
- ・恵まれた環境の中で夢実現に向け勉学に励みたい
 - ・様々な人との出会いを大切にし、人間として成長したい
- 周りに流されることなく、今までしたことのない体験を自分から行動をおこして取り組みたい。
- 未定。
- ・いろいろな分野の学習
 - ・個性的なおもしろい人たちとの学習
 - ・留学（短期のやつ）に行きたいです
- 与えられた機会を生かし、自分の可能性を広げて勉学に努めたい。
- 自分のやりたいと思えることを見つけるため興味ある分野に挑戦していきたい（エネルギーとか）。
- 社会人にふさわしい教養をみにつける。
- 自分が真にしたいことを探求し、やりがいのあることに取り組みたい。
- 英語力をつけて、使いこなせるようになりたい！
- 自分が何をやりたいかの目標をきちんと定める。そのために、積極的に行動する。
- ・すごい人に会って色々知りたい
 - ・新しいことをしてみたい
- グローバルな活動をしたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語を完璧に話せるようになること。
- 工学分野だけでなく幅広い分野を学びたい。
- 広く多様な知識とそれを説明できる表現力、英語力。
- 国際人としてのさまざまな教養。
- 専門知識と、それを英語で表現する能力。
- 学術研究において必要な英語の力を学び習得したい。
- 英語で学べる英語力を学びたいと思います。
- まずは幅広い教養を身につけたい。
- 将来に役立つこと。
- 海外の人に日本のことを説明できるように、英語のスキルと、日本のことを学びたいと思う。
- 英語。
- 英語。
- 今までの視点とは新たな視点からものが見れるよう。
- 海外留学に必要なこと。
- 学術英語。
- 学術英語。
- 英語。
- 英語で。
- 色んな知識と語学。
- 広い知識。
- 様々な文化に触れたい。
- とにかく何でも意欲に学びたいと思う。
- 英語で学べる能力。
- 日本だけでなく世界の慣習などを学び、知恵を深めたい。
- クリティカルシンキングの仕方が身につくような内容を扱う授業をとって、物の考え方を学びたい。
- 文系よりの内容を学びたい。
- 工学の社会における役割など。特に資源工学。

- 論理的な考え方ができるようにしたい。
- 哲学。
- 一般教養（心理学等）。
- 学べるだけ。
- 理系科目だけでなく、文系科目も学びたい。
- 英語が話せるようになって、留学生と話せるようになりたい。
- 英語で話すこと。
- 英語を実際に使える能力。
- なんでもやりたいです。
- 英語で様々なことを学び、人に伝えられるように、英語を身につけたい。
- 語学。
- ・興味のあること
・留学したいです
- 生涯有益となる知識を身につけたい。
- 全般的に学びたいです。
- 英語を中心としながら、工学に直接関係する学問分野だけでなく、それ以外で自分の興味がある分野も積極的に取り組んで一般教養を深めたい。
- 幅広く学びたいが、重点的には英語。
- 英語を中心にアメリカで何不自由なく生活、講義できるように。
- 多くの文化を学びたい。
- 日本に住んでいてあたりまえのように感じていることを他文化の人にきちんと説明できるような深い教養を身につけたい。
- 国際交流や語学に関する科目。
- 日本や世界の文化。
- 英語とそれ以外の言語。
- 英語をしっかり学んで学術英語を使いこなせるようになりたい。
- とりあえず語学をがんばろうと思う。
- 人文系の科目を、1つでもよいので取りたい。また、英語の授業はとても大変そうなので、4月から集中して、レポートを英語で難なく書けるようになりたい。
- 幅広い教養を身に付けたい。
- 英語をまずは学びたい。
- 哲学、歴史など。その他は指定科目ですからしなさそうなものをしたい。
- たくさんのかんことを深くから学びたい。
- 英単語が一語三千円になるかもしれないと言われて英語学習をがんばろうと思った。
- 学術に使える英語で発表する力を学びたい。
- 英語。
- 情報、数学。
- 国際的教養。
- 学術英語。
- 自分の興味があることならばなんでも。
- 専門に限らず、幅広い教養。
- 産業、文化と環境の関係における課題。英語、フランス語。
- ただ工学部というに枠にとらわれるのではなく、広く学びたい。
- 語学や、今まで知らなかった日本のこと。
- 自分がまだ知らなかったり理解できていないこと。
- 社会に出てリーダーとして活躍できるだけの幅広い教養。
- 工学的分野の他にも人文系などの知識をしっかり身につけたい。
- 人文系などの、専門系とあまり関係のないことを積極的に学びたい。
- 実用的な英語。
- 英語が非常に苦手なので克服したい。
- グローバルな人間になるための知識、教養。
- English for Academic Purposes.
- 英語の重要性が分かった。
- 英語の重要さが分かったので、頑張っていきたい。
- 英語はやらないとダメなんだと思った。
- 社会科学。
- 学術英語、中高で経験してきた英語での研究、論文、発表の知識を生かして、さらに発展的な学術英を学ぶ。
- ・実用的英語
・将来仕事に存分に活かせるような専門分野
- 学術英語。
- ・物理
・言語
- 英語力は言うまでもなく、日本人として京都大学生として、一歩進んだ教養を身につけたい。
- とりあえず、英語をはなせるようになりたいです。
- 数学、プログラミング、英語環境問題などをしっかりと学びたい。
- ・幅広い分野における深い知識をつける
・異文化の人々とふれあい、視野を広げる
- レポートの書き方。
- 人文系を含め、広く学びたい。
- 歴史、地理。
- 英語を十分扱えるようにしたい。
- 英語をしっかり身につける。
- 日本語はもちろん英語を用いて、自分の考えを説明できるようになれること。
- 広い分野を学びたい。
- 分野にこだわらず、文系科目などを学んでいきたい。
- 実際社会に出て必要になる知識、経験。
- 英語。

- 外国語を通してみられる日本語を通してではえられぬ知。
- できるだけ様々な分野に触れて多面的な視点を獲得したい。
- 基礎的な力。
- 英語力。
- 科学者として必要とされる英語でのコミュニケーション能力を身につけたいと強く思いました。
- 幅広い分野を学びたい。
- これから生きる上で知っておいた方が良く。
- 英語の能力（特にスピーキング、リスニングといった対話能力）。経済学、歴史学といった社会に関する事柄。
- 英語がすべての人に必要なは言うまでもないので、まずは英語のテストで点をとれるようにしたい。
- 自分の専門だけではないことを学びたい。また、世界に通用できる実力をつけたい。（留学などで）。
- 工学の基礎。
- 国際社会に通用するために英語の重用性を再確認し、英語をベースとした授業を学びたい。
- 日本の文化についてしっかり学びたい。
- 特に英語の重要性が分かったので、英語を読む、話す、書く、聞く能力を身に付けたい。
- 深い専門知識を身に付け、それを英語で表現できるようにする。さらに専門に縛られず、大局観をもてるようになる。
- 必要な英語の技術、それから様々な基礎となる教養。
- 日本や世界のことを深く学びたい。
- 語学。
- 学術英語を学びたいと思います。
- これからの人生をより豊かにし、多角的な角度で物事をとらえる基礎となるもの。
- 視野を広くとって、直接の関係のない学問などにも触れてみたい。
- 自分が理系だから、文系の知識がほしいと思った。
- 環境問題は地球全体に関わるので、人文科目も広く学びたい。
- ・英語をめちゃくちゃ頑張りたいです
 - ・なるべく国際交流をしたいです
 - ・英語で生活できるようになりたいです
- 幅広く色々な事を学びたい。
- 英語で、日本について知りたい。
- 興味のある物は何でも。
- 工学の専門知識や、それ以外にも、外国の文化や、人を動かすための力について。
- 数学、理科はもちろんのこと文化多様性についても学びたい。
- 英語。
- 英語をしっかりとりとくみみたい。
- 日本文化。
- 英語は大事だ。
- 英語の重要性がよく分かったので英語はよく勉強したいと思う。
- 英語。
- 幅広い知識。
- 英語を使って様々なことができるようになりたい。
- えいご。
- 英語は苦手なので、とにかく英語をきたえたいです。
- グローバルな人材となれるよう、専門科目だけでなく英語をしっかりと学びたい。
- ・これからの社会で生き抜くための安定した知識
 - ・社会に通用するような専門的な知識
- 使える英語を修得したい。
- 将来の自分に役立つことを学びたい。
- 倫理学。
- 人としてのありかたを見つけ生き抜く力を学ぶ。
- 幅広いこと。

2. 建築学科（アンケート提出率 96.3%）

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 建築について学ぶ。
- 専門の科目だけでなく、人文社会など、一般教養の科目に多く、取り組みたい。
- 英語を話せるようになり、様々な国の人と交流したい。
- 語学力を向上させたい。
- キチンと勉強し、勉強したことを将来活かせることを求める。
- 勉学やサークルなどいろいろなことに取り組みたい。
- 英語力とリーダーシップを求め国際社会の最前線で活躍する能力の養成に取り組みたい。

- 自分で考えて判断し行動すること。
- ・コネ
 - ・サークル
- 英語力を身につけること。
- 多様な価値観にふれて、良い意味で「変人」になりたいです。積極的に何事にもとりくみたいですね。
- プレゼン力が欲しいのでそういったものに積極的に取り組みたい。
- 広い分野で勉強して幅広い知識を身につける。
- 様々なことに触れ、新しいことを学びたい。
- 幅広い知識を身につけて、学ぶ機会を積極的に利用していきたい。
- 世界で活躍できる能力。
- 最先端の研究に触れ、多くの人と議論して様々な課題を解決していきたい。
- 自由な発想ができる力を身につけたい。
- 建築についてのレベルの高いこと。
- 建築学のみならず、多文野の幅広い教養を身に付けたい。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 京都という立地、総合大学であることを活かし、幅広い教養を身に付ける。
- 本気で取り組めるものを見つけたい。
- 英語が完全に話せる人になりたい。
- ・自分の将来像
 - ・勉強する
- レベルの高い仲間と一緒に自分の夢の為にすべきことを学ぶ。
- 面白い授業。
- 規則正しく、めりはりをつける。
- 建築についてしっかり学びたい。
- 幅広い知識を身につけて、自分の視点を広げたい。
- 建築について学びたい。
- 京大はまわりの学生もハイレベルなのでそのような人たちに影響されながら、京大という最高の環境で、今自分に必要なことを発見し、疑問をかがげ、その答えを見つけるための知識を身につけたいと思います。
- 私は学生生活のうちに広い分野の知識と建築についての深い理解から、クリエイティブな仕事ができるようになる。そのためのステップとして学生のうちに起業しようと考えている。京都大学には、一緒にクリエイティブな人生を目指す優秀な友人とそのための知識を求めている。京都大学では個人が自らの興味によって多様な知識を得ることができるため、私の求めるような友人は多いと期待している1回生で留学して2回生では起業し、3回生には年収500万を目指す。
- 語学。
- 発信力のある学生になれるように学びたい。
- これから大学で学び、社会に出ていく中で、「京大卒」という肩書きに恥じることがないように、1人でも世界をまたにかけて働いて社会に貢献できる人間になれたらいいと思う。
- 楽しい大学生活と充実した授業。外国語と専門的知識を身につけて、グローバルな人材になる。
- 自分の興味ある勉強についてより深究していきたい。
- 自分の満足できる生活。
- 建築に関わる様々な知識をつけ、それ以外のことにもジャンル関係なく、いろいろなことに挑戦する。
- 勉強。
- 色々な分野の勉強。
- 建築の基礎を学び、多くの人々や町に受け入れられる建築をつくれるようになりたい。
- 自分が夢中になれることを探したい。
- ・自主性と独創性を育みたい
 - ・論理的な発表をする練習をしたい
- 世界に通用する能力を身につけたい。
- ・勉強したい
 - ・英語ペラペラになりたい
- ・語学力
 - ・世界に通用する建築
- インターナショナルな人材になりたいです。そして、専門な知識を身につけるよう努力します。
- 語学に積極的に取り組み、世界で役立つ人間になる準備をすすめる。
- 様々な知識を統合した、人間の生活に役立つ知識を学ぶこと。
- 世界の人と触れ合い、知識を交換したいです。
- 短期留学をしてみたい。
- 専門的な学習だけでなく、英語でのコミュニケーションができるよう、勉強したい。また、勉強だけでなく様々な人との交流を経て経験を積みみたい。
- 世界に通用する教養、語学を身につけたい。
- 建築。
- 多方面から建築を学び、国際社会でも通用するスキルを身に付けたい。
- ・自分の関心のあることを見つける
 - ・社会、世界に目を向ける
- ・建築の勉強はもちろん、様々な分野に組み込みたい
 - ・留学にも興味があるので、語学も様々なものに挑みたい
- ・建築士になるための勉強
 - ・外国語を話せるようになりたい
- コミュニケーション力。
- 学問と芸術の隔合。

- ・短期留学に行きたいです
 - ・英語の講義を受けたいです
- 将来に役立つ勉強。
- 尊敬できる友人、教師との出会い、交流を求める。
- さまざまな人と交流して視野を広げ、1つの専門を選んで十分に勉強したい。

- 英語能力の向上。
- ・幅広い教養をつける
 - ・より専門的な勉強
- 社会の波の入り口に際して、様々な社会経験を積んで、人間の幅を広げる。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 人文科学。
- まだよくわからない。今日のはなしをきいたうでじっくり考えたい。
- 英語（特に話す、聞く）。
- 英語。
- 英語を、コミュニケーションの道具として使えるレベルまで上手になりたい。
- 自らの学科のみならず幅広く教養を深めたい。
- 上記の通り。
- 分野を問わず長期的に考えて自分の支えとなるもの。
- 地理。
- 英語力を身につける。
- 交換留学を目指そうと思います。
- 国際に興味があつたので英語を学びたい。
- 英語を中心に頑張りたい。
- 実践的な英語での会話。
- 国際交流でも役に立つ英語力。
- 建築では、社会関係の知識も必要なので、広く学びたい。
- 海外へ行っても通用する力を身につけたい。
- 英語をしっかりと習得し、E科目も積極的に取り組みたい。
- 英語をがんばりたい。
- 研究室さらには社会で活躍できる英語力を鍛える。
- 国際社会を乗り切れるだけの教養。
- 人生を豊かにする知識。
- これからの社会や世界状況に対応できるようなことを学びたいと思う。
- 幅広いこと。
- 英語。
- 英語の重要性を再認識した。
- 学部、学科の講座の内容だけではなく、ILASセミナーや人文社会などにも重点を置いて学習をすることで、偏らない学習をしたい。
- 英語など語学。
- 数学。

- 日本人として知っておくべき教養を身につけ、また、どんなに関係ないと思うようなことでも最終的にはつながると受験勉強でもわかったので、そのつながった瞬間のたのしさを感じたいと思います。
- ・広い知識と感性
 - ・建築への深い理解
 - ・イメージネーション
- まず、日常の英語に加えて学術英語も不自由なく使えるようになりたいと思う。
- 世界で通用する英語。
- 語学。
- 誰とも違う個性を見出す方法。
- ・英語を身につけたい
 - ・広く学び、見聞を広めたい
- 英語。
- 理系科目以外も学びたい。
- 自分自身の視野を広げ、それが建築の作成にもつながるような、様々な分野を学びたい。
- 幅広い分野のこと。
- 自分で海外で活動できるように外国語を学びたい。
- ・専門分野に必要な英語知識
 - ・コミュニケーション能力
- 外国人と話せるレベルの英語。
- 様々な国の文化。
- ・文学
 - ・哲学
 - ・美術
 - ・語学
- 将来の研究領域を考えながら、教育に関わる科目を学ぶつもりです。
- 専攻する建築学だけでなく幅広い分野の教養を身につける。
- 人間の生活を補助すること。
- 使える英語を身につけたいです。
- 英語が苦手なので、英語をがんばって学びたいと思う。

- 幅広い知識。
- 英語のスキルをみにつけたい。
- 英会話。
- 高校までで習ったことのない分野。
- 高齢、福祉、子育て等。
- 語学、工学部の専門科目以外の様々な分野を学びたい。具体的には、法学、経済、歴史、語学等をやりたい。
- 一般的に「教養」と呼ばれるような、人間として知っておくべきこと。

- 外国語。
- ・英語をもっと自分のものにしたいと思いました
・自分から話せるようにしたいです
- 英語など。
- 英語で自分の意見を発表できるようになりたいので、そういう科目を受けてみたい。
- 十分に語学を学びたい。
- 学術英語。
- 哲学、文学などの自分の専攻と関係ない科目。

3. 物理工学科 (アンケート提出率 92.5%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 数学、物理、化学の真理を探求し、世の中で役立つような研究をして、成果を出したいです。
- 将来人の役に立つことができる研究をしたい。
- ・宇宙やナノ、生物について見識を広げ、深めたい
 - ・バイオミメティクスに取り組みたい
 - ・物理と生物の境界となる学問に取り組みたい
- 幅広い教養を身につけ世界に。
- ・色々
 - ・学びたいことを何でも学べる場
 - ・人文、社会系の実習
- とりあえず、2回生で、宇宙工学コースに入れるように勉強していく。
- 自分の興味がある分野についてより深く学ぶと同時に、今まで興味が無かったものについても広く学びたい。
- 自分の潜在能力を最大限発揮できる分野を見つけ、その分野を極めたい。
- グローバルで活躍でき、人の上に立つ人になりために英語を頑張りたいです。
- 様々なことに触れ、やりたいことを見つけたい。
- ・自分の成長を求める
 - ・自分がこれをすれば成長できると思うもの
- 英語と工学と教養を深める。
- 発想力を上げて、開発系の職につきたい。
- それを探するための大学。
- 学んだことをできるだけ多く吸収し、人間的に成長する。
- 自分に合った分野を見つけ学びたい。
- 研究に必要な基礎的な知識、技術を身につけたい。
- 新しいものをつくりたい。
- 英語力と工学的技術力。
- 様々な分野の人々と交流し、自分の興味のあることの研究をしたい。
- 様々な分野に秀でた人との出会いを通じて、自らの教養を深め、又、社会で必要とされるコミュニケーション能力を高いレベルに引き上げたい。
- 確かな教養を求める。
- 英語のレベルを留学できるくらいにしたい。
- 将来社会の役に立つための専門的なことを身につける。
- 興味のある研究をトップクラスの先生の指導のもと取り組みたい。
- 勉学と遊びの両立。
- 地球の環境を保全するための知識つける。
- いろいろ。
- 勉強と部活の両立。
- 機械について学びたい。
- 英語ですらすらと話し、聞きとれるようになりたい。
- 幅広い教養を身につけ、社会における自分の役割を見出す。
- 広い一般教養と深い専門知識を得られるようにしたい。
- 核融合、宇宙太陽光発電、人工知能について学びたいと考えています。これらのことについて深く理解し、どの分野に将来進むかを考えたいと思っています。
- 自分の夢を叶えるために、必要な知識、技能をえたい。
- 自由な環境を活かし、工学も英語も水泳も、色々なことに取り組みたい。
- 工学、特に機械の研究について知識を深め、社会に役立てる能力を養いたい。

- 興味のある分野に関して深く学ぶ。
- 他大学ではできないこと。
- 人生をおもしろおかしく渡っていけるスキルを身につけ、あらゆる面白そうなことに触れ、知識を得たい。
- 一般教養を身に付けた上で、わからないことや新しいことに興味を持って追求していきたい。
- 自分を高められる講義や環境を求め、社会に貢献できることに取り組みたい。
- ・海外でも通用する学力
 - ・スピーチ力をつける
 - ・留学したい
- 自分のやりたいことを一生懸命したい。
- 京大でしか学べないこと。
- 大学ならではの実験等。
- 幅広い教養と豊富な外国語運用能力。
- 理系はあまり興味がないので、人文科学系を中心に人としての幅を広めたい。勉強ではない方面で、様々なことを学びたい。
- 広い教養を持つと共に自分の好きな専門科目の知識を深めたい。
- ・英語教育の能力
 - ・工学の基礎
- 楽しさを求め楽しいことに取り組みたい。
- 自分の見聞を広げ、世界に通用する研究開発をしたい。
- 自然エネルギーに関する知識を求め、その効率の向上に取り組みたい。
- 様々な価値観をもった人々と触れ、最先端の学習に取り組む。
- これまでの教育では受けられなかった、目新しい学問。
- 自分の知らない新たなことに挑戦し、専門的知識を、身に付けたい。
- 最先端の技術を習得したい。
- グローバルな視点を持ち、自分の考えを世界に発信すること。
- 専門的なことを身につけたい。
- 英語の強化。
- 積極的にいろいろな知識を吸収していきたいと思う。
- 専門知識を学ぶ。
- どんな難問難題に当たってもそれに対処できる正しい見方考え方を身につける。さまざまな人と価値観交換し、見方考え方を広がり、クリエイティブな考え方を身につけたい。
- 沈んでいく日本で生き抜く力をつける。
- まず、自分のやりたいことを探したいです。
- 分からないことは自分で考え、実験や研究を通して明らかにしていきたい。
- 宇宙工学を学び、それを学ぶために英語を頑張りたい。
- とにかく留年しないようにがんばる。
- ロボットなどの研究に必要な知識（歴史上などの人文科学的なものを含む）を身に付けたい。
- 幅広い知識を求め、材料科学に取り組みたい。
- ・知識
 - ・教養
- 自分が究めたいと思う学問分野を見つけ、その分野について学会や研究社会でも活躍できる技能、発想力をつけること。
- ・研究者として必要な技能、知識、英語力を身につけたい
 - ・さまざまな人達と交流し、幅広い考え方を身につけたい
- 自分のやりたいことを広い選択肢の中から見つけ、そのことに夢中になりたい。具体的なことはこれから見つける。
- 理数系の知識を豊かにし、色々な価値感に触れたい。
- 将来役に立つ能力。
- 世界で通用する一流のエンジニアとしての技術を身につけること。
- 将来に向けて様々なことに挑戦して視野を広げる。
- 主体的に活躍できる技術者、研究者になるために必要な教養、知識を身につけること。
- 英語のみならず語学力を伸ばすとともに、専門知識を増やす。特に宇宙航空工学について学びを進めたい。
- 自分のやりたいことを見つける。
- 英語力の向上、専門知識の修育を通じて、世界で活躍できる能力を身につける。
- ・本当の自由は何か？
 - ・どうやって私の才能を発揮して世界をよりよくさせるか？
 - ・私は一体だれか？
 - ・この世界は何物だ？
- 広く深く学びたい。
- 文武両道。
- 数学、物理をさらに学習して、それらを英語を用いて、研究、発表したい。
- 様々な人たちと出会い、今までしたことのない活動をしたい。
- 物事の真理を見極め、自ら主体的に考えて新しい機械を生み出したい。
- 幅広く、基本的な知識を身に付け、将来進む学問を決めて、その学問について深くほりすすめたい。
- 新たな可能性を発見し、グローバルに活躍できる人材になれるような、知識と思考力を身につける。

- 宇宙関連の仕事について必要な知識。
- 知識。
- レポートやプレゼンのやり方を学びたい。
- 将来に役立つ技術、知識の修得。
- 自ら思考し、自ら学ぶ姿勢を得ることに取り組みたい。
- 日本のエネルギー問題について打開策となりうる技術を探ることに取り組みたいので、エネルギーについての知識や技術や日本の地理についても知識を深めたい。
- 専門分野を極めるだけでなく、幅広い教養と交友関係が作れるようになりたい。
- 機械型の職にたずさわるために、必要なことや教養となるものを学びたい。
- 規則を守った上で自由の学風を、享受して自分の知的好奇心を満たしていきたい。
- 機械工学の研究をしたい。
- 勉学に努めたい。
- 様々な分野に触れる。
- 文系理系問わず広く知識を身につけたい。
- 研究者になりたい。
- 工学系で、何か興味のあることを見つけたいです。
- 新たな視点。
- 自分の専門にしたい分野に限らず幅広い分野に取り組みたい。
- 様々な分野の知識を身につけて、興味のあることに積極的に取り組みたい。
- 知識を増やし、やりたいことをやる。
- 知識を求め、学部以外のことも学んでみたい。
- ・あまり挑戦したことのないことに取り組みたい
・一般の人々を裏で支えることにつながることをしたい
- 様々な知識、考え方を身につける。
- 新技術の開発に役立つ知識。
- 自己批判能力。
- 自分のやりたい研究の方針を見つけ、その研究を行うために見合った、基盤となる知識やものの考え方を身につけること。
- 英語力を身につけたい。
- いろんなことに挑戦。
- 様々な考えを身につけることを求めたいので、学業やサークル、学校行事など色々なことに取り組みたい。
- 様々な分野の学問に触れる。量子力学とか。
- 社会に貢献できる技術を学びたい。
- 英語の充実を求め、積極的に取り組みたい。
- 工学を通じて新しいものを創り出せるようになりたい。
- 留学など。
- 自分の将来を決めること。
- ・工学の専門知識を修得する
・国内の工学技術の発展
- 国際的に活躍できる開発員となるため、理系科目、英語を学び、外国人と積極的に関わっていききたい。
- 国際社会に通用する英語と豊富な知識を身につける。
- 研究者となるための基本を学びたい。
- 広く浅く、たくさんの知識をえたい。
- ・留学したいです
・航空宇宙系のロボットをつくりたいので、その基礎を学びたい
- 人間社会の発展の役に立つような開発、研究のできるスキルを身につけ、海外で活躍するスキルも身につけたい。
- 機械系の最新知識を学び、多国の言語を活用できる人になりたい。
- いろいろなことを勉強する。
- 興味があることか、将来に必要なものです。
- 考える楽しさ。
- 自分の専攻だけでなく、幅広い教養を手に入れる。
- 教養を身につけたい。
- ・幅広い知識を学ぶとともに、深く知識を得ていきたい
・目の前の一人を幸せにできる人に、世界平和に貢献できる人に成長していきたい
- 世界に通用する技術を身につける。
- 人の役に立つことをしたい。
- 専門的な知識はもちろん、幅広い教養を身につけ、他者とのコミュニケーションを積極的にとり、論理的思考力をつける努力をすること。
- 国際社会においてリーダー力を発揮することができるだけの種々の能力、知識、教養の修得。留学、教授との会話、人脈作り。
- とにかくできることはなんでもやってみたくです。留学なんかも考えています。
- 研究するための知識と能力。
- 自分で考えて研究にとり組む力。
- しっかりした英語力をつけ、将来に役立てたい。
- 外国人とコミュニケーションができるほどの英語能力が身に付くように英語に取り組む。
- 特に決まっていない。
- グローバルな視点で物事について考えられる研究者になりたい。
- 国際的に活躍できるようにするために必要なものを求め、1回生のうちはまず、ツールとして英語が使えるようにしたい。
- 大学でしかできないような最先端科学技術の勉強。
- 多様な価値感、考え方に触れ、人として成長すること。

- 自分の可能性を広げたい。
- 自分の発想を、どんなに小さなことでも気づき、追究していくこと
 - ・英語から逃げず、使える英語を身につける
- 積極性を身につけたい。
- 自由な時間を使って様々なことに挑戦したい。
- 自分の可能性を広げることに取り組みたい。
- 社会で通用し、役に立つような人材になること。
- 新しいものを作れる人間になりたい。
- 物理学
 - ・哲学
- 高校の時苦手だった英語や、他の理系科目に取り組みたい。
- 自由な校風なもとで、分野にとらわれない広い視野で学ぶ。
- 工学部として、身につけたいと思っている技能をしっかりと身につけること
 - ・京大生として、誇れるような教養を身につけること
- エネルギー関連の勉強をしたい。
- 世界に通用する力をつけ、エネルギー工学を専攻し、エネルギー工学の先駆者になる！
- 工学の技術と知識を身につけるだけでなく語学もしっかり取り組みたい。
- 勉強に限らず自分の将来の役に立つことを積極的に取り組む。
- 英語力を身につけ、グローバル社会で通用する人になる。
- 情報収集、発信能力を高めたい。
- 自分の可能性を見つけ、本当にやりたいことを見つける。
- 世界でかつやくできる力（語学力など）。
- 強く心をひかれるものを見つけ、そのことを究めてみたい
 - ・英語力をつけ、国際性を身につけたい
- 自分のやりたいことを絞っていく。
- 自力で動ける研究者になる
 - ・基礎を固める
- 世界的に活躍できるような人になるために勉学にはげみたい。
- 「物理音痴」を克服したい
 - ・話せる英語を身につけたい
- 高いレベルの研究
 - ・高校ではできなかった広い分野の問題の解決だけでなく、その意義の追求
- 自分を大きく成長させるもの。
- 英語力をあげ、英語で学びたい。
- 多くの人と交流し、積極的に行動したい。
- 様々な教養を身につける。
- 工学の基礎を学びたいです。
- 英語の語学力と工学的知識と実践経験。
- 国際的視点を身につける。
- 原子核工学関係。
- 語学力をつけ、様々な知識を身につけた上で、専門に集中したいです。
- 自分の可能性を広げられることに取り組みたい。
- 自分の好奇心を満たし、将来自分の身を立てる役に立つものを学びたい。
- 自分の興味のある分野を見つけそれを追求していきたい。
- 才能のあるまわりの人たちと交流し、その人たちの発想に触れることで自分のものをより豊かにすることを求め、未知の分野を開明することに取り組みたい。
- 理系科目に限らず英語や人文社会系の科目などもしっかりと学び、幅広い教養を身につけたい。
- ロボットを作れるような技術。
- 工学（物理）の方法を習得し、興味を持った専門分野を深く学び、多くの人と出会って価値観を広げることで、社会を支える一員となれるよう努めたい。さらに英語を使いコミュニケーションできるようにになりたい。
- 将来やりたい研究のための専門的な知識を身につけ、また世界とわたりあえる英語力を身につける。
- サークル
 - ・思考力かくとく
 - ・価値感の確立
- 視野を広めるために興味外のこともやってみる。
- 現代物理学を学びたい。
- 物理、数学、英語の力をつけ、自分の興味のある分野で生かしたい。
- 取り組みたいことは決まっていないが、視野、見聞を広めたい。
- 国際社会で使える語学力、思考力をつける。
- 興味に対する自由。
- 他の学生と関わりながら、工学についてもっと知りたい。
- ものづくり、デザインにおける幅広いアイデアソースの取得。
- まずは工学というものを学び、とり組みたいとおもう。
- 与えられた環境に感謝して貪欲に学ぶことで様々な知識、技能を身につけたいです。
- 多角的な物事を見つめる視野が欲しい。英語能力、向上にもつとめたい。
- 理系科目の高度な技能を身につけ、社会に貢献できる人材になる。
- 将来取り組みたい分野を見つけ、専攻したい。
- 幅広い教養。

- 教養を深めるとともに人間として成長できるように様々なことに挑戦すること。
- 航空力学の理解と情報を世界にむけ発信していく力。

- 宇宙工学あるいはエネルギー工学に取り組みたい。
- 先進技術や研究を学ぶこと。
- 創造。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語を中心として、すべての分野に興味を持ち、積極的に学習していきたいです。
- 一部の学問に特化するのではなく、豊かな人になれるように様々な分野を学びたい。
- ・生物学
 - ・地学（昆虫、動物、恐竜、星）
 - ・哲学
- 色々な分野を。
- ・歴史
 - ・語学
- 英語を話せるようにならなくては、と強く感じた。
- 英語を中心に、これからの社会で役立つこと。
- 世界に自分の存在を認めてもらうための武器となること。
- 英語、経済についてのこと。
- 自分の興味に従って学びます。
- パソコンの使い方、基本操作。
- 社会科学。
- 社会に出て通用するための知識や人間性。
- 情報収集が円滑になるような技術。
- 日本文化に関するもの。
- 他国の文化。
- 他文化。
- 他国の人々と話せるような言語能力を身につけたい。
- 国際学会で、通用する、レベルの高い英語力、そして、諸外国の文化など。
- 哲学、思想ナド。
- 工学部のこと以外にも地理や語学なども学びたい。
- 英語をしっかりと学びたい。
- 学術英語をがんばり、論理的に話せるようにしたい。
- 哲学。
- 英語学習の必要性を感じた。
- いろいろ。
- 社会に出るにあたって必要なこと。
- 外国語を使える、自分の意見を英語で話せるように外国語を学びたい。
- 専門的な英単語。

- 理系科目のみに目をむけず、文系科目にもふれる。また、英語力の向上に努める。
- 様々な方面のよく知らないこと。
- 様々な分野について学びたい。
- 研究をする上で必要な知識を学んでおきたい。
- 世界で通用する英語。
- 地理的な分野や哲学系。
- 英語の能力を伸ばしたい。
- 好きな分野だけではなく、幅広く知識を身に付けて、国際的な交流ができるような英語力を身に付けることで、工学の深い理解ができるような学び方をしたい。
- 自分をみがくことのできること。
- ・英語力をつける
 - ・歴史を学び、色んな考え方を知る
- 専門科目に生かせるようなことを学んでいきたい。
- 専門科目。
- 実用的な英語。
- 自分が物事を考える時に様々な観点から考えられるような広い教養を身に付けたい。
- はば広い知識。
- 日本、京都について少し学びたいと思いました。
- 色々な分野の知識を総合的に使えるための方法。
- 世界の人々の異なる価値観。
- 世界的な共通言語である英語について、より学術的な学習を通して、世界に通用する英語力を身につけたい。
- 英語の重要性を感じた。
- 国際的に通用する教養。
- 現代社会学。
- 語学の知識を深める。
- 海外に行っても困らないように英語をしっかりと身につけたい。
- ・色々な見方、考え方
 - ・更に国際社会で活躍するための力
- ・英語
 - ・日本について
- 将来の可能性を広げられるように様々なことを学びたいです。

- 今後の人生において必要となることを学びたい。
- 英語。
- 英語。
- 高校の時苦手だった英語を重点的に外国人と話せるくらいになる。
- 言語（プログラム言語）。
- いろんなことを学ぶ。
- 京大生として、または京大を卒業し社会で活躍する人間として十分な知識。
- 理系科目が中心であるが、空いているコマに、文系科目や英語科目を入れ、幅広い教養を身につけたい。
- 社会に役立つために必要なことをしっかり学んでいきたい。
- 自国のことを深く学び、他国の人に発信できるようなことを学びたい。
- 社会で使える英語。
- ・心理学
 - ・歴史
 - ・行列（数学）
- ・日本史
 - ・世界史
 - ・地理学
 - ・経済学
- とにかく英語力を伸ばせるところまで伸ばしたい。その英語力を生かして航空系の教養を身につけたい。
- 自分の視野を広げることのできる分野。
- 様々。
- 流体力学など。
- 世界中の研究者と英語で、対等に話し合えるようになりたい。
- 新エネルギーについてや宇宙について学びたい。
- 国際的に活躍をする人材になるため、積極的に学んでいきたい。
- 英語を使いこなせるように英語を学びたい。
- 英語や、専門知識。
- 世間の大人が持っている常識。
- 人生。
- 専門的な英語を学びたい。
- 1つの分野に固執せず幅広い分野の知識を得るべく学びたい。
- 日本のエネルギー問題について打開策となりうる技術を探ることに組みみたいので、エネルギーについての知識や技術や日本の地理に関連する科目を学びたい。
- ・英語を上手く扱えるようになりたい
 - ・外国人との交友もしてみたい
- 海外に出ても恥ずかしくない大人になるための。
- 英語。
- 今のところまだ決まっていないが、社会に出たときに恥を、無知が理由でかくことがないようにしたい。
- 社会に出たときに、文、理を問わずいろいろな話をして、いろいろなことを考えるために幅広い教養を学びたい。
- グローバル社会に対応できること…。
- 学術英語を身につけたい。
- 学術的教養。
- 思想と宗教。
- 社会に出たときに役立つこと。
- 学術英語を学んで将来の仕事に活かしたいと思った。
- 色々なこと。
- 英語のレベルを高めたい。
- ・語学
 - ・コミュニケーション力
- 英語で会話できるようになりたい。
- 様々な分野の知識。
- 工学系の授業で学びたいことも沢山あるが、英語も大変重要だと感じ、英語に対する姿勢を再度改め、前向きに英語の授業に参加しようと思う。
- 英語。
- 英語がんばる。
- 科学的思考力や専門知識だけでなくここでしか学べない文系知識や英語もしっかりと学びたい。
- ・天文学
 - ・心理学
 - ・生物学
- 哲学的な考えとか、世界全体についての幅広い知識。
- 積極的に。
- 工学には一見関係のなさそうなことでも様々なことを学びたい。
- 英語。
- 英語。
- 英語力。
- 英語のコミュニケーション技術。
- 自分の興味のある科目だけでなく、あまり関わったことのない科目も学びたい。
- 学術英語。
- 海外のこと。
- 文系科目全般や、自分の興味のあること。
- 余裕があったら社会科系の科目もうけてみたいです。
- グローバルに活躍するためのスキル。
- 基本的に理工系の基礎知識をちゃんと学びたい。
- 役に立つことを学びたい。
- 興味があることか、将来に必要なものです。
- 学術目的で実践的に使える英語力。

- ・自分とは他分野で活躍される方と知識を共有できるように学びたい
- 幅広い分野の方々と協力して社会貢献できる人になりたい
- 将来どんなことになっても役に立つ、幅のきく科目。
- 理系ではあるが、世界を視野に入れた学びを取り入れたいので、特に、外国の文化、歴史、技術等を学びたい。
- 世界におけるロボットのとらえ方の違いには興味がある。生物の身体構造についての理解も深めたい。
- できるかぎり幅広い内容。
- 社会に出て働くための教養。
- 自分の視野を広げたい。
- やはり英語の重要性が増しているので、しっかり学びたいと思った。
- 英語のリスニング、スピーキング。
- 英語を積極的に学習したいと思う。
- 学部の専門科目では学べないこと。
- 自分の研究テーマについて英語で話せる英語力を習得したい。
- たくさん。
- 一般教養を広く学びたい。
- 社会に役立てるような人材になるための学力(特に英語)。
- 外国語。
- 国外へ行ったときに、恥ずかしくないような、教養を身につける。
- 多様な価値観を学んでものごとを多面的にとられる能力を身につけたい。
- 実践的な英語。
- 英語。
- レベルの高い語学。
- 英語のコミュニケーション能力。
- 英語力。
- 英語。
- グローバルな視点で世界に通用する学び。
- 特に英語力を身につけたいと思った。
- 英語。
- とにかく英語に重点をおき、様々な国の人と意見を交わすことができるようになりたい。
- 外国語、特に学術英語を習得したい。
- 理系的なこと。
- 幅広い知識を得る。
- 学術英語に関わること。
- 今まであまりやったことのないこと。
- 英語。
- 将来役に立つこと。
- 興味がなかったものも挑戦して学んでいきたい。
- 英語の大切さ、重要さが改めてわかった。
- 英語で考えを表現すること。
- このガイダンスを通して、ある特定のものを学びたいということは思わなかった。
- 特に思わなかった。
- 世界規模でさまざまなことにとりくみたい。
- 国際的なこと。
- 工学に関すること。
- 英語で学ぶような英語を学びたいです。
- 多様な価値感。
- 幅広い視点を身につける。
- 英語で様々な形式でコミュニケーションをとれるようになりたい。
- とくになし。
- 将来役に立つこと。
- 英語の技能を身につけたい。
- 英語を話せるようにしたい。
- 幅広くいろんなことを学び、土台をつくり、それをいかして、専門分野を学んでいきたい。
- エネルギー問題について、日本以外の国についても学びたい。
- コミュニケーション手段としての英語。
- 英語を身につけつつ、広い価値観を身につけるなどしたい。
- 幅広い教養を身につけ、多角的に問題にとりくめるようになりたい。
- 外国文化。
- グローバル社会において、英語が大切になっているので、英語が駆使できるようになりたい。
- 英語で書く力、表現する力をつけたい。
- 教養教育とは？
- 語学中心に、幅広く学ぶ。
- 英語技能上達をはかりたい。
- 英語を道具としてつかえるようになりたい。
- 1つにとらわれず、様々なことを学びたい。
- 学術英語。
- 自分の知らない幅広いこと。
- ・英語力
 - コミュニケーション力
- まだ決まっていない。
- できるだけ幅広く。
- 国際的に通用する英語力。
- 英語文献。
- 英語で行われる講義。
- 幅広い知識。
- 人文社会科目を幅広く、論理、歴史、文学 e t c …。
- 国際的な広い視野。

4. 電気電子工学科 (アンケート提出率 90.2%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 電気工学を極めたい。
- やりたいことを探したい。
- 生涯没頭できる研究テーマを見つけるため積極的に何事にも参加する。
- 人の役に立つための自分にできる形を見つける。
- 最先端の工学の電気電子分野の知識を身に付け、次世代のデバイスを作りたい。イノベーションを起こしたい。
- 様々な分野の人と交流し、考えの幅を広げたい。
- 自分の将来に向けてクリエイティブな活動を行う。
- ・一般英語、学術英語を身につけて、話せるように勉強する
 - ・コンピュータの仕組みを理解して、部品を作れるようになる
- 技術者に足り得る専門知識を習得したい。
- 自分で考えて物を作れるようになりたい。
- ・社会に出て使える専門的な技術
 - ・英語力
- 日頃の生活にも活用できる知識。
- 英語力を身につけ日本だけでなく海外でも活躍できるよう頑張りたい。
- ・夢を叶えるための技術の修得
 - ・新たな技術の開発
- 多岐に渡る専門的な教養を学びたい。
- 理系分野の専門性を高め、世の中の役に立ちたい。
- 今は何も決まっていません。
- ・知識
 - ・友達
- 地球温暖化を工学部の立場から対処するために、資源を消費することで得られるエネルギーのできるだけ多くを有効に利用する技術開発に取り組みたい。
- 人のためになる技術を生み出すために、機械関連の知識を身につける。
- 国際社会で通用する教養を身に付ける。また、人脈を広げる。
- 専門性のある知識を身につけたいので、授業に真剣にとりくむ。
- 英語を含めた一般教養を身に付け、専門科目を英語で学んだり、交際的なコミュニケーションがとれるようにする。
- 将来に生かせるように、勉強する。
- 新しいことに積極的に触れる。
- 大学という新しい環境、一人暮らしという新しい環境に早く慣れる。そして単位を落とすことなく、自立した生活を送りたい。
- 何かを達成したい。
- 電気、電子工学の基礎を修め、新たな技術の開発につなげられるような発展的な学問をしていきたい。
- 世界中の人とのコミュニケーション能力を身につけ、好きな研究をできるようにしたい。
- 専門的な知識などをしっかり身につける。
- 学術英語をマスターしたい。
- 幅広い知識とその応用。
- 将来、優れた技術者となるため、その元となる学問を中心に幅広く学んでいきたい。
- 学問は勿論、一生付き合える友人と多様な価値観について学び合う。
- ・海外へ出る力
 - ・苦手な英語の力をつける
- 理系科目だけでなく、幅広く多彩な教養を身につけ、社会に貢献できる技術を開発したい。
- プログラミングや回路製作について学びたい。そのために必要な言語や数学を身につけたい。
- ・機械についての仕組みを知りたい
 - ・「ものづくり」を学びたい
- 国際社会で生きていく力を身につける。
- ・広く物事を見、冷静に判断を行うことのできる力
 - ・好きな事だけやるのではなく、色々な事に挑戦したい
- ・自分のやりたいこと、やるべきことを見つけたい
 - ・研究等を通して世界に通用する人材になりたい
- 広い視野で学問に積極的に取り組み、人の役にいざれ立てるような夢を見たい。
- 社会で通用する実力を見につけるために必要な知識、経験。
- 自主性と創造性。
- 英語圏出身の人たちとの交流の機会を得て、話せる言語として英語を習得したい。
- ・研究に対して、一直線に進める環境
 - ・自分の世代を超えて未来の世代での課題を発見し長く世界に貢献できる成果を生み出す研究
- 自分のしたい研究をみつけ、とりくむ。
- 人工知能開発のための知識獲得。

- 幅広い教養を身につけ、自分の意見を発表していきたい。
- ・広い視野をもって、様々なことにはっきりとした自分の意見をもち、それを表現できる人になるために必要なこと
 - ・多様な人との出会い
- 興味あること、好きなことを発見し、追究したい。
- 専門的なことだけでなく語学や他のあらゆる教科を勉強して、多くの知識を得たい。
- 知識を求めて勉強する。
- ・いろんなことに興味をもって取りくむ
 - ・医療工学をやりたい
- 深みのある論理的な自己形成、自身の興味、関心のあることについての探求。
- ・専門的な知識を得ること
 - ・海外で活躍できる英語力
- 衰弱していく日本経済を救済する手助けとなるような研究。
- ・求めるもの一他とは一線を画す能力と圧倒的な品性を身につけたい
 - ・取り組みたいこと一興味のあるものすべて
- 自分の国では受けることができない新しい勉強をして、学門について視野をもっと拡張したい。
- 日本の学生とせっきよく的に交流したい。
- 様々な分野に触れ、興味のある分野を見つけ、深求したい。
- 興味のあることを追求したい。
- 自分が本当にやりたいこととは何か。
- 最先端の研究内容に触れる。
- 将来につながるスキルを学び、また新しいことに挑戦したい。
- 研究をしたい。
- 気兼ねせず意見を交わしあえる人々を求める。効率的なプログラムを組むための知識、経験の獲得に取り組みたい。
- 幅広い知識を身に付けて、社会、企業から必要とされる人材になりたい。専門分野としては、AIについて学びたい。
- あらゆること。
- 電子回路などの工学の分野を学ぶことによって将来社会に貢献するための知識を獲得したい。
- 英語力。
- 数学、物理学を学びたい。
- 今まで非現実的に空想として思い描いていたことを実際身近な課題としてとらえることのできる知識や教養を身につける。
- 深い教養を身につけ、技術者として必要なスキルを身につける。
- 論文がスラスラ読め、書けるような英語力を身につける。
- 幅広い教養を受けられること。
- 学部で言えば、プログラミング等の情報系についての高い知識、技能。留学についても興味を持ちました。
- 食欲に多くを学び、自分の可能性を広げた上で、自分の進む道を意志を持って決断する。
- まだ決めてない。
- 数学、物理をさらに追求したい。
- ・英語を使えるようにする
 - ・自分の決めた道をブレずに進む
- 新しい知識、仲間を求め、新たな分野を開拓する。
- 電気電子系の研究。
- まず、自分が考えたことを適確に伝えることができる英語力や論理力を身につけて、積極的に物事に取りくみたい。
- 幅広い分野に触れ、興味のある分野を極めたい。また、様々なことにチャレンジしていきたい。
- 英語で、会話でき、海外まで進出できるような能力をつけること。
- ・教養を身につけたい
 - ・英語で話せるように頑張りたい
- 電子工学について学ぶこと。
- ・英語力
 - ・技術力
 - ・思考力
- 研究者になるためのべんきょう。
- 高い言語技能を身につけ、京都大学の充実した施設でしかできないような実験、研究に取り組みたい。
- 自分が興味のあることを見つけ、精いっぱい極めたい。
- 英語を話せるようになりたいので、英語をがんばりたい。
- 英語力をつけること。
- はっきりした夢を持っているわけではないので、十分な教養を身につけることで自分の将来について考えていきたい。
- 京大の外ではできないような、高度な施設の必要な研究をさせてもらいたい。
- 英語の能力をあげること。
- ・広い視野を手に入れる
 - ・留学をする
- ・物語の考え方を身に付けたい
 - ・将来企業で使える英語力を身に付けたい
- ・充実したキャンパスライフ
 - ・将来確実に役立つ知識、技術を身につける
- 教養を深めて、電気、電子工学の知識をつける。
- 社会でも通用する思考力の取得のため、授業を通して深く物事に対して自身の考えを展開していきたい。

- まだ分からない。
- 自分が熱心に取り組めることを見つけたい。
- 海外でも活やくできる英語力を身につけ、世界の最先端の技術を学びたい。
- 物事を多角的に考えることができるよう講議中の様々な考え方向き合っていきたい。
- 分からない。
- 情報系。
- エネルギー問題の解決。

- 学業を中心に、新たに出会う人達とのコミュニケーションを大切にして新たな見聞を広げたい。
- ・高度な実験とそれに必要な知識を分かりやすく提供してくれる講議
 - ・興味を持ったことには、すぐに探求していきたい
- 将来、ものづくりの分野で大切な役割を担うために英語や数学、物理などの向上を目指す。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 地理学等。
- 英語での講義 (E 2 7)。
- 留学がすごいと思った。
- 幅広く、興味のあるものを学びたい。
- 世界で通用する英語を学びたい。
- 英語を使ってコミュニケーションを上手く取れるようになりたい。
- これから先に役立つような英語力、そして、専門にも役立つようなこと。
- 日本史を学んで、さらに英語でも説明できるように学びたい。
- ・英語力向上
 - ・一般教養
- 専門科目だけでなく、いろいろな科目をとって広い視野をもつようになりたい。
- 実用的な英語。
- 外国語での読み。
- 英語で行われる授業を受けたい。
- 心理学。
- 多岐に渡る専門的な教養を学びたい。
- ・専門的な授業
 - ・英語
- 今は何も決まっていません。
- なし。
- 西田哲学。
- 英語。
- 日本のことを深く学びたい。
- 英語が大事だと痛感したので学術的な英語を多く学びたい。
- 英語を通して、国際交流や日本のことについて学びたい。
- 世界に通じる教養。
- 文系向の科目も取りたいと思った。
- 英語。
- 国際社会で活躍できるようになりたい。

- 語学を重要視したいと思う。
- これからのグローバル社会でも研究を行える語学力。
- 幅広く知識を身につけ、豊かな人間になる。
- 既存のものを新しい視点で見つめ直す。
- ガイダンスで述べられていたように、一般教養の中では特に英語が重要であり、また、自分は英語でのスムーズな会話ができないので、その力をつけていきたい。
- 世界史、日本史が好きなのでそれは勿論とるつもり。さらにそれらに伴う哲学や政治学にも興味がある。あと京都の街について。英語教育もキビしくなるようで非常に楽しみ。
- 自分のやりたいことをやれるツール。
- 高校では学べなかったことを学びたい。
- ・2回生になったときに苦労しないようにしっかりと英語の能力を身につけたい
 - ・ノートの作り方、レポートの作り方を学んでいきたい
- 身体が壊れない程度に予定を立てる力が、何より欲しい。今は。
- 英語力。
- 人文系に挑戦し知識の幅を広げたい。
- とにかく英語を活用できるようになりたい。
- 日本のことを外国の方に説明できるように日本と世界の歴史、現代史への造詣を深め、英語の力をつけたい。
- 海外の文化や、日本の文化を深く知りたい。
- 専門にとらわれない広汎な知識。
- 外国の人に説明することができるくらいの日本についての知識。
- 院等での専門性に対応し得る基礎的な知識を身につけたい。
- 専門的な英語力。
- 英語能力をネイティブ並にしたい。

- 英語を学び、コミュニケーションができるようにしたい。
- 将来の仕事に活かせる事や、それも含めて様々な人とコミュニケーションを取るための語学。
- ・好きなこと
 - ・役立つこと
- 英語力を上げて、留学し、視野を広げたい。
- コミュニケーション。
- 国際的な問題や、今の社会の問題を学びたい。
- グローバル化に対応できるような見地が身に付けられること。
- 海外で使える英語。
- 幅広い知識や技術（主に英語）。
- 英語に一生懸命取り組みたい。
- まだ決めたのはないが、もっと多い分野を経験したい。
- 論理的に思考すること。
- 理系だけでなく文系科目も、特に英語。
- 工学系の教養や経験を身につけつつ、国際的な広い視野をもてるようになりたい。
- 英語力を高める。
- ネイティブと英語で余裕で話せるようになりたい。
- まだよく分かっていないかも。
- 留学したい。
- 英語でコミュニケーションする能力。
- 英語力を高めるようなことを学びたい。
- 英語を使いこなせるようになりたい。
- 一個人として身につけておくべき幅広い分野の教養を学びたい。
- いろいろ。
- 哲学など、理系以外のことも学びたい。
- 聞く 理解する 話すができる英語力を身につけたい。
- ・美学
 - ・経済学
 - ・社会学
 - ・言語学
- 英語のリスニング。
- まだよくわからない。
- 英語。
- 社会に通用するために必要なこと。
- 心理学や、芸術学、数理系に偏らない勉強をしたい。
- 国際関係。
- センターでは地理選択で歴史をあまり高校時代に勉強していないので歴史についての教養を学びたい。
- 英語を中心に、普段触れないような分野まで学びたい。
- ・スピーキング
 - ・リスニング
- 学術英語を身につけたい。
- 英語で工学をまなぶ術。以降はわからない。
- 哲学。
- ・日本、あるいは海外の歴史等について学ぶ
 - ・人文、社会系利用
- 外国の異文化。
- 世界の歴史。
- 英語のE2かもく。
- おもしろそうなこと。
- 広く教養を身につけつつ、自分の専門での研究に必要な知識も学んでいきたい。
- まだ分からない。
- 専門的な知識と広い視野を身につけたい。
- 哲学と政治。
- 世界的な視野。
- 歴史（外国の）。
- 学術英語を完璧にしてみたい。
- 将来の役に立つようなこと。
- 国際化が進む社会の中でも通用する英語力と一般教養を学び、身につけたいです。
- 留学に必要な英語力、最先端の技術を学ぶうえで基礎となる事柄。
- 英語を日本語と同程度に扱えるようになりたいと思った。
- 分からない。
- 興味のあること。
- 将来のためになること。
- 英語をさらに使いこなせるようになりたい。
- 様々な分野の知識を広く学び、それを自分が専攻していく分野に役立てていきたい。
- 英語をもっと向上できるように英語を使ったものごとを学びたい。

5. 工業化学科 (アンケート提出率 94.7%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 幅広い教養を身につけ、世界を広げたい。
- 面白いもの！！今まで、誰もしたことないもの！！
- 自分の興味のあることに一通り触れていきたい。
- 将来の生活に役立つことを学習していきたいと思いつつ、何事に対しても、一生懸命に真面目に取り組むたい。
- 研究者に必要な技能を身につけたい。
- 化学を勉強したい。
- 知見を広げる。
- 専門の知識を身につけ、教養も身につけられるように学習していきたい。
- 化学の高校では習わなかったことをもっと知りたい。
- 化学や物理を学び、新たなものを作る。周りのものが何でできているか、どんな法則に従っているかを学ぶ。
- 幅広い知識を得るために、様々なことに興味をもって、勉強したい。
- 教養と言語力を高めたい。
- 世界の最先端のレベルでの勉強がしたい。
- 常に意欲を持って新しいことに取り組みたい。
- ソーラーパネルを作ります。
- ・高校で勉強しなかった地学、生物も含め幅広く勉強したい (一回)
 - ・専門に集中したい (二回～)
- 自らの興味がある化学についてよりいっそう深く勉強していきたい。また、理系にしばられず、様々な分野、学部の人々と関わっていきたい。
- 英語や理科だけでなく色々な種類の授業を履習したい。
- ・自由な発想
 - ・自分の力で答えにたどり着きたい
- 私は、一般教養を深めつつ、自分が興味を持っている分野について積極的に学んでいきたい。
- 恵まれた環境下で将来役立つスキルを磨き上げたい。具体的には専門的知識の習得と英語力の向上をする。
- 将来は研究者として、ファインセラミックスやプラスチックなどに関わりたい。そのために主に自然科学全般の見識を深め、多角点な視点を養う。
- 有機化学の知識を深め、新しいものを開発したい。
- 研究者として、最先端研究に携われるような能力を身に付けたい。
- ・環境系、災害系の分野を勉強する。(一回生)
 - ・英語をがんばる
- 主体的に学問に取り組む。
- 様々な価値感の人との交流、最先端の研究に触れること。そして、「自学自習」を心がけたい。
- ・「学び」たい
 - ・今しかできないことをしておきたい
- 英語を極めて国際交流をしたいです。
- 最先端の技術、知識の習得。
- 教養を身に付けたい。
- 授業の出席のために早起き。
- 新たな経験と知識。
- ・広い範囲の教養
 - ・深い専門知識
 - ・1つ1つの授業に積極的に取り組む
- 知識を求め息の長い研究に取り組むたい。
- 自分から進んで学習していくという姿勢を京大で身につけたい。
- 化学について深く学びたい。
- 研究機会の量と質を求めます。
- 自分の目的を果たすスキル。
- 色々な教養を見につけ、化学について根本的に理解したい。
- ・今までにないものをうみだす創造力を求める
 - ・行事にも積極性をもちたい
- 化学の研究をしていくために必要な知識だけでなく、さまざまな分野の教養も身につけたい。
- 様々な観点から事象を見て、自分の知識を確立すること。自分の将来像をその中から見出したい。
- 積極的に生きる。
- 自由の学風のもとで様々な経験を積み、自分がやりたいことを探していきたい。
- 自主性、自分で何かをするということ。
- ちゃんと英語を話せるようになって国際的に活動する能力を身につけたい。
- 工学についての専門的で深い知識と、国際的教養。英語学習については積極的に参加したいと思う。
- 工学だけでなく、幅広い一般教養科目を取り組みたい。
- 将来何をやることになっても困らないように、できるだけ幅広いことに取り組みたい。
- ・世界に通用する、インターナショナルマインドの育成に力を入れてほしい
 - ・国際人になる！

- サークル活動。
- 気になったことは、全力で取り組める姿勢。
- 社会で役立つ技術に関する技術及び言語の習得。
- 海外の研究者とコミュニケーションがとれる程度の英語力を身につけたい。
- 知識を得る。
- 異なる価値観に出会いたい。
- 学力、電池、エンジンがつかれるようになりたい。
- ・一般的な教養を身につけること
 - ・自分が学びたいことを見つけること
- ・京都大学でしか勉強できないことをやってみたい
 - ・将来につながること
- ・物理、化学、数学を学ぶのはもちろん、幅広い学問の基礎を学びたい
 - ・研究者になるために知識だけでなく考え方なども身に付けていきたい
- 化学、生物に特化し、かつ、一般教養、学識をつける。
- 豊富な設備と良い環境で自分の学びたい分野を追究する。
- 専門科目だけでなく幅広い知識を学びたい。
- 化学の実験をがんばりたい。
- 学際的な視点を持ち、現代社会が直面する問題の解決に何ができるかを考える。
- 世界に通用する学を求め、世界を刺激する研究に取り組みたい。
- 化学、材料工学の専門的なことを学ぶために、学術英語の習得や、自発的な行動をしたい。
- 化学の勉強をやりながら、英語力を身につけたい。
- 京大の留学制度を利用して、ドイツに勉強と音楽を学びに留学したい。
- 興味のある分野を見つけて研究などに取り組みたい。
- 英語を扱えるようにしたい。
- ・研究者になるための教養、研究力、コミュニケーション能力を身につけたい
 - ・時間にこれまでよりはゆとりができると思うので、学問のおもしろさを感じながら自主的に学びたい
 - ・サークルやバイトを無理せず自分の楽しめる範囲から始めたい
- 様々な人やプログラムと積極的に関わり自分を高めたい。
- 周りの人からよい刺激を受ける。
- 専門分野だけでなく、英語を使えるように取り組みたい。
- グローバルに活躍できるように、英語力を向上させたい。
- 英語を頑張りたい。
- 語学学習と、化学関連の研究。
- 化学の知識だけでなく、英語でコミュニケーションをとる力を身に付けたいです。
- 幅広い教養を身につけ、マクロな視点で取り組む。
 - ・言語技能の向上
 - ・論理的思考力
- 将来に役立つ知識、思考力を身につけること。
- 工学の分野で世界に通用する力を身につけるために、英語や専門分野の勉強をしたい。
- 会社や大学で研究をするために必要なことを身につけたい。
- 社会で通用する能力を身につけたい。
- 新しいことを積極的に吸収する姿勢を身につけ、化学のより専門的なことを学びたい。
- 将来に必要な知識や技術などを学ぶ。
- 化学についての専門技術を学んで最先端の研究に取り組みたい。
- 社会で役立つ語学や専門知識。
- 色々なことを求め、取り組みたいです。
- 様々な価値観をもとにした、考えを理解できるようになりたいと思う。また、留学もしてみたいと思っている。
- 将来進む道に行けるための実践的な技術。
- 自ら考え研究することで社会に出てからも役に立つような力を身につけたい。
- 自ら課題を設定し、それに対する自分なりの答えを見つけ他人に伝えられる能力を身につけたい。
- 生徒との情報交換、先生との情報交換の質。
- 使用できるレベルの英語能力を得ること。
- 面白いと思える研究対象の発見。
- ・高度なレベルでの学習
 - ・何かの役に立つこと
- 課題を見つけ、解決する力を身につける。
- 自分の興味があることをつきつめて学んでいきたい。
- ・高校よりもより深い学問の真髄まで迫りたい
 - ・自分の知識の幅と深さを増やしたい
- しっかり教養を身につけ、化学について深く学びたい。
- 面白いものをどんどん求めて、満足するまで向き合いたいです。
- 多様なことに取り組みたいです。
- 興味のあることを、自分自身で、学習して、身に付けられる能力。
- ・自分が興味を持てることを見つけそれを追究していきたい
 - ・英語を話せるようになること
- 英語に取り組みたい。
- ・トップクラスの講義
 - ・京大でしかできない経験

- 京大でしかできないこと。
- 将来研究を行う仕事に就けるように授業や実験を通して知識、経験を得たい。
- 自学自習。
- 英語を駆使したコミュニケーション能力等研究者として活躍できるスキルを身につける。
- 社会に出て通用するもの。
- ・研究
 - ・英語で会話出来るようになること
- ・新しいものおもしろいものに取り組みたい
 - ・化学について
- 自分ができる、社会のために化学、工学の分野(もしくは生物学)でできることを見つけたい。
- 豊かな考えをしてそれを実践する。
- 国際的に活躍できるような英語能力を身につけて、グローバルな取り組みをしたい。
- ・英語を修得し、多くの人とコミュニケーションをとれるようになりたい
 - ・幅広い知識と多様な考え方を知りたい
- 基本的な知識からその知識の使い方まで学習しそれをもとに成果を出し発表できる力を身につける。
- 自分の学びたいことを明確にみつけ、それについての日本トップクラスの授業をうけること。今はi p s細胞、生命、化学に興味があります。
- 専門的知識と社会に出る際に必要な人間性。
- ・自主性
 - ・有機化学に関すること
- 正しい判断が出来るような豊富な知識を身につけること。
- 他学部も含めて、色々な人と交流する機会。4年間で見識を広げ、科目として英語と化学を勉強したい。その上で留学したい。
- 英語の運用能力向上。
- 語学力を身につけ、国際的に活躍できる技術者になりたい。
- 語学力をつけて、世界で活躍できる研究者を目指すための学習に取り組みたい。
- 専門的な知識だけでなく、さまざまな物に対する幅広い視野が得られるようになりたいです。
- 自分の考えを積極的に発信できるようになりたいです。留学等もして、視野を広げていきたいです。
- より高度な英語力を身に付け、多くの論文を自在に読みこなし、さらに様々な化学理論を応用して、新たな化学的発見をしたい。
- ・化学の実社会への役立て方、そのための技能
 - ・中国語
- 深い専門知識を勉強し、日本人学生との交流に取り組みたいです。
- 教養を深めて、先端化学に取り組みたい。
- 4年間で卒業を求め、単位がとれるよう授業に取り組みたい。
- ・人脈
 - ・探求
- 未知なこと。
- 興味ある科目を選択、好成績を目指す上で、友達を作り、進路を決める。
- 社会に役立つ新しい材料を開発したい。
- 自分の興味のある分野について、大学のすばらしい設備を使わせてもらって将来の社会に役立つようなことにとり組みたいです。
- 広い分野の見聞に触れて、将来に活かしたい。
- 化学の専門知識。
- 英語で話し、プレゼンをうまくできるようになりたい。敢て言えば留学。
- 英語力をつけて、しっかりと自分の意見が発表できるようにになりたい。
- さわやかに生きる。
- 自分の興味のある科目や、そうでない科目にも積極的に取り組みたい。
- 様々な考えを持った人に出会い、自分の視野を広げたい。
- 対話力を付けたい。
- 価値のある発想を自在に実現できるような能力を身につけたい。
- 教養を深め、コミュニケーション能力を伸ばしたいので、授業に積極的に参加し、サークルやクラスなど多くの友人と話をしたい。
- 世間一般の教養を幅広く学び社会に役立つ技術の開発。
- 幅広い教養を身につける。
- 世界で活躍するための知識や技能英語といった語学。
- 自分の周りにはレベルの高い人がたくさんいるのでその人たちから色々なことを学び特に化学を深く学びたい。
- 留学したいです。
- ・幅広い教養を身につけたい
 - ・英語を使えるようになりたい
- 一般的な教養と、化学系の研究者になるにあたって必要なことを学びたいと思っている。
- 高分子化学やナノテクノロジーに興味があるが、中でも人体や薬に関わるものに興味がある。人体に有用に作用する薬品(物質)を見つけることが今の夢である。
- 専門知識をつけたい。
- 将来役立つようなことを求め、広く深く勉強したい。
- 学問に積極的に取り組む。

- 自分が将来やりたいことを見つけるため色々な分野について学びたい。
- 工学に関することはもちろん、他の色々な分野に触れ京都大学の多くの人と出会い、自らの見識を深めておきたい。
- 国際交流できるような学力や知識を身につけたい。
- 最先端の化学を学んで社会で活躍する準備をしたい。
- 多種多様な価値観に触れ、物事をより多角的に見られるようになりたい。
- 英語を用いて学ぶことができるというのをまず目標にしたいと思う。
- エネルギー問題の現状と技術に関する知識。
- 自発的に勉強を取り組みたい。
- 社会的視野を広げるために、様々なイベントに参加したり、京都の街を散策をしたい。少しでも英語を話せるようになりたいので、京都駅などで外国人観光客と話をしたり、道案内したりしてみたい。
- ・生涯の友人
 - ・サークル活動など学業以外にも取り組みたい
- ・英語力の強化
 - ・専門的な勉強
- 高度な研究に関わりたい。
- 社会のルールにあてはまる範囲内での自由な、何事にもとらわれない新しいアイデアを考えたいです。
- 国際的な多様性を知りたい。
- 目標を達成するための土台。
- 日本の研究レベルが落ちないように国際的な研究に取り組みたい。
- 国際社会に貢献できる人間になるために、科学系、語学系などの教養を身につけたい。
- 留学制度がしっかり整っているので、留学してみたい。特に英語能力の向上に取り組みたい。
- 将来したいことを見つけ、それに積極的に取り組む。
- 大学からこそ得ることのできる、幅広く、深い知識と共に化学に関する高い目標をもったことに取り組みたい。
- 勉強だけでなく、ここでしかできない新しいことを学びたい。
- 世界で通じる語学力を身につけ、学科で学んだことの中で究めたいと思ったことに取り組みたい。
- 学術英語を身につけ、それをツールにして学ぶ。
- 工学に対する深い理解を生かし、社会に貢献する。
- 自分のやりたい研究をみつけること。
- グローバルに活動して視野を広げたい。
- 英語の運用能力を上達させたい。
- 様々な人と出会って柔軟な思考力を身に付けたい。
- 語学力を上げる手助けをしてほしい。
- 英語を学んで将来の研究に反映させたい。
- 国際交流を多くし、グローバルな視点を得る。
- 学部、学科にとらわれず様々なことを学びたい。
- 世界中の人々を驚かせるような発見をしたい。
- 世界のリーダーになるために、幅広い教養と専門的な技術を身につける。
- 自分が専攻したい分野を見つける。
- 教員免許をとる。
- 幅広い知識。
- 好きな分野を見つけて究めたい。
- 将来の目標である有機合成に関わる研究者を目指すべく専門知識及び研究者たるに相応しい英語技術及び教養を身に付けたい。学業の中でも勉学に励んでいきたいと思う。
- 京都大学に来たからこそできる研究に取り組みたいです。
- 専門知識と実際に課題について研究できる能力。
- 幅広い教養を身に付け、興味のある学問を探求したいです。
- 英語力を鍛え、広い視野を持った人になりたい。
- 利用できる環境を最大限利用し、広く知を探求すると共に、見聞を広げていきたい。また、人脈を築き上げていき将来の選択の幅を広げたい。
- 色々な新しいものに触れて、自分のやりたい事を見つけたい。
- 英語を身につけ、様々な教養を身につけ、視野の広い人になりたい。
- 社会に出た後に役立つ勉強。
- 理科の知識を掘り下げ、将来研究をする。
- 将来的に重要なこと。
- 工学についての知識を蓄え、実践することはもちろん、哲学や宗教など、世界にも通用するような教養を学びたい。
- 色々な体験をさせてもらえるので、その機会を大切に自分を高めたい。
- 英語学習。
- グローバル化しているこの世界に対応できるような英語力を身につけられるような授業や出会い。
- ・社会で応用できる能力を身につけたい
 - ・幅広い勉強に取り組みたい
- 新しい知識を求め、自分の好きなことに取り組みたい。
- 良き学友を作り、自分が本当にやりたい事を見つけたい。
- 自分が将来やりたいことを見つけたい。留学もしてみたい。

- 英語力を上げる。
- 自分で課題を見つけて、調査し論理的な考察ができる力を身につけたい。
- 専門科目だけでなく、幅広い教養を身に付けるとともに、世界で通用する高い英語力も身に付けたい。
- 4年間で大学を終えるため勉学に励む。
- 基本をしっかり身につけ、武器となる（これからの人生に）ものを身につけたい。

- 楽しい勉強。皆の中心にいるような活動をしたい。
- 周囲と活発にコミュニケーションをとることができ、自分のもつ力のできることを以上ができるようになりたい。
- サークルなどの仲間からの刺激を通して、自分のやりたいことをみつけていく。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 今まで知らなかったことや、気づけなかったことなど新しい知識をたくさん吸収していきたい。
- 日本の歴史、地理について。
- 十分な知識とそれを活用できる能力を養いたい。
- ・これからの人生でプラスになるようなこと
 - ・とにかく全力で学ぶこと
- 英語が使えるようになりたい。
- 化学。
- 使える英語を学ぶ。
- いろいろなこと。あまり関係ない分野も知りたい。
- 哲学。
- ・英語力と数学力、そしてパソコンを使える力をつけたい
 - ・人文社会系も学んで知見を広めたい
- 国際的に生きていくために必要なことを学びたい。
- 国際的な教養を学びたい。
- 語学力をまず身につけ、外国でも英語で討論できるような力を身につけたい。
- 将来海外へ自分の意見を発信できるように、学術英語を学び、恥じることなく話せるように学びたい。
- 身につけた理系の技能を実地で活かすために、経済とかにも手を広げてみようと思います。英語もちゃんとね。
- ・語学を重視
 - ・興味を優先して科目を選びたい
- 理系科目に限らず広い分野を学びたい。理系科目以外では特に高校のときからやっていて自分も関心のある倫理、政経を学びたい。
- 専門的な事柄よりも、むしろ幅広い知識を身につけたい。
- 自分の視野の広げられること。
- 私は、大学卒業後、社会に出た時に役立つようなことを学びたいと思います。

- 自分の未知の範囲。
- 様々な分野を学び、多角点な視点を養いたい。
- ネイティブに対しても通用するような英語能力。
- 幅広い知識と英語力。
- 研究につかえるだけの英語力。
- 幅広い知識。
- 語学。特に英語がこれから必要だと感じた。
- 英語をやりたい。
- 幅広い分野。
- 世界に通用すること。
- ジェンダー関連。
- 将来の夢に妨げにならないように英語力の不備や、学力の不備をな。
- 全て。
- 社会情勢。
- 英語。
- 一回生の間は、一般教養をしっかり頑張りたい。
- 英語。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 自分の得たものを他人に伝えられるように教養を身に付けたいと思う。
- 語学。
- 将来に生きる知識や経験。
- 自国や他国の文化への理解を深めたい。
- ・日本について他国の人々に説明できるように日本についての見聞を深めたい
 - ・自分の興味ある分野についても知りたい
- 英語力をつけたい。
- 日本の歴史について学んでおきたい。
- 国際的な英語コミュニケーション。
- 様々な考えをもつ人と交流したい。
- 外国人とスムーズにコミュニケーションがとれるように、英語や、海外の文化、事情を学びたい。
- 英語、ドイツ語の習得！目指せ！トライリンガル！

○工学部以外のものも、学び、知識と、考え方を、身に付ける。

○社会で役立つ技術に関する技術及び言語の習得に関すること。

○英語力を強化できること。

○色々な科目。

○英語力。

○英語をやらざるをえない。

○グローバルに生きていける人になれるように学んでいきたい。

○幅広い知識を得ることができること。

○まずは英語の力をしっかり伸ばしていきたい。化学系の基礎を確実に身に付ける。

○社会、特に経済。

○世界で通用する教養。

○海外で日常生活に支障がない程度以上の英会話力。

○英語を学んで、外国人と会話できるくらいの実力をつけたい。

○英語。

○将来、自分の有益になることや、なかなか体験できないことを色々学び、京大のプログラムをすすんで活用したい。

○人文社会系や自然科学系など幅広く学びたい。

○ドイツ語で会話できる力。

○英語。

○英語。

○・英語をしっかりつかえるようにしたいと思った
・TOEFLの点をとりたい

○将来に武器となるような能力を身につけたい。

○自分の世界が広がるようなこと。

○学術英語。

○世界のことに目を向けて、幅広く学びたい。

○英語を頑張りたい。

○語学と、幅広い一般教養。

○人間としての幅広い教養です。

○幅広い教養。

○言語技能。

○常識として知らなければならないこと。

○日本や海外の歴史。

○世界に出たときに恥ずかしくない程度に歴史、文化を学び、専門科目を極めたい。

○社会に出たときに活用できるような知識を学びたい。

○英語を使ったコミュニケーション。

○特に重要となるらしい英語を中心に、幅広く学びたい。

○色々な授業に参加して知識の幅を広げたい。

○幅広い科学の知識と英語力。

○色々なことを学びたい。

○1回、2回のうちに留学をしてみたいと思った。

○グローバル化に対応していける技能。

○自分の興味のある分野だけでなく、幅広く学び社会で通用する知識を学びたい。

○世界で働けるように英語力を身につけたい。

○英語を主要に。

○英語。

○幅広い知識と教養。

○社会に出て役にたつであろうこと。

○現代社会の問題とそれを解決するヒント。

○今後社会に出ていく上で必要と考えられるもの。

○自分が興味のあることは全て。

○英語が今まで苦手だったので努力して学術英語を身につけたい。

○英語をツールとして使えるようにして、それを基に自然科学を学びたい。

○自然科学科目中心に学びたいです。

○英語の大切を実感できたので、英語の基礎から、しっかり学び、学術的な英語を学ぶ基礎を身につけたい。

○神話などを学びたいです。

○使える英語を学びたい。

○世界的に通用する知識、能力、経験。

○広い知識。

○英語をがんばろうとおもいました。

○自分の視野を広げられるような分野。

○材料化学系の知識と研究者に必要な英語スキル。

○国際的な考え方。

○英語力。

○新しい知識。

○海外に出たいという気持があるので、まず英語の勉強をしっかりしようと思った。

○人文系から自然科学にいたるまで、幅広く特に英語をがんばる（聞く、話す）。

○国際社会に通じる英語能力。

○英語にちゃんととりくむ。

○今までの受験英語ではなく会話を中心としたコミュニケーション英語を学びたい。

○心理、英語の強化。

○幅広く柔軟に考えられる力や今まで知らなかったことや新しいことを学びたい。

○英語。

○基本的な学問。

○英語の重要性を感じた。留学について今からでも意識しておくのが重要だと思ったが、留学を生かすために、化学をしっかりやりたい。

○論理性を持った思考に至る教育。

○学問としての英語。

○世界中の言語を学びたい。

○英語。

- わたしは語学に力を入れたいと思っています。今の時代、英語を話せるのは当たり前であるので、そこからさらにステップアップしていきたいです。
- 留学に興味があるので、語学に力を入れたいです。教養科目については、専門科目と全く違うような内容を1回生のうちに多く学びたいです。
- 自分の世界観を広げてくれるような文理の枠を越えたことがらについて。
- ・日本の開国後の歴史
 - ・中国語
- 教養教育として、英語知識と自然科学の基礎知識を学びたいと思う。
- 英ゴ。
- 倫理とか哲学に関すること。
- 文系か理系かに関係なく、社会一般人としての知識。
- レポートの書き方。
- 英語のシステムが変わったみたいなので、変化した英語を活かして使える英語を学びたいです。
- 楽しむことができること。
- まだ分からない。
- 英語で他の教科を受ける。
- 自国をしっかりと説明できる(歴史など) ⇒英語でも！！
- タイに留学したいと思いました。トムヤムクンが好きだからです。
- グローバルな時代で、自分の意見をしっかりと世界の人に伝えられるように、幅広い教養をみにつけたい。
- 工学部に関連しないものも含めて、将来役立つこと。
- 実験系をできるようにになりたい。
- グローバルな考え方を培うのに役立つ内容について勉強したい。
- 世界共通言語としての英語は、学術研究においても重要で留学においても必要となる能力なのでがんばりたい。
- ・幅広い教養
 - ・英語
 - ・理系向けだけではない教育
- 積極的に英語教育を学ぶ。
- ・世界のいろいろな歴史や文化
 - ・化学だけではないあらゆる分野のこと
- 世界で通用する英語力を学びたい。
- 英語をもっと学びたいと思った。
- まずは英語力を身につける。
- 特に学びたいものはないが、幅広い分野を学びたいと思う。
- 将来に役立つこと。
- まだ詳しいことはよく分からないが、研究したい内容はまだ決まってないが、自分のアイデアを国籍問わず発信し共有できる技能をまず学びたい。
- 将来役立つようなこと。
- 化学が好きですが、教養、として他分野のことを学びたい。
- 幅広い分野を学ぶ。
- やはり英語力を第一に身につけていきたいと感じました。
- 英語や数学など将来的に必要なもの。
- 幅広く色々なことを学びたい。
- 以前と変わらず化学系の勉強をしたいと思う。
- 英語を用いた国際的な学びへの一歩。
- 外国語をしっかりと学び、話せるようになりたい。
- 使える英語を身につけたい。
- 海外での生活も可能にする外国語。
- 社会に出ても通用する英語。
- 幅広い分野の知識を得たい。
- 英語を使いこなせるようにしたい。
- 国際情勢。
- ・外国語
 - ・日本語の詳しいところまで
- 英語に力を入れたい。
- 学術的に役に立つ英語。
- 英語、他外国語の習得向上。
- 英語を話せるレベルまでもっていく。
- 国内だけでなく常に動く世界情勢の中で多様な価値観を学び、今後への一助としたい。
- できる範囲でやりたいことを学びたい。
- 英語を話すことに自信がないので、スピーキング能力。
- 専門科目にとらわれない、幅広い学び。
- 工学に限らず幅広い視点を得られる授業。
- まずは英語をしっかりとみにつけたい。
- 世界の歴史。
- 将来に役立ち、直結する技術、情報を学びたい。
- 英語を早く身に付けたい。
- ・幅広い言語
 - ・科学
- 英語や化学や物理について。
- 海外の歴史と文化、を中心に幅広く学ぶ。
- 英語学習を真剣に取り組もうと思いました。
- 国際的に活躍できるようになるために、高い英語運用能力を身につけたい。
- 教養を身につけたい。
- 広く色々なことを学びたい。
- 研究者を志す上で英語は不可欠な物なんで、頑張って留学レベルまでに英語レベルを引き上げたいと思いました。

- 幅広い知識。
- 英語を使いこなせるようになるためのプログラムを受講したいです。
- 英語を活かす能力といいレポートを書ける能力。
- 国際的に通用する教養、知識、思考法を学びたいと思います。
- 使える英語力。
- 深い洞察力、思考力の土台となる幅広い分野への理解。
- 日本という母国に誇れるよう、専門知識だけでなく、世界の文化や常識、状況についても通じた人間になりたい。
- ・てつがく
 - ・経済
 - ・ゲーム理論
 - ・宗教
 - ・心理学
 - ・たくさん
- 理系科目だけでなく、はば広い分野に関する知識。
- まだわからない。
- 様々なことに生かせること。

- ・哲学
 - ・宗教学
 - ・医学
- 英語が苦手なので、英語に力をいれたい。
- 文理の枠を越えた教養。
- ネイティブの人達と会話できる英語力。理系文系を問わない幅広い知識を得たい。
- 幅広い分野を学びたい。
- とりあえず英語を使えるようにしたい。
- 専門分野以外にも積極的に参加し、視野を広げていきたいと思いました。
- グローバルな英語力を身につけたい。
- さまざまな国の文化。
- 工学分野で使える英語。
- 特になし。
- とりあえず自分の世界を広げてくれるものを学びたい。
- 理系はもちろん文系科目もしっかりと学びたい。
- 在学中や社会にでてからの自己形成に役立つもの。
- 文系科目なども含めてはば広い知識をつけたい。

6. 情報学科 (アンケート提出率 93.9%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 専門知識。
- ・興味ある分野の専門性を深めたい
 - ・新たなものをつくり出すこと
- プログラムをしたい。
- 京都大学でしか学べないことを学びたい。
- 自由を求め、楽単に取り組みたい。
- 学業や、種々の課外活動。
- 職に必要なスキルを求めたい。
- 世界のどこに行っても恥じることはない人になりたい。
- 学科で専攻することに加えて、広い教養を身につけたい。
- 自主性。
- ・いろいろな人との対話
 - ・グローバルな視点
- ・専門科目を積極的に受けたい
 - ・英語力を身につけたい
- 将来の仕事に役立てることのできる技術を身につけたい。
- 大学生のうちにはかできないこと。
- 情報におけるまだ未開拓の領域。
- 自分で考えることができる環境、および議論できる場。高校ではできなかった勉強をしたい。
- 自分が何をして生きていくかを見据えるための準備。
- 英語の論文などを速く読めるようになりたい。
- 様々な人と知りあって人脈を作り幅広い教養を身に付けたい。
- 最先端の技術に触れて、会社を作る！
- 幅広い知識や考え方を学び、それを伝えるために必要な言語などの手段を身につけることで、多くの人達と考え方を共有、交わしあうことができるようになりたい。
- 英語を使いこなせるようになりたい。
- 論理的思考力、英語力を身につけ、研究し、それを世界に発信できるようにしたい。
- 情報学科の学生として、各種情報を扱う技能を身につけたい。
- 自分で考えて、自主的に行動していきたい。
- 幅が広い体験がしたい。
- 将来の夢を見つけたい。
- いろいろなことに挑戦したいです。

- 日本の社会のみならず、国際社会でも通用するコミュニケーション力を身につけたい。
- 思考力と学習能力。
- 未開拓の領域を切り開きたい。
- 将来役に立つ知識を身につけ、積極的に学んでいきたい。
- 将来的な安定を求めている。
- 盛んな国際交流を求め、留学をし語学力を高めた
- 様々な価値感にふれ、学びを高めていきたい。
- レベルの高い仲間を求め、人工知能に取り組みたい。
- ・自主自律
 - ・様々な分野に触れる
- 自分のやりたいことをみつける。
- 教養人になる。
- 専門性の高い分野での様々な出会い。
- 日本トップクラスの大学で、高いレベルの講義で自らを成長させ、次世代を担うリーダーとなるべく授業に取り組みたい。
- 多様なことに関する知見を深めて、情報システムの将来を考えたい。
- 合格したことに責任を感じ、自分の専門分野をしっかり深めていきたい。
- 国際交流。
- 苦手な英語をがんばりたい。
- 様々な教養を身につけたい。
- 論理的思考力を身につけたい。
- ・真理の探究
 - ・世界をリードできるような人になりたい
- 幅広い人間力を身につけたい。
- 教養を広げ、専門を深めること。
- 京大で人工知能の研究がしたい。
- 英語を学ぼうと思う。
- 自身の興味を広げ、視野を広げる努力をしたい。
- 英語で日常会話をできるようにになりたい。
- 専門知識だけでなく、幅広く知識を身につける。
- ・勉強して成功する
 - ・成功の基準は収入で測る
- 自由な学風に従いつつきちんと課題授業に取り組んでいきたい。
- ・多様な価値観
 - ・広く浅くだけでなく、深い学習を意識したい
- 色んなこと。
- 私は知恵の力を求めています。そのため、私はどんな代償でも支払います。例えば徹夜勉強など、自らの命を燃やし、知恵をもらいたいです。
- ・世界の最先端の学問をするのに十分な語学力を身につけたい
 - ・興味のある分野ならば何でも取り組み、見聞を広めたい
- ・英語力
 - ・人脈
 - ・嫁
- 自分の力になるようなことをたくさん学ぶ。
- 海外の人との交流。
- 英語を使いこなせるようになりたい。
- 勉強。
- 情報に関して、身近な物だけでなく、様々な事に応用できる、文理に捉われないものに取り組みたい。
- 基礎学力の取得、特に、数学、英語。
- 自分から主体的に学び、考えて行動する力を身に付けたい。
- 興味を持ち続けられるテーマの発見。
- 専門分野に限らず、色々なことに挑戦していきたい。
- 自らの興味のある物事に対する理解を深め、将来、人々に役立つようなことに取り組みたい。
- 授業だけでなく、図書館など豊富な大学の学びの環境を活用しながら、自分自身の力で知を深めていく能力を身につけたい。またその修得した知識を応用して新しいものを生み出していきたい。
- 多面的でグローバルな考え方を得るために、京大が提供する留学などの様々なことに積極的に取り組んでいきたい。
- 広い知識、広い経験を求め、総合力のあるプログラマー。
- 情報系に強くなり、社会で有効活用したい。
- 教養を身につけ、熱意をもって数理に取り組みたい。
- いろんなことを学び、好きなことを見つけて、それを深く学ぶ。
- ・語学力の向上
 - ・世界で通用する力をつける
- 京都大学でしかできない専門的な教養を身につけたい。
- 私は高校まで英語が得意な方ではありませんでしたが、京都に来たからには、自ら積極的に国際交流をはかり、世界に出て戦える力を身につけたいです。また京大は、総合大学なので、工学分野のみならず理学や経済学なども学んでいきたいです。
- 英語力をつけて留学したいと思った。
- 先端技術。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 自学自習。
- 数学の教養を深めたい。
- 卒業までに英語が話せるようになりたい。
- 英語。
- 法、社会学分野など。
- 将来の業務上で役立つ教養、考え方。
- スピーキング重視の教育を受けたい。
- 語学についての理解を深めたい。
- ・歴史
・宇宙
- 英語の教育を学びたいです。
- 幅広い教養と専門性の高い知識と語学。
- 自分をみがきたい。
- 多角的な視点の獲得。(幅広い教養)。
- 国内では一人前と認められ、国際的にも通用する一通りの教養。
- 自分の得意、不得意にかかわらず幅広い知識をつけたい。
- 自分が知りたいと真剣に思えること。
- 科学。
- 文系理系問わず自分の興味のあること、将来役に立ちそうなことを学びたい。
- 英語を自由に使えるようになる！
- 国際的かつ偏りのない知識を、手に入れて、一人間としての教養を深め、今までの自分になかった考え方を身につけたい。
- 幅広い分野に視野を広げて様々なことに挑戦したい。
- 一般的な知識を得るだけでなく、それを使えるように勉強したい。
- 二回生以降の英語を用いる授業を受講できる程度には、英語ができるようになっておきたい。
- 興味を持ったことをより深く学べればよいと思う。
- いろいろなこと。
- 今までできなかったことを良い環境で学びたい。
- 英語のリスニング、ライティング、スピーキング。
- プログラミング実習とか。
- 基礎知識と考え力。
- 興味のあることを積極的に。
- 理系、文系問わず、あらゆる教養を学びたい。
- 英語、ロシア語を活用できるように、また経済学に興味あるので学びたい。
- 学術英語。
- コミュニケーションとして使える英語。
- 英語。
- 英語を極める。
- 英語。
- 京大生として、自分の専門科目のみでなく、幅広い分野の教養を身につけたい。
- 社会、経済について。
- 自分の専門にとらわれず、様々なこと(特に英語)に取りくみたいと思う。
- 英語。
- 英語。
- 語学を重点的に。
- 将来、役に立ちそうなこと。
- 世界で通用するレベルの英語。
- 1つの視点にとらわれないように、色々な知識をつける。
- ・自然科学
・歴史
- 英語で行う授業を受けたいと思う。
- 世界史。
- 英語での講義を受けたい。
- アジアの文化。
- まだ分かりません。
- 幅広い知識、一見専門と関係ないようで実はあるということ。
- 高校では学べないような分野。
- 自分の専門だけでなく幅広い知識を得たい。
- 卒業に必要な人社の単位。
- まだ決めていません。
- まだ方針は定まっていないが、実用的な英語の技能をまず身につけたい。
- 好きなこと。
- 企業就職に役立ちそうなこと。
- ・心理学
・経済学
・栄養学
- 様々なジャンルのものを学びたい。
- 色々なこと。
- 海外の人とも話せるように、未知のものを知って世界を広げて人生が面白くなるようなこと。
- ・数学
・英語
- 海外に対して発信できる日本の文化を学びたい。
- 学習の障壁とまらない程度の英語力。
- 英語をしっかりとがんばりたいと思う。
- 自分の知識をより深め、成長につながるようなこと。
- 使える、自分の武器としての英語。

- 発明とは今までにないものの組み合わせ、であると考えているので、自分の得意分野、専門分野に捉われることなく、できるだけ幅広い分野の学習を心がけるようにしていきたい。
- “これから”の世界に向けて役に立てるようなことを学びたいと思う。
- 様々な種類の分野の講義をとってみたいと思った。
- 幅広い教養。
- 英語。

- 英語に苦手意識があるが、これからも英語を利用する機会が多々あるので、できるだけ早くに英語の苦手意識をなくしたい。
- とにかく英語を頑張りたいです。留学をみすえて、今まで苦手だったスピーキング、リスニングの力をさらにのばしたいです。
- 情報技術と、英語力。

(10) 農学部 (アンケート提出率 95.6%)

1. 資源生物科学科 (アンケート提出率 94.8%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 農学に関する知識、技術、人脈を手に入れたい。
- 高等学校までにはなかった新たな学習内容に対して、積極的な学習姿勢をとり、受け身にはならないようにする。生物学についてより一層理解を深めたいです。
- 自分の将来の進路を確定すること。
- 積極的に授業に参加したい。
- 専門的な知識を身につける。
- 国際社会に通用すること。
- 英語を自由に扱えるようにし、国際社会で活躍できる能力を身につける。
- 遺伝についての知識を深めたい。また、様々な人々との交流をはかりたい。
- レベルの高いことを学ぶ
 - ・英語をさらに学ぶ
- 自ら考えて行動し、様々な分野の知識を身につけたい。
- 将来は生物系の研究職を目指しているため、必要な知識はもちろん、論文作成、プレゼンテーション技術など、様々なノウハウを学びたい。勉強のみならず、留学などを通して、視野を広げたいです。
- 充実した学習環境を求める
 - ・学習をはじめとした大学生活
- 多様な文化、価値観に触れて世界を広げたい。留学もしてみたい。
- 将来の夢につながる学問を自分から積極的に学びたい
 - ・自学自習の姿勢を常に意識しつづける
- 自分の好奇心を満たすこと。
- 学習できる環境及び学習意欲が向上するような環境を求めます
 - ・化学系の食品系、農学、薬学系のうち、自分が最も興味をもったもの
- 幅広く学び、自分の道を見つける。
- 専門的な分野の勉強をしたい。
- 色々と学びたい。
- 英語力をつけて留学をしたい。
- 京都大学では、言語を勉強して、留学へ行きたいと思って、進学したので、言語を勉強したい。英語圏、第二言語圏 (韓国)、どちらにせよ、目的をもって、習得したいと思っていた言語なので、真剣に言語習得に取り組みたい。
- 英語さびしくなったみたいなんで必死についていこうと思います。
- 色々な分野に深く精通して学びを深めたいです。
- 多くのことを学んで、知識の幅を広げる。
- 新しいことに挑戦したい。
- グローバルな情報発信。
- 世界で通じる英語能力を身に付ける
 - ・専門科目について知識を深める
- 自ら研究をすすめられる能力を身につけたい
 - ・自然の持つ力についてもっと知りたい
- 将来の職業につながるような、知識、教養を身につけたい。
- 研究者としての自覚を持ち、自分が興味ある分野での教養を身につける。
- 京都大学で英語に力を入れたい。
- 勉強はもちろんのこと、サークル、アルバイトにも積極的に取り組みたい。

- 自分の力で生き抜く力をつける。
- 自分の興味に向くことに、ためらわずに取り組みたい。
- 新しいこと。
- 楽しいと思える学問を見つけたい。
- 予復習を行い勉学を怠らぬにする。そして積極性をもつ。
- したいことを見つけてそれに向かって道筋をつくっていく。
- 国際交流。
- 英語を学ぶ。
- 自分の興味のある分野を追究し、また国際交流にも積極的に関わりたい。
- ・様々な研究に触れられる
 - ・国際的な交流にとりくみたい
- 自分の知的欲求を満足させるために、日々勉学に励むこと。
- 授業や実習などに積極的に取り組み、進捗についていく。
- ・尊敬できる人物を見つけたい
 - ・多くの人脈を増やしたい
 - ・学術的英語とともに、日常の英語も話せるようになりたい
- 勉学。特に化学。海学にも行ってみたい。
- 一般教養を深め、生物学のパイオニアになりたい。
- 決まった答えの無い学問に取り組んでみたい。
- 野生的に生活したい。
- ・友達、仲間をつくる
 - ・留学
- ともに高め合える仲間、語学力を獲得する。
- 特に英語に重点を置き、世界で活躍できるようになること。
- 生の情報、知識。
- 生物と化学についてより詳しく学びたい。
- 勉強以外のことにもチャレンジしていきたい。
- 色々な人と出会って高校では出来なかった経験をして積極的に学びたい。
- ・興味があることをつきつめて考察していく
 - ・自分の知識の幅を広げる
- 研究活動をしたと考えるが、まだ何がやりたいかは決まっていなくて何が自分のやりたいことかを見つける。
- さまざまなことを学びたい。英語、より多くの語いを修得したい。
- ・興味のある研究を見つける
 - ・生活力をつける
- 教養を深めることはもちろんしなければならないが、英語、生物学の能力をとくに伸ばしたい。
- 自分から積極的にとり入れる貪欲な姿勢。
- ・研究者として世界に通用するレベルの力をつけたい
 - ・留学をしたい
- 知りたいことを何でも調べていきたい。
- 英語をある程度自由に扱えるようになりたいため、英語の授業と、英語で全学年共通科目を学ぶ授業を取りたい。農学系の実験も行いたい。
- 高校まではやらなければいけないことを中心に生活していたけれど、これからは、やりたいことを中心に生活したい。将来への視野を広げたい。
- 多くの知識や教養を求め、社会の役に立つことに取り組みたい。
- 知識と教養を広く身につけ、自らの考えを発信できる人になりたい。
- ・幅広い視野を持てるようになりたい
 - ・分野に関わらず様々なことに積極的にとりくみたい
- 色々な人の意見をとり入れること。
- 様々なことにチャレンジしたい。
- 生物学。
- コミュニケーション能力の向上に学びたい。
- 留学したい。
- 自分で予定を立て、生きる力をつけたい。コミュニケーションをとる中で（日本人、外国人）、自力でわかりやすく説明ができるように、積極的に人と関わっていききたい。
- 京大でしかできない専門的な分野に学びたい。
- ・競争力
 - ・生物学
- 多くのことを学び、多くの経験をし、多くのつながりを築く！！
- 自分が将来、関わっていききたい分野を見つける。
- 視野を広げ多様な視点から世界を見ることを学びたい。
- 英語と中国語をしっかりと学んで海外でも通用する人材になりたい。
- 海外に通用する語学力を身につけたい。
- 分野にこだわらず、図書館などを利用して幅広く学びたい。
- 自分の夢をかなえられるように勉学にはげみたい。
- ・幅広い教養を身につけたい
 - ・留学もしてみたい
- 人脈を広げ、学問を追求して、様々な視点から物事を考えたい。

Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 英語に力が入っている内容だった。私は英語が非常に苦手だが、(なので)積極的に英語を勉強したい。
- 国際的な社会に対応できるよう、より英語に力を入れなければならないと思いました。
- 文系科目。将来自分だけでは学習できないため。
- 苦手な英語を強化したい。
- 英語。
- 国際社会に通用すること。
- 学術英語。
- 英語学習(特にリスニング)に力を入れ、英語講義について行けるようにしたい。
- 経済学や哲学、教育学など。
- 他の人より知的人材として有能な人間となるため、他の人にはない能力を身につけることを意識する。
- 英語のレベルを向上させたい。
- 理系ですが、哲学や心理学に少し興味があるので、学んでみたいです。
- 語学。
- ・海外のことについて興味をもてた
・英語をしっかり学びたい
- 国際的な場でも協調できる能力を得られるようなことを学びたい。
- 英語で学べるだけの英語力をつける。
- 英語を話せるようになりたい。
- 分からない。
- 留学について、手厚く支援されているように思えたし、英語教育もきつそうだったけど、実力がつきそうな授業だと感じた。英語学習は、とても楽しみになった。
- 生物学の基盤。
- 語学に力を入れたいです。
- 英語を本当にならばりたいと思う。
- 英語力をつけたい。
- 将来就職する上でその助けになること。
- 英語。
- 日本の文化、アジアの文化、外国からみた日本。
- グローバルに生きていくために英語教育を学びたい。
- まだわからない。
- 語学を身につける。
- 語学をしっかり身につける。
- 理系なので、文系の科目も学びたい。
- 英語を使えるようにして、先端の学問ができるようなことを学びたい。

- 世界に通用する英語。
- やりたいことにつながる勉強を中心に、関係ないように思えるものでも意欲的に吸収していきたい。
- 海外でも通用する英語力と専門科目を学ぶに際して必要な一般教養。
- 民俗学、心理学等。
- 国際的なコミュニケーション能力。
- 英語について。
- 語学の勉強をしたいと思います。
- 英語についてくわしく学びたい。
- いろいろな方面にわたって。
- ラテン語。
- 学術的英語。
- 英語。
- 多様な世界の言葉や文化。
- 国際的な力をつけていけるような学習をしたい。
- 英語!
- 再先端の研究。
- とりあえずまず語学を真剣に学ぶ。
- 最新、最先端の学術内容。
- 研究に必要な基礎知識。
- 英語に力を入れて英語力を高める。
- 実際に使える英語を学びたい。
- ・地理学
・民俗学
- 英語を学んで国際的に活躍したい。
- 留学を考えているので、英語の勉強は頑張りたいと思う。
- ・英語をはじめとした多くのことを自分から意欲的に学びたい
・英語の文献をよみたい
- いろいろな学問を深く知るための初歩を学びたい。
- グローバルな人材として働くために物事を多角的な視点で見れるようになるように学びたい。
- 世界中で起きている問題。
- 今後の人生で、学問とそれ以外にも生きること。
- 英語と実習。
- 外国の人と話をしてみたいと思った。
- 社会の役に立つこと。
- 英語。
- 外国語。
- 自分が何者かが分かるようになること。
- ・英語
・生物学

- 基礎的なことをしたい。
- 一般教養などを学びたい。
- 英語を特に、海外で活やくできる。
- わかっているようでわかっていないことがあることに気づき、様々なことに対する理解を深めたい。
- 英語で行う様々な分野の授業を受けたい。
- ・地学
 - ・生物学
 - ・外国語

- 自分の興味のあることや、それ以外にも様々な内容のことを学びたい。
- 英語をしっかり学びたいと思う。
- 国際的に通用する英語を身につけたい。
- 植物系の専門的なもの。
- 英語をしっかり勉強して、英語の講義についていける英語力をつけたい。
- 大きな視野をもてるようになりたい。
- 日本の文化を理解して、発信できるようにしたい。
- 心理学。

2. 応用生命科学科（アンケート提出率 100.0%）

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- ・最先端の研究に触れられる整った学習、研究環境を求めます
 - ・積極的に勉強に取り組み、高校で学べなかった多くの研究について学びたい
- 能動的な学習。
- ・自己管理能力を高めたい
 - ・授業をするにあたっての予習
 - ・その後の復習を適切に行う
- 最先端の技術による自由な研究。
- 英語力の向上と、可能なら留学。
- これから色々なことに取り組んで行きたいと思う。
- 幅広い知識を得て国際的な視野をもつ。
- 教養があり、自分の頭で考える研究者。
- ・部活と学業の両立
 - ・英語力を高めたい
- ・環境
 - ・社会勉強
- 更なる学びと、それらを基盤にした能動的な学問の探究。
- 英語を使えるようになって、たくさん化学の実験に取り組みたい。
- まずは英語をがんばる。
- 専門のことも専門でないことも、広い視点から色々なことを学びたい。
- 日本最先端の研究を行いたい。
- 色々な人と話す。
- 幅広い分野での知識、素養を身に付け、世界で活躍できる人間になることを目指す。
- 自分の進む道を探したい。
- 自分の興味ある分野において探究を進める。
- 留学をしたい。

- ・自分の学科のことに関しては地球温暖化やゴミ問題に取り組みたい
 - ・微生物やはっこうについて学びたい
 - ・いろんな教養を身につけたい
- 様々なことについて自分の意見を誰にでも伝えること。
- 自分の知らない事を学び、留学もしてみたい。
- 優秀な学生たちと、幅広い分野の学問に積極的に取り組みたい。
- 将来英語で不自由しないように英語を努力したい。様々な分野の知識の提供、学ぶ機会の提供を求める。
- ・幅広い教養
 - ・様々な分野の友人
 - ・i P S細胞の研究
- 自然と人をつなぐ最良の手段として科学を見つめ、修めたい。
- 今後自分がどのような方面に進みたいのかを、京大独自の自由な校風と多様なカリキュラムを活かして、見つけて行きたいと思います。
- より深い知識を身に付け研究活動にとりくみたい。
- さまざまな学問、研究に触れて、しっかりとした教養を身につけた人間になりたいと思い、様々な分野の授業を学習しようと思う。
- 様々な分野にふれて自分の興味のあることを具体的に見つけていきたい。
- 自由に学べる環境で、自分の興味ひかれるままに学習したい。
- ・自ら積極的に学び、研究者としての素養を身につける
 - ・国際社会で通用する英語力を身につける

- 豊かな人間になる。
- 新しいことを多く学び、蓄えた知識を活用して研究などで新しいことを発見し、科学に貢献したい。
- 大学から学べるだけでなく、主体的に様々なことに挑戦したい。
- ガンバリたい。
- 人生の中での目指すべきものを具体的に見出し、その実現にむけ、自分で考え、行動する。
- 将来、社会に出て活躍できるよう外国語の学習に積極的に取り組みたい。
- 研究者になるための基礎を身につけたい。
- やりがいと充実。

- 様々な人と交流して新たな価値観と出会いたい。
- ・賢く、熱意がある友人を求める
 - ・研究者になりたいので、そのための色々な準備
- ・大学卒業後にやりたいと思える事を探すこと
 - ・自分の力で生きていく力を養うこと
- 自分のやりたいことを見つけるために、様々なことに触れたいです。
- 様々な考えやエネルギーの渦の中に自分を入れてみたい。
- ・自由な学び
 - ・自分のための学習

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 理系だが、その枠にとらわれず、幅広く勉強を行いたい。
- 英語で学ぶことのできる英語力。
- 広い視野をもって分野を問わず学びたいと思うものを学びたい。
- 生物、英語をしっかりやる。
- 生命に関する科学的問題。
- 応用生命科に入ったのでその専門分野を学びたいと思う。
- 国内外の歴史。
- 英語でのコミュニケーション能力。
- 英語は特に力を入れたいと思った。
- 特に英語に力を入れたい。
- 英語や二ヶ国語目の学習が楽しみだ。
- 生命科学、芸術など幅広く学びたい。
- 幅広い視野。
- 今まで見てこなかった視点から、物事を深く学びたい。
- 英語を身につけて海外でも通用するほどの生命科学を学びたい。
- 幅広いこと。
- 国際的なスキルを習得するための英語。
- 英語をはじめとして様々な教養。その後専門。
- 世界で必要とされる人材になるために有用なこと。
- 文系の科目（てつがくや社会系）に興味がある。
- 英語を自由に扱えるようになりたい。
- 英語。
- 社会をうまく生きていくための知恵。
- 豊かな国際基準の教養。

- 興味のあること。
- 分野を問わず幅広い教養。
- 自然と人を結ぶ文化、技術などについて。
- これまで留学にはあまり興味がなかったのですが、京大では数多くの選択ができると知り、少し興味がわきました。機会があればしてみたいと思いました。
- 英語。
- 分野に限らず、多くのことを学びたいと思います。
- 自分の学部に関連することだけでなく様々な分野のことを学びたい。
- 学んだことを世界へ発信できるだけの力をつけたい。
- 興味のある分野に加えて、自分にとって未知の分野にも挑戦したい。
- 価値のある情報を手に入れられるようなこと。
- 他の国の人と交流できるような、学術英語など。
- 英語をもっと真剣にやりたい。
- 色々なこと。
- 国際的な場で活躍できるよう、英語をしっかり習得したい。
- 英語の学習。
- 英語で受ける授業。
- 英語の授業を利用して英語をもっと使えるようになりたい。
- まだわからない。
- 理系だけでなく文系科目も学びたい。
- いまだ定まっていない。
- 文学。
- 自分の思考を広げる学び。

3. 地域環境工学科 (アンケート提出率 92.7%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 一般社会において成果の実感ができる形での生物環境の課題改善を目指す。
- 新しい仲間を求め勉強以外にも取り組みたい。
- いろいろ学びたいです。学問的なことも学びたいです。英語も頑張ります。
- 様々な活動に参加し、様々な分野で活やくするような友人、知り合いをたくさん作り、自らの視野を広げること。
- たくさんの生徒や教授との交流を深め、自分の可能性を広げていきたい。
- ・英語を書く力、話す力、聞く力が欲しい
・自分のしたいことをしたい
- 自分のやりたいことを見つけ、それを達成するために積極的な学習を心がけたい。
- 様々な価値観をもつ優れた学生たちとの交流を対した人間力のかん養。英語力の強化。
- 将来進む道を定めるために十分な知識をつける。様々なものに挑戦したい。
- 充実した大学生活。
- 今、ここでしかできないことに取り組みたい。
- さまざまな国、地域の人とふれ合いさまざまなことで、これからの自分の人生を豊かにすること。
- 語学を向上させ、世界で通用するような学力を身に付ける。また、それを活かせる人間になる。
- “科学”のやり方を学んで研究したい。
- 農村学。
- 自分で学ぶ自律心を鍛えたい。
- 英語をマスターする。
- 国際的にも活動できるくらいの語学力を得て、その語学力と、専門で学ぶ知識を利用できるように頑張る。
- 農学の知識を深めたいです。
- 最先端の知識、情報を得ることを求めています。恵まれた環境の中で、新たなことに取り組み、経験を積みたいです。
- 大学名に恥じない学力を求め、自らが積極的に学んだ内容を発信していくようにしたい。
- 色々な面でオープンな場。
- 専門知識。
- 将来の仕事に役立てられるような知識を身につけるとともに、調査したことを論理的にまとめられるような思考活動に積極的に取り組みたい。
- 主体的に生きていきたい。
- よりよい考え方、暮らし方ができるようになりたい。そのために、多くの人(教授、留学生、同回生、先輩後輩)と関わりたい。
- ・英語でコミュニケーションや論文発表ができること
・人の役に立つ研究ができるように基礎の勉強をすること
・社会に必要な教養を身につけること
- 有意義な学習環境を求め、積極的に専門科目を学びたい。
- ・英語
・生命科学
・国際交流
- いろいろなことを経験し、将来に役立てるように能力を身につけていきたいと思います。
- 理科系がんばります。特に生物。
- これからの社会に必要とされるための技能を身につけるために将来の就職を見すえたテーマを見つけ、取り組みたい。
- まずは好きな生物について英語でプレゼンテーションを行えるようになりたい。
- 共に高め合うことができる仲間を見つけ、胸をはって社会に発信できるような研究などに取り組みきたい。
- 様々な人と交流し、自分の教養を高め、レベルの高い学びに取り組みきたい。
- 自分の好きな分野の専門的な内容を学び、その中で自分が選択すべきことを見つけたい。
- 色々な人と出会って、色々な学問と出会って、色々な自分と出会いたい！

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 専門科目を学ぶ上で土台となる学術的知識。
- 英語と理科。
- 理系科目はどんよくに学びたいと思います。
- 英語での活動。
- 学術的英語。
- 自分の知りたいことを進んで学びたい。
- 世界に通用するような能力を身につけたいと思う。
- 人間として生きる意義。
- 自然科学について。
- 社会で活躍できる人物。
- 自分が興味あること、これから生きていく上で役立つこと。
- 世界の農業について幅広い知識を得たい。
- 広い知識を身につけたい。
- 英語を中心に様々な社会に関われること。
- 今まであまり興味を示せなかった人文科目。
- 英語。
- とにかく言語を学び、それを上手く使って会話、コミュニケーションできるように学ぶ。
- 英語を話せるようになりたいです。
- すべての学問に役立つことを学びたいです。
- 海外でのフィールドワークにも通用する学術英語。
- 社会に出たときに社会の役に立てるような教育。
- 英語。
- 学術的な英語を身につけられるよう、学習したい。
- 英語学習に積極的に取り組み、英語で自分の専門科目を学びたい。
- 語学。
- ・発達心理学
 - ・過去の名作（小説など）を多く読みたい
- 世界での宗教や文化の違い。また、世界で起きている問題（テロや内戦など）の原因。
- ・生命科学
 - ・国際交流
- はずかしくない社会人になれるように、社会についてと英語をしっかりと学びたいと思います。
- 日本の文化を学びたい。
- 人や社会との関わり方を学びたい。
- 英語で思ったことを表現できるようになれるよう学びたい。
- 学術英語だけでなく、全体的な英語を学んでいろいろな人とコミュニケーションをしてみたい。
- 英語の学習に積極的に取り組み、世界規模で活躍できるだけの教養を身につけたい。
- なるべく英語に力を入れたいと思います。
- 色々な恵まれた機会を利用して、吸収していきたいと思いました。英語をはじめ、色々な科目をみてみたいです。

4. 食料・環境経済学科（アンケート提出率 94.3%）

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 知識。
- 自由な校風で幅広く学ぶ。
- 熱中できるものを見つけて、自分のやりたいことに取り組む。
- 自分のやりたいことの全てを犠牲にせずどん欲に取り組む。
- ・勉学もちろんですが、バイトや部活などで社会経験も同時に重ねていきたい
 - ・友人をたくさん作り、共に精進していきたい
 - ・英語を臆せず話せるようになりたい
- 農業経済。
- 自分の将来につながる勉強をしたい。
- りゅうがく生活+勉強とサークル等。
- 農学だけでなく外国語教育にも積極的に取り組みたい。
- ・人生の手助けとなる学習
 - ・自分の興味に関するレベルの高い授業
- 機会があれば留学してみたい。
- 現在の日本の経済を見直して、これから世界で通用するようなことを学ぶ。
- 自分から積極的に、何が必要かを考えて勉強に取り組む。
- 受け身ではない、積極的な学習をしたい。
- 自分のやりたい事、興味のあることを明確にする。
- 京都大学では知識の幅を広げ、ものの見方の多様性を身につけたい。

- 今しかできない、様々なことに取り組みたいです。大ざっぱですみません。
- ・高校ではできなかった専門的な学問がしたい
 - ・英語をしっかり勉強して交換留学したい
- ・自分で考えたことを表現する力を身につける
 - ・英語力
- 将来やりたいことを探したい。
- 自らの夢を実行できる行動力。
- とりあえずまず最低限単位を取りたい。
- 広い教養を身につけ、視野を広げたい。そのため大学の環境を上手く利用する。I E C T Sで6.5程度1回生のうちにとりたい。
- ・自由時間
 - ・人脈の拡大
 - ・単位獲得
- テーマを見つけて研究したい。
- 農業に関する知識を蓄え、英語学習にも努めたい。
- ・英語を学びグローバル化に対応する
 - ・農業、農学を学び、世界の農業経済に貢献できるようにしたい
- 食料問題、環境問題について知識をふかめるとともに、世界に通用する英語力を身につけたい。
- しこたま勉強する。
- 理系の枠にとらわれず、興味があるものについて学びたい。
- 積極的に学ぶこと。やりがいのあることを学びたい。
- 将来やりたいことを見つけ、人と出会い、今までにやったことのないことに取り組みたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 日本経済について。
- 実社会での生き方。
- ・政治
 - ・国際関係
- コミュニケーションツールとしての使える英語をできるだけはやく身につけたい。
- 自分の興味を優先して学んでいきたい。
- 特に、英語に強くなりたい。
- 何故色んな制度が変化したかということ (e x . G P A)。
- 分野にとらわれない幅広い学習。
- 国際的な交流も含めた社会で活躍するための学習。
- 文理にとらわれず、深く学びたい。
- 英語。
- これからのグローバル社会で通用するように十分な英語力を身につけたい。
- グローバルな社会に対応できる教養を身につけたい。
- 2回生以降につながるよう数学をしっかりと、そして英語で聞いて、話せるようになりたい。
- 高校まででは学べなかった専門的な分野のこと。
- 単位を取るためだけの勉強ではなく、社会に出てからも役に立つ真の知識を得たい。
- 高校では文系科目をあまりとれなかったので、歴史を学びたい。
- 世界に通用する英語力を身につける。
- 経済系や社会系と共に、自然科学など。
- 考える力。
- とりあえずまず学術英語を身につける。
- 政治、経済など生き抜く力に直結すること。
- グローバル社会に通用する英語。
- 英語、外国語に力を入れたい。
- 理系科目だけでなく、文系科目にもとり組みたい。
- 英語。
- 世界に通用する英語をまなびたい。
- 立派な人間になるような学習をしたい。
- 社会に出たときに社会人として知っていることが当然なこと。
- 社会に役立つこと。
- グローバルに役立つこと。

5. 森林科学科 (アンケート提出率 95.0%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- ・自由
 - ・日本の農業の未来について取り組みたい
- 自主性。
- 現状に満足せずに、英語も含めて積極的に取り組んで、京都大学だからこそできるような最先端のことに取り組みたい。
- 高い水準の学問を優秀な仲間と学びたい。
- 様々な人と交流し広く対話を行う。
- 自分の知らないたくさんの方にふれたい。
- 自分の学ぶ専門分野に関する知識を身に付け、それを活用、表現できるような人間になるべく努力したい。
- 知識に貪欲になり、アウトドア活動に参加したい。
- 自分が知らない世界に身を投じ、森林を通してだけでなく様々なものと関連して学びたい。
- 能動的に計画的に学ぶ。
- 社会人に必要な教養や、研究員に必要な専門知識を身につける。
- 森林の荒廃の現状を学び、これを活用したエネルギー問題の解決に取り組みたいです。
- 自身が熱心に取り組める勉強を見つけ、国際的な活動に取り組みたい。
- 生物に関する様々な学問にふれ、広い視野をもって学習したい。
- 専門の研究。
- 自分のしたい研究とそれを論理的に発表できる能力を身につける。
- 活動範囲を広げる。
- 学びの面白いところをひたすら探究していきたい。そのためには英語によって他国の人と話したりして、その探究を深めたい。
- ・まずは語学力を中心に、取りくむ
 - ・様々な場所に行き、実習をしたい
 - ・英語での講義にも慣れていく
- 動物行動、比較認知学とか勉強したい。
- 自分の専門分野をきわめる。
- 将来の職業のきっかけとなる様々な教養を身に付けたい。
- 更に勉強をして研究につとめたい。
- 地球の環境問題、発展途上国の食料問題などについての具体的な改善策、解決策を見つけ出せるようにしたい。
- 何事にも自ら積極的に取り組み、興味、関心のある学問を深めたい。
- 自分の興味のある分野を深く学びたい。
- 生態系や動物学における発展的内容の学習。
- 様々なことを体験して、自分の興味のあることを見つけたい。
- 専門科目を学び、将来に役立てる。
- 京都大学の様々なことができる環境を生かして積極的に色々なことに取り組む。
- 自分の興味のある分野に対して、妥協せず勉強したい。
- 勉強を頑張りたい。特に語学。
- 自分が本当に打ちこめる研究内容。
- ・森林に関する学問を環境保護へとつなげていきたい
 - ・実習での、フィールドワークに取り組みたい
- 自分の好きなことに打ちこみたい。
- 学問を究めることを目標にはするが、人生観を広げるために様々なことに挑戦する。
- ・英語で話し伝える力
 - ・ハイレベルな学習
- 最先端研究内容を学び、世界に進出できるようになる。
- コミュニケーション能力をつけ、広い意味で賢く物事を判断し、迅速に適切な選択ができるような様々な努力をしたいです。
- 色々な人の考え方に触れる。
- 地球のことをもっと学んで本当に正しい生き方を見つけない。
- 人間と自然の共生社会の実現に貢献できるだけの学力と知識を得たい。
- 植物、動物の生態系についてのこと。
- 海外でも通じる英語力を身に付ける。
- 幅広い知識を身に付けて、多くの経験を積みたい。共に学ぶ友人を数多く見つけて、大学生活を楽しみながら、勉強をがんばりたい。
- 知を求め、興味のあることに取り組みたい。
- 様々な分野の勉強を積極的にしていく。
- 分野に関係なく様々な事について知的な好奇心を満ちし、人生の糧にしたい。
- 総合大学であることを活かし、文理を問わない学問■し式を学びたい。
- やりたいことを見つける。
- 自分の専門科目はもちろん、その他の科目もやってみてみたい。
- 英語を勉強したい。

●高度な教育と、自由と、そして英語は頑張りたい。

●生涯にわたって打ちこめるものをさがしたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

- 世界に通用する英語の技能。
- 世界で通じる学術。
- ・社会に出ても役立つようなこと
 - ・知識を深められること
- 英語の重要性を感じた。
- 国際的にも活躍できるような英語力を中心に学びたい。
- 自然を直接触れたい。
- 英語でも専門科目を学び、多様な人々と議論できるようにになりたい。また、文系科目についても学んでみたい。
- 幅広く様々なことを知りたい。
- 情報社会についていくための知識や国際社会のための英語運用能力。
- 学術英語の重要性がよく分かりました。英単語のテストで毎回好成绩が取られるよう努力したいです。
- 自分の考えや研究を正確に伝えられる英語力をつけたい。
- 留学などを通して多面的なものの見方を身につけたい。
- 文系の科目。
- 国際社会で役に立てるための英語力。
- おもしろそうなことをどんどん学ぶ。
- 数学と生物を中心に学び、数学的なアプローチから自然の美しさを学びたい。
- 専門科目を中心に、興味のあることを学びたい。ただ取り過ぎないように、する。
- 研究者になるのに必要なもの。
- 英語を通して様々な視点を手に入れる。
- 自分が専門としてしようと思っている科目とは違った科目。
- 文系寄りの歴史を学んでみたい。あと、生物と環境について。
- 社会で生きていくために必要な教養を身につけたい。
- 農学部に関わりのあるもの以外でも学んでみたい。
- 幅広い分野をまんべんなく。
- 外国語！
- 英語の勉強に力を入れたい。
- 将来、海外を飛び回って仕事をしたいという夢を叶えるために様々な知識を得たい。
- 語学を頑張って留学できるようにしたい。
- 専門授業に受けるのに必要な知識をみにつける。
- スポーツ実習や言語学。
- 専門とは全く違う分野の授業を受けたい。
- 英語。
- 学習を通して自分の将来にいかせそうなこと。
- 英語の重要性を訴えられたので、しっかり勉強する。
- 英語のリスニングを習慣づけたいです。まず留学はできるかどうか分からないですが、最低限、英語講義に対応することを目標に取り組みたいです。
- 生物に関する知識を深めたい。
- まずは苦手な英語力をつける。
- とにかく英語をがんばりたい。これまで英語は苦手だったので得意にしたい。また、これまで勉強をあまりしてこなかった科目を勉強してみたい。
- 英語を使えるようになりたい。
- 語学、それも幅広くできれば。
- ・国際感覚を身に付ける
 - ・英語の勉強をしっかりする
- 国際社会で今後の身のふり方を決めるのに役立つこと。
- 留学したい。
- やりたいことを見つけるため、広く学びたい。
- 世界に通じることを学びたい。
- 英語など。
- 教養科目にどんなものがあるかは分からないが、興味のあるものを見つけてやってみたい。
- ・哲学
 - ・社会学
 - ・英語

6. 食品生物科学科 (アンケート提出率 97.3%)

Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

A. 以下のとおり

- 食品生物科学科に入ることができたので、まず、食品生物科学概論の授業を受けて、自分が食品の何の分野を専門にしたいかを見つきたい。
- 英語学習。
- 研究者として生きていくのに必要な教養を身につける。
- たくさんの人と交流して学んで食品の開発をしたい。
- 自身で考え自身で行動する。
- 幅広い分野のことを学び、広い視野を持ちたい。
- 最先端の研究にふれる機会がほしいです。
- ・自分から知識をどんどん吸収する
 - ・チャンスを逃がさず、積極的にプログラム等を活用
- 「主体的に学ぶ」ことを知り、自分のしたいことを見つけて父のような立派な人間になりたい。
- ・自分のやりたいことの発見
 - ・やりたいこと
- 様々なものに触れる中で自分が興味のあるものを見つけ、将来や自分の人生を豊かにするためのきっかけとなる大学生活にしたい。
- 興味を持てる分野の探求。
- 食品に関する知識。
- 新しいことを知りたい。
- 農学部専門科目はもちろんですが、留学等英語や他言語を学ぶ機会を利用したい。
- 物怖じすることなく、挑戦すること、特に英語の向上。
- ・自由な雰囲気の中で、様々な分野の勉強をしたい
 - ・食品に関する専門の研究をしたい
- 国際的な出会いと新しい価値観。
- やりたいことをみつきたい。
- 興味のある食品科学に加えて、幅広い教養に触れたい。
- 食品についての研究はもちろん、スポーツなども含めて充実した大学生活を送る！！
- ・自分の成長
 - ・新しい感性の吸収
- 具体的に決まっていないので様々なことを学んで考えていきたいです。
- 興味を持ったものを積極的に学んでいきたい。
- 外国語や、農学系など幅広く知識をとり入れ、自分の幅を広げたい。
- 幅広い教養とそれに基づく広い視野、これを身に付けたいです。
- ・自分の学びたいことを自由に学べる環境
 - ・他学部の専門科目も受けてみたい
- 日本の食糧自給率を向上させるような作物を開発する。
- 自分の将来について見つめ、学ぶ時間にしたい。
- 幅広い教養を身につけるとともに、専門的な知識で社会に役立つ研究をしたいです。
- 英語など外国語を利用してグローバルに色々なこと、特に食品について学びたい。
- 様々な人たちとの交流。
- ・自分の学科の学問に取り組みたいです
 - ・留学にも参加したいです
- 大学の授業の中で興味があることを見つけて、そのことを研究したい。
- 様々なひとに役立つことを発信していきたい。

Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり

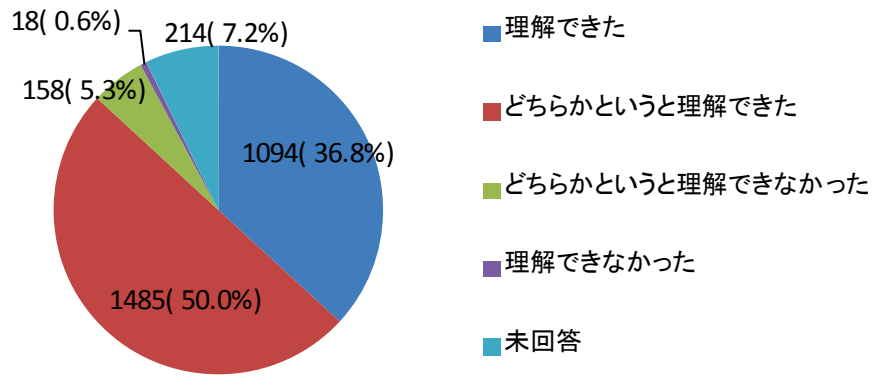
- 研究室に入って、研究するために必要な基礎学力を身につけたい。
- 英語。
- さまざまな知見を広げたい。
- 英語をある程度使えるようになりたい。
- 英語の重要性がよくわかったので、しっかりと英語教育に力を入れて、学びたい。
- ・この先使える語学の習得
 - ・日本人としての教養を身につける
- 英語を必死にしようと思う。他の科目も一生懸命しなければならない…。
- 通用する英語。

- これまで9年間英語を学んできたが、英語で話すこと、聴くことがほとんどできないのが本当に残念。読み、書きの技能だけでなく、英語で話すこと、聴くことの技能を向上させた上で、英語を利用して、英語を通してしか知ることのできないものごとを学びたい。
- 外国語をしっかり学びたい。
- 実用的な英語。
- 英語。
- ・哲学
 - ・心理学
- 様々な国の文化を学びたい。
- 今までに触れなかった分野。
- 理系科目だけでなく、文系科目を幅広く学びたい。
- 偏った知識でなく、幅広い分野に関する知識、教養を身につけたい。
- 世界で通用する語学力を身につけ、幅広い分野を学びたい。

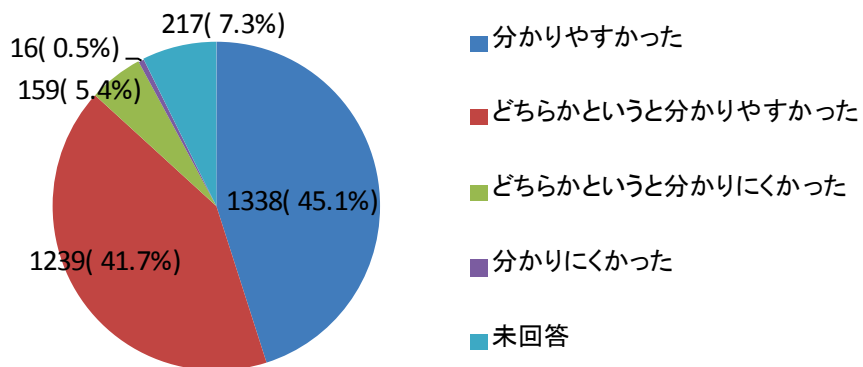
- 英語を日常的に話せるようになりたい！！
- 文系科目（特に社会、経済系）。
- 英語を重点的に学んでいきたい。
- 色々なこと。
- 自分の専門の基礎となる科目、英語はもちろん、幅広く専門以外のことも学んで“教養”を身につけたい。
- 英語を自在に使えるようになりたい。
- 留学も考えてみたい。
- グローバルにかつやくできる為に必要なもの。
- 語学だけでなく理系科目も多くを学びたい。
- 将来に役立つように語学をがんばりたい。
- 英語の勉強をがんばりたいと思います。
- 語学。
- ・未来へ役立つこと
 - ・えいご話せるようになりたい

3. 本ガイダンスの運営についてご意見をお聞かせください。あてはまる番号を1つだけ選び、【 】内にご記入ください。

問1. これからの大学での科目履修について理解できましたか。
 ① 理解できた ② どちらかという理解できた ③ どちらかという理解できなかった
 ④ 理解できなかった

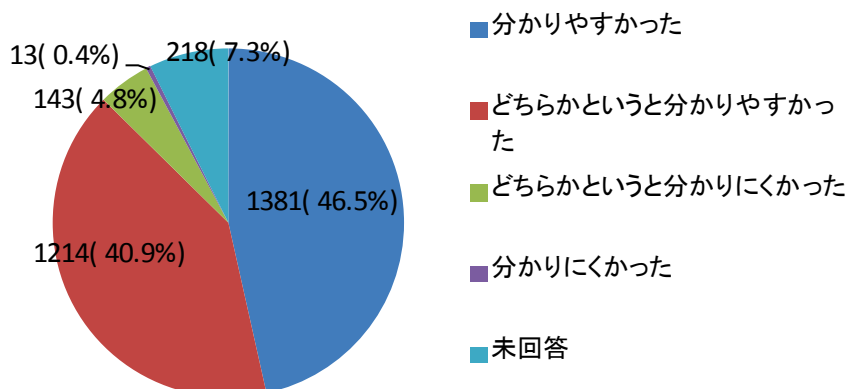


問2. ガイダンスの説明は分かりやすかったですか。
 ① 分かりやすかった ② どちらかというと分かりやすかった
 ③ どちらかというと分かりにくかった ④ 分かりにくかった



問3. ガイダンスに用いた資料は分かりやすかったですか。

- ① 分かりやすかった ② どちらかというと分かりやすかった
③ どちらかというと分かりにくかった ④ 分かりにくかった



問4. 科目履修についてガイダンスで分かりにくかった点、説明をしてほしかった点があればお教えください。

◆主な意見を以下に記載する。

- ・ クラスの使い方
- ・ クラス指定科目についての説明
- ・ システムが複雑で把握しきれなかった
- ・ 英語の映像のBGMが音量大きすぎる
- ・ 科目履修についてももう少し詳しく説明してほしい
- ・ スライドが細かくて見えにくいところがあった
- ・ スライドのレジュメがほしい
- ・ もっと早くガイダンスをしてほしい
- ・ 学科ごとに必要な科目や推奨される科目を具体的に説明してほしい
- ・ 教科書についての説明が不十分
- ・ 資料が多すぎる
- ・ 時間割設定の例を出して欲しい
- ・ 声が聞こえにくかった
- ・ 途中で休憩が欲しかった
- ・ 履習登録が4/28までなのに、4/8から授業あるので、4/8～4/28は授業どうしたらよいかわからない
- ・ 留学の説明がわかりにくかった
- ・ 冷房が寒かった
- ・ 履修要覧がほしい
- ・ 場所によって文字が見にくいところがあったので「手元の資料で何ページにあります。」などと一言あるとよい
- ・ 情報が多すぎてわからない

平成28年度全学共通科目ガイダンスアンケート

学部 _____ 学科 _____

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

ふりがな _____

氏名 _____ (男・女)

このアンケートは、全学共通科目の実施など本学の教育の改善に役立っています。アンケート結果は統計的に処理し、個人が特定されない形で公表されることがあります。記入内容によって記入者に不利益をもたらすことはありませんので、できるだけ正確にお答えください。

1. あなたの受験した学部における入試区分・科目、高等学校での学習についてお教えてください。

(1) 受験した入試区分を下記より 1つだけ 選び、番号をご記入ください。【 】番

- ① 一般入試文系 ② 一般入試理系 ③ 特色入試文系 ④ 特色入試理系

(2) 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

【理科】平成26年度以降に高等学校を卒業された方

- a. () 科学と人間生活 b. () 理科課題研究
c. () 物理基礎 d. () 物理 e. () 化学基礎 f. () 化学
g. () 生物基礎 h. () 生物 i. () 地学基礎 j. () 地学

上記以外の以下を扱っている科目

- k. () 物理 l. () 化学 m. () 生物 n. () 地学

【理科】平成25年度以前に高等学校を卒業された方

- a. () 理科基礎 b. () 理科総合A c. () 理科総合B
d. () 物理Ⅰ e. () 物理Ⅱ f. () 化学Ⅰ g. () 化学Ⅱ
h. () 生物Ⅰ i. () 生物Ⅱ j. () 地学Ⅰ k. () 地学Ⅱ

上記以外の以下を扱っている科目

- l. () 物理 m. () 化学 n. () 生物 o. () 地学

【情報】平成27年度に高等学校を卒業された方

- a. () 社会と情報 b. () 情報の科学 c. () それ以外の情報系の科目
d. () わからない、おぼえていない

【情報】平成26年度以前に高等学校を卒業された方

- a. () 情報A b. () 情報B c. () 情報C
d. () それ以外の情報系の科目 e. () わからない、おぼえていない

(3) 以下の科目のうち、大学入試センター試験で受験した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

- 【理科】 a. () 物理 b. () 化学 c. () 生物 d. () 地学
e. () 物理基礎 f. () 化学基礎 g. () 生物基礎 h. () 地学基礎

(4) 理科の授業で実験をしましたか？各項目に該当する科目名を書いてください。

- ・生徒自身が行う実験があった (科目名: _____)
- ・先生が生徒の前で実演する実験があった (科目名: _____)
- ・実験は行わなかった (科目名: _____)

(5) (1) で一般入試理系を選んだ場合のみ 回答してください。(経済学部を除く)

以下の科目のうち、大学の個別学力検査で受験した科目をすべて選び、() 内に○印をご記入ください。

- 【理科】 a. () 物理 b. () 化学 c. () 生物 d. () 地学

裏面につづく

(6) 高等学校で探求型の科目（個人やグループで課題を設定し、その課題について調査や実験を行い、結果を発表するといった学習を行う科目）を履修しましたか？履修したと答えた方は簡単に内容をご紹介ください。

a. () 履修した b. () 履修していない

履修した内容：

2. 本日のガイダンスで大学での学修について学んだことについてお答えください。

(1) 大学の授業では予習復習についてどのように考えられているでしょうか。

(2) 大学でのレポートで求められていることは何でしょうか。

(3) レポートでの不正行為とはどのようなものでしょうか。不正を行った場合にどのような対処がとられるでしょうか。

3. あなたの京都大学入学に際しての抱負をお聞かせください。

(2回生進級時に KULASIS のマイページに反映されます。)

(1) あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

(2) 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

4. 本ガイダンスの運営についてご意見をお聞かせください。

あてはまる番号を 1つだけ 選び、【 】内にご記入ください。

(1) これからの大学での科目履修について理解できましたか。【 】番

- ① 理解できた ② どちらかという理解できた ③ どちらかという理解できなかった
④ 理解できなかった

(2) ガイダンスの説明は分かりやすかったですか。【 】番

- ① 分かりやすかった ② どちらかという分かりやすかった ③ どちらかという分かりにくかった
④ 分かりにくかった

(3) ガイダンスに用いた資料は分かりやすかったですか。【 】番

- ① 分かりやすかった ② どちらかという分かりやすかった ③ どちらかという分かりにくかった
④ 分かりにくかった

(4) 科目履修についてガイダンスで分かりにくかった点、説明をしてほしかった点があればお教えてください。

VII. 全学機構ガイダンス

平成 28 年度支援機構ガイダンスは以下のプログラムで実施した。

1. 日程

	4 共11	4 共21	4 共30	4 共31
4月4日(月) 14時00分～ 16時30分	医学部 (医学科) 農学部 (資源生物科学科)	医学部 (人間健康科学科) 農学部 (地域環境工学科) (食品生物科学科)	理学部 農学部 (食料・環境経済学科)	薬学部 農学部 (応用生命科学科) (森林科学科)
4月5日(火) 14時00分～ 16時30分	文学部	経済学部	法学部	総合人間学部 教育学部
4月6日(水) 14時00分～ 16時30分	工学部 (物理工学科)	工学部 (工業化学科)	工学部 (地球工学科) (電気電子工学科)	工学部 (建築学科) (情報学科)

2. プログラム

- ① 14:00～14:20 人権・コンプライアンスについて 赤松美紀 理事補 (学生担当) 4月4日・5日
川添信介 理事 (学生・図書担当) 4月6日
- ② 14:20～15:00 情報環境：ネットワークの利用とセキュリティ 情報環境機構
- ③ 15:00～15:05 アンケート回答
- ④ 15:20～15:30 図書の利用 附属図書館、吉田南総合図書館
- ⑤ 15:30～16:00 心肺蘇生・AED 講習 西山知佳・医学研究科講師
- ⑥ 16:00～16:30 アンケート回答

1. 平成 28 年度全学機構ガイダンスプログラム
2. 全学機構ガイダンスアンケート
3. 学生便覧 2016
4. 平成 28 年度京都大学情報環境スタートガイド
5. 京都大学における情報セキュリティポリシーについて
6. 情報環境機構サービスガイドブック
7. 京都大学附属図書館利用案内
8. 京大図書館 MAP (図書館機構スタンプラリー台紙付)

このガイダンスの中で昨年度に引き続き医学部人間健康科学科の協力を得て、救命講習を実施した。心停止者に対する胸骨圧迫と AED の利用は一般人が行える救命活動の中で最重要なものである。詳しくは別途、作成されている報告書を参照頂きたい。

<京都大学医学研究科人間健康科学系専攻ウェブサイト内・講習記事>

URL : http://www.med.kyoto-u.ac.jp/blog/japan/news/20160614_hsnews_newstudents/

<同サイト内・H28 年度 新入生 3000 名への救命講習会 実施報告書 ならびに サポートスタッフ手順書>

URL : http://www.med.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/06/hs_h28kyuumeikousyuukai3000.pdf

本年度は同一学部は全学共通科目ガイダンスと全学機構ガイダンスを同じ日に実施するようにしたが、全学共通科目ガイダンスに比べ全学機構ガイダンスの出席率が低くなっている。また、本年度より日程を並行する形で大学院向けの全学機構ガイダンスが実施されている。会場をまちがう学生なども散見された。受講の徹底、午前・午後のガイダンスでの昼食への配慮、会場の案内のより適切な誘導を行う必要がある。

VIII. 新入生アンケート（全学機構ガイダンス）

○調査の概要

実施方法

平成28年4月4日（月）～6日（水）の3日間に、情報環境機構が実施した全学機構ガイダンスの際に記名式のアンケート調査を行い、全学部合わせて2,435名（提出率82.0%）の提出があった。

学部・学科		在籍者数	提出者数	提出率
総合人間学部		126	112	88.9%
文学部		224	198	88.4%
教育学部		63	58	92.1%
法学部		338	264	78.1%
経済学部		254	183	72.0%
理学部		315	285	90.5%
医学部	医学科	112	104	92.9%
	人間健康科学科	147	145	98.6%
薬学部	薬科学科	55	54	98.2%
	薬学科	31	31	100.0%
工学部	地球工学科	188	129	68.6%
	建築学科	82	56	68.3%
	物理工学科	240	173	72.1%
	電気電子工学科	133	108	81.2%
	工業化学科	243	205	84.4%
	情報学科	98	42	42.9%
農学部	資源生物科学科	96	86	89.6%
	応用生命科学科	51	47	92.2%
	地域環境工学科	41	36	87.8%
	食料・環境経済学科	35	31	88.6%
	森林科学科	60	54	90.0%
	食品生物科学科	37	34	91.9%
合 計		2,969	2,435	82.0%

※在籍者数は2016年4月20日現在

2. ご自身の情報通信機器のご利用状況および情報環境機構のガイダンスについてお伺いします。

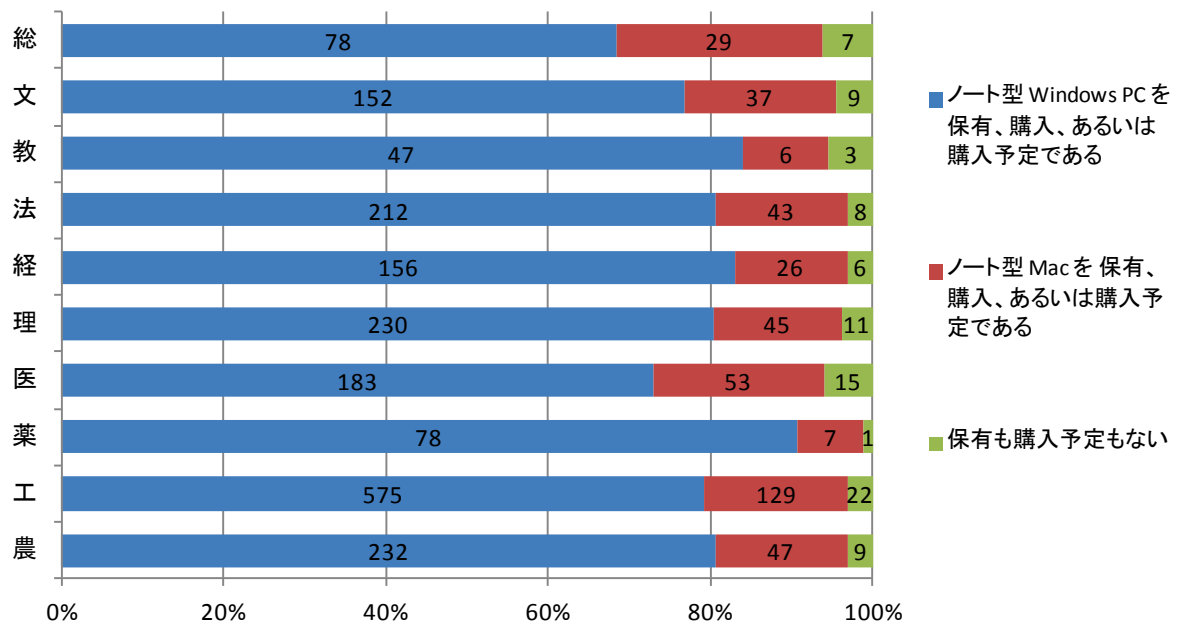
問1. 国際高等教育院では新入生の皆さんにノートPCの保有を推奨していますが、これについてお伺いします。あてはまるものすべてに（ ）内に○印をつけてください。

A. () ノート型 Windows PC を 保有、購入、あるいは購入予定である

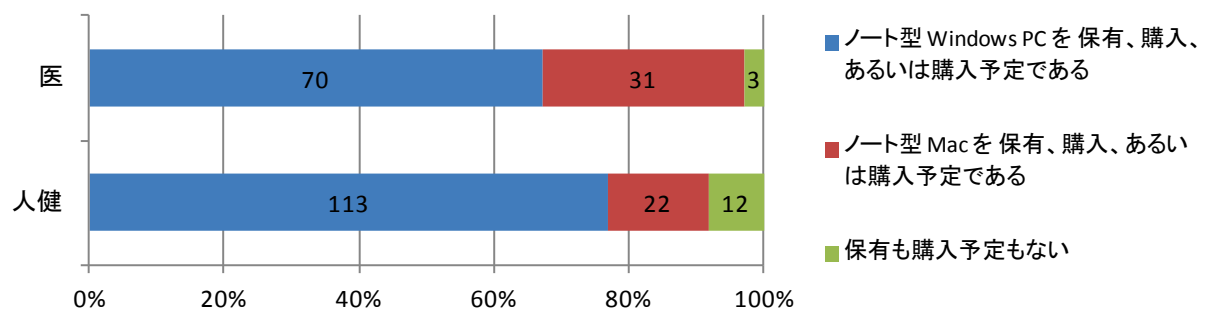
B. () ノート型 Mac を 保有、購入、あるいは購入予定である

C. () 保有も購入予定もない（宜しければ理由もお教えてください _____）

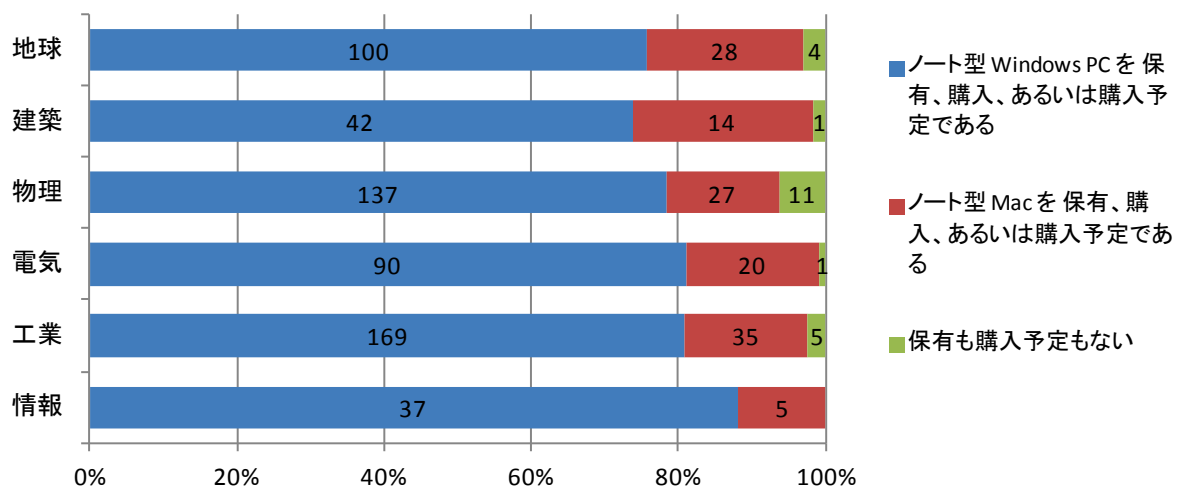
<学部別>



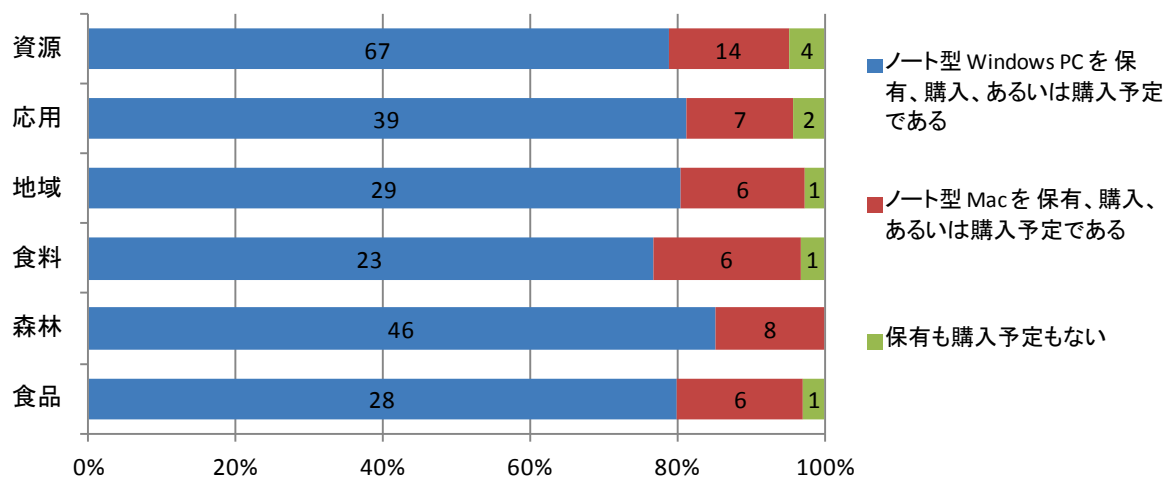
<学科別・医学部>



<学科別・工学部>



<学科別・農学部>



◆C. 保有も購入予定もない：具体的な理由

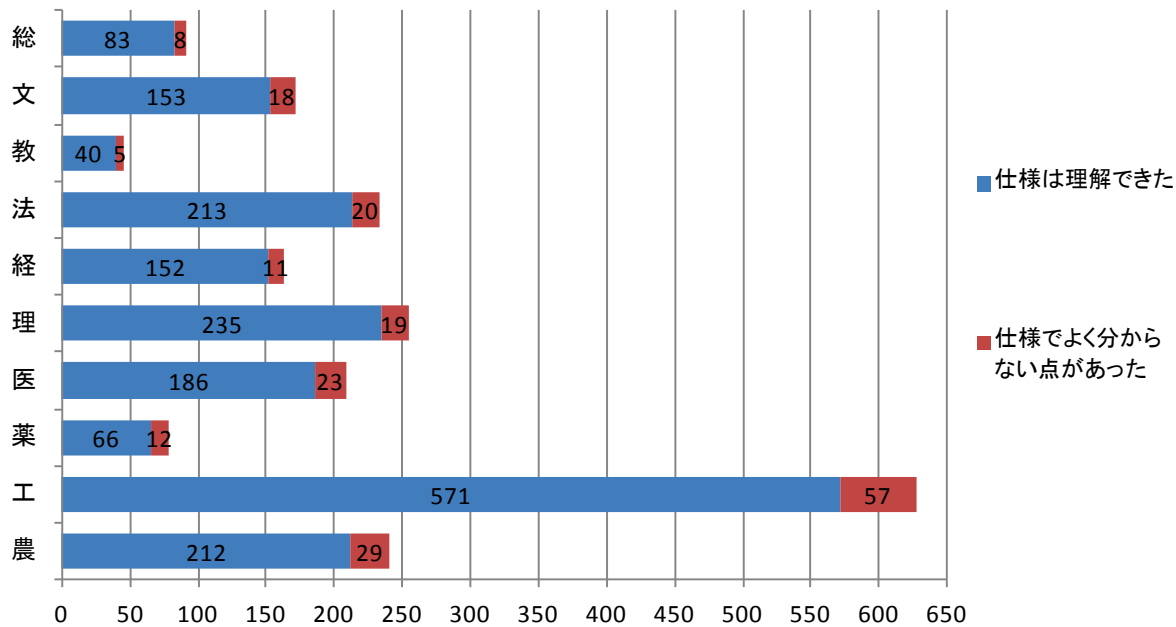
・・・「金銭的な問題」、「自宅にある」、「デスクトップ PC を購入した」、「学校の PC を利用する」等の回答があった。

問2. 推奨するノートPCの仕様についてご意見をお聞かせください。

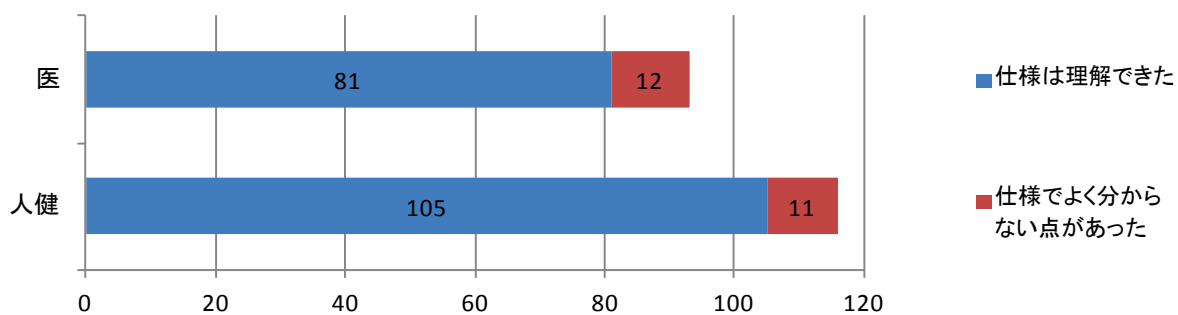
下記より番号を1つだけ選んでご記入ください。【】番

- ① 仕様は理解できた ② 仕様でよく分からない点があった（具体的に _____）

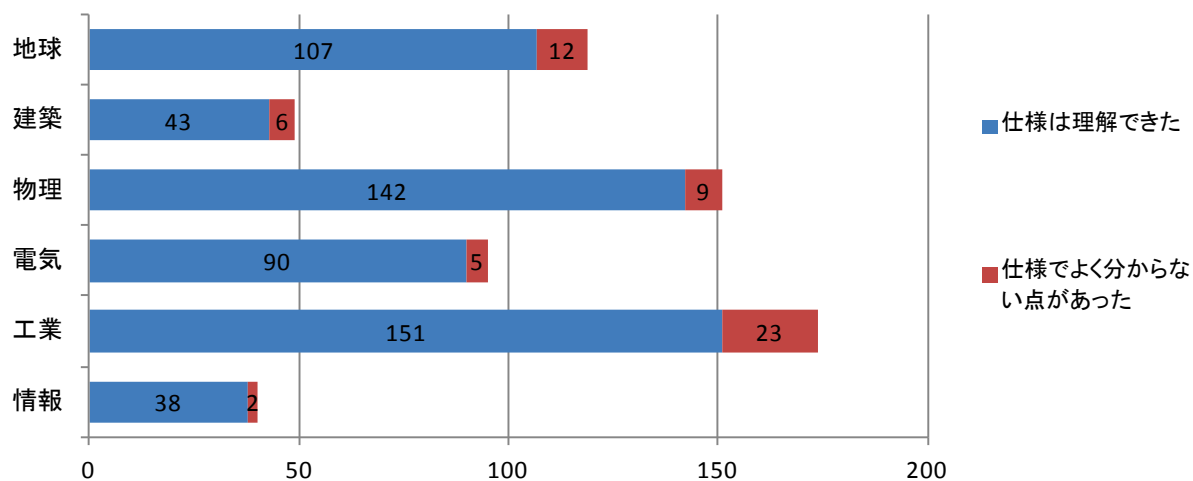
<学部別>



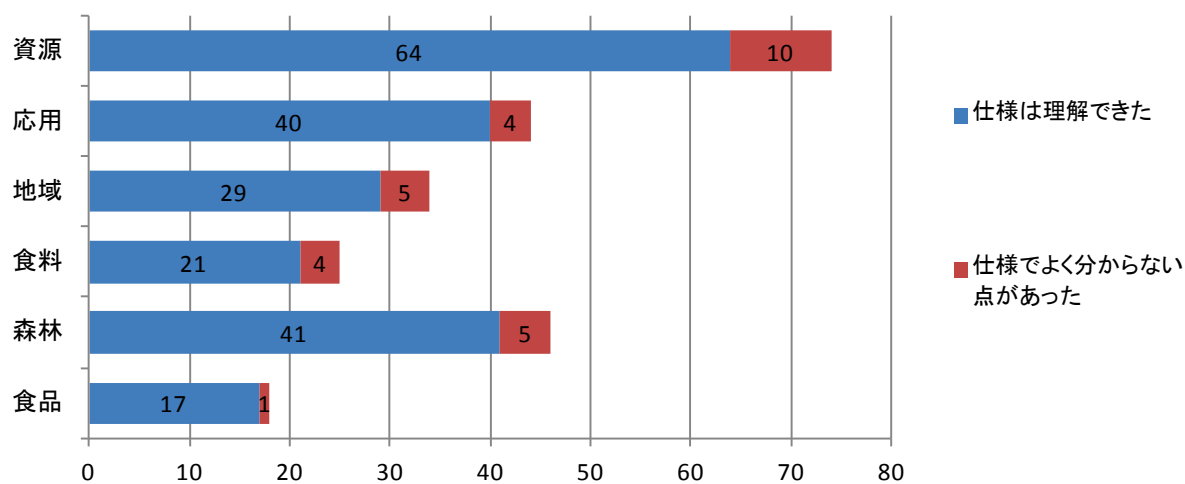
<学科別・医学部>



<学科別・工学部>



<学科別・農学部>



◆仕様でよく分からない点があった：具体的な理由

・・・「全体的にわからない」、「専門用語がわからない」、「初期設定」等の回答があった。

◆その他ご意見をお聞かせください

・・・以下に主な回答を記載している。なお、末尾の【 】内に学部名を記載した。

- ・読んでいない【総】
- ・分からない部分も把握できていない。【文】
- ・覚えていない。【文】
- ・高すぎる【文】
- ・文系にあの仕様（フラッシュストレージ128GBSSD以上）はもったいなさすぎる。HDDにするべき。【文】
- ・難しい【教】
- ・そもそもよくわかってない。【法】
- ・性能が低いと思った。【経】
- ・説明がなかった。【経】
- ・Cent OS等のLINUX系列の許可。【経】
- ・高すぎる/Macはメモリ8GBは必要。【経】
- ・パソコンを高くしているはずせ（てよさ）そんな機能はないか。【理】
- ・パソコンを使い慣れておらず、仕様の良し悪しはわからない。【医】
- ・何が分からないのかも分からない。【工】
- ・値段が高い。【工】
- ・安い！【工】
- ・エクセル等を安く配付してほしい。【工】
- ・求めるものがハイスペック過ぎる。【工】
- ・まだあまり使っておらずよくわからない。【工】
- ・学外で購入。【工】
- ・推奨する仕様を確認していない。【工】
- ・PC店曰く「これは求めるレベルが高すぎる」。値段も高すぎだと思う。【工】
- ・数秒ほど、ドライブが応答なしになる（自己復旧する）のが不便。【農】
- ・カスタマイズ出来ないのが不満。【農】
- ・officeがダウンロードできなかった。【農】
- ・PCの基本中の基本から説明してほしい。【農】

平成 28 年度全学機構ガイダンスアンケート

学部 _____ 学科 _____

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ふりがな

氏名 _____ (男・女)

このアンケートは、学部学生の皆さんの学習、学生生活の支援などの改善に役立てます。アンケート結果は統計的に処理し、個人が特定されない形で公表されることがあります。記入内容によって記入者に不利益をもたらすことはありませんので、できるだけ正確にお答えください。

1. あなたの生活スタイルについてお伺いします。

あてはまる番号を1つだけ選んで【 】内にご記入ください。

(1) 居住環境について教えてください。 【 】番

- ① 自宅から通学している ② アパート、下宿に1人で暮らしている
③ 京都大学その他の学生寮で暮らしている ④ その他

(2) 通学方法について教えてください。 【 】番

- ① 徒歩で通学している ② 鉄道・バスなど公共交通機関で通学している
③ 自転車で通学している ④ 公共交通機関と自転車を組み合わせて通学している
⑤ その他

2. 本日のガイダンスで学んだことについてお答えください。

(1) これからの学生生活にはどのようなリスクがあるでしょうか。本ガイダンスで示されたこととそれ以外に感じていることを書いてください。

本ガイダンスで学んだリスク
ガイダンスでは示されなかったが重要だと感じているリスク

(2) リスクに対する基本的な考え方を確認してください。

--

(3) リスクについて予め学んでおくことの意義は何でしょうか。

--

(4) 人権について本ガイダンスを受けてどのようなことを感じましたか。

3. ご自身の情報通信機器のご利用状況および情報環境機構のガイダンスについてお伺いします。

(1) 国際高等教育院では新入生の皆さんにノートPCの保有を推奨していますが、これについてお伺いします。
あてはまるものすべてに()内に○印をつけてください。

- A. () ノート型 Windows PC を 保有、購入、あるいは購入予定である
- B. () ノート型 Mac を 保有、購入、あるいは購入予定である
- C. () 保有も購入予定もない (宜しければ理由もお教えてください _____)

(2) 推奨するノートPCの仕様についてご意見をお聞かせください。

下記より番号を 1つだけ選んでご記入ください。 【 】番

- ① 仕様は理解できた ② 仕様でよく分からない点があった (具体的に _____)

※その他ご意見をお聞かせください _____

(3) ご利用になっている携帯端末の種別についてお伺いします。

あてはまるものすべてに()内に○印をつけてください。

- A. () iPhone B. () Android スマートフォン C. () 従来型携帯電話
- D. () 利用していない

(4) 自分専用または家族用のタブレット端末をご利用なら機種を教えてください。

あてはまるものすべてに()内に○印をつけてください。

- A. () iPad B. () Android タブレット C. () Windows タブレット
- D. () 利用していない

(5) 電子メールの利用についてお伺いします。あてはまる番号を 1つだけ選んで【 】内にご記入ください。

a. ご利用頻度はどの程度ですか。 【 】番

- ① 頻繁に利用している ② 1日に数回程度利用している ③ 週に数回程度しか利用しない
- ④ 利用しない

b. ご利用になる方に伺います。主に読み書きする端末は何ですか。 【 】番

- ① スマートフォン、携帯電話 ② PC ③ その他

c. 利用している電子メールアカウントは何ですか。 【 】番

- ① 携帯電話会社の電子メール ② Gmail ③ Yahoo Mail
- ④ プロバイダの提供する電子メール ⑤ その他

(6) 家族、友人との連絡方法について教えてください。それぞれ使用頻度の高い順に番号を記入してください (例: LINE が一番高い場合、1位【4】)。使っていない場合は何も書かないでください。

家族: 1位【 】 2位【 】 3位【 】

友人: 1位【 】 2位【 】 3位【 】

- ① 通話 ② 電子メール ③ SMS/MMS等メッセージ ④ LINE

上記以外の連絡方法を使っている場合は記入してください

{ _____ }

(8) 救命講習を受けた感想を自由に記入してください。

5. 本ガイダンスの運営についてご意見をお聞かせください。

あてはまる番号を1つだけ選んで【 】内にご記入ください。

(1) ガイダンスの説明は分かりやすかったですか？ 【 】番

- ① 分かりやすかった ② どちらかということと分かりやすかった
- ③ どちらかということと分かりにくかった ④ 分かりにくかった

(2) ガイダンスに用いた資料は分かりやすかったですか？ 【 】番

- ① 分かりやすかった ② どちらかということと分かりやすかった
- ③ どちらかということと分かりにくかった ④ 分かりにくかった

(3) 本ガイダンス全体で分かりにくかった点、説明をしてほしかった点があればお教えてください。

IX. おわりに

平成 28 年度は教養・共通教育のカリキュラムを大幅に変更するとともに、入学前に学生用アカウントを発行して入学前に大学での学びについての学習機会を提供するとともに、各種手続きのオンライン化を行い、入学直後のスケジュールの慌ただしさを緩和した。今後、学生の学修状況なども踏まえてカリキュラムの変更により適切に対応することを目指してガイダンス等の改善を進める予定である。



平成 28 年度 新入生ガイダンス報告書

平成 29 年 3 月発行

発行 京都大学国際高等教育院

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-6690/6513 <http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>